
会 告 ・ 通 知

————— 平成 24 年 3 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 3 月 1 日～4 月 6 日）	2
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	41
◇2012 年総合大会開催案内	46
◇FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム講演募集案内	47
◇平成 24 年度春季先端オープン講座開講——御案内と受講者募集——	50
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 電気四学会関西支部「平成 24 年度合同報告会・講演会」	53
・大川賞受賞記念シンポジウム	53
・JABEE 審査講習会	53
・フットニックネットワークシンポジウム 2012——100 G 光通信技術と国際競争力——	54
・本会が協賛等のもの	54
◇国際会議	55
◇受賞候補者募集等	55
◇求人欄	56
◇お知らせ	
・平成 24 年度会費お払込みのお願い	57
・転勤・引越し及び学生員申請の届出について	57
・英文論文誌 B レターカテゴリー廃止について	57
・IEICE Electronics Express (ELEX) の掲載料の変更並びに随時公開の開始について	57
・卓越研究データベース（日本）の名称変更と公開のお知らせ	57
・平成 24 年 3 月号及び 4 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	57
・「産・官・学共同研究」募集のお知らせ	58
◇平成 24 年度電子情報通信学会技術研究報告予約募集案内・予約申込書・取扱う主要研究分野	58
◇論文特集号原稿募集	
・アナログ回路技術小特集号（英文論文誌 A）	68
・生活の質を向上させる通信サービスの品質小特集号（英文論文誌 B）	69
・SQUID とその応用小特集号（英文論文誌 C）	69
・分子エレクトロニクスと有機デバイスの新展開小特集号（英文論文誌 C）	70
・多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに应用技術小特集号（英文論文誌 D）	71
・データ工学と情報マネジメント特集号（和文論文誌 D）	72
・データ工学と情報マネジメント特集号（英文論文誌 D）	73
◇論文特集号論文募集カレンダー	74
◇通信ソサイエティマガジン年間購入申込みについて	77
◇IEICE Communications Express (ComEX) 創刊のお知らせ	78
◇IEICE Electronics Express 投稿案内	79
◇会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」購入申込みについて	80
♣複製される方へ	76
♣新刊案内	
・電子情報通信レクチャーシリーズ [情報社会・セキュリティ・倫理]	46
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	49

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 3 月 1 日～4 月 6 日

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
情報理論 情報セキュリティ ワイドバンドシステム	1日(木) 2日(金)	10:30~17:00 9:00~17:50	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	4
スマートインフォメディアシステム	1日(木) 2日(金)	9:40~17:25 9:20~15:45	東京都市大学・渋谷サテライトクラス	5
システム数理と応用	8日(木) 9日(金)	13:30~17:45 9:30~14:40	北陸先端科学技術大学院大学・東京キャンパス	前号
I T S	15日(木)	13:00~17:30	電気学会・本部	14
応用音響	16日(金)	10:30~16:30	日立製作所・中央研究所	14
安 全 性	16日(金)	13:00~17:00	明治大学・駿河台キャンパス・紫紺館	15
技術と社会・倫理 インターネットアーキテクチャ	15日(木) 16日(金)	(未定)	北海道大学・人文・社会科学総合教育研究棟	17
回路とシステム 信号処理 通信方式	8日(木) 9日(金)	9:10~17:35 9:00~17:00	新潟大学・駅南キャンパス・ときめいと	19
イメージ・メディア・クオリティ	2日(金)	13:30~16:35	鹿児島大学・工学部・情報工学科	30
V L S I 設計技術	6日(火) 7日(月)	10:10~16:45 9:15~16:30	ビーコンプラザ	前号
非線形問題	27日(火) 28日(水)	13:00~17:20 9:20~16:30	福江文化会館	40

3月休会の研究会；信頼性，超音波，思考と言語

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
光ファイバ応用技術 光エレクトロニクス	2日(金)	9:00~18:30	機械振興会館	前号
無線通信システム ソフトウェア無線	7日(水) 8日(木) 9日(金)	9:00~17:55 9:00~18:15 9:00~18:20	横須賀テレコムリサーチパーク・YRP センター1番館	前号
モバイルマルチメディア通信 アドホックネットワーク	12日(月) 13日(火)	9:30~15:45 9:30~15:45	情報通信研究機構・本部	9
環境電磁工学	16日(金)	9:00~17:35	機械振興会館	15
インターネットアーキテクチャ 技術と社会・倫理	15日(木) 16日(金)	(未定)	北海道大学・人文・社会科学総合教育研究棟	17
通信方式 回路とシステム 信号処理	8日(木) 9日(金)	9:10~17:35 9:00~17:00	新潟大学・駅南キャンパス・ときめいと	19
アンテナ・伝播	15日(木) 16日(金)	10:30~16:35 10:00~11:40	熱海市中央公民館	22
ネットワークシステム 情報ネットワーク	8日(木) 9日(金)	9:30~12:20 9:30~16:20	フェニックス・シーガイア・リゾート	31
フォトニックネットワーク	12日(月) 13日(火)	10:30~17:30 13:25~16:40	五島市 IT 振興センター	37
情報通信マネジメント	15日(木) 16日(金)	9:40~12:00 9:20~18:20	沖縄県男女共同参画センターていりる	39

3月休会の研究会；宇宙・航行エレクトロニクス，衛星通信，電子通信エネルギー技術，光通信システム，コミュニケーションクオリティ，ユビキタス・センサネットワーク

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
機構デバイス	2日(金)	12:30~17:15	玉川大学	6
光エレクトロニクス 光ファイバ応用技術	2日(金)	9:00~18:30	機械振興会館	前号
シリコン材料・デバイス	5日(月)	10:00~16:30	機械振興会館	6
マイクロ波・ミリ波フォトニクス	4月6日(金)	13:00~17:00	機械振興会館	16

磁気記録・情報ストレージ	16日(金)	13:00~17:00	名古屋大学・IB電子情報館	23
集積回路	26日(月)	10:00~18:30	大阪大学・吹田キャンパス・銀杏会館	25
マイクロ波	1日(木) 2日(金)	9:00~17:15 9:00~16:15	佐賀大学・本庄キャンパス	29
3月休会の研究会；超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電子デバイス，電子部品・材料，電磁界理論，有機エレクトロニクス，レーザ・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
音声	8日(木) 9日(金)	10:30~17:15 10:00~17:15	理化学研究所	7
情報論的学習理論と機械学習	12日(月) 13日(火)	(未定)	統計数理研究所	10
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	14日(水) 15日(木) 16日(金)	9:50~18:05 9:50~17:40 9:50~17:40	玉川大学	10
コンピュータシジョン	16日(金)	10:00~17:30	東京大学・工学部	15
情報通信システムセキュリティ	16日(金)	10:20~16:15	機械振興会館	16
人工知能と知識処理	11日(日) 12日(月) 13日(火)	14:00~19:00 9:00~18:00 9:00~15:30	定山溪ビューホテル	16
コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング	2日(金) 3日(土)	13:00~18:00 9:00~16:15	ホテル松島大観荘	18
知能ソフトウェア工学	15日(木) 16日(金)	13:35~17:05 10:00~13:10	名古屋大学・東山キャンパス	23
画像工学 マルチメディア・仮想環境基礎	12日(月) 13日(火)	9:30~18:05 9:30~16:40	富山大学・工学部・五福キャンパス	23
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	16日(金)	9:00~18:00	大阪大学・吹田キャンパス	25
パターン認識・メディア理解 ヒューマン情報処理	29日(木) 30日(金)	9:30~17:50 9:00~16:20	神戸大学・工学部	26
教育工学	10日(土)	9:50~17:00	香川高等専門学校・詫間キャンパス	28
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	8日(木) 9日(金)	9:00~17:20 9:00~17:40	名桜大学・総合研究所	36
ソフトウェアサイエンス	13日(火) 14日(水)	9:00~18:25 9:00~12:30	てんぶす那覇	38
3月休会の研究会；言語理解とコミュニケーション，データ工学，医用画像，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコンフィギャラブルシステム，クラウドネットワークロボット				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
福祉情報工学	9日(金) 10日(土)	10:00~17:15 10:00~17:15	筑波技術大学・春日キャンパス	8
ヒューマンコミュニケーション基礎	5日(月) 6日(火)	10:30~18:45 9:00~16:45	ホテルウェルシーズン浜名湖	21
マルチメディア・仮想環境基礎 画像工学	12日(月) 13日(火)	9:30~18:05 9:30~16:40	富山大学・工学部・五福キャンパス	23
ヒューマン情報処理 パターン認識・メディア理解	29日(木) 30日(金)	9:30~17:50 9:00~16:20	神戸大学・工学部	26

◇第二種研究会開催案内

第47回機能集積情報システム研究会	3月9日(金)	金沢工業大学・扇が丘キャンパス	41
2012年情報通信マネジメントワークショップ	3月15日(木)	沖縄県男女共同参画センター「ていりる」	41
第3回複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) 研究会	3月17日(土)	東京理科大学・神楽坂キャンパス	42

◇第二種研究会発表募集案内

第3回情報ネットワーク科学 (NetSci) 研究会	5月18日(金)	首都大学東京・秋葉原キャンパス	42
第26回量子情報技術研究会 (QIT26)	5月21日(月), 22日(火)	福井大学・文京キャンパス	42
LSIとシステムのワークショップ2012	5月28日(月)~30日(水)	北九州国際会議場	43
第16回ネットワークソフトウェア研究会	6月21日(木), 22日(金)	函館市民会館	43
第25回 回路とシステムワークショップ	7月30日(月), 31日(火)	淡路夢舞台国際会議場	44

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良
幹事 古賀弘樹・井坂元彦 幹事補佐 桑門秀典

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 鳥居直哉 副委員長 松本 勉・田中俊昭
幹事 中西 透・四方順司 幹事補佐 伊豆哲也

★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 伊丹 誠 副委員長 眞田幸俊・佐々木重信
幹事 滝沢賢一・小野文枝 幹事補佐 小室信喜・松波 勲

日時 3月1日(木) 10:30~17:00
2日(金) 9:00~17:50

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎(横浜市港北区日吉
4-1-1. 東急東横線:日吉駅下車, 徒歩1分. <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html> 眞田幸俊)

議題 情報通信基礎サブサイエティとの合同研究会

1日午前 シンポジウムスペース (10:30~12:10)

- 紙の可視光人工物メトリクスの耐クローム性評価
○近藤佑樹・武内康博・四方順司・松本 勉(横浜国大)
- 印刷インクを用いた人工物メトリクスに基づくオブジェクト
認証システム ○小林貴史・中村拓也・佐藤弘季(中大)・
ナツカポン アッタラパドゥン・今井秀樹(産総研)
- 実行委託先での不正利用抑止を目的とするアプリケーション
分割手法 ○本多聡美・吉岡克成・松本 勉(横浜国大)
- 日本における情報セキュリティの相互依存性の分析
○飛鋪亮太(中大)・Bongkot JENJARRUSSAKUL・
田中秀幸(東大)・今井秀樹(中大)・松浦幹太(東大)

1日午後 シンポジウムスペース (13:30~17:00)

- 紛失オートマトン計算における通信量の削減
○渡邊裕治・立石孝彰(日本IBM)
- 多組織間で共有されるデータにおけるリンク制御—プロキシ
署名付き暗号化技術をベースに— ○上條浩一・
中村宏明・宮下 尚(日本IBM)
- A New Public-Key Cryptosystem Based on Random Binary
Codes Kaoru Kurosawa (Ibaraki Univ.)・
○Ryo Nojima・Le Trieu Phong (NICT)
- 情報理論的に安全なパスワード付秘密分散法
早稲田篤志・○野島 良(NICT)
- Fuzzy Commitment Schemeの拡張について
○谷 直樹・四方順司・松本 勉(横浜国大)
- A Block-Cipher-Based Hash Function Using an MMO-Type
Double-Block Compression Function
○Shoichi Hirose (Fukui Univ.)・
Hidenori Kuwakado (Kobe Univ.)
- ハッシュ関数 HAS-160 に対するブーメラン識別攻撃の提案
○高崎泰宏(電通大)・佐々木 悠(NTT)・王 磊・
崎山一男・太田和夫(電通大)
- HyRALの新たな飽和特性 ○芝山直喜・金子敏信・
半谷精一郎(東京理科大)

1日午前 大会議室 (10:30~12:10)

- 線形符号を用いた Slepian-Wolf 符号化の誤り指数
植松友彦(東工大)

- フレーム間の相関を利用した量子化器を用いた Wyner-Ziv
動画画像符号化 ○大川倫明・植松友彦・
松本隆太郎(東工大)

- 画像ヒストグラムの情報理論的な先見情報を用いた超解像
○胤森慎平・工藤博幸(筑波大)

- 分割予測を用いたクラウドツリー分割に基づく画像符号化
○今村栄俊・宇戸寿幸・大上健二(愛媛大)

1日午後 大会議室 (15:20~17:00)

- Error-Trellis Construction for Tailbiting Convolutional
Codes ○Masato Tajima・Koji Okino・
Takashi Miyagoshi (Univ. of Toyama)

- ビタビアルゴリズムを用いた送信機の位置推定及び送信情報
の誤り率特性 ○原田康平・森島 佑・岡 育生・
阿多信吾(阪市大)

- 多重誤り訂正が可能な Write Once 符号の構成法
○宇都宮秀利・鎌部 浩(岐阜大)

- 周期定常性を用いたブロック直交変調の推定
○衣笠隆文・岡 育生・阿多信吾(阪市大)

1日午前 小会議室 (10:30~12:10)

- プレコーディングによる隣接チャネル干渉キャンセルを用いた
FS-OFDM 受信機の性能評価 ○酒井英佑・
西村晴輝・稲森真美子・眞田幸俊(慶大)
- 多素子 ESPAR アンテナを用いた IEEE802.15.4 の単一 RF
ダイバシティに関する一検討 ○勝田雄大・
岡田 実(奈良先端大)
- 超広帯域無線を用いた無線ボディアリヤネットワーク—歩行
動作中における CAP 及び CFP スロット配分に関する考察—
○武井雄一郎・勝田広樹(明大)・滝沢賢一・
浜口 清(NICT)・井家上哲史(明大)
- グリーン・ホワイトスペース受信ダイバシティ方式の提案
—ESPAR アンテナを用いた任意の周波数を利用する受信ダイ
バシティ技術— ○齋藤将人・有田 涉(琉球大)

2日午前 シンポジウムスペース (9:00~12:05)

- インデックス更新時の情報漏えいが少ない検索可能暗号
荒木俊則(NEC)
- 準同型暗号を用いたプライバシー保護型統計演算のソフト
ウェア実装報告 ○一色寿幸・尾花 賢・森 健吾(NEC)
- An Optimized Montgomery Ladder on Elliptic Curve from Co-
Z Arithmetic 宮地充子・○莫 翌人(北陸先端大)
- 素因数分解と等価な安全性を有する多変数公開鍵暗号の構成
法 ○辻井重男・只木孝太郎・五太子政史・藤田 亮(中大)
- ナップザック暗号の鍵の性質と低密度攻撃耐性の関係及び攻
撃法改善の提案 ○高井翔悟・林 彬(金沢工大)
- ナップザック暗号系への Shamir の攻撃法の計算機実験
○橋本 潤・林 彬(金沢工大)

2日午後 シンポジウムスペース (13:25~17:50)

- [招待講演] 情報理論的に安全な秘密鍵共有について
○渡辺 峻(徳島大)・松本隆太郎・植松友彦(東工大)
- [招待講演] 暗号デバイスへの物理攻撃と防御の実際
佐藤 証(産総研)
- [招待講演] 安全・安心のための電波センシング
大槻知明(慶大)
- 特定の統計量のみを保存するデータランダム化方式
○伊藤 隆・平野貴人・森 拓海・服部充洋・
松田 規(三菱電機)
- 巡回ハミング符号と交錯法を用いた画像認証

○藤本裕章・浜辺隆二（福岡工大）

12. ブロック拡散と Biased-Chirp 変換を用いた電子透かし

○大関和夫・魏 遠玉・倉木真生・平川 豊（芝浦工大）
佐藤清次（産業短大）

2 日午前 大会議室（9：00～11：40）

13. 400 MHz 帯を利用した無線中継伝送によるセンサネットワーク
○滝沢賢一・三浦 龍（NICT）

14. UWB-IR におけるマルチキャリアアテンプレート波形を用いた RAKE 受信に関する検討
○大野純平・大野光平・伊丹 誠（東京理科大）

15. 周波数チャネルの動的割当による MU-MIMO システムの伝送特性改善に関する一検討
○中平俊朗・村田英一・吉田 進・山本高至（京大）・梅原大祐（京都工繊大）・田野 哲（岡山大）・守倉正博（京大）

16. UWB 信号を用いた屋内三次元測位に関する一考察
○大村剛史・小池祐樹・井家上哲史（明大）

17. [招待講演] ワイヤレス電力伝送技術の研究開発動向と今後（仮）
庄木裕樹（東芝）

2 日午後 大会議室（16：35～17：50）

18. コスト付有限状態無雑音通信路に適した語頭符号の構成法の高速化
○上元俊広・岩田賢一（福井大）

19. 巡回差集合より構成される定重み符号の巡回同値な符号語に関する考察
○戒田高康（近畿大）・鄭 俊如（九州女子大）

20. パンクチャド畳込み符号の誤り率解析
吉川英機（東北学院大）

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 25 日（金）福岡県立飯塚研究開発センター [3 月 12 日（月）] テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IT 研究会幹事，幹事補佐

E-mail：it-sec@mail.ieice.org

☆ISEC 研究会

【問合せ先】

中西 透（岡山大）

TEL [086] 251-8249, FAX [086] 251-8255

E-mail：isec-sec@mail.ieice.org（幹事，幹事補佐宛）

☆WBS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 24 日（木），25 日（金）岩手県立大 [未定] テーマ：符号化，変復調，信号処理技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

小室信喜

TEL & FAX [043] 290-3274

E-mail：kmr@faculty.chiba-u.jp

★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 伊藤良生 副委員長 尾上孝雄・棟安実治

幹事 笹岡直人・吉澤真吾 幹事補佐 筒井 弘・目黒光彦

日時 3 月 1 日（木）9：40～17：25

2 日（金）9：20～15：45

第一種研究会開催案内

会場 東京都市大学渋谷サテライトクラス（渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル B1F. JR 渋谷駅南口から徒歩 6 分。
http://www.sci.waseda.ac.jp/office/JIKANWARI/shibuya_map.pdf TEL [03] 5456-8571（会場）田口 亮）

議題 ソフトコンピューティング，一般

1 日午前

1. 経験的モード分解を用いた特徴抽出による画像の属性推定

○深井寛修（立命館大）・満倉靖恵・浜田 望（慶大）

2. 逆量子化手続きを利用したビット長伸長処理の汎用性に関する検討
○西山譲二・田口 亮（東京都市大）

3. 電子透かしの印刷取り込みにおけるビット検出閾値の自動決定手法
○小甲啓隆・宮岡伸一郎（東京工科大）

4. ZIP エンコーダーの FPGA への実装
○川崎大地・村上 涼・片山卓也・木村誠聡（神奈川工科大）

5. 単一試行波形に基づいた P300 スペラーにおける適切な電極選択
○多和田敬介・満倉靖恵・浜田 望（慶大）

1 日午後

6. 明度差を考慮した対話型配色支援システムの一方式
○三嶋 貴・荒川 薫・原島 博（明大）

7. 色相を保存した RGB 色空間におけるコントラスト強調法
○村平宏太・田口 亮（東京都市大）

8. センサ情報を利用した手持ち首振りカメラ撮影像からのパノラマ映像合成の一手法
○蓑毛 章・東海彰吾・長谷博行（福井大）

9. エッジ保存を考慮した単一画像の再構成型超解像
○藤原英晃・近藤克哉（鳥取大）

10. 劣化画像のみを用いた荷重メジアンフィルタの GA による設計手法の拡張
○花田良子・棟安実治・浅野 晃（関西大）

11. スイッチングベクトルメジアンフィルタによるインパルス性雑音除去のための最適な雑音検出器の設計
○神谷 誠・花田良子・棟安実治（関西大）

12. スイッチングメディアンフィルタに基づいたロバスト自己クロスバイラテラルフィルタ
○畔津忠博（山口県立大）・末竹規哲・内野英治（山口大）

13. アンテーション機能を備えた文献評価システムの開発と評価
○王 ビョウ・大塚隆弘・榎原博之（関西大）

14. [招待講演] デジタルシネマの進展とその 4K 映像技術の新たな展開
藤井哲郎（東京都市大）

2 日午前

1. 経験的モード分解を用いた顔画像からの皺検出
○若宮慶也・高橋巧一・満倉靖恵・浜田 望（慶大）

2. 対話型進化計算を用いた顔画像美観システムのユーザビリティ改善とその評価
○鷲見慎一郎・老沼樹里・荒川 薫・原島 博（明大）

3. モルフォロジカルスケルトンを用いた虹彩認証に関する研究
○林 希美・田口 亮（東京都市大）

4. 線形予測分析を用いた指紋画像のセグメンテーションに関する検討
○屋良朝貴・舟木慶一（琉球大）

5. 最小 4 次キュムラントアルゴリズムを用いる後向き線形予測器による突発性騒音抑圧に関する一検討
伊藤 徹・○笹岡直人・小野和昌・伊藤良生（鳥取大）

6. 重複等化処理を用いた OFDM 伝送の特性改善
○濱 美光・山崎彰一郎（職業大）

7. RTL Design of High-Speed Sorted QR Decomposition for MMSE-MIMO Decoder
○Yuya Miyaoka・Yuhei Nagao・Masayuki Kurosaki・Hiroshi Ochi（Kyushu Inst. of Tech.）

2日午後(13:10~)

8. 弱視者の歩行時における障害物検知に関する一検討

○森山裕介・折居英章・河野英昭・前田 博・
生駒哲一(九工大)

9. メトロポリス・ヘイスティングス法を用いた物体検出手法の
並列化検討

○劉 載勲(阪大)・
宮本龍介(奈良先端大)・尾上孝雄(阪大)

10. 構造要素型動的輪郭モデルを用いた複数物体抽出に関する一
検討

○浦田悟志・安川 博(愛知県立大)

11. QRコードを用いたカメラ・物体間の距離情報取得システム
についての一検討

○森邊真行・折居英章・河野英昭・
前田 博・生駒哲一(九工大)

12. 人感センサシステムによるセンサネットワークの通信特性評
価

○横尾晃大・安川 博(愛知県立大)

13. Performance Analysis on Route Diversity for Microwave
Mesh Network Based on Angular Separation and Link
Orientation

○Abrajano Gemalyn Dacillo・
Minoru Okada(NAIST)

14. 移動体搭載円形回転アンテナの走行時回転数制御法に関する
検討

○荻原宏典・安川 博(愛知県立大)

◆日本知能ファジィ学会共催

◎1日の研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下
さい。

【問合せ先】

笹岡直人(鳥取大)

E-mail: sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp

★機構デバイス研究会(EMD)

専門委員長 吉田 清 副委員長 長谷川 誠・関川純哉

幹事 久我宜裕・服部康弘 幹事補佐 阿部宜輝

日時 3月2日(金) 12:30~17:15

会場 玉川大学8号館大学研究棟会議室(B104)(町田市玉川学
園6-1-1. 小田急線:玉川学園前駅より徒歩3分. [http://
www.tamagawa.jp/access/index.html](http://www.tamagawa.jp/access/index.html) TEL [042] 739-8111
箕輪 功)

議題 卒論・修論特集(ショートノート)

1. 閉成時のみにアークを発生させた場合の電磁コンタクトの諸
特性に対する電圧の影響

○中村 真・杉山知寛・
澤 孝一郎・吉田 清(日本工大)

2. WS2-W系固体潤滑剤含有複合材料の低速しゅう動試験

○岸田直樹・中山寛子・新井正臣・渡辺克忠(工学院大)

3. しゅう動電気接点用WS2-W系複合材料の高速通電しゅう動
試験

○平川明亜里・門間亮輔・新井正臣・
渡辺克忠(工学院大)

4. 小電流用スリップリングの回転角度の動作不良に関する研究

○橋本隆寛・新井正臣・渡辺克忠(工学院大)

5. 銅電極間アークの電圧電流特性と消滅特性

○ゴドゥウィリ ビティ・須原啓一(東京高専)

6. 電磁シーム圧接における非線形性を有する放電電流の再現

○河野 仁・石橋正基・岡川啓悟・相沢友勝(都立産技高専)

7. いびきの特徴抽出による閉塞型睡眠時無呼吸症候群の簡易検
査装置の開発—BMIを用いた個人差の軽減方法の検討—

○山崎 蓮・松本遼平・吉澤昌純(都立産技高専)

8. 近赤外分光法による脳機能計測における心拍の成分の抽出及

び解析

○六戸朝喜・福田恵子(都立産技高専)

9. 金めっき接点における接触抵抗に及ぼすオイルの影響

○谷口佳祐・飯田和生・清水 敦・齋藤 寧・
澤田 滋(三重大)・服部康弘(オートネットワーク技研)

10. 車両用主電動機の並列接続時におけるスリップ発生時の電気
的挙動の解析

○於 一凡・斉藤直大・上野貴博・
森田 登(日本工大)

11. PLC及びタッチパネルを用いた大形模型電気機関車への空
転再粘着制御の導入と地上監視システムの開発

○小野寺 陽・斉藤直大・上野貴博・森田 登(日本工大)

12. LED電球からの近傍電界雑音の測定法に関する研究

○大橋 匠・山田翔平・春日貴志(長野高専)・
井上 浩(秋田大)

13. 遮断周波数電圧可変型低域通過フィルタの開発研究

○小林吾生・萱野良樹・井上 浩(秋田大)

14. スペックルパターンの変動を利用した光ファイバへの押圧検
出システムに関する研究

○川原宗貴・
長谷川 誠(千歳科技大)

15. 非線形ひずみ測定用低雑音増幅器の試作

○山本勇樹・中嶋 涼・箕輪 功・菊池 浩(玉川大)

16. 小電力給電用金メッキスリップリングシステムの特性に及ぼ
す潤滑油補給の効果

○須川満博・小川将太・北島英毅・
澤 孝一郎・上野貴博(日本工大)

17. メタノール中整流現象の基本特性

○小沼達也・
田中龍明・澤 孝一郎・上野貴博(日本工大)

◎研究会終了後、懇親会を開催しますので御参加下さい。

社会人:2,000円, 学生:無料

☆EMD研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月 休会

5月25日(金) 東北文化学園大(3月16日(金))テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

長谷川 誠(千歳科技大)

TEL & FAX [0123] 27-6059

E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp

関川純哉(静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

服部康弘(住友電装)

TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuhiko-hattori@gate.sws.co.jp

◎EMD研究会に関する最新の情報は、[http://www.ieice.org/
es/emd/jpn/](http://www.ieice.org/es/emd/jpn/)を御参照下さい。

★シリコン材料・デバイス研究会(SDM)

専門委員長 遠藤哲郎 副委員長 奈良安雄

幹事 小野行徳・野村晋太郎 幹事補佐 笹子佳孝

日時 3月5日(月) 10:00~16:30

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東
京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下
車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽
橋駅下車徒歩10分 http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 配線・実装技術と関連材料技術

1. 〔基調講演〕 BEOL プロセスを用いた超低電圧デバイスの開発 木村紳一郎 (LEAP)
2. Low-k/Cu 配線層にシリンドラキャパシタを内包したロジック IP 準拠・混載 DRAM デバイスの性能評価 ○久米一平・井上尚也・脇岡健一郎・川原 潤・武田晃一・古武直也・白井浩樹・風間賢也・桑原慎一・渡會雅敏・佐甲 隆・高橋寿史・小倉 卓・泰地稔二・笠間佳子 (ルネサスエレクトロニクス)
3. InGaZnO チャンネルの酸素制御と Gate/Drain Offset 構造による BEOL トランジスタの高信頼化 ○金子貴昭・井上尚也・齋藤 忍・古武直也・砂村 潤・川原 潤・羽根正巳・林 喜宏 (ルネサスエレクトロニクス)

午後

4. ラマン分光法及び XPS による SiO₂/Si 基板上的の多層グラフェン成長初期の研究 ○尾白佳大・小川修一・大飼 学・佐藤元伸・池永栄司・室 隆桂之・二瓶瑞久・高桑雄二・横山直樹 (東北大)
5. ALD/CVD による次世代 Cu 配線用単層バリヤ/ライナー Co(W) 膜 ○清水秀治 (太陽日酸/東大)・嶋 紘平・百瀬 健 (東大)・小林芳彦 (太陽日酸)・霜垣幸浩 (東大)
6. 微小流路型反応器を利用した銅めっき液中添加剤作用の解析 ○齊藤丈晴・宮本 豊・服部 直・岡本尚樹・近藤和夫 (阪府大)
7. 3 次元実装 TSV へのコンフォーマル無電解バリアメタルの形成 ○有馬良平・三宅 浩・井上史大・清水智弘・新宮原正三 (関西大学)
8. Si 貫通ビア (TSV) の側壁ラフネスに起因したリーク電流特性とビア応力の関係 ○北田秀樹 (東大/富士通研)・前田展秀・藤本興治・児玉祥一・金 永東 (東大)・水島賢子 (東大/富士通研)・中村友二 (富士通研)・大場隆之 (東大)
9. Wafer-on-wafer 構造における貫通 Si 電極周辺の局所歪の評価 ○中塚 理 (名大)・北田秀樹・金 永東 (東大)・水島賢子・中村友二 (富士通研)・大場隆之 (東大)・財満鏡明 (名大)

◆応用物理学会共催

☆SDM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4 月 27 日 (金), 28 日 (土) 沖縄県青年会館 [締切済] テーマ: 薄膜 (Si, 化合物, 有機, フレキシブル) 機能デバイス・材料・評価技術及び一般

【問合先】

小野行徳 (NTT)
TEL [046] 240-2641, FAX [046] 240-4317
E-mail: ono.yukinori@lab.ntt.co.jp

★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 山下洋一
幹事 北岡教英・森 大毅 幹事補佐 坂野秀樹・藤本雅清

日時 3 月 8 日 (木) 10:30~17:15

9 日 (金) 10:00~17:15

会場 理化学研究所統合支援施設 2 階会議室 (和光市広沢 2-1. 東武東上線/東京メトロ有楽町線・副都心線: 和光市駅から徒歩 15 分. <http://www.riken.go.jp/r-world/riken/campus/wako/>)

第一種研究会開催案内

議題 聴覚・音声・言語とその障害/一般

8 日午前 聴覚一般

1. 選択的注意は両耳に分離提示された音声の理解度をどのように変えるのか. 一心理実験と fMRI によるアプローチ ○高岡 宏・力丸 裕 (同志社大)
2. 促音挿入判断に着目した韓国語母語話者による日本語促音の知覚特性—韓国語の濃音化との関連性を中心に— ○鮮于 媚 (早大)・田嶋圭一 (法政大)・加藤宏明 (NICT)・匂坂芳典 (早大)
3. 骨導超音波補聴による最重度難聴者の単音節知覚傾向 ○松井淑恵・下倉良太・齋藤 修・福田美美・西村忠己・細井裕司 (奈良医科大)・中川誠司 (産総研)

8 日午後 オーガナイズドセッション「第一・第二言語の獲得・学習にまつわる諸現象の分析と工学的応用」1 (13:30~)

4. 自己組織化とマルチタイムスケールモデルによる音韻カテゴリーの教師なし学習 ○宮澤幸希 (早大/理研)・菊池英明 (早大)・馬塚れい子 (理研)
5. 折れ線近似による語彙爆発開始時期の推定 ○南 泰浩・小林哲生・杉山弘晃 (NTT)
6. 〔招待講演〕 前言語期における“言語発達”—音声からことばへの転化を支えているもの— 針生悦子 (東大)

音声一般・障害者支援

7. 電気人工喉頭のための拡声器に関する一考察 ○藪 謙一郎・上田一貴・稲永潔文・伊福部 達 (東大)
8. 構音障碍診断支援のための音声特徴量の統合化と可視化に関する検討 ○上田裕市・坂田 聡 (熊本大)・新中須真奈・平原成浩 (鹿児島大)・五味晁憲 (群馬大)
9. 視覚によるフィードバックをとまなう発話速度の調整 ○越智景子・森 浩一・岡田美苗・錦戸信和 (国立障害者リハビリテーションセンター)

9 日午前 聴覚・音声 (10:00~12:00)

1. 歌声における印象評価と音響特徴量の関係について ○小島 俊・齋藤 毅・三好正人 (金沢大)
2. Spatial expression of tone pitch—Behavioral and fMRI studies— ○Saori Yamaoka・Hiroshi Riquimaroux (Doshisha Univ.)

3. ホルマント周波数の摂動を伴う聴覚フィードバックの開ループによる応答特性の解析 ○錦戸信和・岡田美苗・越智景子・森 浩一 (国立障害者リハビリテーションセンター)
4. 変換聴覚フィードバック課題における発声 F0 応答の男女差 ○岡田美苗・森 浩一 (国立障害者リハビリテーションセンター)・岡崎俊太郎 (生理学研)・蔡 暢 (NICT)・錦戸信和・越智景子 (国立障害者リハビリテーションセンター)

9 日午後 オーガナイズドセッション「第一・第二言語の獲得・学習にまつわる諸現象の分析と工学的応用」2 (13:30~)

5. 乳幼児期における音声生成の発達過程—日本語圏と英語圏の比較— ○山下友子・中島祥好・上田和夫 (九大)・嶋田容子 (京大)・David Hirsh (シドニー大)
6. 調音特徴抽出に基づく IPA チャートへの英語発音リアルタイム表示 ○森 拓郎・入部百合絵・桂田浩一・新田恒雄 (豊橋技科大)
7. 〔招待講演〕 日本語母語話者による英語音声習得: 基礎研究と製品化の試み 山田玲子 (ATR)

音声一般

8. 音声の発話者印象情報の知覚・認知モデル構築 ○佐藤安里・菊池英明・市川 熹 (早大)

9. 規則処理と CRF に基づくアクセント予測の高精度化
小林俊平・清水信哉・○峯松信明・廣瀬啓吉 (東大)・
平野宏子 (華橋外国語学院)
10. 周波数帯域の除去が雑音駆動音声の知覚に与える影響—複数
話者における分析— ○野口聖人・佐津川裕一・
上田和夫・中島祥好 (九大)
- ◆日本音響学会；聴覚研究会共催、IEEE Signal Processing Soci-
ety Japan Chapter 協賛
- ◎8 日研究会終了後、懇親会を予定しています。
- 【問合せ先】** (SP 研究会・ワークショップに関する問合せ)
森 大毅 (宇都宮大)
TEL [028] 689-6120, FAX [028] 689-6119
E-mail : hiroki@speech-lab.org

★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一
幹事 縄手雅彦・渡辺寛亮
幹事補佐 若月大輔・酒向慎司・和田親宗

日時 3月9日 (金) 10:00~17:15
10日 (土) 10:00~17:15

会場 筑波技術大学春日キャンパス (つくば市春日 4-12-7. つ
くばセンター (TX つくば駅) 関東鉄道バス 6 番乗り場から、
「筑波大学循環右回り」もしくは、「筑波大学中央行き」に乗
車、「平砂 (ひらすな) 学生宿舎前」停留所で下車、徒歩約 3
分。http://www.tsukuba-tech.ac.jp/access.html TEL
[029] 852-2890 宮城愛美)

議題

9 日午前 障害者支援のための認識技術

- 画像認識を用いた指文字練習システムにおけるビジュアル
フィードバック方法の提案 ○瀬戸山浩平 (筑波技大)・
田路賢太郎・大川泰弘 (筑波大)・加藤伸子 (筑波技大)・
福井和広 (筑波大)・岡崎彰夫 (筑波技大)
- 手形状 CG を用いた AdaBoost による指文字の認識
○田路賢太郎 (筑波大)・瀬戸山浩平 (筑波技大)・
大川泰弘 (筑波大)・加藤伸子・岡崎彰夫 (筑波技大)・
福井和広 (筑波大)
- 倍音構造とピーク強調を用いた警告音の認識
○板垣達也・松本哲也・竹内義則・工藤博章・
大西 昇 (名大)
- Kinect 白杖による視覚障がい者支援システムの開発
○山口翔太郎・滝沢穂高 (筑波大)・
江崎修央 (鳥羽商船高専)・水野慎士 (愛知工大)

9 日午後 聴覚障害

- 聴覚障害者対応の映画字幕の今日的課題と今後の可能性に関
する予備的調査 ○中島佐和子・水戸部一孝・
鈴木雅史・吉村 昇 (秋田大)
- 耳の不自由な人とのコミュニケーション方法を伝える人形劇
○生田目美紀 (筑波技大)・和田久美子 (多摩美術大)・
江草遼平・稲垣成哲 (神戸大)・溝口 博 (東京理科大)・
楠 房子 (多摩美術大)
- 聴覚障害学生にコンピュータ操作を教示する支援ソフトウェ
ア SZKIT の評価 ○鈴木拓弥・若月大輔・
小林 真 (筑波技大)
- 卓上投影した文字通訳による聴覚障害者の講義受講支援の基

礎的検討 ○若月大輔・内藤一郎・三宅太一・河野純大・
加藤伸子 (筑波技大)・塩野目剛亮 (東北大)・西岡知之・
皆川洋喜・村上裕史・三好茂樹 (筑波技大)・元西洋平 (東芝)

身体障害とインタフェース

- 重度障害者用意思伝達装置の利用支援体制に関する研究—支
援団体に焦点を当てて— ○丸岡稔典・森 浩一・
井上剛伸 (国立障害者リハビリテーションセンター)
- 携帯端末を用いた意思伝達支援アプリケーションの試作
○安齋敬太・石坂竜馬・漆山純一 (東北福祉大)
- 筋電に基づく動作認識法を用いたヒューマンインタフェース
○吉川雅博・松本吉央 (産総研)
- 足裏皮膚のずれ感覚に関する心理物理的計測とその評価
○林 健志 (産総研)・吉村真一 (飛鳥電機)・
佐藤 満 (昭和大)・布川清彦 (東京国際大)・
山下和彦 (東京医療保健大)・井野秀一 (産総研)

10 日午前 高齢者とトレーニングシステム

- 高齢者のウェブ利用—情報検索の特性— ○稲垣 望・
塩屋晶子・渡辺隆行 (東京女子大)
- スレート型 PC を用いた高齢者のための簡易栄養管理システ
ムの試用 ○川島基子・吉野 孝 (和歌山大)・
江上いすず (名古屋文理大)・岡本和士・
藤原奈佳子 (愛知県立大)・石川豊美 (名古屋文理大)・
紀平為子 (関西医療大)・入江真行 (和歌山県立医科大)
- 視覚障害者の運動支援を目的とした音の追跡ゲームの開発
(第 8 報) —システムの実用性の向上と評価—
○池上嘉和・大倉典子 (芝浦工大)
- デジタルペンによる視覚障害者の書字訓練手法の開発
○伊藤史人 (一橋大)・工藤 滋 (付属盲学校)

10 日午後 視覚障害

- HTML5 標準案に基づく音声ガイド提供の現状と課題—合成
音声を活用した音声ガイドの普及に向けて—
○福田健太郎・小林正朋 (日本 IBM)
- 非言語情報の音声表現—論理構造と視覚表現の自然な音声表
示— 阿内理紗・牛込彩奈・○渡辺隆行 (東京女子大)
- 映画の音声ガイド—視覚障害者に最適な 3D 効果の検討—
○植木麻依・上野薫子・渡辺隆行 (東京女子大)
- テキストファイルを DAISY 風に表示するリーダーの開発
小山智史 (弘前大)
- アクセシブルな電子書籍の拡充へ向けて—テキストデジタイ
ズ製本の効率化事例— ○井床利生・佐藤大介・
畠山園子 (日本 IBM)
- オブジェクト単位で異周波振動刺激が可能な触覚提示方式と
コンテンツの提示法 ○坂井忠裕・半田拓也・
清水俊宏 (NHK)
- 表探索課題におけるタッチパネル搭載型触覚ディスプレイの
操作手法 ○清水俊宏・半田拓也 (NHK)・
嶋田真奈 (東京女子大)・坂井忠裕 (NHK)・御園政光・
小田浩一 (東京女子大)
- 体表点字システムに適した皮膚での振動の条件の検討
○吉野健太郎 (前橋工科大)・大墳 聡 (群馬高専)・
長谷川貞夫 (桜雲会)・佐々木信之 (筑波技大)・
原川哲美 (前橋工科大)

◆筑波技術大学共催

☆WIT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月25日 (金), 26日 (土) 新潟大駅南キャンパス [3月16
日 (金)] テーマ: 福祉情報工学一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

若月大輔 (筑波科大)

TEL [029] 858-9401, FAX [029] 858-9405

E-mail: waka@a.tsukuba-tech.ac.jp

★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉

幹事 金子晋丈・田村 基

幹事補佐 榎原 茂・鶴岡行雄・上村郷志

★アドホックネットワーク研究会 (AN)

専門委員長 山本尚生 副委員長 松井 進・渡辺 尚

幹事 大坐島 智・山野 悟 幹事補佐 山本高至・大和田泰伯

◎本研究会は MoMuC 研究会と AN 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月12日(月) 9:30~15:45

13日(火) 9:30~15:45

会場 情報通信研究機構本部 (小金井市貫井北町 4-2-1. <http://www.nict.go.jp/about/hq.html> TEL [042] 327-7314 大和田泰伯)

議題 モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般

12日午前 モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般 (9:30~10:45)

AN-1. 無線メッシュネットワークにおける半固定レート制御方式の性能評価 ○呉 東哲・間瀬憲一 (新潟大)

AN-2. 無線メッシュネットワークにおける半固定レート制御方式の実環境を用いた性能評価 ○富樫知也・間瀬憲一 (新潟大)

AN-3. 移動体・基地局間周期情報転送における輻輳制御方式についての検討 ○松田裕介・間瀬憲一 (新潟大)

12日午後 モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般 (13:30~14:45)

AN-4. 気球を用いたアドホックネットワークシステム“スカイメッシュ”におけるネットワーク構築法に関する検討

○岡 宏典 (新潟大)・岡田 啓 (名大)・間瀬憲一 (新潟大)

AN-5. NervNet による端末間データベースの同期手法に関する検討 ○大和田泰伯・井上真杉 (NICT)

AN-6. Toward a Directional Routing Protocol with Least Interference ○Jiefu Yu・Takashi Watanabe (Shizuoka Univ.)

13日午前 モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般 (9:30~10:45)

AN-1. コグニティブ無線マルチホップ通信における TCP の実験的性能評価 ○藤井庸平・西田康太・塚本和也・鶴 正人・尾家祐二 (九工大)

AN-2. 車車間コグニティブ無線通信における切替時間を考慮した無線チャネル選択 ○中野栄俊・江口真央・塚本和也・

鶴 正人 (九工大)

AN-3. A PU Aware Route Discovery Approach for Cognitive Ad Hoc Networks ○Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata・

Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

12日午後 モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般 (13:30~14:45)

MoMuC-1. 間欠的無線アクセス環境におけるユーザ移動状態を考慮した受信量公平性指向の帯域割当法 ○青柳雄一・森野博章 (芝浦工大)

MoMuC-2. ランキング制御によるユーザセントリック型コンテンツ配信 ○吉村雄司・上岡英史 (芝浦工大)

MoMuC-3. 記憶想起支援のためのデジタルサイネージ個人化手法 ○鈴木崇弘・上岡英史 (芝浦工大)

13日午後 モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般 (13:30~14:45)

MoMuC-1. 行動検出に基づく空調及び照明機器省エネルギー制御システムの性能評価手法 ○中濱浩二・金谷拓実・廣森聡仁・山口弘純・東野輝夫・山口容平・村井絢香・

下田吉之 (阪大)

MoMuC-2. スマートグリッドに適した絶対時間同期通信システムの検討 郡 武治 (静岡理工科大)

MoMuC-3. 情報通信の耐災害性強化に向けた分散型ディベンダブルワイヤレスネットワークの検討 ○三浦 龍・井上真杉・大和田泰伯 (NICT)

12日午前 UBI 一般セッション (10:55~12:10)

1. fElectronic Circuit: 導電布とフェルトを用いた柔らかいセンサ・回路の提案 富永祐衣 (お茶の水女子大)・

塚田浩二 (お茶の水女子大/きつ湖)

椎尾一郎 (お茶の水女子大)

2. スマートフォンの操作履歴に基づく特徴量抽出

多屋優人・横山浩之 (KDDI 研)・

水野(松本)由子 (兵庫県立大)

3. ウェアラブルコンピューティングのためのその場プログラミング環境 秋山翔太郎 (神戸大)・

寺田 努 (神戸大/きつ湖)・塚本昌彦 (神戸大)

12日午後 UBI 一般セッション (14:55~15:45)

4. 加速度センサを用いたジェスチャ認識に疲労及び忘却が与える影響の評価 吉田 楽・村尾和哉・寺田 努・

塚本昌彦 (神戸大)

5. 加速度センサを用いた複合的動作の認識手法

村尾和哉 (神戸大)・寺田 努 (神戸大/きつ湖)

13日午前 UBI 一般セッション (10:55~12:10)

1. 超個人化プロフィール生成のための Web ライフログの分類分析 中村明順・西尾信彦 (立命館大)

2. タブレット PC を利用した映像閲覧者のマルチモーダルな興味度推定 駒木定生・角 康之 (公立はこだて未来大)

3. 乾電池を模したセンサノードによる携帯型電化製品の利用の認識について 前川卓也・岸野泰恵・柳沢 豊・

櫻井保志 (NTT)

13日午後 UBI 一般セッション (13:30~14:45)

4. GhostBanner システムにおける光信号の変調方式の研究

光藤雄一 (北九州市大)

5. 同時観測クラスタ群を利用した相関に基づくマルチデータストリーム予測手法 荒井健次・白石 陽・

高橋 修 (公立はこだて未来大)

6. 照明点灯パターンの切り替えによる高精度な屋内位置推定法とその評価
坂本一樹・安本慶一・孫 為華 (奈良先端大)・柴田直樹 (滋賀大)・伊藤 実 (奈良先端大)

12日午前 MBL 一般セッション (9:30~12:10)

1. 道路上の交通量変化に基づく効率のよい渋滞動画データの収集及び配信方式
玉井森彦・安本慶一 (奈良先端大)・福倉寿信・岩井明史 (フェソ)
2. 都市部における GPS 衛星の見通し判定を用いたナビゲーション精度向上法の提案
勝田悦子・内山 彰・山口弘純・東野輝夫 (阪大)
3. 海上における位置情報共有のためのモバイル通信性能評価
杉山智大・辻本達也・新 浩一・西 正博・吉田彰顕 (広島市大)
4. 無線センサネットワークを用いた災害モニタリングシステムにおける公平性を考慮した通信手法
大西潤也・横田裕介・大久保英嗣 (立命館大)
5. 太陽エネルギーを利用した無線センサネットワークのための発電量予測を用いた中継ノード選択手法
太田健太郎・小林健太郎・山里敬也・片山正昭 (名大)
6. 無線マルチホップ通信のための最大流量算出手法の評価
辰野友祐紀・松垣博章 (東京電機大)

12日午後 MBL 一般セッション (13:00~13:50)

7. NTMobile の経路最適化の検討
納堂博史・鈴木秀和 (名城大)・内藤克浩 (三重大)・渡邊 晃 (名城大)
8. NTMobile におけるグループ認証方式の提案と実装
村橋孝謙・鈴木秀和・旭 健作 (名城大)・内藤克浩 (三重大)・渡邊 晃 (名城大)

13日午前 MBL 一般セッション (9:30~12:10)

1. スマートフォンのセンサ及び Bluetooth 探索を用いた個人間の相対位置表示システム
木下剛志・宮田一乗 (北陸先端大)
2. グループ行動コンテキストを活用した近隣スマートフォンユーザ群の位置関係認識
樋口雄大・山口弘純・東野輝夫 (阪大)
3. すれ違い通信情報の位置精度補完による AR 空間表示
川端英雄・高見一正 (創価大)
4. アドホックネットワークにおけるパッシブ型障害管理方式の提案
千田修一郎 (三菱電機)
5. アドホックネットワークにおけるユニキャスト複数配信とマルチキャスト配信との性能比較
日比野 裕・野口 拓・川合 誠 (立命館大)
6. Bluetooth で構成したアドホックネットワークの特性
三輪祐太・川合 誠・野口 拓 (立命館大)

13日午後 MBL 一般セッション (14:55~15:45)

7. iOS における ARC と非 ARC の同一ソースコード上での共存手法
平野 聡 (産総研)・官 森林・名嘉村盛和 (琉球大)
8. Android 端末を用いたアドホックネットワーク上に実装した Web アクセスシステム
北川大智・野口 拓・川合 誠 (立命館大)

◆情報処理学会；モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会／ユビキタスコンピューティングシステム研究会連催

☆MoMuC 研究会

【問合先】

金子晋丈 (慶大)
E-mail: kaneko@dmc.keio.ac.jp

田村 基 (NTTドコモ)

E-mail: tamuramo@nttdocomo.co.jp

☆AN 研究会

【問合先】

山本高至 (京大)

TEL [075] 753-5351, FAX [075] 753-4982

E-mail: kyamamoto@i.kyoto-u.ac.jp

大和田泰伯 (NICT)

TEL [042] 327-7314, FAX [042] 327-6680

E-mail: yowada@nict.go.jp

◎最新情報は AN 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~an/>

★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 山西健司 副委員長 上田修功・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

期日 3月12日(月), 13日(火)

会場 統計数理研究所 2F 大会議室 (立川市緑町 10-3. JR 中央線: 立川駅より多摩モノレール: 立川北駅から高松駅下車, 徒歩 10 分. または立川駅より徒歩 25 分程度. http://www.ism.ac.jp/access/index_j.html)

議題

◎最新情報は <http://ibisml.org/ibisml008> に掲載致します。

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 吉田正樹 副委員長 小池康晴
幹事 新川拓也・井澤 淳 幹事補佐 中村英夫・吉村奈津江

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 岡田真人 副委員長 西井 淳
幹事 花沢明俊・小澤誠一 幹事補佐 三浦健一郎・佐藤直行

◎本研究会は MBE 研究会と NC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月14日(水) 9:50~18:05

15日(木) 9:50~17:40

16日(金) 9:50~17:40

会場 玉川大学大学 1 号館 (町田市玉川学園 6-1-1. <http://www.tamagawa.jp/access/index.html> 相原 威・酒井 裕)

議題 ME, 一般

14日午前 NC-A (1-1) (10:15~11:55)

NC-1. 海馬樹状突起における非線形情報処理の解析

○上條中庸・早川博章・福島康弘・相原 威 (玉川大)

NC-2. 海馬 CA1 ニューロンでのシナプス間入力力が STDP に与える影響
○伊藤幸祐・岩井俊哉 (日大)

NC-3. ショウジョウバエ視覚系におけるノイズロバストな動き検知を実現する神経回路モデル
○鈴木力憲 (東工大)・森本高子・宮川博義 (東京薬科大)・青西 亨 (東工大)

NC-4. 線虫 C. elegans の神経間の結合特性のコンピュータ・シミュレーションによる解析
○秋田樹樹・若林篤光 (岩手大)・岩崎唯史 (茨城大)・坂田和実・小栗栖太郎 (岩手大)

NC-B (1-1) (10:15~11:55)

- NC-5. 自由意志による眼球運動に関連する脳電位
○船瀬新王 (名工大/理研)・アンジェイ チホツキ (理研)・内匠 逸 (名工大)
- NC-6. 金魚眼球運動積分器運動学習の重力依存性
○高木悠喜・三浦祥平・平田 豊 (中部大)
- NC-7. 道具を通して刺激が与えられる場合の Rubber Hand Illusion の解析
○Shuhui Zhou・福村直博 (豊橋技科大)
- NC-8. ヒトの予測的な運動制御における視覚情報の効果
○井上康之・阪口 豊 (電通大)

14 日午後 NC-A (1-2) (13:20~15:50)

- NC-9. 多層神経回路ネオコグニトロン学習 福島邦彦
- NC-10. 階層モデルを用いた MT 野の神経回路モデル
○奈良紗友里・庄野 逸 (電通大)
- NC-11. 階層バイズモデルによる複雑型細胞の偶対称な応答特性の獲得
○横山裕樹・渡部 修 (室蘭工大)
- NC-12. 空間・形状情報の統合と視覚統計学習
○渡部 修・高田拓也 (室蘭工大)
- NC-13. 固視微動下で動物体を検出する網膜神経回路の実時間エミュレーション
○横山幸大・奥野弘嗣・林田祐樹・八木哲也 (阪大)
- NC-14. 図方向知覚を生起する周辺変調構造の SVM による数理的解析
○中田悠介・酒井 宏 (筑波大)

NC-B (1-2) (13:20~15:50)

- NC-15. リカレントネットを用いた強化学習による探索行動と多値記憶の創発
○柴田克成・後藤健太 (大分大)
- NC-16. 関数近似における複素フィードフォワード・ニューラルネットワークの汎化特性
○廣瀬 明・吉田昭太郎 (東大)
- NC-17. 別モード情報の統合を行う複数複素 SOM を用いた地雷可視化システムの構築
○江尻礼聡・廣瀬 明 (東大)
- NC-18. 潜在変数分布で評価する高階自己組織化マップへテロなデータ集合体の可視化ツール
○石橋英朗・古川徹生 (九工大)
- NC-19. 離散型振動発火ニューロンを用いた無線センサネットワークにおける情報収集機構
○桜井怜奈・中野秀洋・宮内 新 (東京都市大)
- NC-20. 自然言語を扱うニューラルネットワークと質問応答システムへの応用
○相良 司・萩原将文 (慶大)

NC-A (1-3) (16:00~18:05)

- NC-21. Cooperation in two-person alternate tapping task—analyses of a coupled oscillator model using phase transition curves—
○Yinjie Cheng (Univ. of Tokyo/RIKEN)・Masahiro Kawasaki (RIKEN)・Keiichi Kitajo (RIKEN/JST)・Yoko Yamaguchi (Univ. of Tokyo/RIKEN)
- NC-22. 選択的不感化ニューラルネットを用いた表面筋電位信号からの前腕の動作・速度推定
○林 亮太郎・末光厚夫 (北陸先端大)
- NC-23. 目標追従運動の間欠的制御モデル
○田中雅人・阪口 豊・浅野哲理 (電通大)
- NC-24. ハンマー打ち下ろし動作における最適運動パタンの探索
○石野智晴・阪口 豊 (電通大)
- NC-25. 感覚運動情報統合モデルを用いたヒューマノイドの全身リーチング姿勢の生成
○杉村僚介・香川高弘・田地宏一・宇野洋二 (名大)

NC-B (1-3) (16:00~18:05)

- NC-26. 素数制限下での連続関数近似のための追加学習法
山内康一郎 (中部大)
- NC-27. ユニット数の制限されたカーネル連想メモリの追加学習
○青山侑史・山内康一郎 (中部大)
- NC-28. ベイジアンネットワーク連想メモリ
○長谷川宏聡・萩原将文 (慶大)
- NC-29. 累積重み変化量を用いた中間ユニット数決定法
○石井俊一・六井 淳 (島根大)
- NC-30. 動的バイナリニューラルネットの学習過程の解析
○中山雄太・伊藤 良・斎藤利通 (法政大)

15 日午前 NC-A (2-1) (9:50~11:55)

- NC-1. スパースな非対称結合をもつリカレントニューラルネットワークにおける確率的状態遷移の解析
○緒方惟高・田中琢真・中村清彦 (東工大)
- NC-2. 感覚情報の次元削減による抽出情報を活用した制御モデルの提案
○岡本亮太・西井 淳 (山口大)
- NC-3. 神経細胞の位相応答曲線における摂動強度の影響
○飯田宗徳 (東大)・大森敏明 (東大/理研)・青西 亨 (東工大)・岡田真人 (東大/理研)
- NC-4. 対数正規シナプス重みを持つ連想記憶モデル
○平谷直輝 (東大)・寺前順之介 (理研/JST)・深井朋樹 (理研/東大)
- NC-5. 結合の対数正規分布が生み出す自発発火活動の振動特性
○寺前順之介・深井朋樹 (理研)

NC-B (2-1) (9:50~11:55)

- NC-6. 能動下腿義足制御のための dsPIC30F3013 を用いたニューロ・ファジィシステムの開発と評価
○橋本和哉・島田洋一 (金沢工大)
- NC-7. エントロピー最大化に基づきコントラスト感度を順応させる網膜型視覚センサ
○奥野弘嗣・八木哲也 (阪大)
- NC-8. 強誘電体ゲートトランジスタを用いたシナプス素子における STDP 機能の実証
○西谷 雄・金子幸広・上田路人 (ハナニッパ)・森江 隆 (九工大)・藤井映志 (ハナニッパ)
- NC-9. シフトレジスタを用いた音声合成回路における声道形状の決定
○眞鍋慧太・上垣利果・田向 権・関根優年 (東京農工大)
- NC-10. 聴覚補助支援システムの屋外使用モデルの開発
○松葉亮太・黒柳 奨・クグレ マウリシオ・岩田 彰 (名工大)

15 日午後 NC-A (2-2) (13:20~15:00)

- NC-11. 眼球運動積分器の単眼性と眼位依存性の評価
○岡村直樹 (中部大)・ロバート ベイカー (ニューヨーク大)・平田 豊 (中部大)
- NC-12. 異なる感覚モダリティを STOP 信号として用いた手指の随意運動中断タスクにおける脳電位計測
○福田浩士・樋脇 治 (広島市大)
- NC-13. 利き手と非利き手による円運動の解析
大山剛史 (岡山県立大)
- NC-14. スティフネスが重さ知覚に与える影響
○山崎佑朋・川瀬利弘・辛 徳・神原裕行・小池康晴 (東工大)

NC-B (2-2) (13:20~15:00)

- NC-15. ガウス過程事前分布を用いた時系列整列
○秋本真治・末松伸朗・林 朗・岩田一貴 (広島市大)
- NC-16. 構文解析を用いた記述形式アンケートの分類に関する検

討 ○田中崇裕・大木 誠 (鳥取大)
NC-17. 変分近似を見直すと SOM と GTM は一元的に理解できる
○松下聡史・古川徹生 (九工大)
NC-18. 変分ベイズ法を用いたスパースな GTM の構築
山口暢彦 (佐賀大)

NC-A (2-3) (15:10~16:25)

NC-19. 初動動作の違いによる左右踏み出し運動の識別—全身運動の時間的構造に基づく行動の先読みに向けて—

○西田泰明・阪口 豊 (電通大)・藤原祐介 (ATR)

NC-20. 身体図式を基礎とした動的イメージ生成の脳内メカニズム(4)—身体運動に基づいた自己と物体の認識—

○朝倉暢彦・水原啓暁・笹岡貴史・乾 敏郎 (京大)

NC-21. 身体図式を基礎とした動的イメージ生成の脳内メカニズム(5): 内嗅野グリッド細胞のモジュラスコードからガウス法を用いて homing vector を求める手法の提案

○三津沢将司 (東大/理研)・イスラム タンビル (理研)・佐藤直行 (公立はこだて未来大)・乾 敏郎 (京大)・山口陽子 (東大/理研)

NC-B (2-3) (15:10~16:25)

NC-22. 他者の協調性によっておこる脳の報酬系の変調: fMRI 研究
○鹿内 学・水原啓暁・乾 敏郎 (京大)

NC-23. 衝突模擬刺激を用いた運動の予測と知覚に伴う α 波帯域脳磁場の振幅変調
○菊澤大地 (北大)・横澤宏一 (北大/アソビ大)・齋藤千尋・竹内文也 (北大)・関原謙介 (首都大東京)

NC-24. 二状態で変化がある脳波共分散行列の同時対角化に基づく信号源推定法
○笹山瑛由 (京大/学振)・濱田昌司・小林哲生 (京大)

招待講演 (16:40~17:40)

共通-25. [招待講演] 随意運動における予測適応機能

伊藤宏司 (立命館大)

16 日午前 NC-A (3-1) (9:50~11:55)

NC-1. 細胞内 Ca²⁺ 変動を導入した概日リズムの詳細モデリング
○藤原謙三郎・中村清彦 (東工大)

NC-2. ベイズ推定法による定量的カルシウム動態推定

○角田敬正 (東工大)・織田善晃 (東京薬科大)・大森敏明 (東大)・井上雅司・宮川博義 (東京薬科大)・岡田真人 (東大)・青西 亨 (東工大)

NC-3. 小規模神経回路網の振動に対するアストロサイトの影響の数理モデル
○久利生崇行・垣本悠太・荒木 修 (東京理科大)

NC-4. キンギョ網膜水平細胞の反対色信号変換機構

○カミジ ニュートン リュウジ・平沢 統・山田雅弘 (理研)・黒川 信 (首都大東京)・白井支朗 (理研)

NC-5. 二光子励起イメージング法を用いたラットの遮蔽された物体に対する視覚的認知の研究
○吉田崇将・小澤克也・加藤英之 (理研)

NC-B (3-1) (9:50~11:55)

NC-6. カイコガ標準脳データベース構築に向けた脳画像データの標準化
○百田直矢 (兵庫県立大)・加沢知毅・ステファン 周一 ハウプト・並木重宏・宮本大輔・神崎亮平 (東大)・西川郁子 (立命館大)・池野英利 (兵庫県立大)

NC-7. 様々な鈍感差分進化の探索能力について

○半田 斎・斎藤利通 (法政大)

NC-8. 個体群に基づく最適化アルゴリズムの最大電力点探索への

の応用
○村岡政哉・三上範明・斎藤利通 (法政大)

NC-9. パルスニューラルネットワークによる複数音分離認識における音源定位情報の適用
○浜田祐輝・黒柳 奨・クグレ マウリシオ・岩田 彰 (名工大)

NC-10. 家庭ロボットの物体移動予測と移動計画システム

○田口泰大 (玉川大)・下斗米貴之 (脳科学研究所)・奥谷一陽・林 優介・岡田浩之・大森隆司・福田 靖 (玉川大)

16 日午後 NC-A (3-2) (13:20~14:35)

NC-11. 純正律和音が与える印象と脳磁界活動との関係性の評価
○関 大輔・横澤宏一 (北大)

NC-12. 視覚単一モーダルミスマッチ反応における脳磁界応答
○畑中亜翔・横澤宏一・高橋 誠 (北大)

NC-13. A study on reduction of pre-training time based on retraining with unknown data for P300 speller

○Hai Jin・Hiromu Takahashi・Tomohiro Yoshikawa・Takeshi Furuhashi (Nagoya Univ.)

NC-B (3-2) (13:20~15:00)

NC-14. 項目間の相関を考慮した項目応答理論

○安田宗樹・田中和之 (東北大)

NC-15. Image Feature Extraction and Similarity Evaluation using Higher-Order Moment Kernels

Keisuke Kameyama (Univ. of Tsukuba)

NC-16. ROC 曲線を局所的に改善するパーセプトロンの学習則
桑原昭之 (筑波大)

NC-17. Accuracy of Label Distribution Estimation from Mixture of Complete and Incomplete Data

Keisuke Yamazaki (Tokyo Inst. of Tech.)

14 日午前 MBE1-1 (9:50~11:55)

MBE-1. 散乱特性実測による後方散乱型吸収分布推定法の開発

○大谷真史・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-2. Development of size distribution estimation technique for small, dense LDL in dynamic light scattering measurement

○Dingding Wei・Takeshi Namita・Yuji Kato・Koichi Shimizu (Hokkaido Univ.)

MBE-3. 多波長光源を用いた静脈透視画像の改善

○西田浩平・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-4. 点拡がり関数を用いた拡散媒質内の吸光像復元法の考察
○高橋博樹・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-5. 後方散乱光時間分解計測による高精度吸光度分布推定法の開発
○杉山慶多・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

14 日午後 MBE1-2 (13:20~15:50)

MBE-6. 筋電波形を用いた睡眠時ブラキシズム自動検出手法の開発
○石井久也・浪田 健・山口泰彦・斎藤未来 (北大)・澁谷英二 (エルクの杜内科クリニック)・清水孝一 (北大)

MBE-7. 加速度・角速度センサを用いた新しい自転車ペダリング計測方法
○北脇知己・岡 久雄 (岡山)

MBE-8. 義足のアライメント変化が身体へ及ぼす影響—前額面アライメント Inset・Outset の現象—
○須田裕紀・林 豊彦 (新潟)

MBE-9. 主動筋・拮抗筋のバランスを考慮した表面筋電信号からの運動習熟度指標
○大和田敬吾・戸田真志・櫻沢 繁 (公立はこだて未来大)・秋田純一 (金沢大)・近藤一晃・中村裕一 (京大)

MBE-10. 表面筋電信号を用いた負荷強度の変化にロバストな疲労検出手法の検討

○桜井貴幸・戸田真志・櫻沢 繁 (公立にだて未来大)・秋田純一 (金沢大)・近藤一晃・中村裕一 (京大)

MBE-11. ベンドラムテストを利用した痙縮患者の膝関節反射の2次元的評価

○中村隆夫・楠原俊昌 (岡山大)・道西博行 (岡山理科大)・軸屋和明 (川崎医療福祉大)・山本尚武 (姫路獨協大)・岡本卓爾 (元岡山大)

MBE1-3 (16:00~18:05)

MBE-12. 音声言語の「途切れ」により誘発される脳活動

○岩木 直・浜田隆史 (産総研)・川野常男 (摂南大)

MBE-13. 脳卒中に関するオンライン知識啓発支援システムの開発—中学生の利用に適した機能改善—

○谷 昇子 (国立循環器病研究センター)・奈良崎大士・稲田 紘 (兵庫県立大)・藤堂貴弘 (姫路獨協大)・岩田倫明 (国立循環器病研究センター)・中尾寿成・川上清和・武野嘉明 (シー・エー・エスシステム)・天野達雄・宮下史生・横田千晶・峰松一夫・中沢一雄 (国立循環器病研究センター)

MBE-14. 短時間刺激による聴覚定常応答の遷移状態の検討

○小林勇介・○小林孝成・田中慶太・栗城眞也・内川義則 (東京電機大)

MBE-15. 事象関連 NIRS による素早い把持動作に関連する脳活動の計測に必要な諸条件の検討

○小澤拓也 (長岡技科大)・相原孝次・藤原祐介 (ATR)・和田安弘 (長岡技科大)・大須理英子・井澤 淳 (ATR)

MBE-16. 視覚・体性感覚刺激と運動意図が事象関連脱同期に与える影響

○高田洋平・佐伯 碧 (東京農工大)・井澤 淳 (ATR)・武田湖太郎 (村山医療センター)・大高洋平 (TBR)・近藤敏之 (東京農工大)・伊藤宏司 (立命館大)

15日午前 MBE2-1 (9:50~11:55)

MBE-1. 外乱に対する補償動作に基づく歩行安定性の評価

○橋 鮎郎・香川高弘・宇野洋二 (名大)

MBE-2. 歩行補助ロボットのつまずきに対応するセンサ制御系の開発

○周 広宇・香川高弘・宇野洋二 (名大)

MBE-3. 床反力情報に基づく装着型ロボットによる起立補助

○後藤謙治・香川高弘・宇野洋二 (名大)・阪口 豊 (電通大)

MBE-4. 居合術の型の動作解析と定量的評価の可能性

○平田栄次・塩澤成弘 (立命館大)

MBE-5. アクティブ3次元センサを用いた簡易型非接触呼吸計測

○青木広宙 (広島市大)・宮崎雅樹・仲村秀俊 (慶大)・古川 亮 (広島市大)・佐川立昌 (産総研)・川崎 洋 (鹿児島大)

15日午後 MBE2-2 (13:20~15:00)

MBE-6. fMRI 賦活部位を線形制約とするプリホワイトニングビームフォーミングの脳波律動変動データへの適用

○笹山瑛由 (京大/学振)・濱田昌司・小林哲生 (京大)

MBE-7. 機能的MRIと脳磁図の統合解析を用いた運動透明刺激に誘発される脳活動の検討

○夏川浩明・小林哲生 (京大)

MBE-8. 情動が事象関連脳電位に与える影響

○左氏 歩・早川博章・武石歴名・相原 威・佐々木 寛 (玉川大)

MBE-9. 生体内三次元蛍光体再構成のための基礎的検討

○戸澤英二・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE2-3 (15:10~16:25)

MBE-10. 樹木画試験の画像特徴量から計算された抑うつ度と臨床結果との比較検証

○藤原 徹・宮田周平・大塚舞子・

神農雅彦 (神心会)

MBE-11. 周波数変復調の原理に基づく異常心拍除去を含めた心拍変動推定法

○河村洋子・横田康成・岸野翔太 (岐阜大)・松丸直樹・白井邦博 (岐阜大医学部附属病院)

MBE-12. 発作脳波の特徴と時系列解析

○セミ アブドレヒミ・森 康久二 (千葉大)・斉藤陽一・原田 元 (脳波計量解析研)・松葉育雄 (千葉大)

招待講演 (16:40~17:40)

共通-13. [招待講演] 随意運動における予測適応機能

伊藤宏司 (立命館大)

16日午前 MBE3-1 (9:50~11:55)

MBE-1. 血管透視像の分光解析による動静脈判別

○松田康志・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-2. 脈拍を用いた日中における覚醒/睡眠判定方法の研究

○仲山加奈子・鈴木琢治・土井美和子 (東芝)

MBE-3. 超音波エコー画像を用いた頸動脈プラークの安定性の評価の検討と三層型ニューラルネットワークを用いた安定性の学習

○笠原新人・大木 誠 (鳥取大)・原 文子・佐藤明美 (鳥取大医学部附属病院)

MBE-4. 車の走行映像提示中のサッカーにに基づく覚醒水準の実時間評価

○板岡 毅・疋田真一・小野貴彦・小林康秀・齊藤充行 (広島市大)

MBE-5. 生体神経組織中におけるカーボンナノチューブバンドル電極の特性

○山川隆洋・林田祐樹 (阪大)・原部 翔 (熊本大)・小津野 将 (阪大)・村山伸樹 (熊本大)・奥野弘嗣・八木哲也 (阪大)

16日午後 MBE3-2 (13:20~15:50)

MBE-6. 瞳孔対光応答の波形特徴による眼球障害の推定に関する検討

○中山 実 (東工大)・Nowak Wioletta (WUT)・石川 均・浅川 賢・市邊義章 (北里大)

MBE-7. in-vivo イメージングによるマウス視覚野信号伝達の電気刺激周波数依存性の検討

○石川直裕・

Tamas Fehervari・岡崎祐香・林田祐樹・八木哲也 (阪大)

MBE-8. 近赤外光の角膜反射像を用いた視線追跡の高精度化に関する検討

○山田泰生・疋田真一・小林康秀・小野貴彦・齊藤充行 (広島市大)

MBE-9. 瞳孔を用いた3点キャリブレーションによる平面上の注視点推定

○山下純矢・疋田真一・小林康秀・小野貴彦・齊藤充行 (広島市大)

MBE-10. 眼球表面上の特徴点を用いた3次元眼球運動推定法

○木原 孝・疋田真一・小林康秀・小野貴彦・齊藤充行 (広島市大)

MBE3-3 (15:35~17:40)

MBE-11. 脂肪組織の脂肪酸組成に及ぼす黒豆エキスの効果

○小渡麻衣・清野成美・狩保 徹 (山形大)・仁科淳良 (米沢女子短大)・楠 正隆 (愛知医科大)・中村孝夫 (山形大)

MBE-12. 詳細な神経細胞モデルを用いた側坐核脳深部刺激による眼窩前頭皮質細胞の活動低下の計算機シミュレーション

○福本圭吾・垣本悠太・荒木 修 (東京理科大)

MBE-13. 時空間断面画像を用いたミツバチダンス行動個体の自動検出

○藤井昌樹・磯川梯次郎・池野英利・上浦尚武・齋藤 歩・松井伸之 (兵庫県立大)

MBE-14. 前庭動眼反射を用いたリアルタイム眠気予兆検知システムの開発と評価

○山田真吾・平田 豊 (中部大)

MBE-15. 虹彩端の陰影変化を用いた虹彩認証のための生体検知法 ○高野博史・早崎 渉・中村清実(富山県立大)

◆MBE: 日本生体医工学学会; ME とバイオサイバネティクス研究会共催, NC: 日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

☆MBE 研究会

【問合せ先】

中村英夫(阪電通大)
〒575-0063 四條畷市清滝 1130-70
TEL & FAX [072] 876-5128
E-mail: h-nakamu@isc.osakac.ac.jp

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀧裕真 副委員長 堀内浩規・児島史秀
幹事 藤井雅弘・高取祐介 幹事補佐 羽多野裕之・大野光平

日時 3月15日(木) 13:00~17:30

会場 電気学会本部第1, 2, 3会議室(千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8階. JR 総武線(中央線各駅停車): 市ヶ谷駅下車, 徒歩2分. 東京メトロ有楽町線・南北線, 都営地下鉄新宿線: 市ヶ谷駅下車, 3番出口より徒歩2分. <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf> 高橋聡(名古屋電機)

議題 ITS 情報処理, 一般

1. 計算機シミュレーションによる信号を用いた低燃費走行の評価 ○大田優子・伊川雅彦・森田茂樹(三菱電機)
2. 走光性を活用した注意喚起設備の評価—LED 発光器具を利用した速度制御効果について— ○田子和利(名古屋電機)・山本浩司(中日本高速道路)・岡田若奈(名古屋電機)・辻 光弘(オリエタルコンサルタンツ)
3. 走光性を活用した注意喚起設備の評価—その効果検証と安全性の検討— ○岡田若奈(名古屋電機)・山本浩司(中日本高速道路)・田子和利(名古屋電機)・辻 光弘(オリエタルコンサルタンツ)

ITS-4. 人の流れに基づく危険予知 ○笹木美樹男(デンソー)・中村敏和・薄井智貴・関本義秀(東大)

ITS-5. ドライバーの認知状態共有に関する社会的受容性の予備的研究—歩行者における反応— ○志堂寺和則(九大)・内海 章・多田昌祐・山本直樹(ATR)・松尾典義(富士重工)

ITS-6. 車外搭載ディスプレイによる歩行者への注意喚起効果 ○山本直樹・内海 章・多田昌祐(ATR)・志堂寺和則(九大)・松尾典義(富士重工)

ITS-7. 車載電子キーシステムの復調方式に関する検討—スペクトル拡散技術による高速・長距離化— ○澤 良次・荒木 宏・鹿井正博・平尾隆史・平峰正信(三菱電機)

ITS-8. 障害物検出用車載センサと車車間通信を用いた出会い頭衝突防止システムの一検討 ○高取祐介・菅沼雄介・八嶋弘幸(東京理科大)

ITS-9. スポット情報データベースを用いた歩行者テキストマッチング支援ポジショニングシステムの検討 ○大野繁樹・永長知孝(関東学院大)

ITS-10. 追従車両に対する前方車両の加減速情報の提示効果 ○佐藤宏明(東京理科大/産総研)・斉藤裕一・橋本尚久(産総研)・伊丹 誠(東京理科大)・加藤 晋(産総研)

◆電気学会; ITS 研究会連催

【問合せ先】

藤井雅弘(宇都宮大大学院工学研究科情報システム科学専攻)
〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2
TEL & FAX [028] 689-6280
E-mail: fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 三好正人 副委員長 小野一穂
幹事 木村敏幸・大谷 真 幹事補佐 戸上真人

日時 3月16日(金) 10:30~16:30

会場 日立製作所中央研究所第2会議室(国分寺市東恋ヶ窪1-280. JR 中央線: 東京駅より特別快速で約35分, 快速で43分. 国分寺駅下車, 北口より徒歩約10分. <http://www.hitachi.co.jp/rd/crl/location.html> TEL [042] 323-1111 内線3616 戸上真人)

議題

1. 函館市公民館の音楽ホールのデフューザによる音響改善のシミュレーション ○川口和也・高橋信行(公立はこだて未来大)・三木信弘
 2. IEC60268-7 準拠耳介モデルの耳道構造とカナル型イヤホンの音圧測定再現性に関する検討と考察 ○稲永潔文・伊福部 達(東大)・木村富至・山村照正(テクニカクイ)
 3. Multiple Vertical Panning を用いた立体音響システムのための聴取実験 ○木村敏幸・安藤広志(NICT)
- 午後
4. NURBS-enhanced FEM による音響管の数値解析 ○桜井雄太・藤野雄一(公立はこだて未来大)・三木信弘
 5. 水中用小型振動計測センサユニットの試作 ○榛葉昌高・長谷川 淳(拓殖大)
 6. Iterative blind spatial subtraction array for musical-noise-free speech enhancement in diffuse noise ○Ryoichi Miyazaki・Hiroshi Saruwatari・Kiyohiro Shikano(NAIST)・Kazunobu Kondo(YAMAHA)
 7. 双方向型 OM-LSA 雑音抑圧を用いた雑音下音声認識 ○大淵康成・武田 龍・戸上真人(日立)
 8. FDICA 法における成分取捨選択機構の高性能化 ○藤田賢治・高橋弘太(電通大)
 9. 系と信号源の時変モデルに基づく残響除去・音響エコーキャンセラ・雑音除去の確率的最適結合法 ○戸上真人・川口洋平(日立)

◆日本音響学会; 電気音響研究会共催

◎本研究会の会場は企業敷地内のため, 会場に入るには登録が必要となります. 発表者については, 自動登録しますが, 連名者・一般参加者等で出席される場合は, 下記まで氏名, 所属機関, 国籍, 学年(学生の場合), E-mail アドレスを御連絡下さい. 事前登録締切 3月12日(月)17時(連絡先)日立中研・戸上真人 masahito.togami.fe@hitachi.com

なお, 事前登録のない方に関しましては, 社会人の方は従業員証, 学生の方は学生証を御提示の上, 当日受付致します.

◎研究会終了後16:30~17:15に見学会を開催しますので, 是非御参加下さい.

◎研究会, 見学会終了後17:30~19:30に懇親会を開催しますので, 是非御参加下さい.

【問合先】

大谷 真 (信州大工学部)
TEL [026] 269-5474, FAX [026] 269-5495
E-mail : otani@cs.shinshu-u.ac.jp

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司
幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 3月16日(金) 13:00~17:00

会場 明治大学駿河台キャンパス紫紺館2階(千代田区神田駿河台1-1. JR中央線・総武線:御茶ノ水駅, 東京メトロ丸ノ内線:御茶ノ水駅から徒歩3分)

議題

1. 最近のCPSCより 中村和雄(プロセシ研)
 2. ファジィ推論の安全性—単調性について—
○関 宏理(阪工大)・水本雅晴(阪電通大)
 3. 安全のコストについて 山本正宣(シグナルコンサルタント)
 4. 燃焼安全性制御技術と機能安全・機械安全との関連
諸星征夫(フェールセーフティ工学研)
 5. サイバーテロについて 中山毅彦(警察庁)
 6. 農薬の安全性について 小林裕子(元日本植物防疫協会研)
- ☆SSS研究会今後の予定 []内発表申込締切日

5月24日(木) 機械振興会館[3月15日(木)] テーマ:交通関係を中心として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合先】

木村昌臣(芝浦工大工学部情報工学科)
TEL & FAX [03] 5859-8507
E-mail : masaomi@shibaura-it.ac.jp

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 石上 忍・内海邦昭 幹事補佐 内田 雄・青柳貴洋

日時 3月16日(金) 9:00~17:35

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 放送, EMC, 一般

1. 次世代地上放送に向けた伝送技術—LDPC符号を用いた偏波MIMO-超多値OFDM伝送のマルチパス環境での特性とその改善手法—
○蒨 拓也・村山研一・田口 誠・朝倉慎悟・渋谷一彦(NHK)
 2. SC-FDEのミリ波帯FPUへの適用検討
○中川孝之・濱住啓之・池田哲臣(NHK)
- EMCJ-3. 最新知見に基づく無線に干渉を与えない高速電力線搬送通信規制
○大石雅寿(国立天文台)・北川勝浩(阪大)
- EMCJ-4. 導波管を用いた比吸収率測定プローブの較正不確かさの検討
○浜田リラ・渡辺聡一・藤井勝巳・松本 泰(NICT)
- EMCJ-5. 結合2本線路からの放射電界の解析式
○服部 晃・上 芳夫・肖 鳳超(電通大)
- EMCJ-6. 差動伝送線路におけるEMC設計の検討
○米田 論(三菱電機)・潮 翔吾(三菱電機エンジニアリング)・

第一種研究会開催案内

宮崎千春・岡 尚人(三菱電機)

EMCJ-7. 近傍-遠方界の境界領域における電界強度推定法の評価
○中山 勝・小林岳彦(東京電機大)

午後

- EMCJ-8. 非絶縁DCDCコンバータ回路におけるコモンモードノイズ抑制に関する一検討—回路平衡化によるコモンモードノイズ抑制効果—
○奥村浩幸・関口秀紀・舟木 剛(阪大)
- EMCJ-9. 受動素子の非理想的な性質がDCDCコンバータ出力電圧の脈動率に与える影響の1考察
○塚野恵和・舟木 剛(阪大)

EMCJ-10. 疑似電源回路網の適合性評価に向けた測定技術開発
○岸川諒子・堀部雅弘・信太正明(産総研)

EMCJ-11. 1GHz以上におけるSVSWRとEMI測定の関係の調査
○永井稔大・浜 範夫・篠崎厚志(セイコーエプソン)・寺島潤一・軽部俊幸(長野県工技総合センター)

EMCJ-12. 低位相雑音PLLのための位相比較器の検出感度に関する一検討
○保原秀康・萱野良樹・井上 浩(秋田大)

EMCJ-13. ホルダ温度が低速開離接続時のブリッジとアークに与える影響
○宮永和明・萱野良樹・井上 浩(秋田大)

14. [特別講演] デジタルラジオマイクにおける新たな伝送方式への取り組み—低遅延OFDM伝送—
○濱住啓之・中村円香(NHK)・岡野正寛(NES)

EMCJ-15. [特別講演] プリント回路基板と電気接点周辺のEMC問題の研究
井上 浩(秋田大)

◆映像情報メディア学会; 放送技術研究会連催

IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会 共催,
IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

☆EMCJ研究会今後の予定 []内発表申込締切日

4月20日(金) 金沢大角間キャンパス[締切済] テーマ: EMC, 一般

5月31日(木), 6月1日(金) 首都大東京秋葉原サテライト[未定] テーマ: EMC, 一般

6月22日(金) 阪大吹田キャンパス[未定] テーマ: EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合先】

青柳貴洋(東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail : emcj@mail.ieice.org

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 浅野哲夫 副委員長 牧野和久
幹事 伊藤健洋・河内亮周

日時 3月16日(金) 10:00~17:30

会場 東京大学工学部6号館3階セミナー室AD(文京区本郷7-3-1. 東京メトロ南北線:東大前駅より徒歩8分, 東京メトロ丸の内線・都営大江戸線:本郷三丁目駅より徒歩10分. アクセス http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html 工学部6号館の位置 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_07_j.html 垣村尚徳)

議題

1. 自己増殖オートマトンの進化について—フォン・ノイマンのヒクソン講演の一解釈—
得丸公明(システムエンジニア)

2. 木上の関数の簡単な並列計算アルゴリズム 定兼邦彦 (NII)
 3. グラフ上の拡散競争ゲームの計算複雑さ ○佐藤永幸・内澤 啓・伊藤健洋・周 暁 (東北大)
 4. Computing the Distribution Function of the Minimum Spanning Tree Weight in Undirected Graphs with Exponentially Distributed Edge Weights
○Ei Ando (Sojo Univ.)・Joseph Peters (SFU)
 5. 比較可能一ke グラフの頂点彩色問題のパラメータ化計算量
○斎藤 惇・武永康彦 (電通大)
 6. 格子グラフ上の最短経路問題のための劣線形領域アルゴリズム 藤 哲郎・今井達也・○野口俊輔 (東工大)
 7. Randomized Rendezvous of Multiple Mobile Agents in Anonymous Unidirectional Ring Networks
○Shinji Kawai・Fukuhito Ooshita・Hirotsugu Kakugawa・Toshimitsu Masuzawa (Osaka Univ.)
 8. オイラー回帰長の上限についての予想 神保秀司 (岡山大)
 9. [招待講演] 隣の芝は青くない 宇野毅明 (NII)
- ☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
4月27日(金) 阪府大〔締切済〕

【問合先】

伊藤健洋 (東北大学院情報科学研究科)
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05
E-mail: takehiro@ecei.tohoku.ac.jp

★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 森井昌克 副委員長 三宅 優・菊池浩明
幹事 盛合志帆・井上大介 幹事補佐 西出隆志

日時 3月16日(金) 10:20~16:15
会場 機械振興会館地下3階1号室
議題 一般

1. 不正 QR コードの対策とそれを実現するシステムの開発
○渡辺優平・柏井祐樹・森井昌克 (神戸大)
 2. Android における情報伝搬の追跡と漏洩防止手法の提案
○奥田健嗣・中務 亮・山内利宏 (岡山大)
 3. 掲載写真から住所を自動特定する研究—ブログにおける掲載写真の現状調査— ○高田肖往・金井 敦 (法政大)
 4. Self-Protectable Secure Name Mapping System (S2NMS)
○Ruidong Li・Ved P. Kafle・Hiroaki Harai (NICT)
- 午後 (13:20~)
5. 透過型確率的パケットマーキング装置の提案と開発
○金岡 晃 (筑波大)・岡田雅之 (筑波大/IPNIC)・岡本栄司 (筑波大)
 6. 攻撃の到達性を考慮したセキュリティ対策状況の定量化手法の検討
○鬼頭哲郎・甲斐 賢・重本倫宏・武本 敏・鍛 忠司 (日立)
 7. 行動に基づいた同時多発低レート攻撃の検知案及び実験検証
○フォン ヤオカイ・堀 良彰・櫻井幸一・竹内純一 (九州先端科学技研)
 8. 可視化によるダークネットの不正パケット解析—ハニーポットとの併用による相関分析— ○曾根直人 (鳴門教大)・正力達也・鳥居久久・村尾岳人・森井昌克 (神戸大)
 9. サイバー攻撃・防御戦略の動的意思決定モデルの提案
○佐藤 直 (情報セキュリティ大)・渡邊 均 (東京理科大)
 10. マルウェア対策ユーザサポートシステムのフィールド実験と

性能評価 笠木敏彦 (KDDI)・○川口信隆・余田貴幸・山口演己 (日立)・星澤裕二 (セキュアブレイン)・衛藤将史・井上大介・中尾康二 (NICT)

【問合先】

三宅 優 (KDDI 研)
TEL [049] 278-7367, FAX [049] 278-7510
E-mail: icss-request@mail.ieice.org

◎最新情報は、ICSS 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~icss/index.html>

★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

専門委員長 塚本勝俊 副委員長 黒川 悟
幹事 戸田裕之・川西哲也 幹事補佐 岩月勝美・東野武史

日時 4月6日(金) 13:00~17:00
会場 機械振興会館地下3階2号室
議題 高速光変調器特集—マイクロ波フォトニクスのキーデバイス—

1. [招待講演] ミリ波・マイクロ波発生のための高速高精度光変調 川西哲也 (NICT)
2. [招待講演] 高速 LiNbO₃ 変調器 土居正治 (FOC)
3. [招待講演] 石英-LiNbO₃ ハイブリッド集積型多値光変調器の最新動向 美野真司 (NTT)
4. [招待講演] InP 光変調器 八坂 洋 (東北大)
5. [招待講演] InGaAs ポテンシャル制御量子井戸マッハ・ツェンダー光変調器 ○荒川太郎・國分泰雄 (横浜国大)
6. 分極反転構造電気光学変調器を用いた高速信号処理
○村田博司・郭 藍・出水達也・岡村康行 (阪大)
7. マイクロ波分配回路を一体化した電気光学変調素子の検出—LiNbO₃ 基板上へのプラチナラインカップラの作製—
○榎原 晃・中尾健志・川村一代・河合 正 (兵庫県立大)・川西哲也 (NICT)

——北海道支部における開催——

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治
幹事 森山甲一・片上大輔

日時 3月11日(日) 14:00~19:00
12日(月) 9:00~18:00
13日(火) 9:00~15:30
会場 定山溪ビューホテル (札幌市南区定山溪温泉東2. <http://www.jozankeiview.com/index.htm> 鳥海不二夫)
議題 社会システムと情報技術
11日 JSAI 社会における AI セッション(1)

1. ゴルフにおける Q 学習を用いた戦略の学習 菅原翔梧・川村秀憲・鈴木恵二 (北大)
2. 分散処理技術を用いた新聞記事ネットワークの解析 金正福 (北大)
3. レーザー計測におけるマイニング技術応用可能性と農業・医療への展開 篠田孝祐・小川貴代・神成淳司・和田智之 (理研)

JSAI 社会における AI セッション(2)

4. ステイクホルダ分析と実データに基づく経営者支援システムの開発
小柴 等・竹中 毅・本村陽一 (産総研)
5. 顧客接点情報と大規模データの統合によるサービス最適化戦略
竹中 毅・小柴 等・本村陽一 (産総研)
6. 生活情報のカテゴリ化・構造化モデリングによる生活支援技術
本村陽一 (産総研)

IPJSJ 知能システムセッション(1)

7. Web ニュース記事データを用いた見出し文の意味的具体化
稲井 聡・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
8. 自然文知識ベースと連想推論を用いた質問応答システム
○柴山拓也・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
9. Optimal Networks for Cascade
Takanori Komatsu・Akira Namatame (National Defence Academy)

12 日午前 IPSJ 知能システムセッション(2)

1. 都市エリアにおける大規模誘導に向けた歩行者モデルの提案
山下倫央・岡田 崇・野田五十樹 (産総研)
2. 歩行者シミュレータ NetMAS を用いた網羅的分析
岡田 崇・山下倫央・野田五十樹 (産総研)
3. Cost Function Consideration of Resource Allocation Problem
Hoang Anh Q. Tran・Takanori Komatsu・Akira Namatame (National Defence Academy)

JSAI 知識ベースシステムセッション(1)

4. ステレオカメラによる知能ロボットの自己位置認識
○大江裕紀・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
5. エージェントシミュレーションによる競争緩和手段としてのポイントサービスの分析
田中祐史・山田隆志・山本 学・吉川 厚・寺野隆雄 (東工大)

12 日午後 招待講演

6. [招待講演] 調整中

JSAI 知識ベースシステムセッション(2)

7. Receipt recognition based on ontology
沈 治年 (関西学院大)
8. 画像中の文字列認識を利用した看板領域抽出
吉岡勇希・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
9. 接客サービス向上にむけたマルチエージェントモデル構築とシミュレーションの検討
小川祐樹・野田五十樹・竹中 毅・小柴 等・天目隆平 (産総研)
10. 集合知によるサービス現場の情報共有・知識構造化の効率化
西村拓一・福原宏宏 (産総研)・山田 クリス 孝介 (佐賀大)・濱崎雅弘・中島正人・三輪洋靖・本村陽一 (産総研)

JSAI データ指向構成マイニングとシミュレーションセッション(1)

11. 昔話の構成を表現する機能列の推定手法とその評価
船戸一将 (京大)
12. トピックモデルによるセンサ情報からの看護業務の推定
村上知子・瀬戸口久雄・鳥居健太郎・内平直志 (東芝)
13. パターンと精密化を用いた文字列生成過程のモデル化と推定
大滝啓介・山本章博 (京大)
14. テーブル指向エージェントシミュレーションフレームワークの設計
森 幹彦・津田 侑・喜多 一 (京大)・上原哲太郎 (情報セキュリティ研)

13 日午前 JSAI データ指向構成マイニングとシミュレーションセッション(2)

1. 物流拠点における作業効率向上のための倉庫マネジメントアルゴリズムの考案
小中裕次郎・沼尾正行・栗原 聡 (阪大)

2. Twitter ネットワークにおけるデマ拡散とデマ拡散防止モデルの推定
白井嵩士 (阪大)・榊 剛史 (東大)・鳥海不二夫 (名大)・篠田孝祐 (理研)・風間一洋 (NTT)・野田五十樹 (産総研)・沼尾正行 (阪大)・栗原 聡 (阪大/JST-CREST)
3. ソーシャルメディアにおける福島第一原子力発電所に関連する情報の伝播分析
芝田雄吾・木村 浩 (東大)・鳥海不二夫 (名大)・榊 剛史 (東大)・風間一洋 (NTT)・福田健介 (NII)

IEICE 人工知能と知識処理セッション(1)

- AI-4. Intelligent Platform for concern and opinion assessment based on document classification by topic
○Robin M.E. Swezey・Mahmoud Salim Bouyahyaoui・Shun Shiramatsu・大園忠親・新谷虎松 (名工大)
- AI-5. 動的免疫ネットワークの多重化による創発的集団の形成
○山保太力・松田 聖 (日大)
- AI-6. 遅延観測に基づいた階層型組織の再編成手法とその評価
○浦川一紀・菅原俊治 (早大)

13 日午後 IEICE 人工知能と知識処理セッション(2) (13:30~)

- AI-7. ユーザコンテキストに合わせた携帯端末アプリケーション推薦手法の提案
○松本光弘 (阪大)・清原良三 (三菱電機)・沼尾正行・栗原 聡 (阪大)
- AI-8. 述語項構造から生成されるタプル集合の比較による歴史事件の説明文書評価
○北野貴之・山本章博 (京大)
- AI-9. 対話型 FAQ 検索システムの構築における転移学習の適用
○北本進悟・松原繁夫 (京大)
- AI-10. 自由回答文の格付け推定の応用
○早坂 透・川村秀憲・鈴木恵二 (北大)

◆情報処理学会；知能システム研究会，人工知能学会；知識ベースシステム研究会／社会における AI 研究会／データ指向構成マイニングとシミュレーション研究会連催

【問合先】

AI 研究会幹事

E-mail: ai-staff@mail.ieice.org

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 稲葉宏幸 副委員長 中西通雄・吉開範章
幹事 森下社一郎・鈴木一弘 幹事補佐 杉山典正・山肩大祐

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・飯田勝吉
幹事 衛藤将史・北辻佳憲
幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹

期日 3月15日(木)，16日(金)

会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 2階 W201，
202 教室 (札幌市北区北 8 条西 5 丁目，柏崎礼生 (東京藝術大)・松本直人 (さくらインターネット研))

議題 インターネットと情報倫理教育，一般

1. オントロジーを用いた統合的ネットワーク管理手法の提案とプロトタイプの実作
○石田篤志 (慶大)・Saber Zrelli (横河電機)・寺岡文男 (慶大)
2. 隠蔽通信路検証フレームワークの設計と実装

○遠峰隆史 (慶大)・植山寛章 (奈良先端大)・
加藤 朗 (慶大)

3. κ -匿名性を利用した医療保健情報の利用可能性についての考察
○木村映善・石原 謙 (愛媛大)
4. アフィリエーションネットワークを用いた組織活動評価手法の提案と評価
○北原友恵・吉開範章 (日大)
5. パテントプールの適正化—知的財産と独占禁止法, 問題点の解決策—
○吉光俊智・平松幸男・岩本章吾 (阪工大)
6. 通信・放送融合の著作権問題について—裁判例と各国の比較から導く日本著作権法のあり方—
○竹村茉莉・平松幸男 (阪工大)
7. インターネットのセルフガバナンスからみるドメイン名の管理の在り方
○藤田優奈・平松幸男 (阪工大)
8. 情報系学部における技術者倫理教育の一事例
中西通雄 (阪工大)

◆情報処理学会; インターネットと運用技術研究会連催

○上記プログラム掲載分の他, 数件の発表があります. 本プログラムは暫定版であり, 発表日, 発表順は変更となる可能性があります. 最新のプログラムはIA 研究会の Web ページにて随時更新予定ですので, 以下の URL から御確認下さい.

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/>

☆SITE 研究会

【問合せ先】

森下壮一郎 (東大/電通大)

E-mail: smori@hi.mce.uec.ac.jp

○SITE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/ess/site/>

☆IA 研究会

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (京大学術情報メディアセンター岡部研究室内)

TEL [075] 753-7417, FAX [075] 753-7440

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

○IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

——東北支部における開催——

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努
幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 米田友洋 副委員長 梶原誠司
幹事 北神正人・中村友洋

日時 3月2日 (金) 13:00~18:00

3日 (土) 9:00~16:15

会場 ホテル松島大観荘会議室 (宮城郡松島町松島字犬田10-76. JR 東北本線: 松島駅, JR 仙石線: 松島海岸駅より無料シャトルバスあり. <http://www.taikanso.co.jp/> TEL [022] 354-5214 戸田賢二)

議題 組込み技術とネットワークに関するワークショップ
ETNET2012

2日 設計環境 (13:00~14:00)

1. QEMU と SystemC を用いた NoC 向け仮想プラットフォーム

の開発

○中島啓太・稗田拓路・谷口一徹・
富山宏之 (立命館大)

2. 組込みシステム向けメニューコア用 OpenCL 環境

○稗田拓路・西山直樹・谷口一徹・富山宏之 (立命館大)・
井上弘士 (九大)

設計技術 (14:15~16:15)

3. 2 コアプロセッサ L1 キャッシュ構成の正確で高速なシミュレーション手法
○多和田雅師・柳澤政生・戸川 望 (早大)

4. RDR アーキテクチャを対象とした部分2重化フォールトセキユア高位合成手法
○田中 翔・柳澤政生・
戸川 望 (早大)

5. 論理関数の充足不可能性に注目した論理回路デバッグ手法の検討
○李 在城・松本剛史 (東大)・
藤田昌宏 (東大/JST CREST)

6. 経年劣化を考慮した統計的遅延解析の一手法
○築山修治 (中大)・福井正博 (立命館大)

設計事例 (16:30~18:00)

7. セレクタ論理を利用した高速補間演算器設計
○岩田愛実・吉原弘峰・柳澤政生・戸川 望 (早大)

8. 負論理実装を可能とする新型光再構成型ゲートアレイ VLSI
○森脇 烈・渡邊 実 (静岡大)

9. ユビキタスプロセッサチップの開発設計
○内海晴信・
深瀬政秋・佐藤友暁 (弘前大)

2日 組込みシステム開発手法 (13:00~15:00)

10. 階層型状態遷移図に基づく安全分析手法
○金 周慧・
松原 豊・高田広章 (名大)

11. ハードウェア異常に対応した組込み制御ソフトウェア不具合のモデル検査手法
○松原正裕・櫻井康平・成沢文雄・
山中久光 (日立)

12. SysML を用いたシステム開発における制約の充足可能性検証
○福田哲志・久住憲嗣・福田 晃 (九大)

13. 組込みにおける消費エネルギー削減のためのスラック時間の活用
○三輪遼平・高瀬英希・曾 剛・高田広章 (名大)

GPU とマルチコア (15:15~17:15)

CPSY-14. プロファイルに基づく GPGPU のためのソースコード変換コンパイラ
○湯本厚史・杉野暢彦 (東工大)

CPSY-15. ヘテロジニアスなマルチコアプロセッサ向け分散 TLB 機構の設計と実装
○川瀬大樹・水頭一壽・
松谷宏紀・山崎信行 (慶大)

CPSY-16. ヘテロジニアスなマルチコアプロセッサ向け I/O 制御機構の設計と実装
○川口雄輝・水頭一壽・松谷宏紀・
山崎信行 (慶大)

CPSY-17. グラフ後方依存への重み付けによるマルチコアタスク配置手法
○鈴木紀章・久村孝寛・中村祐一 (NEC)

3日午前 車載システム (9:00~10:00)

1. Cloudia: 車載データ統合プラットフォーム—基本コンセプト—
○佐藤健哉・勝沼 聡・山口晃広・
島田秀輝 (同志社大)・本田晋也 (名大)・
中本幸一 (兵庫県立大)・高田広章 (名大)

2. ハードリアルタイム性を考慮した FlexRay のバス帯域幅の最小化技術
○杉原 真・岩永明人 (九大)

組込みシステムソフトウェア (10:15~11:45)

3. Android における遠隔サービス呼出し機能の開発
○中尾和弘・中本幸一 (兵庫県立大)

4. オブジェクトファイルの細分化機構と応用
○河合夏輝・
笹田耕一 (東大)

5. JISX0180:2011「組み込みソフトウェア向けコーディング規約の作成方法」を用いた Parallelizable C の定義

○木村啓二・間瀬正啓・笠原博徳（早大）

3 日午後 組み込みアーキテクチャ（13：00～14：30）

6. 組み込みシステムの GPGPU 適用のためのアーキテクチャ提案
○山本戸伸行・長谷川 修（東工大）

7. Responsive Link を用いた分散リアルタイムシステムにおけるルーティング手法 ○吉住 修・松谷宏紀・山崎信行（慶大）

8. 不揮発性 CPU を用いた待機電力ゼロの電子システムの検討
○根橋竜介・辻 幸秀・崎村 昇・渡邊義和・壬生亮太・森岡あゆ香・宮村 信・杉林直彦（NEC）・中本幸一（兵庫県立大）

ソフトウェア／ハードウェア協調設計（14：45～16：15）

9. SLDS 機構を用いた SystemC-Verilog HDL トランスレータの開発
○佐藤賢文・三井浩康（東京電機大）

10. ADL からの精度変更可能な命令セットシミュレータ生成手法の提案
○井田健太・坂主圭史・武内良典・今井正治（阪大）

11. FPGA 上で動作可能なマルチプロセッサ向けの RTOS の提案
○古谷拓之・北道淳司（会津大）

3 日午前 設計ツールとフレームワーク（9：00～11：30）

CPSY-12. Cell Broadband Engine 向けスレッド仮想化環境における MapReduce フレームワークの実装と評価

○山田昌弘・中浜徹也（慶大）・吉見真聡（同志社大）・天野英晴（慶大）

CPSY-13. Cell/B. E. クラスタにおける MPI 自動拡張ツールの実装と評価
○中浜徹也・山田昌弘（慶大）・吉見真聡（同志社大）・天野英晴（慶大）

CPSY-14. マルチスレッドプロセッサ向け組み込み Java VM の実装
○伊藤康人・千代浩之・松谷宏紀・山崎信行（慶大）

CPSY-15. JIT コンパイル方式による動的言語処理系の自動並列化の一手法
○池田涼太郎・杉野暢彦（東工大）

3 日午後 ディベンダビリティと評価（13：00～15：00）

CPSY-16. FPGA を用いた Ultra-Android 用性能評価システムの開発
○戸田賢二・森川 治（産総研）・森本智之・萩本有哉・内田裕之・引地信之・日比康守・松本祐教（トプシステムズ）

CPSY-17. システムの高信頼化に向けた Supervisor Processor の一検討
○藤野 誠・一ノ宮佳裕・田中宏樹・吉浦紗也加・久我守弘・尼崎太樹・飯田全広・末吉敏則（熊本大）

DC-18. ソフトウェアによる時分割処理可能な RAM 診断手法
市岡怜也（三菱電機）

DC-19. パイプラインプロセッサ向けカスケード TMR における遺伝的アルゴリズムを用いた構成探索
○新井雅之・井出 創・岩崎一彦（首都大東京）

◆情報処理学会；システム LSI 設計技術研究会／組み込みシステム研究会連催

【問合先】 ETNET 事務局

戸田（産総研知能システム研究部門）

〒305-8568 つくば市梅園 1-1-1 中央第二

TEL [029] 861-5875

E-mail : etnet@m.aist.go.jp

☆CPSY 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4 月 10 日（火）東工大〔締切済〕テーマ：ディベンダブルコンピュータシステム及び一般

5 月 28 日（月）～30 日（水）北九州国際会議場〔未定〕テーマ：LSI とシステムのワークショップ 2012

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山崎信行（慶大）

E-mail : yamasaki@ny.ics.keio.ac.jp

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4 月 10 日（火）東工大〔締切済〕テーマ：ディベンダブルコンピュータシステム及び一般

5 月 28 日（月）～30 日（水）北九州国際会議場〔未定〕テーマ：LSI とシステムのワークショップ 2012

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

北神正人（千葉大）

E-mail : kitakami@faculty.chiba-u.jp

◎最新情報は、DC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

——信越支部における開催——

★回路とシステム研究会（CAS）

専門委員長 小久保 優 副委員長 中野敬介

幹事 前田義信・田中 聡

幹事補佐 高藤大介・川本高司・宮北和之

★信号処理研究会（SIP）

専門委員長 山田 功 副委員長 大田恭士・澤田 宏

幹事 湯川正裕・大谷 猛 幹事補佐 木下慶介

★通信方式研究会（CS）

専門委員長 上田裕巳 副委員長 葉玉寿弥

幹事 島田達也・小崎成治

日時 3 月 8 日（木）9：10～17：35

9 日（金）9：00～17：00

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」（新潟市中央区笹口 1-1 プラウカ 1・2 階、JR 新潟駅南口徒歩 3 分、<http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/> TEL [025] 262-6721 高橋俊彦）

議題 ネットワークプロセッサ、通信のための信号処理、無線 LAN/PAN、一般

8 日午前 SIP（1）（9：10～10：50）

1. デジタルカメラを利用した高精度平板金属検査システムのための幾何歪推定・補正処理
○北澤伸哉・鷺津 亨・渡辺秀典・佐藤光太郎・寺澤憲久・廣澤 啓・村松正吾・鈴木孝昌（新潟大）・村田光由（テクノア）・追立俊朗（戸塚金工）
2. A visually better recovered image selection for imaging inverse problems
○Shunsuke Ono・Takamichi Miyata・Isao Yamada（Tokyo Inst. of Tech.）
3. 画像データベースと JPEG 再適用を利用した JPEG 画像の画質改善
○河野克也・田中 章（北大）
4. Adaptive proximal forward-backward splitting applied to Huber loss function for sparse system identification under

- impulsive noise ○Takayuki Yamamoto · Masao Yamagishi · Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)
- SIP (2) (11:50~13:05)
5. 学習型カーネル回帰による超解像を用いた分散映像符号化法
○中村遼太郎 · 工藤 忍 (慶大) · 仲地孝之 (NTT) · 浜田 望 (慶大)
6. 斜交射影による MAI 除去を考慮したアフィン射影アルゴリズムに基づくブラインド適応マルチユーザ検出器
○小河誠巳 · 古川利博 (東京理科大)
7. 横顔の発話シーンをを用いた口形コード法に基づく単語読唇
○沖田慎介 · 佐藤優輝 · 菅田雄希 · 田阪琢朗 · 浜田 望 (慶大)
- 8 日午後 SIP (3) (13:15~14:55)
8. 冗長非分離 GenLOT を利用した画像復元 ○相澤夏希 · 村松正吾 (新潟大)
9. 動画処理のための二次元非分離 GenLOT ハードウェアモデル
○原 伸太郎 · 太田優也 · 村松正吾 (新潟大)
10. Three variants of alternating direction method of multipliers without certain inner iterations and their application to image super-resolution via sparse representation
○Masao Yamagishi · Shunsuke Ono · Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)
11. カラー画像のための重み付きメディアンカット量子化の多次元化
○杉山実花 · 藤吉正明 (首都大東京) · 小林弘幸 (都立産技高専) · 貴家仁志 (首都大東京)
- SIP (4) (15:05~16:40)
12. AR モデルに基づく FID 信号の周波数と減衰率の推定における高い減衰率が推定精度に与える影響
○田谷 悠 · 古川利博 (東京理科大) · 久保田 一 (千葉工大)
13. E-Spline 標本化モデルと最適化に基づく直線エッジの正確な抽出
○平林 晃 · 国貞尚哉 (山口大) · Pier Luigi Dragotti (ICL)
14. ヒストグラム ROI 量子化とその応用 ○渡辺健太 · 貴家仁志 (首都大東京)
15. 位相一致法を用いた光学的距離測定手法の設計と実装
中村成希 · ○井上裕貴 · 杉本雅則 (東大) · 橋爪宏達 (NII)
- 8 日午前 CS (1) (9:15~11:20)
16. A Design of Single Symbol Decodable QO-STBC with Full Diversity
○Naotoshi Yoda · Chang-Jun Ahn · Tatsuya Omori · Ken-ya Hashimoto (Chiba Univ.)
17. HTRCI-MIMO/OFDM における非線形予測に基づいた高速フェージング補正
○櫻井勇樹 · 安 昌俊 · 大森達也 · 橋本研也 (千葉大)
18. SP-OFDM における超遅延パス選択 FFT 補完法を用いた ISI 及び ICI の補償
○坂上太一 · 安 昌俊 · 大森達也 · 橋本研也 (千葉大)
19. 雑音分散値を用いた低演算型逐次判定 QRD-MLD
○吉村友樹 (千葉大) · 井田悠太 (広島市大) · 安 昌俊 · 大森達也 · 橋本研也 (千葉大)
20. PNC-OFDM のマルチプルアクセスリンクにおけるプレコーディングの一考察
○梅原大祐 (京都工繊大) · 山本高至 · 村田英一 (京大) · 田野 哲 (岡山大) · 守倉正博 · 吉田 進 (京大)
- CAS (1) (12:20~13:10)
21. Parameter Optimization in VAD Used in Noise Spectral Estimation for Spectral Suppression Method
○Guo Lei · Kenji Nakayama · Akihiro Hirano (Kanazawa Univ.)
22. ダイナミックスペクトルアクセスを用いた無線通信向けの搬路変動補償手法に関する一検討
○保米本 徹 · 畠中理英 · 尾上孝雄 (阪大)
- 8 日午後 CAS (2) (13:20~14:35)
23. On the rank of a Jacobian matrix of a class of nonlinear equations
○Tetsuo Nishi · Shin'ichi Oishi (Waseda Univ.) · Norikazu Takahashi (Kyushu Univ.)
24. A Time-Interleave Pipelined SAR ADC Using Amplifier Sharing Technique
○Masanori Furuta · Taichi Ogawa · Tetsuro Itakura (Toshiba)
25. 400 ppm の送受信周波数偏差に対応可能なシリアル ATA 用 PHY
○川本高司 (日立) · 鈴木正人 (ルネサス)
- CS 特別招待講演 (14:45~16:45)
26. [特別招待講演] Internet of Things を支える無線通信技術
○大塚 晃 · 永井幸政 · 相川秀斗 · 横谷哲也 (三菱電機)
27. [特別招待講演] フォトニックと IP が作るスマートなネットワーク
山中直明 (慶大)
28. [特別招待講演] 情報通信技術と電気自動車が開くスマートコミュニティ
間瀬憲一 (新潟大)
- CAS 招待講演 (16:55~17:35)
29. [招待講演] 電気回路理論のエンジニアリング・サイエンス (狭義の意味での工学) における位置づけ
篠田庄司 (中大)
- 9 日午前 CS (2) (9:00~10:40)
1. MANET におけるクロスレイヤ処理を用いた経路選択とチャネル管理連携手法の提案
○伊藤敏生 · 上田裕巳 · 坪井利憲 (東京工科大)
2. SC-FDMA における STBC 協調通信に対するリレーノード電力削減
○井田悠太 (広島市大) · 安 昌俊 (千葉大) · 神尾武司 · 藤坂尚登 · 生岩量久 (広島市大) · 大森達也 · 橋本研也 (千葉大)
3. Development of RF Energy Harvesting and Charging Circuits for Low Power Mobile Devices
Chang-Jun Ahn (Chiba Univ.)
4. 電力メータ~宅内機器連携システムの設計検討
○内海義則 · 八木章好 · 石橋孝一 (三菱電機)
- CS (3) (10:50~12:05)
5. 光アクセスシステムにおける宅内装置の省電力化検討
○弥栄香織 · 菊澤隆司 · 向井宏明 · 小崎成治 · 横谷哲也 (三菱電機)
6. 直交サブキャリア多重方式に基づく OSD-M-PON におけるクリップ QAM 信号伝送方式の提案
○高橋卓也 · 栗山直巳 · 上田裕巳 (東京工科大)
7. パケットスイッチを有する光アクセスネットワーク E-OSAN における ONU の光バースト受信部における時間領域設計法
○市川翔大 · 坪井利憲 · 上田裕巳 (東京工科大)
- 9 日午後 CAS (2) (13:05~15:35)
8. フローティング型スクーリングキャパシタの一構成
○藤井達哉 · 松元藤彦 · 大淵武史 · 阿部友美 (防衛大)
9. マルチエージェントシミュレーションを用いた地域通貨発生の再現
○伊藤 尚 · 前田義信 · 林 豊彦 (新潟大)
10. 孤立領域間の物資輸送と遅延耐性ネットワークに関する考察
○大谷優太 · 中野敬介 · 宮北和之 (新潟大)
11. 指定形状多層プリント基板レイアウト設計のための矩形双対

- グラフ構成法 ○加藤智行・高藤大介・渡邊敏正 (広島大)
12. グラフ点彩色問題の発見的解法の性能比較
○小新雄太・田岡智志・渡邊敏正 (広島大)
13. On the Complexity of Energy-Aware Mapping for NoCs
○Satoshi Tayu・Anish Man Singh Shrestha・
Shuichi Ueno (Tokyo Inst. of Tech.)

CS(4) (15:45~17:00)

14. 全地球衛星測位システムにおける地上擬似衛星信号の送信方法
高橋 賢 (広島市大)
15. 遅延プロファイル測定において遅延時間がサンプリング間隔の非整数倍時に生じる誤差の検討と対策
○春名達明・
生岩量久・藤坂尚登・神尾武司 (広島市大)・
来山和彦 (NHK アイテック)
16. 長距離通信における再送制御方式の提案
○永瀬文昭 (新潟大)・平栗健史 (日本工大)・西森健太郎・
牧野秀夫 (新潟大)

9日午前 SIP(5) (9:20~10:35)

17. 逐次射影法を用いた阻止域の複数要素が可変な IIR フィルタの一設計法
○宮田統馬・相川直幸 (東京理科大)
18. 騒音環境下におけるアクティブノイズコントロールの有効性の主観的評価
○小林裕康・梶川嘉延 (関西大)
19. 工場内騒音のためのアクティブノイズコントロールシステムの検討
○鐵 寛文・梶川嘉延 (関西大)

SIP(6) (10:45~12:00)

20. IGA によるオーディオコライザのパラメータ自動調整法—システムの評価方法に関する検討—
○三島勇輝・
梶川嘉延 (関西大)
21. 音響 OFDM におけるマイクロホンアレイを用いた雑音抑圧による伝送特性の改善
○田村雅則・梶川嘉延 (関西大)
22. 任意配置マイクロフォンアレイにおけるパーティクルフィルタを用いた複数移動音源の追跡
○貴島 愛 (慶大)・
日岡裕輔 (NTT)・浜田 望 (慶大)

9日午後 SIP(7) (13:00~14:40)

23. Employing Generalized Normalized Least Mean p-Power (GNLMP) Algorithm for Active Noise Control of Impulsive Noise Sources
○Muhamad Tahir Akhtar・
Wataru Mitsuhashi (Univ. of Electro-Comm.)
24. 音声刺激による聴覚ブレイン・コンピュータ・インタフェースの可能性
○田村 潤 (東京農工大)・
鷺沢嘉一 (電通大)・東 広志・森川直樹・
田中聡久 (東京農工大)
25. 発話に伴う特徴を用いたマルチモーダル生体認証手法に関する検討
○佐用 敦・梶川嘉延・棟安実治 (関西大)
26. 人体伝搬信号による個人認証の研究—lvs1 SVM 導入による性能改善—
○中西 功・曾谷勇太・稲田高志・
李 仕剛 (鳥取大)

SIP(8) (14:50~16:30)

27. Convergence Analysis of G-NPAST Algorithm for Extracting the First Principal Generalized Eigenvector
○Tuan Duong Nguyen・Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)
28. Mixed Trigonometric Interpolation Techniques for Fast and Stable Algebraic Phase Unwrapping
○Daichi Kitahara・
Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)
29. 協調カーネル適応フィルタを用いた太陽光発電量の短時間先予測
○米田悠一郎・田中聡久 (東京農工大)
30. 多カーネル適応フィルタの性能に関する一検討

第一種研究会開催案内

○石井隆一郎・湯川正裕 (新潟大)

◆IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 共催
☆CAS 研究会

【問合先】

川本高司 (日立)
TEL [042] 323-1111 内線 4427
E-mail: takashi.kawamoto.hv@hitachi.com

◎回路とシステム研究専門委員会では、研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は、3月の総合大会にて表彰致しますので、奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員 (申込み中でも可) の方です。詳しくは幹事までお問合せ下さい。

☆SIP 研究会

【問合先】

湯川正裕 (新潟大)
TEL & FAX [025] 262-7549
E-mail: yukawa@eng.niigata-u.ac.jp

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月19日(木), 20日(金) 石垣島官公労八重山会館〔締切済〕
テーマ: サービス品質, クラウド, SDN (Software-Defined Network), コンテンツ配信, 一般

【問合先】

島田達也 (NTT アクセスサービスシステム研究所)
TEL [046] 859-2275, FAX [046] 859-5513
小崎成治 (三菱電機)
E-mail: kanji2011@csken.org

◎最新情報は、CS 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

——東海支部における開催——

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 竹内勇剛 副委員長 上杉 繁・渡辺昌洋
幹事 伊藤京子・松田昌史
幹事補佐 渡邊伸行・林 勇吾・井上智雄

日時 3月5日(月) 10:30~18:45
6日(火) 9:00~16:45

会場 ホテルウェルシーズン浜名湖 (浜松市西区館山寺町 1891.
<http://wellseason.jp/html/access/index.html> TEL [053] 487-1111)

議題 『身体, あそび, コミュニケーション』及びコミュニケーション一般

5日午前 あそび①

1. じゃんけんにおける行動の同期と身体相互行為
細馬宏通 (滋賀県立大)
2. 母子の身体接触を伴う遊びにおける動作と発話の時系列分析
○百瀬桂子・根ヶ山光一・石島このみ・菊池英明・
菅田雅彰・市川 熹 (早大)
3. 母子の身体接触遊びにおける行動の時系列分析—くすぐり遊びを中心に—
○石島このみ・根ヶ山光一・百瀬桂子 (早大)

5日午後 招待講演

4. [招待講演] 文楽人形遣いと身体性

告 21

○吉田勘彌 (人形遣い)・森田寿郎 (慶大)

あそび②

5. サルの社会的遊びにおける「遊び」 島田将喜 (帝京科学大)
6. 遊びの種類別にみる子どもを惹きつける要素の検証

太田晶子 (札幌市大)

7. Pseudo-Haptics によるゲーム用インタフェースにおける運動
ならびに筋電図の同時解析 ○青木広宙 (広島市大)・
追坂則弘・松本浩伸・平田正幸・追坂明美・内田泰則・
吉野智昭 (追坂電子機器)・古川 亮 (広島市大)

コミュニケーション (基礎) ①

8. 身体表現の共振ダイナミクス—手合わせ表現の共創における
場の働きについて— ○三輪敬之・渡辺貴文・
板井志郎 (早大)・西 洋子 (東洋英和女学院大)
9. 行為の創出可能性と $1/f$ ゆらぎ ○板井志郎・
三輪敬之 (早大)

10. 直接対面はポジティブな表情表出を促進する

○石田彩夏・上田祥行・布井雅人・吉川左紀子 (京大)

11. 欺瞞時に、生じる感情が非言語的行動の変化に及ぼす影響—
顔面表情に着目して— ○朴 喜静・大坊郁夫 (阪大)

6 日午前 コミュニケーション (技術) ①

1. 自己アバタを対面合成した実映像対話システムの提案
○小林亜由美・高田友寛・石井 裕・渡辺富夫 (岡山県立大)
2. テキストチャットを用いた留学生のための日本語ライティン
グ学習支援システム ○董 辰・村田和義・
渋谷 雄 (京都工繊大)
3. ビデオ通信環境における対人印象の規定因に関する探索的実
験研究—第三者に対する映像呈示と音声呈示の比較—

○松田昌史 (NTT)・八重樫海人・大坊郁夫 (阪大)・
三上 弾・熊野史朗・大塚和弘・大和淳司 (NTT)

コミュニケーション (技術) ②

4. 映像による仮想的な身体から与えられる音声指示に基づくア
ドレス先の推定 ○兵藤幸与・小暮 悟・竹内勇剛 (静岡大)
5. 遠隔地コミュニケーションにおける非言語行動表出と他者か
ら受ける印象の関連 ○八重樫海人 (阪大)・
松田昌史 (NTT)・大坊郁夫 (阪大)
6. 遠隔 2 者間共食コミュニケーションにおける食事映像の有無
の効果 ○古川大智・井上智雄 (筑波大)

6 日午後 コミュニケーション (基礎) ② (12:45~)

7. 2 者間会話におけるパーソナリティ認知と自己の表出との関
連 ○松山早希・大坊郁夫 (阪大)
8. 小集団の問題解決場面におけるコミュニケーション行動と対
人認知との関係 (2)—コミュニケーション行動と対人関係—
○藤原 健・大坊郁夫・松山早希 (阪大)

9. インディアンポーカーにおける対戦者の顔方向の分析

○渡邊榮治 (甲南大)・尾関孝史 (福山大)・
小濱 剛 (近畿大)

10. 講演における話し手と聞き手のインタラクションの分析

○渡邊榮治 (甲南大)・尾関孝史 (福山大)・
小濱 剛 (近畿大)

コミュニケーション (社会)

11. 死にゆく人へのケア—コラージュを媒体に人生を語ることで
繋がることと体— 古谷スミ子 (阪信愛女学院短大)
12. 表情認知に対するニート・ひきこもりリスクの影響—背景人
物の表情の効果に着目して— ○矢野裕理・
内田由紀子 (京大)
13. 独居高齢者が抱える主観的問題とその要因

○濱口菜々・朝井大介・安部伸治・浅野陽子 (NTT)

14. 高齢の初心者に向けた Web 利用方法のインストラクション
手法に関する検討 ○橋本 遼・渡辺昌洋・安部伸治・
浅野陽子 (NTT)

【問合先】

竹内勇剛 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1455

E-mail: takeuchi@inf.shizuoka.ac.jp

◎最新情報は、HC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hcs/>

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 山口 良・石井 望 幹事補佐 有馬卓司

日時 3月15日 (木) 10:30~16:35

16日 (金) 10:00~11:40

会場 熱海市中央公民館視聴覚室 (熱海市中央町 1-25. JR 熱海
駅から車で 5 分または徒歩 15 分. <http://www.city.atami.shizuoka.jp/2nd/www/map/c-kchuo.html>)

議題

15 日午前

1. フィードバック誤差に耐性のあるマルチユーザ MIMO のた
めのアンテナ構成に関して ○中道 一・新井麻希・
阪口 啓・荒木純道 (東工大)・
外山隆行 (パナソニックモバイルコミュニケーションズ)・星野正幸 (パナソニック)
2. ウェーブレット変換に基づくシャドウイング生成モデルの提
案 今井哲朗 (NTT ドコモ)
3. 950 MHz 帯マルチポイント型無線電力伝送の実験
○前原大樹・阪口 啓・荒木純道 (東工大)・宮本健宏・
古川 実・白土 正 (日本電業工作)

15 日午後

4. [チュートリアル講演] アンテナの折返し構造を思考する
森下 久 (防衛大)
5. 広帯域信号到来方向推定における送信側空間平滑法の相関抑
圧効果 ○前田恭平・西村寿彦・小川恭孝・大鐘武雄 (北大)
6. 屋外-屋内伝搬環境における人体バス遮蔽モデルに関する検討
○多賀登喜雄 (関西学院大)・今井哲郎 (NTT ドコモ)
7. マルチビームアンテナの総受信電力と MIMO アンテナの通
信容量の関係に関する考察 ○鹿子嶋憲一・武田茂樹・
西村一輝・伊藤耕平 (茨城大)
8. [特別講演] チップ・パッケージ・ボード間協調設計に向け
た実装系 CAE 技術 (口頭発表) 浅井秀樹 (静岡大)

16 日

1. 無線秘密鍵共有システムに対する能動的盗聴法の研究
○藤木雄大・吉田齊史・斎藤隆史・坂井尚貴・上原幸秀・
大平 孝 (豊橋技科大)
2. エスパアンテナの指向性可変性能の素子間隔・周波数特性
○森 翔太・菊池祐樹・高谷侑希・坂井尚貴・上原幸秀・
大平 孝 (豊橋技科大)
3. H 形エスパアンテナ ○高谷侑希・小田康明・菊池祐樹・
森 翔太・坂井尚貴・上原幸秀・大平 孝 (豊橋技科大)
4. CMOS チップ上ダミーメタルフィルの等価異方性媒質定数の
抽出 ○平野拓一・岡田健一・広川二郎・安藤 真 (東工大)

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月19日(木), 20日(金) 東北大片平さくらホール〔締切済〕テーマ:一般

5月24日(木), 25日(金) アクロス福岡〔3月10日(土)〕
テーマ:一般

6月14日(木) 機械振興会館〔4月10日(火)〕テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

石井 望 (新潟大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 中谷多哉子 副委員長 松浦佐江子

幹事 阿萬裕久・白銀純子 幹事補佐 樋山淳雄・猿渡卓也

日時 3月15日(木) 13:35~17:05

16日(金) 10:00~13:10

会場 名古屋大学東山キャンパス情報基盤センター4階演習室
(名古屋市千種区不老町, 地下鉄名城線:名古屋大学駅下車すぐ)

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/access/>

議題

15日

- Assurance Case 構築手法 (d*) の適用評価
○猿渡卓也 (名大/NTT データ)・山本修一郎 (名大)
- 保証ケースを用いたサービス提供判断方法の提案
○小林茂憲 (NEC)・山本修一郎 (名大)
- 矩形同士の埋め込み型重ね合わせについての定性空間推論
○小西貴子・高橋和子 (関西学院大)
- 〔招待講演〕 実務に着目した知能ソフトウェア工学の研究と教育
橋本正明 (元九工大)

16日

- 持続的情報連携サービス分析方法論の構築について
山本修一郎 (名大)
- 高速システムプロトタイプ生成ツールと要件定義における活用に関する考察
○萩原 淳・斎藤 忍 (NTT データ)
- 要求と設計の間の属性付き依存関係を利用した見積りリスクの特定
○納富雅人・中谷多哉子 (筑波大)
- ソフトウェアセキュリティ知識体系化に関する研究動向
樋山淳雄 (学芸大)

【問合せ先】

猿渡卓也 (NTT データ)

E-mail: saruwatarit@nttdata.co.jp

○最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 吉田和悦

幹事 山田健一郎・根本広明 幹事補佐 稲葉信幸・小出大一

日時 3月16日(金) 13:00~17:00

会場 名古屋大学 IB 電子情報館北棟 8階 IB-081 講義室 (名古屋千種区不老町, JR 名古屋駅より約 20 分, 地下鉄名城線:名古屋大学下車, 3 番出口から徒歩 2 分。 <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/access/access.html> TEL [052] 789-3303

第一種研究会開催案内

岩田 聡)

議題 光記録, 一般

MR-1. 電源断に対する SSD 高信頼化方式の提案

辻村達徳 (三菱電機)

2. 反射型及び透過型を併用したシフト多重記録による大容量ホログラムメモリ

○長尾雄大・大久保海斗・

山本 学 (東京理科大)

MR-3. 二次元磁気記録のための記録媒体モデルの比較に関する研究

○加藤智隆・鎌部 浩 (岐阜大)

MR-4. 磁気記録における情報安定性

○小林 正・

北山達哉・藤原裕司 (三重大)

MR-5. 色素スピン水に関する基礎的研究

○濱口聖士・

高木宏幸・アレクサンダー バリシェフ・中村雄一・

リム パン ボイ・井上光輝 (豊橋技科大)

MR-6. マグノニック結晶のモノリシック化と高機能磁界センシングへの応用

○野田常照・上野智祝・金澤直輝・

高木宏幸・中村雄一・井上光輝 (豊橋技科大)

MR-7. 熱アシスト磁気記録用記録ヘッドの熱解析

○芦澤好人・太田武志・中川活二 (日大)

MR-8. MBE 成長した FePt, FePd グラニューラ膜の構造と垂直磁気異方性

○瀬戸陽介・池田遼太・加藤剛志・

岩田 聡 (名大)

MR-9. 電流磁壁駆動磁性細線デバイスの基本動作に関する研究

○栗野博之・池田浩太郎・兼平冬馬 (豊田工大)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催, 電気学会; フォト・スピントロニクス技術調査専門委員会, IEEE Mag. Soc. Nagoya 併催

○研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

○最新情報は, MR 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

——北陸支部における開催——

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久

幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 苗村 健 副委員長 柳田康幸・遠藤 守

幹事 川本一彦・橋本直己

幹事補佐 井手一郎・蔵田武志・吉田俊介

日時 3月12日(月) 9:30~18:05

13日(火) 9:30~16:40

会場 富山大学工学部五福キャンパス大会議室 (富山市五福 3190。 <http://www.u-toyama.ac.jp/jp/access/gofuku/index.html> TEL [076] 445-6011 堀田裕弘)

議題 五感メディアの品質, コミュニケーションデザイン, 画像符号化, 食メディア, 一般

12日午前 MVE-コミュニケーション (9:30~10:20)

- 超低音速場における対面対話の変容とその活用に関する検討
○馬場 裕・小倉加奈代・西本一志 (北陸先端大)
- 聞き手が話者のパラ言語を調整して自らの意向を反映させる対面コミュニケーションメディア
○田島智宣・小倉加奈代・西本一志 (北陸先端大)

告 23

MVE-顔 (10:30~11:45)

- ニューラルネットを用いた似顔絵自動生成に関する基礎的検討—ニューラルネットの構成法と似顔絵の物理心理的類似性の検討—
○高野 晃・榎本 誠・大谷 淳 (早大)
 - 分析的記憶表象領域における顔記憶の階層的構造—ニューラルネットワークによるデフォルメ似顔絵自動生成システムへの応用—
○榎本 誠・高野 晃・大谷 淳 (早大)
 - Study of Example-based Variations in Virtual Facial Makeup
○Jieun Cho (Waseda Univ.)・Minje Park (Olaworks)・Sang Il Park (Sejong Univ.)・Jun Ohya (Waseda Univ.)
- 12 日午後 MVE-食メディア(1) (12:45~14:25)
- 調理手順に従った撮影対象領域の決定に基づく調理映像を対象としたデジタルカメラワーキング
○兵庫 渉・林 泰宏・野田雅文・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)
 - 画像・振動音・荷重データを統合的に用いた食材認識
○井上 仁・中村和晃・船富卓哉・橋本敦史・上田真由美・美濃導彦 (京大)
 - 食材画像を用いたモバイルレシピ提案システム
○丸山拓馬・秋山瑞樹・柳井啓司 (電通大)
 - 電気味覚の応用による食メディア開発
○中村裕美 (明大)・宮下芳明 (明大/JST)

MVE-知覚 (14:35~16:15)

- 両眼網膜像差による相対距離知覚—近接条件と非近接条件の比較—
○松田修平・石井雅博 (富山大)
- 能動的動作が二義的運動知覚に及ぼす影響
○中村大志・石井雅博 (富山大)
- 運動知覚における両眼・単眼観察の比較
○横山光太郎・石井雅博 (富山大)
- 遠近調節が絶対距離知覚に及ぼす影響
○大上戸智之・石井雅博 (富山大)・佐藤雅之 (北九州市大)

MVE-映像(1) (16:25~18:05)

- ニュース映像中の同一シーン検出のための領域別照合手法の検討
○熊谷はるか・道満恵介・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)
- 隣接ショット間の連続性を利用したニュース映像からのスピーチショット抽出
○熊谷章吾・道満恵介 (名大)・高橋友和 (岐阜聖徳学園大)・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)
- ユーザ投稿型動画共有サイトへの広告挿入タイミング決定手法
○岡安優弥・濱川 礼 (中京大)
- 未校正多視点カメラ間の同時観測軌跡を利用した対象追跡手法の検討
○丸谷宜史・間瀬健二 (名大)

12 日午後 IE-知覚 (12:45~14:25)

- 多視点裸眼立体ディスプレイにおける符号化劣化の知覚特性
○王 龍・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)
- 前後方向の運動視差による奥行き知覚
○藤井 稔・石井雅博 (富山大)
- 8 視点レンチキュラレンズ方式を用いた 3DCG 映像のカメラ間隔と視点数による画質評価
○河畑則文・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)
- 色情報を用いた Audio-Visual コンテンツの QoE 客観評価モデル
○佐藤雅治・○辻 翔太郎・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)・杉本 修・内藤 整 (KDDI 研)

13 日午前 MVE-インタフェース(1) (9:30~11:10)

- デザインワークに 3 次元空間は不要か?—新概念「実物大+実操作可能」に基づく 3D スケッチシステム—

- 田野俊一・山本伸也 (電通大)・岩田 満 (都立産技高専)・市野順子・橋山智訓 (電通大)
- 拡張現実感における視覚刺激を利用した上肢への触覚提示手法に関する一考察
○新島有信・小川剛史 (東大)
- ピアノ独習の動機づけを目的とした「緩い連帯感」をもたらす電子楽譜“BondScore”
○森 郁彌・西本一志・小倉加奈代 (北陸先端大)
- 階層的マルチビューストリーミングを用いた多視点映像視聴インタフェースの検討
○間瀬健二・藤井俊彰 (名大)・川本哲也 (中京 TV)・丸谷宜史 (名大)

MVE-光学・画像 (11:20~12:35)

- 可視光通信プロジェクトの通信路における結像光学系の検討—位置情報を埋め込んだ映像の空中像提示とプロジェクト投影—
○深澤尚史 (東大)・前川 聡 (NICT)・苗村 健 (東大)
- 複合現実感展示システム MRsionCase における多層空中像のための実像光学系の検討
○金ハンヨウル (東大)・前川 聡 (NICT)・苗村 健 (東大)
- スパース正規化によるショースルー除去と GPU 高速化
○野口喜実・高木章洋・全 炳東 (千葉大)・酒井智弥 (長崎大)

13 日午後 MVE-食メディア(2) (13:35~15:15)

- 高次脳機能障害者のための遠隔調理リハビリテーションにおける気づき支援
○佐野陸夫・久保仁志・柿 雅子・宮脇健三郎 (阪工大)・米村俊一 (NTT)・大出道子 (阪府立障がい者自立センター)
- 調理動作認識を用いた高次脳機能障害リハビリ支援システムの提案
○宮脇健三郎 (阪工大)・米村俊一 (NTT)・佐野陸夫 (阪工大)
- 大皿料理を囲む共食者間の相互的インタラクションを引き出す食卓コミュニケーション促進ツール“GiantCutlery”
○田中唯太・小倉加奈代・西本一志 (北陸先端大)
- 食材管理のための荷重特徴を用いた食材同定
○加茂田玲奈・上田真由美・船富卓哉・飯山将晃・美濃導彦 (京大)

MVE-映像(2) (15:25~16:40)

- 室内における全周囲映像投影のための幾何補正手法の提案
○福山廣相・橋本直己 (電通大)
- IBR テレプレゼンスのための提示映像評価に基づく画像獲得手法
○田中佳樹・大倉史生 (奈良先端大)・堀 磨伊也 (鳥取大)・神原誠之・横矢直和 (奈良先端大)
- 環境変化に適應する映像投影手法“Adaptive Image Projection”
○渡邊 暁・橋本直己 (電通大)

13 日午前 IE-映像 (9:30~11:10)

- 部分領域の尤度を併用したサッカー選手の追跡法
○石塚悟大・千種康民 (東京工科大)・服部泰造 (東京国際大)・富田光博 (日本ダイミックスシステム)
- 映画の文法に基づく対話シーン検出の検討
○秦 拓郎・林 貴宏 (新潟大)
- 学習支援や授業ふり返りのための板書レクチャーの簡易コンテンツ化
○寫田 聡・東野 豪 (NTT)・今野文子・三石 大・早川美徳・静谷啓樹 (東北大)
- 動き補償残差信号に対する方向性スキャンを用いた切替型 1 次元変換方式
○河村 圭・吉野知伸・内藤 整 (KDDI 研)

13 日午後 IE-画像, MVE-インタフェース(2)

- (13:35~15:05)
19. 図形の線対称性を用いた輪郭線補完
○植木峻介・

林 貴宏 (新潟大)

20. 服飾画像マイニングのための衣類領域からの色情報抽出

○相田 優・柳井啓司 (電通大)・柴原一友・藤本浩司 (ソウル)

21. 空間への情報重畳のための方向依存 web 表示システムの基礎検討
○速水友里・赤塚大典・寛 康明 (慶大)

22. AtlasScape: 紙とスマートフォンの接触による情報重畳の提案と展示支援への応用
○田代俊太郎・山岡潤一・寛 康明 (慶大)

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月23日(月) 成蹊大〔締切済〕テーマ:画像処理・符号化及び一般

5月17日(木), 18日(金) 名工大〔3月5日(月)〕テーマ:医療における多次元大規模データ解析

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

内藤 整 (KDDI 研)

E-mail: ie-kanji2011@mail.ieice.org

☆MVE 研究会

【問合先】

遠藤 守 (中京大)・川本一彦 (千葉大)・橋本直己 (電通大)

E-mail: mve-apply2011@mail.ieice.org

TEL & FAX [042] 443-5345

—関西支部における開催—

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 越前 功・西村 明

幹事 新見道治・西村竜一 幹事補佐 青木直史・日置尋久

日時 3月16日(金) 9:00~18:00

会場 大阪大学吹田キャンパス大学院情報科学研究科 1階 A110号室(吹田市山田丘1-5. <http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/access/index.html> 馬場口 登/吉田真紀)

議題 画質・音質評価, 知覚・認知メトリクス, 人間視聴覚システム, 一般

1. 情報ハイディングと画質改善法を用いた JPEG カラー画像の圧縮効率の改善
○中野史也・山脇和美・野田秀樹・新見道治 (九工大)

2. 副音響信号のハイディング機能をもたせた音楽電子透かし技術—ゲンコード Mark for COPY PROTECT—
茂出木敏雄 (大日本印刷)

3. 音声合成を用いた秘話通信方式 木幡 稔 (千葉工大)

4. デジタル画像取引システムにおけるプライバシー保護と著作権管理のための画像分割の一手法
○仙石 祐・日置尋久 (京大)

5. 観察者の権限に応じたプライバシー保護映像の配信手法
○福岡直也・伊藤義道・馬場口 登 (阪大)

6. 可逆的情報ハイディングを利用した JPEG 画像のプライバシー保護
○榎谷冬樹・新見道治・野田秀樹 (九工大)

午後 (13:30~)

7. [招待講演] 感動評価尺度による音楽コンテンツの価値評価
○大出訓史・安藤彰男 (NHK)・谷口高士 (阪学院大)

8. SIFT 特徴点を用いた幾何学的攻撃に耐性のある静止画像向け電子透かしの研究
○魏 娜・山口和彦 (電通大)

9. スペクトル拡散型電子透かしにおける焼きなまし法による復号の性能評価
○寺西直緒・川村正樹 (山口大)

10. 動画中の物体の移動量に着目したなめらかな時間短縮手法
○宇佐美 寛・濱川 礼 (中京大)

11. 標準化周波数の変更によるオーディオトリックアートの可能性
青木直史 (北大)

12. 色時間変調を用いたアンビエントコード
○井上 透・栗山 繁 (豊橋技科大)

13. 組み込み機器における効果的な情報ハイディング手法の検討
○中尾 慧・大澤昌弘・板屋修平・熊木武志・藤野 毅 (立命館大)

◎研究会終了後,懇親会を予定していますので,是非御参加下さい。

【問合先】

新見道治 (九工大)

TEL & FAX [0948] 29-7724

E-mail: niimi@mip.ces.kyutech.ac.jp

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅

幹事 鈴木弘明・松岡俊匡

幹事補佐 竹内 健・渡辺 理・土谷 亮

日時 3月26日(月) 10:00~18:30

会場 大阪大学吹田キャンパス銀杏会館(吹田市山田丘2-2. 大阪モノレール彩都線:阪大病院前駅から徒歩約10分または阪急千里線:北千里駅から徒歩約30分. <http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/icho-jp.html> TEL [06] 6879-7792 松岡俊匡)

議題 最先端の脳科学と集積化技術の融合

1. 区分線形振動子モデルの集積化実装と位相リセット制御への応用
○中田一紀 (九大)・佐藤能臣 (九工大/理研)・松岡清利 (九工大)

2. MEMS 混載 LSI に適した高耐圧容量測定回路
○児玉和俊・池田 誠 (東大)

3. [招待講演] 埋植イメージングデバイスによる脳内神経活動計測
○太田 淳・小林琢磨・野田俊彦・笹川清隆・徳田 崇 (奈良先端大)

午後

4. [招待講演] 脳神経科学とブレインマシンインタフェース
川人光男 (ATR)

5. [招待講演] 脳表脳波を用いた BMI の臨床応用—重症神経難病患者支援システムの開発—
吉峰俊樹 (阪大)

6. [招待講演] 脳センサのデータ伝送方式 吉田 毅 (広島大)

7. [招待講演] 無線型小型脳波センサの開発及びその睡眠判定システムへの応用
宮田愛子・香川敏也・小出洋資・藤田洋子・三井利男・井上敏範・○生駒京子 (プロアシスト)

8. [パネル討論] 脳科学と半導体産業の架け橋
オーガナイザ:吉田 毅 (広島大)

モデレータ:太田 淳 (奈良先端大)

パネリスト:川人光男 (ATR)・吉峰俊樹 (阪大)・益 一哉 (東工大)・鈴木隆文 (東大)・生駒京子 (プロアシスト)

◆IEEE SSCS Japan/Kansai Chapter 共催

◎研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい。
☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月23日(月), 24日(火) つなぎ温泉清温荘(岩手県)〔締切済〕
テーマ:メモリ(DRAM, SRAM, フラッシュ, 新規メモリ)技術

5月28日(月)~30日(水) 北九州国際会議場〔未定〕
テーマ:LSIとシステムのワークショップ2012

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

松岡俊匡(阪大)
TEL & FAX [06] 6879-7792
E-mail: matsuoka@eei.eng.osaka-u.ac.jp

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 榮藤 稔・大町真一郎
幹事 玉木 徹・藤吉弘巨 幹事補佐 飯山将晃・関 真規人

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 大西 仁 副委員長 金子寛彦・安藤英由樹
幹事 梅村浩之・洪井 進
幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 3月29日(木) 9:30~17:50
30日(金) 9:00~16:20

会場 神戸大学工学部本館3階 C3-302 講義室及び5W-301 講義室
(神戸市灘区六甲台町1-1. 市バス:JR六甲道駅(約15分), 阪急六甲駅(約10分)より神戸市バス36系統「鶴甲団地行」, 「鶴甲2丁目止まり行」に乗り, 神大本部工学部下車徒歩5分. タクシー:JR六甲道駅より約10分, 阪急六甲駅より約5分. <http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/rokko/rokkodai-dai2.htm> TEL [078] 803-6226 有木康雄)

議題 人の視聴覚情報処理とPRMUの接点

29日午前 一般セッション1 (9:30~10:30)

1. A Novel Image Feature Extraction Approach Using Enhanced Edge Information ○Yinan Wang・Nuo Zhang・Toshinori Watanabe・Hisashi Koga (Univ. of Electro-Comm.)

2. ラプラシアンフィルタを用いたSIFTの高精度化に関する一検討 井上俊明 (パソナ)

一般セッション2 (9:30~10:30)

3. 両眼視差と運動視差による面再構成能力の比較 ○白岩 史・林 武文 (関西大)

4. 異なる奥行き面に呈示された視覚情報の知覚的効果 ○瀬川かおり・岡嶋克典 (横浜国大)・三浦弘雅・新井正敏 (カルソニックセイ)

テーマセッション1 (10:40~12:10)

5. 瞳孔径計測と視線検出による人物の内部状態推定に関する研究 ○江口晴香・釘田洋平・鹿嶋雅之・佐藤公則・渡邊 睦 (鹿児島大)

6. 低解像度可視光目画像を用いたモデルベース視線推定手法 ○福田 崇 (早大)・山名早人 (早大/NII)

7. 携帯デバイス操作のための頭部姿勢推定を用いた視線検出手法の検討 ○竹内尚也・高橋裕樹 (電通大)

一般セッション3 (10:40~12:10)

8. Fast Pedestrian detection using LBP-based patterns of oriented edges ○Ahmed Boudissa・Joo Kooi TAN・

Hyoungeop Kim・Seiji Ishikawa (Kyushu Inst. of Tech.)

9. 部位スコアマップ統合による隠れにロバストな人体検出 ○木下航一 (パソナ)・村瀬 洋 (名大)

10. A hybrid mobile-fixed surveillance system, a new solution for public security—Case study: abandoned objects' owners alert system— ○Keita Masui (Osaka Univ.)・Minh-Son Dao (UNITN)・Noboru Babaguchi (Osaka Univ.)

29日午後 テーマセッション2 (13:40~15:10)

11. 視覚パターンの複雑さの操作が分裂錯覚に与える影響 ○竹島康博・行場次朗 (東北大)

12. 動く錯視の計算視覚モデルによる視覚シミュレーション ○本郷香織・守田 了 (山口大)

13. Comparing the Roles of Reason, Emotion and the Physical Body in Decision Making ○Hirokazu Usui・Ian Frank (Future Univ. Hakodate)

一般セッション4 (13:40~15:10)

14. 視線計測を用いたグラフィックアウトの視認性評価 ○大森崇弘・白山 晋 (東大)

15. 隠れマルコフモデルによる眼球運動情報を用いた回答正誤予測の検討 ○高橋直也・中山 実 (東工大)

16. 照明刺激環境下のくつろぎ感に関する心理生理学的研究 ○中村 透・上垣百合子・藤原ゆり・奥谷晃久・山本松樹 (パソナ)・長田典子 (関西学院大)

サーベイセッション (15:20~16:10)

17. [サーベイ論文] 人間の視覚的注意の計算モデル ○木村昭悟 (NTT)・米谷 竜 (京大)・平山高嗣 (名大)

一般セッション5 (16:20~17:50)

18. 視聴覚情報の非同期が音量知覚に与える影響(2) ○大西 仁 (放送大)・望月 要 (帝京大)

19. 口動を編集した発話映像による音声聞き取りへの影響 ○遠藤浩幸・林 大作 (千葉工大)・望月 要 (帝京大)・大西 仁 (放送大)・中村直人 (千葉工大)

20. Utterance Domain Selection Using Multimodal Behavioral Information ○Xiang Zuo (Kyoto Inst. of Tech.)・Naoto Iwahashi (NICT)・Mikio Nakano・Kotaro Funakoshi (HRI-JP)・Natsuki Oka (Kyoto Inst. of Tech.)

一般セッション6 (16:20~17:50)

21. 第15回PRMU研究会アルゴリズムコンテスト実施報告「勝ったのは誰だっ!—じゃんけんの勝敗判定—」

○近藤一晃・中村裕一 (京大)・山崎翔太 (早大)・原田真秀 (立命館大)・田邊 健・水流弘達・佐々川雄貴・山桐靖史 (筑波大)・辻 亮弥 (神戸大)・山本 剛 (阪府大)

22. An approach of how "●" Communication System's Effect on Users' Self-Disclosures during Computer Mediated Communication ○Li Jen Chen・Jun Ohya (Waseda Univ.)・Shunichi Yonemura (NTT)・Yukio Tokunaga (Shibaura Inst. of Tech.)

23. コンポーネント・ツリーを活用した文書画像処理方式 ○武部浩明・堀田悦伸 (富士通研)

30日午前 一般セッション7 (9:00~10:30)

1. 全天周型視聴覚複合現実体験空間とその基幹ソフトウェア ○鈴木翔伍・木村朝子・柴田史久・田村秀行 (立命館大)

2. 市街地構造物への拡張現実型画像情報提示手法 ○内山寛之・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)・川西隆仁・柏野邦夫 (NTT)

3. 車載カメラ映像の過去との時空間差分による不特定障害物検出に関する検討 ○久徳遙矢・出口大輔(名大)・高橋友和(岐阜聖徳学園大)・目加田慶人(中京大)・井手一郎・村瀬 洋(名大)
- 一般セッション 8 (9:00~10:30)
4. Kinect を用いた 3 次元疎テンプレート追跡による人物姿勢追跡 ○四宮洋平・尺長 健(岡山大)
5. Object Tracking Using Kinect and its Application in Tracking Dynamical Behaviors of Botanical Tree Leaves Khanh N. Do・○Jun Ohya (Waseda Univ.)
6. 複数パンチルトカメラによる高解像度 3 次元映像撮影システム ○藤根成暢・浮田宗伯・萩田紀博(奈良先端大)
- テーマセッション 3 (10:40~12:10)
7. 両眼眼球運動を伴う遠隔カメラによる 3D 視覚環境 ○守田 了・石津 拓(山口大)
8. ThumbPop: 注目物体を強調した疑似立体サムネイル生成 ○新井啓介・武井宏将(早大)・山名早人(早大/NII)
9. バーチャルリアリティ技術を用いた映像例示型検索の性能評価 ○白浜公章・河村智美・上原邦昭(神戸大)
- 一般セッション 9 (10:40~12:10)
10. 人間の色知覚特性に基づいた色の類似度の定義に関する研究 ○張 英夏・中嶋正之(東工大)
11. カラー画像の品質評価に関する検討 ○泉 直孝・中矢知宏・河嶋和美・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)
12. 色相平面とポアソン方程式を用いた色ずれの少ない陰影除去 ○小橋喬之・松川 徹・佐藤洋一(東大)
- 30 日午後 一般セッション 10 (13:40~15:10)
13. 発話行動及び同時性判断に見られる DAF 順応による時間的再較正 ○山本浩輔・川畑秀明(慶大)
14. 顔の主観的魅力評価における絶対的価値と相対的価値の脳内表象 ○中村航洋・川畑秀明(慶大)
15. 読唇に有効な顔モデルの検討 ○韓 リャン・齊藤剛史(九工大)
- 一般セッション 11 (13:40~15:10)
16. 多視点動画画像処理を用いた情景識別に関する研究 ○坂本竜次・佐藤公則・鹿嶋雅之・渡邊 睦(鹿児島大)
17. Quantification of Blur and Its Applications Hiroyuki Hase (Univ. of Fukui)
18. 映像コンテンツを対象としたショット情報に基づく登場人物の自動抽出法 ○鹿又広行・清水郁子(東京農工大)
- 一般セッション 12 (15:20~16:20)
19. 胎児手術支援システムのための内視鏡画像処理による胎児の口の検出法の基礎的検討 ○謝 天亮・徐 榮・大谷 淳・張 博(早大)・佐藤嘉伸(阪大)・藤江正克(早大)
20. 歪みの補正を目的とした補助線入り二次元コードとその復号方式の提案 ○川上雄大・伊藤拓也・澤井陽輔・小野智司・川崎 洋・中山 茂(鹿児島大)
- 一般セッション 13 (15:20~16:20)
21. Discrimination of Unknown Objects from Known Objects Using Multimodal Information ○Yuko Ozasa・Yasuo Arika (Kobe Univ.)・Naoto Iwahashi (NICT)・Mikio Nakano (HRI-JP)
22. A Cone Based Electromagnetic 3D Ultrasound Calibration ○Rong Xu・Jun Ohya・Bo Zhang (Waseda Univ.)・

Yoshinobu Sato (Osaka Univ.)・Masakatsu G. Fujie (Waseda Univ.)

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

・5月17日(木), 18日(金) 名工大 [3月5日(月)]

テーマセッション: 医療における多次元大規模データ解析 (PRMU, MI, IE 研究会共催)

医療における画像データは, X 線 CT, MRI, 超音波, 核医学画像など様々の異なる方法で計測された物理特性を反映しており, 生体を知るための豊富な情報を含んでいます. 人体の広い範囲を 1 mm 以下の分解能で記録することや, 空間+時間の 4 次元の計測も可能であり, そのデータ解析方法には工夫の余地が多分に残されています. 画像には診断結果という明確なカテゴリが付属することが多く, 画像処理, パターン認識の応用先としても古くから盛んに研究されています.

最近では, 大量に収集された医用画像を用いて生体の完全理解を目指した「計算解剖学」というプロジェクトも進行しています. 膨大な個体数の画像データに基づき個体差のある解剖構造を統計数的に記述し, それを各患者画像の人体構造知識抽出に利用することで, 画像診断・治療技術の高度化・医学教育などに貢献する, 情報工学, 数学, 医学を横断したプロジェクトです.

今回, PRMU, MI, IE 研究会では, このような医療における多次元大規模データの解析についての最新動向を議論するためのテーマを企画致しました. 多種・多様・多量の医用画像を解析するための基盤技術, 応用研究についての演題を募集致します. テーマ企画として, 多次元画像の統計解析に関する最新動向の特別講演, 医療画像解析と治療に関するトップカンファレンスである MICCAI で議論されている研究の紹介を予定しております.

なお, テーマ以外の論文を集めた一般セッションも開催致しますので, こちらへの御投稿もよろしくお願い申し上げます.

PRMU 研究会テーマ担当: 目加田慶人(中京大)・

高橋正樹(NHK 技研)・芳 世竈(おもん)・

栄藤 稔(NTT ドコモ)・大町真一郎(東北大)

・6月29日(金), 30日(土) 早大 [4月6日(金)]

テーマセッション: 自然言語とパターン認識の境界 (PRMU, NLC 研究会共催)

文書や画像の内容理解, 音声認識や Web サービスからもたらされる大量の言語情報からの知識抽出など, パターン認識と言語処理との統合の必要性は近年ますます高まっています. 例えば, 文書理解の観点からは, 大量のテキストと, 図表, 写真, 挿絵などとの意味的関係を認識することが求められています. パターン認識の観点からは, 大量に収集・蓄積されたメディア情報から価値ある情報を抽出したり選択したりするために, テキスト処理も援用した意味処理への期待が高まっています. 更に, ヒューマンインタフェースにおいても, 言語としての音声対話だけではなく, これと同期した人間の顔や表情, 身振りや手振りを認識することが望まれています.

このように, 実世界のデータに対する高度な処理を実現する上で, パターン認識と言語処理との統合は避けて通れないテーマであると考えられます. これには, 個々の要素技術の追求はもとより, 情報やアルゴリズムの統合のための視点や抽象度, 情報や意味の表現方法, 両者の認識過程でのインタラクションの実現といった課題を解決するため, 新しい手法やアルゴリズムが必要です. また, 膨大なデータが利用可能になりつつあることから, 大量の情報から効率良く必要な知識を抽出するための新しい理論や基盤に関する研究も必要であると考えられます.

このような観点のもとに、自然言語とパターン認識の両分野の境界の領域から研究の新しい発展の方向を見いだすべく、PRMU 研究会と NLC 研究会の共催で、「自然言語とパターン認識の境界」のテーマセッションを企画致しました。研究発表のほか、テーマに関する特別講演や討論なども企画しております。マルチメディアデータの意味理解や構成要素の抽出・解析、関連するインタフェース、大量のテキストデータを対象とするパターン認識技術など、様々な話題を期待しております。また、本テーマセッションの他に一般セッションの発表も受け付けますので、多数の御投稿、御参加をお待ち申し上げます。

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

PRMU 研究会幹事宛

E-mail : prmu-kanji@mail.ieice.org

——四国支部における開催——

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 宮寺庸造

幹事 小尻智子・渡辺健次 幹事補佐 森田裕介

日時 3月10日(土) 9:50~17:00

会場 香川高等専門学校詫間キャンパス (三豊市詫間町香田551. <http://www.kagawa-nct.ac.jp/prospectus/accessmap/access.html> 宮武明義)

議題 主体的学習支援環境／一般

午前 (A) (9:50~13:30)

1. テスト駆動型開発手法を用いた Java プログラミング学習システムでの誤りコード指示機能の実装 ○福山裕輝・船曳信生・中西 透・渡邊 寛・天野憲樹 (岡山大)
2. Java プログラミング学習支援システムの穴埋め問題機能の拡張と授業への適用 ○伊永洋輔・船曳信生・中西 透・渡邊 寛・天野憲樹 (岡山大)
3. C プログラミング演習のための e ラーニングシステムの試作 ○篠原義和・宮武明義 (香川高専)
4. ボードゲームの戦略プログラミングを題材とした Java 演習支援一着手確認モジュールの導入と大会支援サーバの GUI の改良 ○山田航平・富永浩之 (香川大)
5. 情報視覚化を活用したオブジェクト指向プログラミング教育支援システムの設計と実装 ○大城正典・永井保夫 (東京情報大)
6. プログラミング言語教育用 Web プレゼンテーションの作成・編集ツールの開発 ○上西秀和・室田真男 (東工大)

午後 (A) (13:30~16:30)

7. ネットワーク学習支援を目的とした経路制御シミュレータとその改善状況 ○川西千晶・堀 幸雄・今井慈郎 (香川大)
8. ネットワーク技術学習のためのネットワーク図の多角的な表示方法の検討 ○菊谷太郎・孫 一・柏木治美・大月一弘 (神戸大)
9. Web を用いたプレゼンテーション・スキルアップ支援システム—ユーザ間の相互評価と発話音声の自動評価による学習支援— ○原田和樹・伊輪美嬉・和田守美穂 (松江高専)
10. プレゼンテーション・リハーサルにおけるレビューの指摘を収集・整理・検討するための議論支援システム

- 徳永勝也・岡本 竜 (高知大)・柏原昭博 (電通大)
11. 話題構造推定と作成者意図との矛盾点検出に基づいたスライド作成支援 ○山添文寛・小尻智子 (関西大)
12. 複数のプレゼンテーション・リハーサル結果を比較検討するためのデータ閲覧方法 ○白山裕美子・岡本 竜 (高知大)
13. 部品間の包含関係を考慮したカスタマーレビューからの商品 PR エピソードの抽出 ○岡 祥満・小尻智子 (関西大)
14. 大学生が作成したハンドアウトの有用度に応じた書き込みの検討 ○足立真乙・中山 実 (東工大)・梶井芳明 (学芸大)

午前 (B) (10:00~13:30)

15. ブレンド型授業の設計支援システムの利用評価 清水隼人・○宮地 功 (岡山理科大)
16. 眼球運動測定による e ラーニング学習者の主観難易度推定 ○繁田亜友子・濱本和彦・野須 潔 (東海大)
17. 能動的インターフェイスに学習フィードバック機能を有する物理 e-learning 教材の開発と評価 ○岡崎雄祐・室田真男 (東工大)
18. ライフログを活用した英会話学習支援システムの開発と評価 ○仲谷佳恵・室田真男 (東工大)
19. 英語長文読解学習のためのクロスワード・パズル自動生成手法 ○西 勇樹・小尻智子 (関西大)
20. 問題間関係への気づきを促進する数学学習支援システムの構築 ○野上裕介・小尻智子 (関西大)

午後 (B) (13:30~17:00)

21. グラフ理論ライブラリ Arena の構築と授業への適用 ○丸岡将大・松下浩明 (香川高専)
22. 確率グラフィカルモデルを用いた姿勢判別手法の提案及び作業姿勢分類への応用 ○岡本 勝・赤井悠子・松原行宏 (広島市大)
23. 電子棚札による顔認証機能付き出席管理システム ○岡 京亮・菱田隆彰・坂本将暢・中村栄治 (愛知工大)
24. iPad を用いた英語学習支援システムの開発 ○山下祐樹・高城秀之・森 和憲 (香川高専)
25. すきま学習におけるスマートフォン利用可能性及び書籍・レジメ利用との比較 ○松島広樹・永岡慶三 (早大)
26. モバイル端末を用いたウォークラリー型地形図学習支援システムの開発 ○福田貴昭・田中久治・渡辺健次・岡崎泰久 (佐賀大)
27. 周辺のトンボ情報共有機能を備えたトンボ図鑑 iOS アプリの開発 ○佐藤之彦・田中久治・渡辺健次・岡崎泰久 (佐賀大)
28. 拡張現実感を用いたタイピングスキル学習支援環境の構築 ○辻本 進・曾我真人・瀧 寛和 (和歌山大)
29. データグローブを用いたリング皮むき学習支援環境の設計と構築 ○太田沙織・曾我真人・瀧 寛和 (和歌山大)

午前 (C) (10:00~13:30)

30. 日本とタイにおける携帯電話の絵文字認識相違 ○塗木京平・ソムムン ボクボン・永岡慶三 (早大)
31. 集合知プログラムと非出題リストの組み合わせによる、練習問題出題機能 飯高敏和 (熊本学園大)
32. オープンソース・ソフトウェア利用マニュアル管理システムの開発と大学院演習への適用 村上幸一 (香川高専)・李 田財・○船曳信生・野上保之 (岡山大)
33. 読みの困難を持つ生徒に対応した文章提示システムの評価—漢字なし文章における読み困難の低減効果— ○村山慎二郎・青木恭太 (宇都宮大)・原田浩司・

荒川一志（鹿沼^{ひま}小）・新井田孝裕・
小田部夏子（国際医療福祉大）

34. 研究ログ探索スキーマによる研究コミュニティ知共有の活性化
○大塚将斗・柏原昭博（電通大）
35. 初歩の自己調整者の成長を促す自己調整モデルに基づいた支援システム
○張 セイ・森本康彦（学芸大）・
中村勝一（福島大）・宮寺庸造（学芸大）
- 午後（C）（13：30～16：50）
36. 個別学習活動アウェアネスに基づいた協調学習支援インタフェース
○田中淳也（関西大）・林 佑樹（名大）・
小尻智子（関西大）
37. Web ページに対する書き込みが付加された文字列を用いた各学習者に適した書き込みの推薦手法
○権田裕治・
富永裕貴・小林慶太・國宗永佳・新村正明・
不破 泰（信州大）
38. ユーザの学習要求に応じた講義コンテンツの自動生成システムに関する研究
○松本 貢・齋藤拓也・松本駿佑・
佐藤久仁哉・林 敏浩・八重樫理人（香川大）
39. 研究活動文脈の作業横断的抽出・組織化手法とその蓄積活用支援
○大沼 亮・中山祐貴・神長裕明（福島大）・
森本康彦・宮寺庸造（学芸大）・中村勝一（福島大）
40. 主体的学習における知識の外化・検証を通じた知識洗練化支援—再学習のためのハイパー学習空間構築システムの設計—
○成田幸紀・岡本 竜（高知大）
41. Web 調べ学習における学習シナリオ作成支援とその評価
○秋山直登・柏原昭博（電通大）
42. フルオンライン学習でのノートテイキング活動への学習者特性の効果
○中山 実（東工大）・六浦光一（信州大）・
山本洋雄（東工大）
43. 履修履歴を用いた難易度別時間割による教育支援
○西森友省・堀 幸雄・今井慈郎（香川大）
44. Web を用いたマークシート方式テスト支援機能の拡張
○高木省吾・船曳信生・中西 透・渡邊 寛・
天野憲樹（岡山大）

◆香川高等専門学校共催

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 5月26日（土）近畿大東大阪キャンパス [3月12日（月）]
テーマ：インタフェース技術と学習支援システム／一般
- 6月23日（土）名大 [4月9日（月）] テーマ：教育・学習支援に対する新展開／一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡辺健次（佐賀大）

TEL [0952] 28-8828

E-mail : watanabe@is.saga-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

★マイクロ波研究会（MW）

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 西川健二郎・加屋野博幸

幹事補佐 佐藤 圭・鴨田浩和

日時 3月1日（木） 9：00～17：15

2日（金） 9：00～16：15

会場 佐賀大学本庄キャンパス理工学部大学院棟301講義室（佐賀市本庄町1. 佐賀駅バスセンターからバスで約20分。「4番乗り場」から市営バス11番相応行または12番東与賀行で「佐大前」下車。「4番乗り場」から市営バス63番佐賀大学・女子短大前行で「佐大前」下車，佐賀駅からタクシーで約15分，佐賀空港からタクシーで約20分。 <http://www.saga-u.ac.jp/access/> TEL [0952] 28-8654 田中中行)

議題 マイクロ波一般

1日午前 第1回「マイクロ増幅回路の設計・製作」学生コンテスト受賞者による特別講演

1. [特別講演] スタブ整合回路を用いたL帯高利得1段ソース接地増幅器
○大西智也・川崎健吾・松永 樹（佐賀大）
 2. [特別講演] 利得偏差0.08 dBpp/200 MHzを達成する1 GHz帯小型FET増幅回路
○崎原孫周・ウリントヤ・
上原秀幸・大平 孝（豊橋技科大）
 3. [特別講演] 集中・分布定数整合回路付き低消費電力L帯1段ソース接地増幅器
○上原達摩・牛嶋 優・西村隼人・
坂本竜也（佐賀大）
 4. [特別講演] 小型高利得1 GHz帯分布FET増幅回路
○谷村晃太郎・ウリントヤ・上原秀幸・
大平 孝（豊橋技科大）
 5. [特別講演] 特性調整機能付き増幅回路の設計
野地紘史・○福田 豪（東京理科大）・川崎繁男（JAXA）
 6. [特別講演] 分布定数インピーダンス整合回路を用いたL帯高利得2段ソース接地増幅器
○川崎健吾・大西智也・
坂井博敏・坂本竜也・牛嶋 優（佐賀大）
 7. [特別講演] 優れた帯域平坦特性を有する1 GHz帯2段高利得増幅器の開発
○中谷圭吾・川崎直人・堀田雅之・
澤原裕一・石崎俊雄（龍谷大）
 8. [特別講演] 集中・分布定数整合回路付き低消費電力L帯2段ソース接地増幅器
○牛嶋 優・上原達摩・西村隼人・
川崎健吾（佐賀大）
 9. [特別講演] フィードバック回路で安定化を施した1 GHz帯2段小型増幅器の開発
○澤原裕一・堀田雅之・
川崎直人・中谷圭吾・石崎俊雄（龍谷大）
- 1日午後 マイクロ波一般（13：15～）
10. 並列共振型入力2倍波処理回路を用いたX帯高効率GaN高出力増幅器
○内田浩光・大塚浩志・山中宏治・
小山英寿・中山正敏・平野嘉仁（三菱電機）
 11. 高調波整合による100 W超出力GaN高出力増幅器の効率向上についての検討
○山中宏治・湯之上則弘・茶木 伸・
中山正敏・平野嘉仁（三菱電機）
 12. The New RF Modulator Schemes for Wide Band Signals
○Alexander N. Lozhkin・Michiharu Nakamura（Fujitsu Labs）
 13. [特別講演] マイクロ波工学の研究・教育に携って
相川正義（佐賀大）

IEEE MTT-S Japan Chapter 特別講演

14. [特別講演] 2011年ヨーロッパマイクロ波会議出席報告

○堀井康史(関西大)・廣田明道(三菱電機)・
陳 春平(神奈川大)・河合邦浩(NTTドコモ)・
山中宏治(三菱電機)・ボカレル ラメシュ(九大)

2日午前 マイクロ波一般

1. 伝送線路帰還 FET 発振回路の Q ファクタ解析及び実験
○崎原孫周・ウリントヤ・上原秀幸・大平 孝(豊橋技科大)
2. 2重自己注入同期広帯域・低位相雑音 VCO の試作
○津留正臣・川上憲司・谷口英司・檜枝護重(三菱電機)
3. 複数のパルス信号を用いたサブハーモニック注入同期発振器
○堤 恒次・津留正臣・谷口英司(三菱電機)
4. 正帰還型 Push-Push 発振器を用いた発振器アレー
○高田健太・川崎健吾・田中高行・相川正義(佐賀大)
5. 誘電損を有する開口結合空洞共振器のモード解析
森山伸一(九工大)
6. 直列共振回路装荷型ヘアピン可変 BPF
○橘川雄亮・
田島賢一・川上憲司(三菱電機)

2日午後 マイクロ波一般

7. 結合線路を用いた広帯域ブランチラインカプラの耐電力性
○河合 正・林 俊貴・榎原 晃・太田 勲(兵庫県立大)・
佐藤 圭・鈴木恭宜・岡崎浩司・檜橋祥一(NTTドコモ)
8. 広帯域 2 周波共用スタック化方形マイクロストリップアンテナ
○深堀峻介・藤本孝文(長崎大)
9. A Highly Miniaturized Voltage Controlled Impedance Transformer Employing Periodically Arrayed InGaP/GaAs Diodes for Application to Matching Components on MMIC
○Young Yun・Jang-Hyun Jeong・Eui-Hoon Jang・
Sung-Jo Han・Hong-Seung Kim・
Nak-Won Jang(Korea Maritime Univ.)
10. グラウンドスルーホールランド共通化 NSMD パッド構造を用いた異種基板間 BGA 接続構造の不要漏洩抑圧に関する検討
○湯浅 健(三菱電機)・都築秀樹(三菱電機エンジニアリング)・
森本卓男・大和田 哲・米田尚史(三菱電機)
11. RF 直交アンダーサンプリング法によるスペクトラムセンシング技術の検討
○奥泉良一(東京理科大)・
山口 陽(NTT)・村口正弘(東京理科大)
12. ミリ波・サブミリ波領域の高精度導波管ベクトルネットワークアナライザ測定技術開発
○堀部雅弘・岸川諒子(産総研)

◆IEEE MTT-S Japan Chapter 共催, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE AP-S Fukuoka Chapter 協賛

◎1日午前中の発表は、昨年12月にMWE2011実行委員会と共同で実施した、学生を対象とした第1回「マイクロ増幅回路の設計・製作」コンテストにおいて、53件の応募のうち、特に優れた特性を達成し、栄えある以下の各賞を受賞した学生会員による特別講演です。最優秀賞(1): 基底利得が最大のもの/優秀賞(2): (1)を除いて、20%比帯域での利得偏差が最小のもの。ただし基底利得が1段当たり8dBを超えること/優秀賞(3): (1)(2)を除いて、基底利得が1段当たり8dBを超えるものの中で消費電力が最小のもの/チャレンジ賞/特別賞(4): 回路構成がユニークなものなど。

昼休みに受賞学生ランチミーティングを実施致しますので、御参加下さい。

◎1日研究会終了後に懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。

☆MW研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月20日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: マイクロ波超伝導, マイクロ波一般

【問合先】

佐藤 圭(NTTドコモ)
TEL [046] 840-6230, FAX [046] 840-3789
E-mail: satokei@nttdocomo.co.jp
西川健二郎(鹿児島大)
E-mail: nisikawa@ieee.org

★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂
幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修

日時 3月2日(金) 13:30~16:35

会場 鹿児島大学工学部情報工学科棟 1F 71号教室(鹿児島市郡元1-21-40. JR鹿児島中央駅から市電郡元方面行き7, 8分「唐湊(とそ)」または「工学部前」電停下車. <http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/access/index.html> TEL [099] 285-8444 大塚作一)

議題 視覚とIMQ一般

1. GPGPUを用いた透視化マルチウィンドウの一高速合成手法
○香川真哉・森 洋史・横川智教・佐藤洋一郎(岡山県立大)
2. HDR 画像のための画素連結符号化とその評価方法
杉山賢二・相良直哉・○本土雄大(成蹊大)
3. マルチメディアコンテンツの音源の音量・種類による留意点への影響
○片山裕基・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘(富山大)
4. 2D 映画と 3D 映画視聴時における輻輳眼球運動, SSQ, CFF の分析
○川村祐太・佐野啓介・小玉博也・角田尚貴・
洪田優輝・河内祐樹・山田光穂(東海大)
5. 3D 映像の表示輝度が及ぼす生体影響の主観的評価
○高橋恭佑・中口俊哉・岡本隆太郎・下山一郎・
三宅洋一(千葉大)
6. 両眼視差と輪郭に基づく奥行き知覚の個人差に関する検討
○山下駿登・木原 健・大塚作一(鹿児島大)
7. NIRS を用いた画像の繰り返し提示による脳血流への影響
○上田愛美・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘(富山大)・
杉本 修・内藤 整(KDDI 研)

【問合先】

杉山賢二(成蹊大)
E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp
◎最新情報は IMQ 研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>) に掲載致します。

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 木村文治 副委員長 漆谷重雄

幹事 萬代雅希・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 鈴木 光 副委員長 浅見 徹

幹事 村山純一・堀 賢治 幹事補佐 外山将司・田坂和之

◎本研究会はNS研究会とIN研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月8日(木) 9:30~12:20

9日(金) 9:30~16:20

会場 フェニックス・シーガイア・リゾート (<http://www.seagaia.co.jp/japanese/access/>)

議題

8日 車間通信・省電力(会場1)(9:30~10:50)

IN-1. LTEを用いたpull型車間通信方式の一検討

○横堀 充・阿相啓吾・竹本勇一郎・酒井淳一・青山高久・伊藤 快(パソニック)

IN-2. 歩行者・通常車両を含めた交差点内車両衝突回避支援システム(I-VCASS)の開発

○堺 司行・伊佐政輝・梅本峻弥・和田友孝・岡田博美(関西大)

IN-3. 送信ノード数に応じたアクティブ期間の動的変更による低遅延・低消費電力センサネットワーク制御方式

○富田和宏・小室信喜・阪田史郎(千葉大)

IN-4. コンテンツセントリックネットワークにおけるキャッシュ配置管理に基づく低消費電力化

○今井悟史(富士通研)・ライプニッツ 賢治(NICT)・村田正幸(阪大)

無線ネットワーク(会場1)(11:00~12:20)

IN-5. 無線マルチホップネットワークにおけるトークン生成レートに基づく複数優先フローQoS保証のための受信機会制御方式

○高瀬琢磨・小室信喜・阪田史郎・関屋大雄・塩田茂雄(千葉大)

IN-6. モバイルアドホックネットワークにおけるマルチフローを考慮したQoS向上ルーティング方式

○針生 健・小室信喜・阪田史郎(千葉大)

IN-7. 隣接関係を保存した無線ノード位置推定手法の性能評価

○伊藤 啓・松垣博章(東京電機大)

IN-8. 高信頼高スループット無線LAN通信手法

○中川雄太・松垣博章(東京電機大)

インタークラウド・サーバ配置(会場2)(9:30~10:50)

IN-9. クラウド間連携のためのIP-VPN制御方式の検討

○上水流由香・波多浩昭(NTTコミュニケーションズ)

IN-10. クラウドデータセンタ間冗長ネットワークアーキテクチャの一提案

○小山高明・井上朋子・岸 寿春・永渕幸雄・北爪秀雄(NTT)

IN-11. クラウドサービスにおける仮想サーバ配置問題に関する考察

○朝倉浩志・山田博司(NTT)

IN-12. メトロポリス法を用いたシステム大域的秩序の自律分散的形成技術の提案及び仮想計算機配置問題への応用

○作元雄輔・会田雅樹(首都大東京)・下西英之(NEC)

自律分散・P2P(会場2)(11:00~12:20)

IN-13. 自律分散的に形成したクラスタ構造の動的環境への適応性評価

○増田健太(首都大東京)・

高野知佐(広島市大)・会田雅樹(首都大東京)

IN-14. FRT-2-Chord: 効率のよいルーティングが汎用的に可能なDHTアルゴリズム

○安藤泰弘・長尾洋也・宮尾武裕・首藤一幸(東工大)

IN-15. P2P Massively Multi-player Online Role Playing Gameにおけるゲーム情報の悪用を防ぐ分散管理手法の提案と評価

○山崎弘太郎・妙中雄三・若原 恭(東大)

IN-16. オーバレイネットワークによるリンクアグリゲーション手法を用いたデータ配信システム

○瀧口貴史・杉崎義雄・水野 修・浅谷耕一(工学院大)

端末アプリケーション(会場3)(9:30~10:50)

IN-17. S/Wアシスト不要な時刻同期FPGA

尾形幸亮(三菱電機)

IN-18. 端末接続履歴に基づく端末の稼働状況分析に関する検討

○角田 裕・松田勝敬(東北工大)

IN-19. 再起動によるAndroidアプリ安定化手法の評価

○荒井大輔・堀 賢治・吉原貴仁(KDDI研)

IN-20. 靴型ヒューマンインタフェースを用いたスマートフォン・システムの実装と実験

○高落 要・渡辺一弘・高見一正(創価大)

災害対策(会場3)(11:00~12:20)

IN-21. 都市災害を想定した減災情報サービスのユースケースの提案

○山本 翔・隆 晃人・倉田 篤・浅谷耕一・水野 修(工学院大)

IN-22. すれちがい通信を利用したリアルタイム災害時避難誘導

○藤原明広・巳波弘佳(関西学院大)

IN-23. パニック型災害における非常時緊急救命避難支援システム(ERESS)の開発—バッファリングSVMによる災害検知アルゴリズム—

○森 和也・津高健太郎・和田友孝(関西大)・大月一弘(神戸大)・岡田博美(関西大)

IN-24. パニック型災害における非常時緊急救命避難支援システム(ERESS)の開発—災害検知のための被災者行動分析システム—

早川洋平・津高健太郎・石田裕介・和田友孝(関西大)・大月一弘(神戸大)・岡田博美(関西大)

仮想ネットワーク(会場4)(9:30~10:50)

NS-25. 有線仮想化に向けた無線LAN時間領域リソース制御

○中内清秀・荘司洋三・西永 望(NICT)

NS-26. ヘッドを仮想化したラベルフロースイッチングネットワーク

○清水 洋・川野哲生(NICT)

NS-27. マルチドメインSDTNの実現に向けたグローバルネットワーク構築の実証実験

○磯貝彰則・福田亜紀・増田暁生・平松 淳(NTT)

NS-28. 自己組織型仮想網制御手法の計算時間削減手法の提案と評価

○水元宏治・荒川伸一・小泉佑揮・村田正幸(阪大)

省電力ネットワーク(会場4)(11:00~12:20)

NS-29. 輻輳抑制を考慮した省電力ネットワーク制御法

○野口 烈・巳波弘佳(関西学院大)

NS-30. 信頼性を考慮した省エネルギーレイヤ2ネットワーク設計法

米津 遥(慶大)・栗本 崇(NTT)・石井大介・岡本 聡(慶大)・大木英司(電通大)・山中直明(慶大)

NS-31. 数理論問題に基づく省電力ネットワーク設計

○今井悟史・清水 翔・宗宮利夫(富士通)

NS-32. 省電力ネットワークを実現する高速トポロジー構築手法

○早田祥弘・竹中豊文(日大)

TCP・フロー制御(会場5)(9:30~10:50)

NS-33. 高速レスポンスを実現する適応型通信性能改善技術の検

- 討 ○小口直樹 (総研大/富士通研)・阿部俊二 (NII)
- NS-34. 誤り訂正技術を用いた TCP レート制御の検討
○佐当百合野・西村 祥 (北九州市大)・嶋村昌義 (東工大)・古閑宏幸 (北九州市大)
- NS-35. TCP バージョン識別と EDCA 制御を併用した TCP 差別化手法
○園田和秀・小倉一峰・甲藤二郎 (早大)
- NS-36. ネットワーク状況の推定を利用した TCP 輻輳制御
○根本洋平・小倉一峰・甲藤二郎 (早大)
- 網アーキテクチャ (会場 5) (11:00~12:20)**
- NS-37. 動的コンテンツ選択に対する In-Network におけるトラヒック解析の応用
○西田祐二・中尾彰宏 (東大)
- NS-38. 多様なサービスプロバイダの収容を可能とするミドルレイヤ型ネットワークアーキテクチャの検討
○嶋村昌義 (東工大)・山中広明 (NICT)・飯田勝吉 (東工大)・石井秀治・河合栄治 (NICT)・鶴 正人 (東工大)
- NS-39. 高性能中継ノードを用いたストリーミングサービスのための透過型キャッシングアルゴリズムの提案
○西村 祥 (北九州市大)・嶋村昌義 (東工大)・古閑宏幸 (北九州市大)・池永全志 (九工大)
- NS-40. 高性能中継ノードにおけるフロー情報を用いた適応型オンライン圧縮手法の性能評価
○芳野萌生・西村 祥 (北九州市大)・嶋村昌義 (東工大)・古閑宏幸 (北九州市大)
- IMS・モバイル (会場 6) (9:30~10:50)**
- NS-41. IMS ネットワークにおける AS での発信者属性取得に関する一考察
○野副忠佑・宇多信行 (NTT)
- NS-42. スマートフォンネットワークに対するフロー制御技術導入効果の検証と一考察
○田中敦樹・山本幸枝・越後康宏 (NTT ドコモ)
- NS-43. 複数端末を用いて再生停止時間を削減するモバイル動画配信システムの実装と評価
○堀内岳志・大溝拓也・飯田勝吉 (東工大)
- NS-44. 再試行型待ち行列による自動音声応答装置と顧客の再呼があるコールセンタの性能解析
○橋爪康佑・フンドック トゥアン・笠原正治・高橋 豊 (京大)
- 移動管理・制御 (会場 6) (11:00~12:20)**
- NS-45. 移動端末の移動範囲予測に基づいたページングエリア制御
○岩井孝法 (NEC)・田辺智行 (阪大)・吉田裕志・吉川隆士 (NEC)
- NS-46. MAP RESET 受信時における位置登録処理の改善に関する一考察
○西村雅樹・芝原知樹・松川達雄 (NTT ドコモ)
- NS-47. 事業者による移動端末制御への OpenFlow の適用
○狩野秀一・飯星貴裕・森田 弦・辻 聡 (NEC)
- NS-48. Mobile IPv6 を用いた遠隔ライブマイグレーションにおける通信途絶時間短縮に関する研究
○山田幸太郎・小林孝史 (関西大)
- アドホック NW・車車間通信 (会場 7) (9:30~10:50)**
- NS-49. 車車間通信における許容遅延を考慮した BSM のレート制御
○小倉一峰・高井峰生・甲藤二郎 (早大)
- NS-50. Admission Control for Assuring Communication Quality in VANETs integrated with Wireless LAN Mesh Networks
○Do Trong Tuan (Hanoi Univ.)・Nobuyoshi Komuro・Shiro Sakata (Chiba Univ.)
- NS-51. OLSR における共謀攻撃検出手法の提案
○坂本宗一朗・竹中豊文 (日大)
- NS-52. A Wormhole Attack Mitigation Strategy Based on Mobile Agent
○Bo Yang・Ryo Yamamoto・Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)
- 省電力無線 LAN (会場 7) (11:00~12:20)**
- NS-53. ウェイクアップ機構を備えた無線 LAN メッシュネットワークにおける通信経路制御方式とその評価
○松田祐輝・阿部成美・針生 健 (千葉大)・阿部憲一・伊藤哲也 (NEC 通信システム)・小室信喜・阪田史郎 (千葉大)
- NS-54. ウェイクアップ機構を備えた無線 LAN メッシュネットワークにおける AP 起動方式とその評価
○阿部成美・松田祐輝・針生 健・小室信喜・阪田史郎 (千葉大)・阿部憲一・伊藤哲也 (NEC 通信システム)
- NS-55. Radio-On-Demand WLAN 用ウェイクアップ受信機の省電力化に関する検討
○木村貴寿・近藤良久 (ATR)・四方博之 (関西大)・湯 素華 (ATR)・伊藤哲也 (NEC 通信システム)・大橋正良 (ATR)
- NS-56. 無線 LAN 信号を用いたウェイクアップ信号のための符号化方式
○岩井優仁・原 幸宏・伊藤哲也 (NEC 通信システム)・近藤良久・木村貴寿 (ATR)・四方博之 (関西大)
- コンテンツ配信 (会場 8) (9:30~10:50)**
- NS-57. コンテンツ配信のためのインターネットワーク誘導情報のアクティブ配布方式の試作評価
○柳生智彦 (NEC)・柿田将幸・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)
- NS-58. ユーザとネットワークへの普及率を考慮した Bread-crumbs 方式の性能評価
○神藤慎二・筒井達大・山本 幹 (関西大)
- NS-59. 最適キャッシュ配置に基づくクエリ誘導方式
○花澤雄紀・巳波弘佳 (関西学院大)
- NS-60. インターネットワーク誘導のためのコンテンツ/ロケーションマッピングに関する一検討
○川端弘樹・橋本憲祐・高木由美・太田 能・玉置 久 (神戸大)
- ストリーミング・映像配信 (会場 8) (11:00~12:20)**
- NS-61. ストリーミング動画配信機構におけるアプリケーション層レベルのフィードバック型転送レート制御の解析的検討
○三村麻梨乃・増山博之・笠原正治・高橋 豊 (京大)
- NS-62. VoD サービスにおけるトリックプレイを考慮した時間分割マルチキャストの提案と評価
○村越一輝・中村嘉隆・白石 陽・高橋 修 (公立はこだて未来大)
- NS-63. 帯域推定を利用した Adaptive HTTP Streaming
○野崎寛也・小倉一峰・甲藤二郎 (早大)
- NS-64. 帯域保証/ベストエフォートサービスの連携による P2P 型高品質マルチアングル動画配信方式
○高橋和也・廣田悠介 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)
- 9 日午前 ホームネットワーク (会場 1) (9:30~10:50)**
- IN-1. OSGi を用いたホーム ICT 基盤におけるバンドルのリソース管理に関する検討
○黒田裕士・近藤重邦・山崎育生 (NTT)
- IN-2. 電源供給ノードを考慮した 6LoWPAN/RPL 準拠ホームセンサネットワーク長寿命化方式とその評価
○滝澤慎也・小室信喜・阪田史郎 (千葉大)
- IN-3. 侵入者検知のためのセンサ配置問題
○中園雄太・巳波弘佳 (関西学院大)
- IN-4. 障害物を考慮した IEEE 802.16j ネットワークの性能評価及び推定手法
○伊勢悠輝・長谷川 剛・谷口義明・中野博隆 (阪大)

輻輳制御 (会場 1) (11:00~12:20)

IN-5. バースト入力に対するタイムアウト付きキャッシュ設計法 ○畠山創太・会田雅樹 (首都大東京)・石塚美加 (NTT)

IN-6. GridFTP における並列転送方式の高速化を実現する輻輳制御方式に関する研究 ○小島航史・中里秀則 (早大)

IN-7. 協力的ユーザを考慮したユーザ間対等即時受付制御の呼損率改善 ○宮田純子・山岡克式 (東工大)

IN-8. 一般電話収容数向上を目的とした緊急時通信制御
○片桐大典・宮田純子 (東工大)・馬場健一 (阪大)・山岡克式 (東工大)

経路制御 (会場 2) (9:30~10:50)

IN-9. 全ての IPv6 アドレスへのネーム自動設定により人が扱い易い情報を創出する Auto Name 機能
○北村 浩 (NEC/電通大)・阿多信吾 (阪市大)・村田正幸 (阪大)

IN-10. 結合振動子のカオスの性質を利用した送信レート制御技術
○高橋友里 (首都大東京)・高野知佐 (広島市大)・作元雄輔・会田雅樹 (首都大東京)

IN-11. スケーラブルな広域ルーティング方式に向けた到達性保証手法
○島村祥平・長尾洋也・宮尾武裕・首藤一幸 (東工大)

IN-12. 二元トラヒック環境におけるパケットロス率の特性解析
○松岡史朗・宮田純子・山岡克式 (東工大)

クラウドネットワーク (会場 2) (11:00~12:20)

IN-13. クラウド環境におけるライブマイグレーションとトラヒックエンジニアリングの統合制御の有効性評価
○市原裕史・小泉佑揮・大崎博之 (阪大)・波戸邦夫・村山純一 (NTT)・今瀬 真 (阪大)

IN-14. クラウドのライブマイグレーションによるネットワークの不安定化を抑制するトラヒックエンジニアリング手法の提案と評価
○関 元洋・小泉佑揮・大崎博之 (阪大)・波戸邦夫・村山純一 (NTT)・今瀬 真 (阪大)

IN-15. クラウド時代に求められるオーバーレイネットワークに関する一考察
○野上耕介・高橋英士・大須賀 徹・谷口邦弘 (NEC)

IN-16. クラウドネットワークにおける分散管理システムの提案
○永瀬幸雄・岸 寿春・井上朋子・小山高明・北爪秀雄 (NTT)

通信方式 (会場 3) (9:30~10:50)

IN-17. IP ヘッダの TTL による悪意のある通信の識別
○山田 亮・戸部和洋・後藤滋樹 (早大)

IN-18. 省電力経路制御におけるトポロジ情報を利用した削減対象リンク選択方式
○岩村幸歩 (九工大)・田村 瞳 (福岡工大)・川原憲治・尾家祐二 (九工大)

IN-19. TCP フローのデータ転送移行による省電力化のためのリンク利用時間の集約方式
○窪園晃一 (九工大)・田村 瞳 (福岡工大)・川原憲治・尾家祐二 (九工大)

IN-20. 海中音響通信における相対移動速度推定手法に基づくチャネル利用率最大化手法とその評価
○上田北斗・川原圭博・浅見 徹 (東大)

コンテンツ管理 (会場 3) (11:00~12:20)

IN-21. 実世界データ流通フレームワークの検討
○筒井章博・川幡太一・石塚美加・依田育生 (NTT)

IN-22. 匿名でデータを取引流通させる実世界データ管理エージェントのアーキテクチャ
○川幡太一・高杉耕一・依田育生 (NTT)

IN-23. 実世界データ管理エージェントのプロトタイプ実装と評価
○前大道浩之・井上知洋・神谷正人・依田育生 (NTT)

IN-24. Named Data Networking におけるコンテンツ管理アプリケーションの評価
○楠 慶・川原圭博・浅見 徹 (東大)

網設計 (会場 4) (9:30~10:50)

NS-25. Path splicing 制御方式におけるリンク容量を考慮した全域木集合決定法
○小宮山貴士・巳波弘佳 (関西学院大)

NS-26. 故障時においてもサーバへの可到達性と距離を保障する高信頼リンク決定法
○前田奈緒・巳波弘佳 (関西学院大)

NS-27. Topology Design of Physical Networks for Network Virtualization with Semidefinite Programming

○Mika Mori (NAIST)・Takuji Tachibana (Univ. of Fukui)・Kentarō Hirata・Kenji Sugimoto (NAIST)

NS-28. 大規模なマルチレイヤネットワーク設計問題における計算時間の高速化手法
○見越大樹・竹中豊文 (日大)・杉山隆太・増田暁生・塩本公平・平松 淳 (NTT)

網監視・運用 (会場 4) (11:00~12:20)

NS-29. 大規模ネットワークデータ解析のためのマルチレベルグラフィックアウト
○宮村(中村)浩子 (原子力研)・吉田雅裕 (東大)・大坐島 智 (電通大)・高橋成雄・中尾彰宏 (東大)・川島幸之助 (東京農工大)

NS-30. P2P ネットワーク解析のためのスケールフリーネットワークの可視化
○佐々木 海・Hsiang-Yun Hu・吉田雅裕 (東大)・宮村(中村)浩子 (原子力研)・大坐島 智 (電通大)・中尾彰宏・高橋成雄 (東大)

NS-31. NSI 相互運用試験のための GridARS によるネットワーク資源管理
○竹房あつ子・工藤知宏・中田秀基・高野了成・大久保克彦・岡崎史裕・柳田誠也 (産総研)

NS-32. 大規模ネットワーク監視情報における重要イベント抽出法
○木村達明・森 達哉・石橋圭介・塩本公平 (NTT)

経路制御 (会場 5) (9:30~10:50)

NS-33. ALM におけるリーフノードを考慮した予備接続による安定ツリー構築手法
○田中玄記・見越大樹・竹中豊文 (日大)

NS-34. Aggregated Multicast における Shared-Tree 選択手法
○関根裕亮・竹中豊文 (日大)

NS-35. 均等分散を用いた Smart OSPF ルーチング方式
○本間 奨・角田俊一・大木英司 (電通大)

NS-36. ドメイン分割による並列トークンパッシングシステムの一検討
○伊藤直輝・安藤康臣 (三菱電機)

障害復旧 (会場 5) (11:00~12:20)

NS-37. グラフのサイクル構造に着目した障害復旧方式の検討
○福田純一・長野純一・篠宮紀彦 (創価大)

NS-38. サイクル構造に着目した障害復旧方式の OpenFlow による有効性検証
○長野純一・福田純一・篠宮紀彦 (創価大)

NS-39. ERP と上位プロトコルの連携による高速障害切替方式
○濱田和樹・落合徳彦・北市隆一 (三菱電機)

NS-40. 東日本大震災時の実道路網トポロジに基づく Virtual Segment 方式の性能評価
○木村裕太・辻 広志・巳波弘佳 (関西学院大)

無線フロー制御 (会場 6) (9:30~10:50)

NS-41. 無線マルチホップアドホックネットワークに適した低遅延型 TCP 輻輳制御方式
○市村勇貴・甲藤二郎 (早大)

NS-42. 無線環境下における高速 TCP 間の公平性評価
○三原大輝・吉新陽介・林 佑樹・山本 幹 (関西大)

NS-43. 無線 LAN における選択的ネットワークコーディング再送に基づくマルチキャスト伝送法 ○中川美佳・田邊星児・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-44. マルチチャネル無線 LAN 環境における隠れ端末を考慮した省チャネル切替制御法 ○松田慎太郎・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

無線メッシュ NW (会場 6) (11:00~12:20)

NS-45. コグニティブ無線ネットワークにおけるマルチキャストルーティング制御アルゴリズム ○堂 佳介・巳波弘佳 (関西学院大)

NS-46. 劣通信環境におけるフローサイズ分布を考慮したマルチパス制御方式 ○深尾陽介・巳波弘佳 (関西学院大)

NS-47. 無線メッシュネットワークにおける低処理型経路制御の検討 ○川島佑毅・石橋孝一・横谷哲也 (三菱電機)

NS-48. IEEE 802.16j リレーネットワークにおけるノード間距離を考慮したノード位置調整手法 ○重藤隆文・長谷川 剛・谷口義明・中野博隆 (阪大)

センサ NW (会場 7) (9:30~10:50)

NS-49. 重量された無線センサネットワーク間の協調による負荷分散のためのルーチング手法 ○永田純子・木下和彦 (阪大)・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)

NS-50. 接続性指標に基づくセンサネットワークのエニキャストルーティング ○戸田親吾・太田 聡 (富山県立大)

NS-51. GNU Radio を用いた無線センサーネットワークによる Passive 混雑度推定 ○松本光広・小倉一峰・甲藤二郎 (早大)

NS-52. VANETs におけるフラッディングプロトコルの建物によるシャドウイングを考慮した通信特性評価 ○村上浩章・高木由美・太田 能・玉置 久 (神戸大)

P2P (会場 7) (11:00~12:20)

NS-53. P2P ライブストリーミングにおける遅延と帯域を考慮した動的オーバーレイポロジ再構築法の検討 ○川村亮太・笠原正治・高橋 豊 (京大)

NS-54. P2P ストリーミングにおけるアップロード公平性改善手法 ○中島 慧・山本 幹 (関西大)

NS-55. マルチストリーミング環境下での P2P ストリーミングにおける初期ピア配置法 ○石井智之・井家 敦 (神奈川工科大)

NS-56. 多様なルールで適応的に動作する支援ノードとピアを有する BitTorrent システムの実験的評価 ○伊藤 慶・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

9 日午後 QoS (会場 1) (13:30~14:50)

IN-57. クロスレイヤ無線通信システムにおける QoS 情報管理法 ○森 慎太郎・石井光治・生越重章 (香川大)

IN-58. 複数無線 LAN の合計スループットを最大化するための受信機制御によるアクセスポイント選択方式—無線端末の接続状態変化への対応— ○山下 豊・小室信喜・阪田史郎・塩田茂雄 (千葉大)・村瀬 勉 (NEC)

IN-59. IEEE 802.11e と DCF の混在無線 LAN 環境への受信機制御適用による動的 QoS 保証 ○渡部公介・小室信喜・阪田史郎・関屋大雄・塩田茂雄 (千葉大)・村瀬 勉 (NEC)

IN-60. 再送パケット長保持性の IEEE 802.11 DCF のグッドプットに及ぼす影響について ○池川隆司 (NTT)・岸 康人 (津田塾大)

センサネットワーク (会場 1) (15:00~16:20)

IN-61. 高密度に配置された無線センサネットワークにおける負荷分散手法 ○ダムディンスレン チョールンズレン・小南大智 (阪大)・菅野正嗣 (阪府大)・村田正幸 (阪大)・畠内孝明 (富士電機)

IN-62. 仮想センサを用いたデータネットワーク空間の拡張 ○戸部和洋・後藤滋樹 (早大)

IN-63. 多点観測型移動ターゲット捕捉センサネットワークにおける性能解析 ○前田祐樹・川原憲治 (九工大)

IN-64. バイナリセンサの位置同定法と対象物形状推定への応用 ○林 大希・塩田茂雄 (千葉大)

コンテンツ配信 (会場 2) (13:30~14:50)

IN-65. Content Espresso: 大容量ファイルのセキュアな広域共有の実現にむけて 金子晋丈 (慶大)

IN-66. 通信特性を考慮した ROI と制御信号の転送方式を用いた遠隔操作型 Visual Feedback 系 ○工藤 裕・筒井章博・依田育生 (NTT)

IN-67. 単位サイズ当りの人気度を考慮したコンテンツ複製配置法が及ぼす伝送遅延への影響 ○小原達平 (東工大)・菅原真司 (名工大)・山岡克式 (東工大)

IN-68. Automatic Originator Regulation of IMS Voice Traffic by Stateless Signaling Prioritization ○Wei Zhu・Ahmad Kamil Abdul Hamid・Masahiko Mizutani・Manabu Isomura・Yoshihiro Kawahara・Tohru Asami (Univ. of Tokyo)

自律分散ネットワーク (会場 2) (15:00~16:00)

IN-69. 自律的な領域分割を行うゾーンベースアントルーチング手法の提案と評価 ○久世尚美・若宮直紀・村田正幸 (阪大)

IN-70. 自律分散的に形成されるクラスタ構造の漸近安定性を保証するための自律調整機構 ○高山裕紀・会田雅樹 (首都大東京)

IN-71. Integrated Security Architecture for ID/Locator Split-based Networks ○Ved P. Kafle・Ruidong Li・Daisuke Inoue・Hiroaki Harai (NICT)

配送方法 (会場 3) (13:30~14:50)

IN-72. スパース制約を用いたネットワークトモグラフィにおける観測パス構築法 ○竹本和史・松田崇弘・滝根哲哉 (阪大)

IN-73. 計算サーバ間相互接続網の構造が MapReduce 処理のシャッフル完了時間に与える影響について ○松木辰真 (阪大)・木村達明・森 達哉 (NTT)・滝根哲哉 (阪大)

IN-74. 蓄積運搬転送型ルーチングにおける中継先端末選択法 ○木村共孝・滝根哲哉 (阪大)

IN-75. 情報収集・配信基盤における内部メッセージ削減方式 ○高瀬正明・阿比留健一 (富士通研)

仮想ネットワーク (会場 3) (15:00~16:00)

IN-76. 仮想 L2 ネットワークと連携した仮想デスクトップサービスの検討 ○田島佳武・有田啓史・横関大子郎・坂井 博 (NTT)・青木道宏・漆谷重雄 (NII)

IN-77. レイヤ 2 ネットワークを考慮した高速 IP 障害切替方式 ○小川裕二・川手竜介・堀内栄一・横谷哲也 (三菱電機)

IN-78. Openflow を利用した負荷分散システムとその応用 ○深見公彦・北爪秀雄・中島雅之 (NTT)

網構成・理論 (会場 4) (13:30~14:50)

NS-79. 次数相関のモデル化手法とインタネットポロジ分析への応用 ○吉原正人・塩田茂雄 (千葉大)

NS-80. 集団 on-off 到着過程によるインターネットトラヒック

同定法の検討 ○原 健三・増山博之・笠原正治・高橋 豊 (京大)

NS-81. リンク故障時の直径増加を抑制する保護リンク決定問題に対する近似アルゴリズム ○今川廣二・藤村武史・巳波弘佳 (関西学院大)

NS-82. 故障時においても直径が抑制されたリンク数の少ないネットワーク設計法 ○西田幸平・巳波弘佳 (関西学院大)

データ転送方式 (会場 4) (15:00~16:00)

NS-83. 効率的な URL フィルタリング方式に関する一検討 ○河野伸也・今野雅之・森岡千晴・山本太三 (NTT)

NS-84. 高スケーラブルかつ高速ザッピング性能を備えた E-PON マルチキャスト配信法に関する研究 ○宮本正和・佐藤裕昭 (NTT)

NS-85. ファイル転送時間短縮のための OpenFlow スイッチを用いたフロースケジューリング 岩見亮太・中山慶彦・佐藤広和・鶴 正人 (九工大)

システム構成技術 (会場 5) (13:30~14:50)

NS-86. 制御ルータの on/off 制御を考慮した電力消費量最適化システムの提案 ○本間裕大 (早大)・会田雅樹 (首都大東京)・篠原悠介・下西英之 (NEC)

NS-87. 遅延公平性を提供するための周期的バッファ昇格によるパケットスケジューラ PWB の提案と評価 ○松井 巧・嶋村昌義・飯田勝吉 (東工大)

NS-88. 帯域保証型大容量バッファ制御 岩本 久・黒田泰斗・矢野祐二 (ルネサエレクトロニクス)・山本耕次 (ルネサデザイン)・阿多信吾 (阪市大)・井上一成 (奈良高専/阪大)

NS-89. 省電力ルータアーキテクチャのための高度なメモリコントローラ ○黒田泰斗・岩本 久・矢野祐二 (ルネサエレクトロニクス)・大谷嗣朗 (日立情報通信エンジニアリング)・奥田兼三・阿多信吾 (阪市大)・井上一成 (奈良高専/阪大)・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)

光 NW (会場 5) (15:00~16:00)

NS-90. Performance of Sparse Wavelength Convertible 3R Regenerator Placement in Translucent Wavelength Switched Optical Networks ○Xin Wang・Filippos Balasis・Sugang Xu・Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

NS-91. 光トレイルネットワークにおけるトレイル多重分割方式 ○福島行信・菊本大志・陳 文傑・横平徳美 (岡山大)

NS-92. 光ネットワークにおける補助グラフに基づく省電力ルーティングの実験的評価 ○清水 翔・今井悟史・宗宮利夫 (富士通)

無線 LAN (会場 6) (13:30~14:50)

NS-93. Duty Cycle と SN 比を用いた無線 LAN アクセスポイントの最適チャネル選択手法 ○高橋由多加・中村嘉隆・白石 陽・高橋 修 (公立はこだて未来大)

NS-94. 省電力無線 LAN における複数端末の帰属先変更手順の提案 ○熊副和美・野林大起・福田 豊・池永全志 (九工大)・阿部憲一 (NEC 通信システム)

NS-95. 無線 LAN の実スループット特性に基づく寄り道経路探索の評価 ○金井謙治・赤松祐莉・甲藤二郎 (早大)・村瀬 勉 (NEC)

NS-96. IEEE802.11 無線アクセスポイントにおけるセッションベーススループット推定に関する一検討 ○岩見隆広・高木由美・太田 能・玉置 久 (神戸大)

海中センサ NW (会場 6) (15:00~16:00)

NS-97. 海中センサネットワークにおける Continuous と Selective との Hybrid ARQ を用いた MAC プロトコル評価 ○吉永真人・小倉一峰・甲藤二郎 (早大)・近藤逸人 (東京海洋大)

NS-98. Underwater Acoustic Network における消費電力削減のための一検討 ○高野敦宏 (早大)・中野翔太 (東京海洋大)・吉永真人・甲藤二郎 (早大)・近藤逸人 (東京海洋大)

NS-99. Underwater Sensor Network における, DTN ルーティング手法の一検討 ○山崎唯史・高野敦宏・小倉一峰・甲藤二郎 (早大)・近藤逸人 (東京海洋大)

分散処理・エージェント (会場 7) (13:30~14:50)

NS-100. 異なる制限時間を持つエージェントのための公平なスケジューリング方式とその実装 ○森下美希・木下和彦 (阪大)・山井成良 (岡山大)・村上孝三 (阪大)

NS-101. 多様な検索と負荷分散を両立するための仮想ノード割り当て方法 ○近藤 悟・金子雅志・福元 健 (NTT)

NS-102. 複数 M2M システムのリアルタイムな連携を可能とする分散データ交換基盤 ○上野 仁・的場一峰・阿比留健一 (富士通研)

NS-103. グラフ処理系を用いた分散システムの大規模シミュレーション ○華井雅俊・首藤一幸 (東工大)

情報処理・分析 (会場 7) (15:00~16:00)

NS-104. プライバシー保護のためのバイジアンネットワークに基づく情報推薦モデルの評価 ○伊藤道臣・松崎大樹・西園敏弘 (日大)

NS-105. ユーザコンテキストを用いた献立推薦サービスにおけるデータ構成法と性能の評価 ○津田洋輔・佐久間真帆・西園敏弘 (日大)

NS-106. ネットワーク分析を用いたテキストデータマイニング—口蹄疫問題の新聞報道について— ○申間宗夫 (佐土原高校)・荒木賢二・鈴木斎王 (宮崎大)

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月19日(木), 20日(金) 高知県立大 [締切済] テーマ: トラヒック, NW 評価, 性能, リソース管理・制御, トラヒックエンジニアリング, NW 信頼性・レジリエンシ, 一般

5月17日(木), 18日(金) NII [未定] テーマ: 高度プロトコル・ネットワーク技術 (IP 及び高位レイヤルーティング・フィルタリング, マルチキャスト, 品質・経路制御, IPNW の利用技術 (P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN), ネットワークシステム関連技術 (システム構成法, インタフェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・ミドルウェア), 一般

6月21日(木), 22日(金) 山形大 [未定] テーマ: コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・スイッチング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail : ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT)

TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT)

TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は、NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4 月 12 日 (木), 13 日 (金) 京都府中小企業会館 [締切済]

テーマ: 情報家電ネットワーク, ホームネットワーク, スマートグリッド, 省エネルギー, M2M, Participatory Sensing, モバイルネットワーク, ユビキタスネットワーク, 及び一般

5 月 17 日 (木), 18 日 (金) 東工大蔵前会館 [未定] テー

マ: ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般

6 月 21 日 (木), 22 日 (金) 函館市民会館 [未定] テーマ:

品質制御, 輻輳制御, 信頼性技術, IPTV, コンテンツネットワーク, ネットワークソフトウェア及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

村山純一 (NTT)

TEL [0422] 59-3949, FAX [0422] 59-5652

外山将司 (NTT)

TEL [0422] 59-4886, FAX [0422] 59-5652

E-mail : in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 阿部匡伸 副委員長 若原俊彦

幹事 山元規靖・杵渕哲也 幹事補佐 小西宏志

日時 3 月 8 日 (木) 9:00~17:20

9 日 (金) 9:00~17:40

会場 名桜大学総合研究所 1F 研修室 (名護市字為又 1220-1. 那

覇空港から名護バスターミナル下車 (高速バス 1 時間 45 分).

スクールバス休業中につき、名護バスターミナルから大学は、

路線バス:「名桜大学入口」下車 (歩 15 分). タクシーまたは

レンタカー利用 (約 10 分). [http://www.meio-u.ac.jp/con](http://www.meio-u.ac.jp/content/view/110/103/)

[tent/view/110/103/](http://www.meio-u.ac.jp/content/view/110/103/) TEL [0980] 51-1100 田邊勝義)

議題 ライフログ活用技術, オフィスインフォメーションシステ

ム, ライフインテリジェンス, 一般

8 日午前 オープンソース

1. 農作業情報管理のための WEB データベースシステムの開発

○細野敬太・村上幸一 (香川高専)

2. ICT を用いた農作業日誌作成支援システムの開発

○スラメット クリスタント テイルト ウトモ・村上幸一・

重田和弘 (香川高専)

3. オープンソース・ソフトウェア利用マニュアル自動生成シ

テムの試作 ○村上幸一 (香川高専)・

香川恵里奈 (香川大)・堀 有輝 (東リ)

4. オープンソースソフトウェアの自動パフォーマンス・チュー

ニング手法の提案 ○森 佑貴・村上幸一 (香川高専)

センサノード

5. Arduino Fio と MAD-SS シールドを利用したセンサノードの

試作 瀬川典久 (岩手県立大)

6. MAD-SS と DSP を用いた長距離通信可能なセンサノードの

開発 ○柏田師宏・瀬川典久・澤本 潤 (岩手県立大)・

玉置晴朗・矢澤正人 (数理設計研)

7. 非接触プロトコル自動判別高速化の検討及び評価

○山本英朗・山越公洋・森田哲之・菅沼 毅 (NTT)

8. センサネットワークアプリケーション開発のための開発環境

の構築 ○浅川和久・瀬川典久・澤本 潤 (岩手県立大)

9. 読み書き動作の判別とページ推移の分析

○渡邊栄治 (甲南大)・尾関孝史 (福山大)・

小濱 剛 (近畿大)

8 日午後 行動解析, ユーザ属性情報 (13:10~)

10. 顧客の軌跡データを利用した実購買行動解析による購買・非

購買推定 ○根本功弥・神原誠之 (奈良先端大)・

池田徹志・亀井剛次・篠沢一彦 (ATR)・

萩田紀博 (ATR/奈良先端大)

11. デジタルコンテンツ流通における消費者の制度的選好要因に

関する研究 ○加藤尚徳 (総研大)・岡田仁志 (NII)

12. スマートフォンにおける利用環境に応じた機能制御機構の提

案 ○佐藤亮太・武藤健一郎・知加良 盛・稲口 茂 (NTT)

13. 交通 IC カード利用履歴を用いた生活行動属性指標の提案

○鈴木 敬・相蘭敏子 (日立)

14. ユーザの興味と情報発信者からの影響度を融合した情報パー

ソナライズ方法の提案 ○佐藤 妙・伊藤浩二・

藤田将成・小林 稔 (NTT)

画像

15. 二次元コードのイメージ損傷に対する読み取り特性改善の研

究 ○サムレットウイット ダムリ・若原俊彦 (福岡工大)

16. 景観デザイン基準に基づいた造景画像のバランス評価

○武 輝・田邊勝義・アリ ファテヘアリム F. (名桜大)

17. 画像共有サービスにおける所有者・共有者の期待に応える画

像選択手法についての提案 ○白鷹靖子・曾根原愛里・

小館亮之 (津田塾大)・並河大地・南 裕也・

下村道夫 (NTT)

18. ペルソナ情報を用いた画像共有サービスにおける開示制御技

術の提案 ○曾根原愛理・白鷹靖子・

小館亮之 (津田塾大)・並河大地・南 裕也・下村道夫 (NTT)

音声, 健康支援

19. 音声会話とテキスト会話をシームレスに活用するオフィスコ

ミュニケーションシステムに関する一検討 ○河田博昭・

大畑博敬・秦泉寺浩史 (NTT)

20. メタボリック症候群の特定健診対応ページネットワーク

の構築 ○西村治彦・中野義明 (兵庫県立大)・

宮内義明 (中部大)・東 ますみ・

水野 (松本) 由子 (兵庫県立大)

21. スマートフォンによる家族対応食事記録の入力状況からの考

察 ○高見美樹・石垣恭子・西村治彦・

東 ますみ (兵庫県立大)・楠 雄作 (アプ)・
三好寿顕 (シャブ)・奥畑宏之 (シネス)・白川 功 (兵庫県立大)

9日午前 入力インタフェース, SNS

1. 位置情報に応じた単語予測を行う携帯端末向け辞書共有日本語入力システムの提案 ○足澤 憲・澤本 潤・杉野栄二・瀬川典久 (岩手県立大)
2. 識字のユニバーサルデザイン—GMAIS 応用の識字システム— 沢 恒雄 (遊工研)
3. 頭部の動きに対応した視線座標で対話するヒューマンインターフェースの構築 ○浜口智則・寺戸敏彦 (岐阜大)
4. 千葉大学校友会 SNS「Curio」の現状と今後の計画 ○檜垣泰彦・桜井貴文 (千葉大)・進藤啓介 (TRYWARP)・大塚成男 (千葉大)
5. 消防職員の活動経験伝承を支援する SNS の提案 ○大野光太郎 (電通大)・小川祐樹 (産総研)・諏訪博彦・太田敏澄 (電通大)

その他

6. 理解度を向上させるための補修教材作成法と小テスト判断手法を導入した学習支援手法の研究 ○趙 永為・若原俊彦 (福岡工大)
7. 就寝時の突発的な事故の防止を目的とした無侵襲・無拘束なデータ取得システム ○長谷川裕士・寺戸敏彦 (岐阜大)
8. 限界和及び限界積を用いた SIRMs ファジィ推論法 ○三石貴志・島田奈美 (流通科学大)・本間利通 (阪経済大)

9日午後 セキュリティ (12:50~)

9. 携帯電話を用いた権限移譲方式の提案 ○山越公洋・山本英朗・森田哲之・菅沼 毅 (NTT)
10. プライバシー保護されたデータに対する t 検定手法 ○菊池 亮・山中章裕・五十嵐 大 (NTT)
11. 秘匿関数計算システムによる医療データのプライバシー保護統計分析 ○濱田浩気 (NTT)・大竹茂樹 (金沢大)・五十嵐 大 (NTT)・竹之内大地 (NTT-AT)・千田浩司・富士 仁・高橋克巳・村田節子・熊田総佳 (NTT)

ライフログ

12. 位置情報ログを用いたライフログサービスの開発支援フレームワーク ○高橋昂平・下條 彰・まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)
13. RFM に基づく一般消費者向けレシートログ分析サービスの実装 ○徳永清輝・まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)
14. レシートログを利用した買い物支援サービスの実装と評価 ○大柳章裕・徳永清輝・まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)
15. ニコニコ動画のログデータを用いたソーシャルノベルティのある動画の発見と評価 ○平澤真大 (電通大)・小川祐樹 (産総研)・諏訪博彦・太田敏澄 (電通大)
16. スマートシティにおける大規模住宅ログの収集・活用プラットフォームの検討 ○山本晋太郎・瀬戸英晴・まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)

LOD, メタデータ

17. Relevance Modeling of Linked Open Data and Users' Transaction Histories for Recommendation ○Robert Sumi・Yutaka Kabutoya・Tomoharu Iwata・Toshio Uchiyama・Ko Fujimura (NTT)
18. 柔軟な端末-クラウド間連携を可能にする分散リソース活用手法の検討 ○高田英明・中平 篤・小池幸生・向内隆文・岡本 学・佐藤 敦 (NTT)
19. 情報連携基盤のビジネスプロセスフローの制御に係るセキュ

リティに関する研究 ○李 中淳・小尾高史・横山隆裕・谷内田益義・平良奈緒子・庭野栄一・御代川知加大・岩丸良明・大山永昭 (東工大)

20. ソースコード差分と Web ブックマークの関連付けによるプログラミング支援 田中千香子・○中山 健・新田善久 (津田塾大)・酒井恵光 (大谷大)
 21. 大規模 CGM メタデータに対応したメモリ常駐型リレーショナルデータベース管理システムの検討 ○柿沼弘員・大橋盛徳・深津真二・阿久津明人・鈴木英夫 (NTT)
 22. タスクに着目した企業内情報へのメタデータ付与手法の検討 ○沖津健吾・日高哲雄・村山隆彦・赤埴淳一 (NTT)
- ◎8日の研究会終了後、意見交換会(懇親会)を予定していますので、御参加下さい。

◎注意: 沖縄には鉄道がないため、交通機関はバスか車(タクシー or レンタカー)になります。那覇空港からレンタカーが便利です。時間に余裕を持った計画を御願います。発表前日に前泊をお勧めします。

☆LOIS 研究会

【問合先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)
〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1
FAX [092] 606-0758
E-mail: nori@fit.ac.jp

★フォトニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

日時 3月12日(月) 10:30~17:30

13日(火) 13:25~16:40

会場 五島市 IT 振興センター (五島市中央町 6-25. <http://www1.city.goto.nagasaki.jp/baramon/> TEL [0959] 74-3539)

議題 フォトニックネットワーク関連技術, 一般

12日午前

1. 光 CDM を用いたハイブリッドネットワークの性能評価 ○福田達也・馬場健一・下條真司 (阪大)
2. 広域同期型光タイムスロット交換網における位相非同期のタイムスロット割り当て手法の検討 ○横田健治 (京大)・平松 淳・中川雅弘 (NTT)・高橋達郎 (京大)
3. 広域同期型光タイムスロット交換網におけるタイムスロット割り当てアルゴリズムの検討 ○岡本佳祐・高野奨太・横田健治 (京大)・平松 淳・中川雅弘 (NTT)・高橋達郎 (京大)

12日午後

4. 広域同期型光タイムスロット交換網の提案 ○中川雅弘・平松 淳 (NTT)・岡本佳祐・高野奨太・横田健治・高橋達郎 (京大)
5. 自己組織化管理にもとづく複数 VNT 制御手法 ○荒川伸一・小泉佑揮 (阪大)・宮村 崇・鎌村星平・島崎大作・塩本公平・平松 淳 (NTT)・村田正幸 (阪大)
6. アトラクター構造が自己組織化制御の環境変化に対する適応性及び収束時間に与える影響の評価 ○小泉佑揮 (阪大)・

宮村 崇 (NTT)・荒川伸一 (阪大)・鎌村星平・島崎大作・
塩本公平・平松 淳 (NTT)・村田正幸 (阪大)

7. [奨励講演] Colorless, Directionless, Contentionless 機能を考慮した Add/Drop 分離型光ノードアーキテクチャ

○山田祥之・長谷川 浩・佐藤健一 (名大)

8. [奨励講演] InAlGaAs/InAlAs マツハツェンダー干渉計型高速光スイッチのカスケード接続による 4×4 光スイッチの低消費電力・低偏光依存動作の実現

○上田悠太・小山慶晃・
上林和樹・藤本信二・宇高勝之 (早大)・塩田貴支・
北谷 健 (日立)

9. [奨励講演] 補助グラフを用いた省電力光パス経路選択アルゴリズムの検討

○清水 翔・今井悟史・
山田亜紀子 (富士通)

10. [招待講演] 帯域可変形波長選択光スイッチの開発

○松浦 寛・小栗淳司・木村賢宣・岩間真木・味村 裕・
斎藤正美・加木信行・大越春喜 (古河電工)

11. [招待講演] フォトニックネットワークにおけるネットワーク制御と運用管理

○堀内栄一・吉田聡太・妹尾尚一郎・
横谷哲也 (三菱電機)

13 日

1. ビスマス系高非線形エルビウム添加ファイバを用いた波長可変能動モード同期ファイバレーザ

○福地 裕・
池田秀明 (東京理科大)

2. ラゲール・ガウスモードの光スイッチング応用について

○淡路祥成・和田尚也 (NICT)・戸田泰則 (北大)

3. ポリマー 3 次元光回路の基本透過特性

○立崎卓也・
保科貴之・湯澤元輝・宇高勝之 (早大)

4. 光パケットスイッチを用いたデータセンタネットワークのトポロジ設計

○大下裕一・村田正幸 (阪大)

5. IP/光階層ネットワークにおける光クロスコネクタ連携による柔軟かつ動的な網構成法

○多田憲司・戸出英樹 (阪府大)

6. 低消費電力を達成する大規模データセンタ内仮想ネットワーク制御手法

○樽谷優弥・大下裕一・村田正幸 (阪大)

7. トラヒック予測機構に基づく保留時間を考慮した光パス設定手法

○若林直弘・廣田悠介 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)・
村上孝三 (阪大)

○13 日 9:30~12:00 PN 学生ワークショップを開催します。

☆PN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 21 日 (木), 22 日 (金) 山形大 [未定] テーマ: コア・
メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光
ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエ
ンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路
制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網
(OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・スイッ
チング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ
(OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装置, 光
信号処理, 光スイッチ素子, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

[問合せ先]

大木英司 (電通大)

TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926

E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641

E-mail: hasegawa@nuce.nagoya-u.ac.jp

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 関 浩之 副委員長 中島 震

幹事 高田喜朗・満田成紀 幹事補佐 鷲崎弘宜

日時 3 月 13 日 (火) 9:00~18:25

14 日 (水) 9:00~12:30

会場 てんぶす那覇 (那覇市ぶんかテンプス館) (那覇市牧志 3-
2-10. 国際通り沿い (南側), ゆいレール牧志駅から西 400 m.
http://www.tenbusu.jp/shisetsu_riyou/access/index.html
関 浩之 (奈良先端大))

議題 一般

13 日午前

1. ソースコード中に出現する動詞-目的語関係を利用したメソッド名の命名支援手法

○鬼塚勇弥 (阪大)・

早瀬康裕 (筑波大)・石尾 隆・井上克郎 (阪大)

2. 共有変数によるバインド機構を用いた組込みシステムの開発手法について

荻原剛志 (京都産大)

3. 日本語シナリオからのシーケンス制御プログラム生成支援

塩田英二・○大西 淳 (立命館大)

4. プロダクトライン開発における FMEA の活用

○中西恒夫・久住憲嗣・福田 晃 (九大)

5. ソースコード中の繰り返し部分に着目したコードクローン検出手法の提案

○村上寛明・肥後芳樹・井垣 宏・
楠本真二 (阪大)

6. 大規模ソフトウェア群に対するメソッド単位のコードクローン検出

○石原知也・堀田圭佑・肥後芳樹・井垣 宏・
楠本真二 (阪大)

7. 近傍ハッシュ法を用いた 2 段階のクラスタリングに基づく Near-miss クローンの検出

○吉岡俊輔・吉田則裕・
伏田享平・飯田 元 (奈良先端大)

13 日午後 (13:05~)

8. Alloy を用いた Ruby on Rails アプリケーションの開発支援

○水谷浩明・結縁祥治 (名大)

9. 制約記述言語 OCL と JML のモデル駆動開発技法に基づいた双方向の変換手法の提案

○榛葉浩章・花田健太郎・
岡野浩三・楠本真二 (阪大)

10. SMT ソルバーと PDG 作成ツールを用いた Java のテストケース自動導出手法の提案

○佐々木幸広・小林和貴・
岡野浩三・楠本真二 (阪大)

11. Web アプリケーションを対象としたカバレッジ計測手法の試作

○及川 翔・神谷年洋 (公立はこだて未来大)

12. プログラミング演習における初学者を対象としたコーディング傾向の分析

○伏田享平 (奈良先端大)・
玉田春昭 (京都産大)・井垣 宏 (阪大)・藤原賢二・
吉田則裕 (奈良先端大)

13. プログラミング演習における受講生支援のためのコーディング過程可視化システムの提案

○齊藤 俊・

山田 誠 (東京工科大)・井垣 宏・楠本真二 (阪大)・
井上亮文・星 徹 (東京工科大)

14. マイクアレイネットワークを用いたホームネットワークサービス向けハンズフリー音声インタフェース

○祖田心平・

久賀田耕史・和泉慎太郎・松原典行・まつ本真佑・中村匡秀・
川口 博・吉本雅彦 (神戸大)

15. ホームネットワークシステムにおけるパーソナルリモコン作成実験及び評価

○徳田啓介・稲田卓也・まつ本真佑・
中村匡秀 (神戸大)

16. Ajax のための Web メトリクスの提案 ○加賀谷有紀・深野隆行 (NTT コムウェア)
海尻賢二・海谷治彦 (信州大)
17. ソフトウェア変更に対するバグ予測モデルの精度評価
○亀井靖高・鷗林尚靖 (九大)
18. プログラムの構造に着目した Fault-Localization とデバッグ支援
○下條清史・坂本一憲・鷺崎弘宜・深澤良彰 (早大)
19. 関数の実行時間予測法と分散コンピューティング環境における応用
○栗原 協・杉山安洋 (日大)
- 14 日
1. 決定性線形トップダウン木変換器における問合せ保存の決定可能性
○澤田龍太 (阪大)・橋本健二 (奈良先端大)・石原靖哲・藤原 融 (阪大)
2. Combining the tractability of duplicate-free DTDs and disjunction-capsuled DTDs for XPath satisfiability with sibling axes
○Yasunori Ishihara (Osaka Univ.)・Shogo Shimizu (AIIT)・Kenji Hashimoto (NAIST)・Toru Fujiwara (Osaka Univ.)
3. ソフトウェア進化研究に関する動向調査—IWPSE シリーズを題材に—
○大森隆行・丸山勝久 (立命館大)・林 晋平 (東工大)・沢田篤史 (南山大)
4. ソフトウェアプロジェクトにおける traceability の確立—実プロジェクトへの適用—
○宮下 学・海谷治彦・海尻賢二 (信州大)
5. CodeForest: ソフトウェア構造・特性・依存の視覚化によるプログラム理解支援
○轟 大樹・大森隆行・丸山勝久 (立命館大)
6. 多層システムのための形式概念分析に基づく Feature Location 手法の提案
○風戸広史 (NTT)・林 晋平 (東工大)・岡田 敏・宮田俊介・星野 隆 (NTT)・佐伯元司 (東工大)
7. リポジトリマイニング向けドメイン専用言語の設計と実装
○山下一寛・山本大輔・亀井靖高・久住憲嗣・鷗林尚靖 (九大)
8. 実行トレース解析のためのデザインパターンに基づくオブジェクトグルーピング
○戸田達也・小林隆志・渥美紀寿・阿草清滋 (名大)

【問合先】

高田喜朗 (高知工科大)
TEL [0887] 57-2207, FAX [0887] 57-2220
E-mail: takata.yoshiaki@kochi-tech.ac.jp
◎最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい。
<http://www.info.kochi-tech.ac.jp/sigss/>

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 桐葉佳明 副委員長 瀬社家 光・阿多信吾
幹事 菅内公徳・吉原貴仁 幹事補佐 増田 健

日時 3月15日 (木) 9:40~12:00

16日 (金) 9:20~18:20

会場 沖縄県男女共同参画センターているる (那覇市西 3-11-1.
<http://www.tiruru.or.jp/>)

議題 エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般
15 日午前

1. 大規模 L2SW 網における EMS による装置負荷低減機能に関する一検討
○稲垣麻美・鈴木将行・井ノ上 攻・

第一種研究会開催案内

2. 大規模災害時における NE 監視方式の提案
○高田 久・田村宏直・古谷雅典・高橋和秀 (NTT ドコモ)
3. EMS におけるサブネットワークオーダ投入方式
○加藤能史・木村辰幸・笹山浩二・大塚祥広 (NTT)
4. サービスオーダーシステムの構成法に関する一考察
○清水雅史・中里彦俊・西尾 学・藤原正勝 (NTT)
5. TMF SID 適用に関する一考察
○西尾 学・武 直樹・清水雅史・藤原正勝 (NTT)
6. [特別講演] TMF マネジメントワールドアメリカス 2011 報告
○蔣 海鷹・北井 敦 (NTT コムウェア)
- 16 日午前
1. データセンタ運用設計支援手法の提案
○鹿野裕明・朝家真知子・山本淳二・齊藤達也・大田俊介・上原敬太郎 (日立)
2. テナント構成パターンを用いたデータセンタネットワークプロビジョニング方式の検討
○小澤洋司・古泉聡洋・保田淑子・肥村洋輔 (日立)
3. 異なるサービス品質を提供するクラウドコンピューティング環境における最適複数資源同時割当て方式の提案
栗野勇輝・○栗林伸一 (成蹊大)
4. クラウドコンピューティング環境における省エネ並びに QoS 向上対策の提案
○亀屋俊介・栗林伸一 (成蹊大)
5. SaaS 提供システムを監視するための基本データ形式の定義
○吉澤政洋・直野 健・佐藤竜也・親松昌幸 (日立)
6. 改造を要しない既存 Web プロキシ・サーバの負荷軽減アーキテクチャの構築と評価
○駄竹栄太 (電通大)・田中淳裕 (NEC)・中山泰一 (電通大)
7. Energy Blackout Monitoring and Analysis at Buildings in India
○J. Godwin Ponsam・K. Venkatesh・Mohit Garg・K. Navin・S. Rajendran (SRM Univ.)・Yumi Hirano・Atsushi Tanaka (NEC)
- 16 日午後 (12:50~)
8. トラヒック情報を用いた無線基地局装置のサイレント故障検出に関する実証結果考察
南方伸哉 (NTT ドコモ)
9. 多重化されたシステムにおける複数障害の発生を対象とした障害原因解析
○村瀬香緒里・名倉正剛・永井崇之・菅内公徳・星野和義・竹松進也 (日立)
10. 複数宅間 ICT サービス実現のための機器管理手法の検討
○小池幸生・高田英明・箕浦大祐・佐藤 敦 (NTT)
11. IPTV の視聴行動に基づく料金設計
○矢守恭子 (朝日大)・手塚一貴・田中良明 (早大)
12. ユーザの主観品質に基づく経路選択手法に関する一考察
○近江貴晴・山崎公義・渡邊岳彦・蔣 海鷹・山田洋一 (NTT コムウェア)
13. フロー制御技術を用いたネットワーク品質の全体最適化手法
○山崎公義・近江貴晴・渡邊岳彦・蔣 海鷹・山田洋一 (NTT コムウェア)
14. レイヤ 2 ネットワーク間接続におけるフロー単位の経路制御を利用したループ障害の抑止
○明石和陽・吉田 寛 (NTT)
15. フレキシブル・マルチレイヤネットワーク仮想化制御技術
○植松芳彦・増田暁生・宮村 崇・平松 淳 (NTT)
16. 管理型自己組織化仮想網制御のためのリソース管理モデル
○島崎大作・磯貝彰則・鎌村星平・増田暁生・宮村 崇・植松芳彦・塩本公平・平松 淳 (NTT)
17. ネットワーク制御を一元化したサービス提供プラットフォーム

告 39

- ムのプロトタイプ実装と評価 ○山崎公敬・廣田悠介・木下和彦(阪大)・戸出英樹(阪府大)・村上孝三(阪大)
18. 分散データ駆動型アーキテクチャを用いたサービス監視用OSSの実現性検討 ○青山晋也・岩見早紀・村松宏基・藤部秀樹・浪江聡志・高橋和秀(NTTドコモ)
19. マルコフ過程に基づくサービス設定シナリオ最適化スキームの提案 ○坂田浩亮・古賀脩太・木村辰幸・大塚祥広(NTT)
20. 操作自動化ソフト「UMS」の適用事例 ○横瀬史拓・田中宏幸・豊田貴広・堀田健太郎・井上 晃・杉本 悟(NTT)
21. 構成変更のための設計誤りリスク定量化技術の提案と評価 ○佐藤竜也・吉澤政洋・鈴木芳生・直野 健(日立)
22. システム操作の画面履歴を利用した頻出パターンマイニング ○西川健一・増田 健(NTT)・陸 進(復旦大)・高橋郁也(NTT)

◎15 日午後(13:00~18:00) 情報通信マネジメントワークショップが開催されますので、あわせて御参加下さい。
テーマ:物と物とのコミュニケーションとその管理
参加費等詳細は以下を御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~icm/jpn/icmws/icmws201203.0.html>

◎15 日ワークショップ終了後、隣接のバンフィックホテル沖繩にて懇親会を開催予定です。

【問合先】

ICM 研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 堀尾喜彦 副委員長 上田哲史

幹事 安達雅春・高坂拓司 幹事補佐 松浦隆文・坪根 正

日時 3月27日(火) 13:00~17:20

28日(水) 9:20~16:30

会場 福江文化会館展示室(五島市池田町1-2. <http://www.pref.nagasaki.jp/bunka/halls/mappage/goto/fukue.html>)
TEL [0959] 72-5741(会場) 保坂亮介(福岡大)

議題

27日

- 区分線形 FHN 系に伝搬するパルスを消滅させる二自由度制御系 ○竹内将司・小西啓治・原 尚之(阪府大)
- β 写像に基づく A/D 変換器におけるカオスアトラクタの評価 ○中村光宏・堀尾喜彦(東京電機大)・香田 徹(九大)・合原一幸(東大)
- 完全差動スイッチト・キャパシタ Golden-Ratio-Encoder 回路 ○福島弘貴・堀尾喜彦(東京電機大)・合原一幸(東大)
- 4LC カオス発振器における 3-トラスアーノルドタングの可能性 ○岩崎大輔(明大)・関川宗久(東大)・稲葉直彦・遠藤哲郎(明大)
- Analysis of steady-state periodic solution in nonlinear circuits using Haar wavelet transform Seiichiro Moro (Univ. of Fukui)
- 拡張ローレンツ振動子の大規模等価回路とその動的性質 ○吉本弘毅・青野光紘・宮野尚哉(立命館大)
- Lebesgue Spectrum Filter による理想的探索ダイナミクスの連想記憶ニューラルネットワークを用いた解析 ○伏木健二・加藤智弘・長谷川幹雄(東京理科大)

- 高次結合ネットワークによる最適化問題探索のためのエネルギー関数設計法 ○曾田尚宏(東北大)・早川吉弘(仙台高専)・佐藤茂雄・中島康治(東北大)
- PSO のネットワーク構造と探索性能の関係に関する考察 ○神野健哉・辻本貴博・進藤卓也(日本工大)・佐野亮介・齊藤利通(法政大)
- カオスニューロダイナミクスによる粒子群最適化手法の切替を用いた多目的最適化問題の解法 ○橘 俊宏・安達雅春(東京電機大)

28 日午前

- Pulse Coupled Neural Network を用いた類似画像検索 ○米川雅人・黒川弘章(東京工科大)
- DNA マイクロアレイデータを用いたニューラルネットワークによる遺伝子制御ネットワーク推定法の評価 ○平井康輝・木崎直幸・生野壮一郎・黒川弘章(東京工科大)
- 非線形予測子を用いた電力ネットワークの連続型潮流計算 森 啓之(明大)
- 遅延結合された Lur'e 系における部分同期とネットワーク構造 ○三村俊裕・小口俊樹(首都大東京)
- 同期条件に基づく拡散遅延結合ネットワークの構造設計 ○中村もも子・小口俊樹(首都大東京)
- 浮動小数点数を成分に持つ n 次元ベクトルの 2 乗ノルムの真の値に隣接する浮動小数点数の計算 ○大石進一(早大)・Stef Graillat・Christoph Lauter (UPMC)・山中脩也(早大)

28 日午後

- 射影演算子法の大偏差統計関数導出への応用—2011 年 12 月 28 日に急逝した森肇九州大学名誉教授を偲んで— ○宮崎修次・松井克仁(京大)
 - カオスに対する聴覚的なアプローチ(1) 長嶋洋一(静岡文芸大)
 - 電流制御方式昇降圧型 DC-DC コンバータに現れるカオス現象の一検討 ○中島良太(長崎大)・木村貴幸(日本工大)・石塚洋一(長崎大)
 - 重区分線形系の実装と分岐現象に関する一考察 坪根 正(長岡技科大)
 - Responses of the 2-dimensional Hindmarsh-Rose model Ryosuke Hosaka (Fukuoka Univ.)
 - ラット海馬スライスにおける、カルバコール誘導神経振動現象に対する温度の影響について 蔭山逸行(九工大)
 - ゲーム中の視覚運動適応を脳波によって検出する ○飯山慎吾・夏目季代久(九工大)
 - ブレイン・コンピュータ・インタフェースを用いたゲームの実用化に向けて ○岡本達也・夏目季代久(九工大)
- ◎27 日研究会終了後、夕食を兼ねた懇親会を予定しています。奮って御参加下さい。

【問合先】

安達雅春(東京電機大工学部)

TEL [03] 5280-3833, FAX [03] 5280-3565

E-mail: adachi@eee.dendai.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第47回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣（関西大）

日時 平成24年3月9日（金） 10:45~17:10

会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス24号館301教室（野々市市扇が丘7-1. http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html）

本研究会は、ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコンウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS（Functional Integrated Information System）の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールトトレラント手法などが挙げられます。また、ICチップ上の情報システム構築（SOC: System On Chip）技術としては、IC内部の欠陥検出法（テスト手法やBIST: Build In Self Test）や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム（FIIS）研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第47回機能集積情報システム研究会は、金沢工業大学（野々市市）で開催致します。皆様奮って御参加下さい。

プログラム

1. 教育用マルチコア型組込みプロセッサの開発
○金原直史・津田伸生（金沢工大）
2. SoC向けFPGAコア自動生成ツールの提案
○河並 崇・高畑まどか（金沢工大）
3. GPGPUデバイス上のキャッシュメモリに対するデータ圧縮法
○藤井理史・金子晴彦（東工大）
4. 特徴ベクトルの正規化を用いた大きさ変化にロバストな指文字認識システム
○山崎生人・安藤達也・肥川宏臣（関西大）
5. セルラーハードウェアプラットフォーム上のピクセルレベルスネークの高度化とその評価
○松井孝夫・辻 雄爾・藤田智弘・熊木武志（立命館大）・中西 衛（NTT）・小倉 武（立命館大）
6. セグメント分割伝送線の有損失伝送線への適用と評価
○秋田翔平・島田弘基・石嶋秀敏・安達拓也・栗原佑輔・安永守利（筑波大）
7. コードレスサイクルに着目した部分スルー可検査性に基づく

テスト容易化設計法 ○大岡賢昂・岩垣 剛・市原英行・井上智生（広島市大）

8. SRAM型FPGAを用いた故障状況対応型システムのリカバリ機構に関する考察
○竹内宏和・岩垣 剛・市原英行・井上智生（広島市大）

9. インターネット利用システムにおける攻撃に対する可用性の定量的評価
○林 小秦・北神正人・難波一輝・伊藤秀男（千葉大）

10. LOSによる微小遅延故障検査の検出率向上手法
○湊 浩久（千葉大）・加藤健太郎（鶴岡高専）・難波一輝・伊藤秀男（千葉大）

11. Improving Small Delay Fault Coverage of LOC by Test Points Insertion
○Zhenkun Li（Chiba Univ.）・Kentaroh Katoh（Tsuruoka National College of Tech.）・Kazuteru Namba・Hideo Ito（Chiba Univ.）

12. [特別講演] 研究活動を振り返って 伊藤秀男（千葉大）

◎研究会終了後に懇親会（会費5,500円程度）を予定しております。

参加資格 特に制限はありません

参加費 1,000円（会場でお支払い下さい。学生は無料です。）

【問合せ先】

金子晴彦（東工大大学院情報理工学研究所）

〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-W8-65

TEL [03] 5734-3799, FAX [03] 5734-3501

E-mail: hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp

主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

●2012年情報通信マネジメントワークショップ

委員長 桐葉佳明

日時 平成24年3月15日（木）午後

（併催する第一種研究会は15日と16日の両日を予定）

会場 沖縄県男女共同参画センター「ていりる」（那覇市。

<http://www.tiruru.or.jp/>）

テーマ：物と物とのコミュニケーションとその管理

趣旨

電気通信技術が誕生してから150年以上たった。そしてその誕生から20世紀後半まで電気通信技術はその大半の用途を遠く離れた人と人が快適に対話を図ることを目的に発展を続けた。しかし20世紀後半より爆発的に普及したインターネットにより、人と物が対話を行う通信形態が発展し、そして今、クラウドという新たな技術により、物と物が対話する形態が広がりがつつある。このように急激に変貌しつつある通信の形態を見据え、本ワークショップでは、物と物のコミュニケーションを実現するための、標準化、技術の取組みをマネジメントの観点から、幅広く紹介し、パネリストと参加者の皆様で意見を交流することを目的とする。

プログラム

1. [招待講演] M2M標準化動向
坂口 尚（情報通信技術委員会）
2. [招待講演] M2M市場動向—ICT市場の構造変化と社会基盤連携—
桑津浩太郎（野村総研）
3. [招待講演] 広域センサーネットワークの構築と応用
寺西裕一（NICT）
4. [招待講演] ホンダイインターナビの取り組みとM2Mの今後について
田村和也（本田技研）
5. [招待講演] キャリアの提供する「M2M」基盤技術—ドコモ環境ビジネスからの例示—
坪谷寿一（NTTドコモ）

6. [招待講演] バンダが提供する「M2M」基盤技術
泉 尚教 (NEC)

ーパネルディスカッションー

パネルチェア：桐葉佳明 (NEC)

パネリスト：招待講演者 6名

開始時間などプログラムの詳細は、ICM 研 HP を御覧下さい。

◎懇親会 15日のプログラム終了後、パシフィックホテル沖縄にて、懇親会を開催します。また、本懇親会にて2011年のICM研究賞、ICM功労賞、ICM英語セッション奨励賞の表彰式を行う予定です。

参加費 一般10,000円、学生5,000円

参加登録 併催する第一種研究会のプログラムが決定した時点で、ICM研究会HPに参加登録ページをオープン予定です。

【問合せ先】

菅内公德 (日立)

TEL [045] 862-8746

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/icm/jpn/>

主催 情報通信マネジメント研究専門委員会

●第3回複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) 研究会

委員長 梅野 健 (NICT)

副委員長 岡本英二 (名工大)・田中久陽 (電通大)

本研究会は、情報通信技術の全ての階層、それを取り巻く情報通信環境、そして神経系や生物システム、更には人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な研究対象を扱い、そこにある現実的問題の本質、限界、そして、それらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目指します。「複雑コミュニケーションサイエンス」という標語は、こうした実用的・実体的システムにおける情報伝達とインタラクションのリアリティにこそ、豊かなサイエンスへと成長する多くの芽が潜在しているはずであるという、我々の科学的直観を反映しています。

具体的には、下記の分野に芽生える新領域への取組みを計画しています。

- 1) 通信システムの理論
- 2) 分散ネットワークと分散アルゴリズムの理論
- 3) 通信システムの基盤としてのパワー、エネルギー的側面に関する基礎研究
- 4) 電力工学と通信システムの界面
- 5) 上記4領域と関連する実証的アプローチ、実システム上の諸問題
- 6) 通信システムの技術、知見から神経系、生体システムを捉え直す研究
- 7) 電磁波伝搬 (フェージングの問題等含む) の理論・モデリングの研究
- 8) レーダ、トモグラフィの計測分野で見られる非線形性、更に信号レベルで現れる非線形ひずみ等の非線形性が本質となる諸問題
- 9) レーザ等の非線形デバイスと通信システムの界面

第3回複雑コミュニケーションサイエンス研究会では、Prof. Jürgen Kurths (Potsdam Institute for Climate Impact Research) による特別講演と、複雑コミュニケーションサイエンスの一般講演を企画しております。皆様の積極的な御参加をお待ち致しております。

期日 平成24年3月17日 (土)

会場 東京理科大学神楽坂キャンパス

参加費 発表者：5,000円 (一件につき)

聴講者：一般3,500円、学生無料

参加申込：お名前、御所属、御連絡先をメールにて下記世話人まで御連絡下さい。

参加費は、事前振込みまたは会場受付にてお支払い下さい。

銀行振込口座情報は、参加申込み後にお知らせ致します。

特別講演 (予定)：

題目未定 Jürgen Kurths (Potsdam Inst. for Climate Impact Research)

【発表/参加申込・問合せ先】世話人

岡本英二 (名工大)

E-mail: okamoto@nitech.ac.jp

◎最新情報は、当研究会のホームページを御覧下さい。

<http://synchro4.ee.uec.ac.jp/CCS/>

主催 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第3回情報ネットワーク科学 (NetSci) 研究会

委員長 村田正幸 (阪大)

副委員長 会田雅樹 (首都大東京)・中村 元 (KDDI)

期日 平成24年5月18日 (金)

会場 首都大学東京秋葉原キャンパス

講演申込締切 3月15日 (木)

第3回情報ネットワーク科学研究会では一般講演を募集致します。講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については情報ネットワーク科学時限研究専門研究会のホームページに掲載致しますので、御参照下さい。 <http://www.ieice.org/~netsci/>

第3回情報ネットワーク科学研究会では招待講演3件：長谷川幹雄氏 (東京理科大)、大久保潤氏 (京大)、井庭崇氏 (慶大) も予定致しております。

【問合せ先】

成瀬 誠 (NICT)・巳波弘佳 (関西学院大)

TEL [042] 327-6794, FAX [042] 327-7035

E-mail: netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

●第26回量子情報技術研究会 (QIT26)

委員長 北川勝浩 (阪大)

研究会の内容

情報科学と量子力学を融合させた新しい分野、量子情報科学に関する研究会です。情報を担う物理系の量子力学的側面を積極的に生かした新しい情報処理原理の研究とそこから開かれる新しい学問体系の構築及び新しい情報技術パラダイムの創生を目指して、情報科学、物理学、光エレクトロニクスを含む理学、工学、数理学に携わる研究者間に自由な討論の場を提供し、この研究分野の発展を図ることを目的としています。

第26回研究会を下記のように開催致します。現在この分野で活躍する研究者は勿論、自分の研究資産が何らかの形で使えそう

だと予感している研究者・技術者など、広く関連する分野の研究者・技術者からの発表、聴講を募集致します。奮って御参加下さい。

期日 平成24年5月21日(月)、22日(火)

会場 福井大学文京キャンパス総合研究棟I(福井市文京3-9-1)

発表募集分野(申し込み状況によっては査読可能性あり):量子情報、量子計算、量子暗号など広く量子情報技術に関わる理論的研究、実験的研究、計算機科学的研究、数学的研究、及びその他関連分野

招待講演及びチュートリアル講演:未定

定員:180名程度

参加費:事前振込み 一般5,000円、学生2,000円

当日会場支払い 一般6,000円、学生3,000円

(懇親会は別途)

研究会参加申込要領:講演(口頭、ポスター)希望者、聴講希望者は下記Webにて受付を行います。

<http://staff.aist.go.jp/s-kawabata/qit/>

申込締切

講演申込締切 4月10日(火)口頭

4月20日(金)ポスター

参加申込締切 4月30日(月)

【問合先】

坂口文則(福井大工学研究科電気・電子工学専攻)

橋本貴明(福井大工学研究科物理工学専攻)

林 明久(福井大工学研究科物理工学専攻)

堀邊 稔(福井大工学研究科物理工学専攻)

E-mail: qit26@serv.apphy.u-fukui.ac.jp

主催 量子情報技術時限研究専門委員会

共催 応用物理学会;量子エレクトロニクス研究会

●LSIとシステムのワークショップ2012

日時 平成24年5月28日(月)午後~30日(水)午前

28日午前 ICD活動報告会

30日午後 VLD/SLDM研究会

会場 北九州国際会議場メインホール

メインテーマ:20nm時代のロバスト設計

開催趣旨

本ワークショップは「LSIとシステムのワークショップ」に改称して再出発したICDのフラッグシップ研究会で、4回目となる今回も引き続き北九州市国際会議場にて開催を致します。LSIとシステムのワークショップ2012では、開催テーマを「20nm時代のロバスト設計」としました。過日の大震災の発生以来、エラーが起きない、もしくは起きてそれを救済、修復できるロバストなシステムが大変注目されております。更に、LSI技術においては、製造技術が20nm世代へ微細化することにより、特性ばらつきや、ノイズ、電源をはじめとする外乱に強い設計技術が求められるようになっております。そこで、微細デバイス加工技術、デジタル、アナログLSI設計、アーキテクチャシステム設計の各階層で、それぞれ第一人者の講演者をお招きし、これらの技術が直面する問題を御紹介頂き、様々な外乱にロバストなLSI設計とそれを実現するセキュアシステムについて深い議論ができればと期待しています。

ポスターセッションには一般と学生の部があり、御来場者との活き活きとした情報交換の場を提供します。また、VLD/SLDM研究会を連続開催致します。

プログラム構成概要

1日目

基調講演

全体論

(ロバストLSI、プロセッサシステム、アーキテクチャ設計、通信システム、車載LSI、ロケット、自動車エンジン制御)

2日目

ポスターセッション

要素技術

(微細加工技術、ばらつき、RTN、三次元集積、電源、メモリ、MEMS、AD/DAコンバータ)

3日目

アプリケーション・アーキテクチャ

(携帯端末、LSIテスト技術、ストレージ技術、スマートシティなど)

参加費 後日ホームページ(<http://www.icd-ieice-jp.com/lsws/>)にて告知致します。

【ポスター発表募集】

LSIとシステム応用に関する新しい着想、技術開発成果の発表を募集します。「LSIとシステム」に関するソフトウェア技術、CAD/EDA技術、標準化技術、実装技術、デバイス技術、回路技術、アイデアから実際の開発LSIまで、幅広い内容を対象とし、学生部門、一般部門の二つの部門で募集します。

応募受付 1月下旬~3月中旬(予定)

【学生部門】

応募資格:筆頭者が大学や高専等の教育機関に所属する「学生」であること。

募集件数:40件程度

表彰:当日の参加者による投票、並びに、専門委員による審査に基づき、集積回路研究会、IEEE Solid-State Circuits Society of Japan Chapter及びKansai Chapterから賞を授与する予定です。なお、当日の口頭発表者が学生以外の方となった場合は審査対象外とします。また、各賞はそれぞれ授与する学会の会員であるか、入会が受賞の条件になります。

【一般部門】

応募資格:特に制限なし

募集件数:10件程度

その他、詳細な情報はワークショップホームページ(<http://www.icd-ieice-jp.com/lsws/>)でお知らせ致します。

【次年度の開催予定】

日程 平成25年5月20日(月)~22日(水)

会場 未定

主催 集積回路研究専門委員会

●第16回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 水野 修(工学院大)

委員会の内容

本時限研究専門委員会は、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成24年6月21日(木)、22日(金)

会場 函館市民会館

テーマ:サービス高度化に対応するためのネットワークソフト

ウェア技術+一般

※情報ネットワーク研究会 (IN) との併催

概要

ネットワークサービス高度化の要求に応えるため、コンテンツデリバリネットワーク、アドホックネットワークなど様々なネットワークソフトウェア基盤技術が盛んに研究開発されています。一方で、ネットワークインフラにも同様に高度化が求められています。例えば、今まで音声の主としてきたインフラに対し、スマートフォンの出現によって、複数メディア（音声、データ、映像など）の協調サービスを提供するといった高度化の要求が生じます。この実現のためには、通常音声のみを提供する交換網を介して行っていた通信を、IPによるEnd-to-End通信を行うためのインフラへマイグレーションしていくことが必要となります。今後新たなネットワークサービスの出現により、このようなマイグレーションは必須となり、如何にその品質、スケーラビリティ、信頼性を損ねることなく、かつコストミニマムに実現するかが問われ、ネットワークソフトウェアへの要求も高まるのが想定されます。本研究会では、新たなネットワークサービスの登場に対応可能なネットワークソフトウェア技術の方向性について幅広く議論を行います。

- ・ネットワークサービスの高度化に対応するネットワークソフトウェア基盤技術の提案
- ・インフラ高度化に伴うマイグレーション実現のためのネットワークソフトウェア技術の提案
- ・マイグレーションを実現したネットワークを運用するためのソフトウェア技術の提案
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間に囚われず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】

下記2種類の発表形式からお選び下さい。

一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件当たり約50分（質疑含む）という十分な時間をかけ、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件当たり約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【一般講演の申込と原稿提出】

・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号）、講演者の方の参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなしますので、下記参加申込に関する注意事項も合わせて御

確認下さい。

締切（一般講演申込）：5月17日（木）

・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させて頂きましますので、あらかじめ御了承下さい。

締切（一般講演原稿提出）：6月7日（木）

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

締切（ポジションペーパー申込・原稿提出）：6月7日（木）

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし、期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問合せ下さい。また、期日以降の申込みでは予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

【参加申込】

氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号）、参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

締切（参加申込）6月7日（木）

【参加費と参加費支払方法】

一般6,000円 学生3,000円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書もしくは領収書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先 みずほ銀行 三鷹支店

口座名：ネットワークソフトウェア研究会

口座番号：普通4298770

締切（参加費振込）6月20日（水）

【講演・参加申込先・原稿提出先】

西村豪生（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL〔0422〕59-7339

E-mail：nws-kanji@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

別所寿一（NTT）

TEL〔0422〕59-6921

主催 ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会

<http://www.ieice.org/~nws/>

●第25回 回路とシステムワークショップ

第25回「回路とシステムワークショップ」を昨年に続き、真夏の淡路島で開催致します。本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文、パネル討論を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と将来の研究分野の探求を目的としています。皆様からの積極的な論文投稿をお願い申し上げます。

第25回 回路とシステムワークショップ実行委員長

田中 聡 (ルネサスエレクトロニクス)

期日 平成24年7月30日(月), 31日(火)

会場 淡路夢舞台国際会議場

Web ページ: 企画セッションなど最新の情報は、次の Web ページを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/ess/kws/>

【投稿分野】

本ワークショップでは以下の特別セッションを開催します。以下の特別セッションテーマに関する論文投稿を歓迎します。

「複雑コミュニケーションサイエンス」

「複雑系におけるカオス制御」

「信頼性解析」

「センサ関連」

「学生セッション (デジタル信号処理)」

「GPGPU による VLSI 設計」

「VLSI におけるエラー対策技術」

「多面体の数理」

「人間技能のシステム論的理解」

更に、次の分野に関する一般論文投稿を歓迎します。

非線形問題: 非線形回路理論, 非線形振動論, ニューロダイナミクス, 学習, カオスと分岐, フラクタル, 非線形最適化, 精度保証付き数値計算, 非線形時系列解析, 複雑系ネットワーク

回路の数値解析: 回路の数値解析理論, 回路/デバイス/配線シミュレーション, 回路/デバイス/配線モデル, シミュレーション応用最適化技術, 電磁界シミュレーション, シグナル/パワーインテグリティ解析, 電源系解析, 回路縮約, ばらつき考慮シミュレーション, 並列・分散シミュレーション, 信頼性解析

アナログ回路: イメージャ, センサ, MEMS, フィルタ, AD/DA, PLL/DLL, RF (ミキサ, VCO, LNA, PA), ミックスドシグナル, 電源, 非線形回路, 高速インタフェース, 光通信回路, 無線通信回路 (WLAN, RFID, ミリ波), アンプ, 低電圧・低消費電力回路, ヘルスケア, メディカルエレクトロニクス

デジタル信号処理: 基礎信号処理/フィルタ設計, 適応信号処理, 非線形信号処理, 音声・音響信号処理, 画像・映像信号処理, 通信用信号処理 (モバイル, ワイヤレスを含む), システム実現技術, セキュリティ応用, 生体信号処理, 信号処理応用

VLSI 設計技術: 設計環境・ツール, 組込みシステム, リコンフィギュラブルシステム, マルチコア設計, NoC 設計, システムレベル設計, IP ベース設計, 動作合成・高位合成, 論理合成・検証, レイアウト設計・検証, アナログ CAD, タイミング解析, テスト設計, 低消費電力設計, 高信頼性設計, 耐ノイズ設計, DFM

分散システム理論: ソフトウェア仕様記述, 形式手法 (フォーマルメソッド), ベトリネットと分散事象システム, ハイブリッドダイナミカルシステム, グラフ・ネットワーク理論, 分散最適化, スケジューリング, アルゴリズム論, 並列・並行・分散処理, 分散協調システム

※投稿件数によっては、ポスターセッションとなる場合がございます。

※新しいコンセプトの提案など、意欲的な論文の投稿も期待しております。

【投稿申し込み】

邦文または英文の論文もしくはそれを的確に要約した抄録 (論文の主旨及び正当性を十分に判断できるもの) を Web ページより電子的に御投稿下さい (電子投稿の詳細は Web ページを御参照下さい)。ただし、査読のある論文誌等に発表されたものは対象外とします。図面を含み A4 判 3~6 ページ (形式自由) で御執筆下さい (論文集原稿の執筆要項は Web ページに掲載されています)。なお、論文集原稿も 6 ページ以内となりますので御配慮下さい。査読の上、下記期日までに採否通知を行います。電子投稿が不可能な場合は、下記連絡先まで御連絡下さい。

日程 投稿締切 4月13日(金) 厳守

採否通知 5月25日(金) 頃

論文集原稿締切 6月18日(月) 必着

【連絡先】

久保田 彰 (論文担当幹事)

〒112-8551 文京区春日 1-13-27

中央大学理工学部電気電子情報通信工学科

TEL [03] 3817-1861, FAX [03] 3817-1847

E-mail : kws-25paper@mail.ieice.org

備考 本ワークショップで発表された成果のうち、当実行委員会が優れていると判断したものを、各研究専門委員会からの推薦論文として和文論文誌 A に投稿できる「和文論文誌推薦制度」を実施する予定です。

主催 電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ: 「システムと信号処理」サブソサイエティ回路とシステム研究専門委員会, VLSI 設計技術研究専門委員会, 信号処理研究専門委員会, システム数理と応用研究専門委員会 / 「非線形理論とその応用」サブソサイエティ: 非線形問題研究専門委員会

協賛 電気学会; 電子回路研究専門委員会, IEEE Circuits and Systems Society Japan Chapter, IEEE Signal Processing Society Japan Chapter, IEEE Circuits and Systems Society Kansai Chapter, 電子情報通信学会; スマートインフォメディアシステム研究専門委員会

● 2012年総合大会開催案内 ●

本総合大会は、4ソサイエティ、1グループが合同で開催する大会です。奮って参加されますようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2012年3月20日(火)~23日(金)
 会 場 岡山大学 津島キャンパス (岡山市)
 (会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
 交 通 岡山駅西口バスターミナル 22番乗り場から【47】系統
 「岡山理科大学」行きに乗車の上、「岡大西門」下車、徒歩約
 3分。または、岡山空港 2番 3番乗り場から「岡山市内方
 面」行に乗車の上、「岡山大学筋」で下車、徒歩約7分。

2012年総合大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて御確認下さい。
 ◎ 聴講参加について
 <聴講参加> (本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

【当日申込み (DVD含む)】

会 員 名誉員・正 員	10,000 円
学生員 (DVDなし)*	無 料
学生員 (DVD購入)**	3,000 円
60歳以上の会員***	3,000 円
非会員 社会人	20,000 円

学生 (DVDなし)	3,000 円
学生 (DVD購入)	6,000 円

[凡 例]
 * DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますので事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きますので御持参下さい。)

** 会場で会員証を提示して下さい。
 ***年金以外の収入がない方が対象となります。
 ※この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。
 ※電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

2012年 FIT (情報科学技術フォーラム)
 会期：2012年9月4日(火)~6日(木)
 会場：法政大学 (東京)
 2012年ソサイエティ大会
 会期：2012年9月11日(火)~14日(金)
 会場：富山大学 (富山市)
 2013年総合大会
 会期：2013年3月19日(火)~22日(金)
 会場：岐阜大学 (岐阜市)

電子情報通信レクチャーシリーズ新刊 会員特価販売のご案内

<第26回配本> **A-3 情報社会・セキュリティ・倫理**

(社)電子情報通信学会 編/辻井重男 著/ (株)コロナ社 発行
 B5判/172頁/定価3,150円/会員特価2,900円(税・送料込)

21世紀に入って急速に進んだ情報化による社会の変化について考えながら、情報社会の基盤である情報セキュリティの全体像を技術・法制度・管理経営・倫理などの面から把握できるように記述した一般学生・社会人向けの総合的入門書。
 <主要目次>

- 第I部 情報社会(情報化の進展と社会の変容/デジタル技術による社会的矛盾の拡大)
- 第II部 情報セキュリティ(情報セキュリティの概念と理念/情報セキュリティ技術/情報セキュリティに関する法制度/情報セキュリティに対する経営・管理/情報セキュリティと人間/情報セキュリティ総合科学の構築へ向けて)
- 第III部 情報社会と倫理(情報倫理とは何か/哲学史の流れ—プラトンの2世界モデルから現代思想へ—/社会規範と個人倫理/企業経営と倫理/技術者の悩みと倫理/おわりに—情報社会の教養と人材育成)

- ◆申込方法◆ ご氏名、送付先の会社名、学校名、ご住所、電話番号を明記の上、FAXまたはe-mail(書式自由、会員特価販売分と記入)にて、直接コロナ社にお申込み下さい。
- ◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10 (株)コロナ社内「電子情報通信レクチャーシリーズ」係
 TEL 03-3941-3131(代) FAX 03-3941-3137 e-mail gyomu@coronasha.co.jp



【会期】 2012年9月4日(火)～6日(木)
【会場】 法政大学小金井キャンパス
 (東京都小金井市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPJS) とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月22日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

「FIT 論文表彰制度」

FIT の特徴の一つは、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞、ヤングリサーチャー賞からなる論文表彰制度にあり、以下のようにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に10件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文3件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2012 会期中) にて賞金 20 万円を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文10件程度の中から受賞論文7件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2012 会期中) にて賞金 5 万円を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の1.5%を上限として、2012年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には賞金3万円を次回のFIT2013の表彰式にてFIT推進委員会より贈呈。

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2012Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います (一般論文での発表となります)。

【注2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い (研究会違い) と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注5】 FIT 査読付き論文でページ数が4ページ以上ない場合はクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなります。

【注6】 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) でページ数が6ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注7】 御自身の論文内容と一致した分野 (査読受け入れ研究会) がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■申込主要日程

- 登録申込/投稿受付開始 : 2012年3月7日(水)
- 登録申込締切/査読用原稿の投稿締切 : 2012年4月18日(水)
- 査読の採否結果通知 : 2012年6月22日(金)

- 論文誌への推薦可否結果通知 (推薦希望者のみ) : 2012年6月22日(金)
- 最終原稿投稿締切 : 2012年7月2日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は2～8ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約2か月遅くなります。

■申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2012年4月25日(水)
登録申込締切: 2012年5月24日(木)
最終原稿投稿締切: 2012年7月2日(月)

【募集分野】

以下の15の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集, FIT 査読付き論文の査読などは, 電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ, ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会との研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ, ◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ, ☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

● A: モデル・アルゴリズム・プログラミング

A-1 ☆アルゴリズム(AL)

A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)

A-3 ☆プログラミング(PRO)

A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)

● B: ソフトウェア

B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)

B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)

B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)

B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)

B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)

B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)

● C: ハードウェア・アーキテクチャ

C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)

C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)

C-3 ☆組み込みシステム(EMB)

C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)

C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)

C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)

C-7 ※再生可能集積システム(RIS)

● D: データベース

D-1 ☆データベースシステム(DBS)

D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)

D-3 ※データ工学(DE)

● E: 自然言語・音声・音楽

E-1 ☆自然言語処理(NL)

E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)

E-3 ☆音楽情報科学(MUS)

E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)

E-5 ※音声(SP)

● F: 人工知能・ゲーム

F-1 ☆知能システム(ICS)

F-2 ☆ゲーム情報学(GI)

F-3 ※人工知能と知識処理(AI)

F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)

● G: 生体情報科学

G-1 ☆バイオ情報学(BIO)

G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)

G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)

G-4 ※医用画像(MI)

G-5 ※身体性情報学(IEB)

● H: 画像認識・メディア理解

H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)

H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)

● I: グラフィクス・画像

I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)

I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)

I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)

I-4 ※画像工学(IE)

● J: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)

J-2 ※異文化コラボレーション(IC)

J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)

J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)

J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)

J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)

● K: 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

K-1 ※教育工学(ET)

K-2 ※サイバーワールド(CW)

K-3 ※マルチメディア情報ハンディキャップ・エンリッチメント(EMM)

K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)

K-5 ◇福祉情報工学(WIT)

● L: ネットワーク・セキュリティ

L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)

L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)

L-3 ☆システム評価(EVA)

L-4 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)

L-5 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)

● M: ユビキタス・モバイルコンピューティング

M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)

M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)

M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)

M-4 ☆高度交通システム(ITS)

M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)

M-6 ※ユビキタスコンピューティング(UBIC)

● N: 教育・人文科学

N-1 ☆コンピュータと教育(CE)

N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)

N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)

N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)

● O: 情報システム

O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)

O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)

O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)

O-4 ※サービスコンピューティング(SC)

【使用言語】

日本語または英語

【論文ページ数・講演時間】

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度

FIT 査読付き論文ページ数：4～8 ページ程度
 FIT 査読付き論文（論文誌推薦希望）：6～8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から1 ページ当り 3,000 円のページチャージ
 講演時間：1 件 20 分（発表時間 15 分，質疑時間 5 分）

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文，FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会，情報処理学会，電気学会，照明学会，映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（KIISE，大韓電子工学会，IEEE/Com. Soc.，IEEE/PHO，IEEE/MTT-S，IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM，IEEE，IEEE/CS，KIISE，CSI）の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費（税込み）〕

講演参加費は，基本原稿掲載料 2 ページ，講演料，聴講料，論文集 DVD-ROM，プログラム，参加章の代金を含みます。なお，DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが，プログラム，参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また，登録申込締切り後，講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこと

なりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員（社会人）	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用（税込み）〕

エキストラページ（3 ページ目以降）を利用された場合には，講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費：1 ページ当り 3,000 円

〔別刷代（FIT 査読付き論文の採択者のみ）（税込み）〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷（100 部）を御購入頂きます。別刷代は，エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には，御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り，8,000 円で，講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお，講演論文集の一般販売は，個人購入の場合 1 部 12,000 円，団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2012 に関する最新情報は，FIT2012Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。



総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始致しました。一般公開は，会員限定β版での公開後 3 か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては，本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または，以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



平成 24 年度春季 先端オープン講座開講 —— 御案内と受講者募集 ——

本講座は、平成 24 年度から年 1 回の開講となり、平成 24 年度は、この春季講座開講のみとなりますので、御注意をお願い致します。

本講座は、電子情報通信分野における若手技術者から中堅技術者まで、また基礎的事項の理解から専門的事項、最新動向の理解・習得まで、幅広いニーズに応える講座として、既に 6,000 人を越える受講者実績となっています。

また、継続的な教育・能力開発 CPD (Continuing Professional Development) の実行が技術者に強く求められる時代となってきました。本講座は、まさにこのような時代の要請を先取りするものとなっています。現在本会の CPD トライアルが開始されたこともあり、Aa, Cs, Cp, D, F コースは 15 ポイント、A 回コースは 30 ポイントの CPD ポイント獲得となりますので、この機会に是非、CPD 会員に登録され、積極的に活用して下さい。詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

本講座のねらいと特徴

- ・技術者・研究者個人のスキルアップ及び企業における職域転換に伴う再教育
 - ・基礎から専門分野まで幅広く対応
 - ・基礎分野における基本的概念の理解と技術の体系的習得
 - ・専門分野における関連技術の最新動向の習得
 - ・学会活動の一環としての低廉な受講料と各分野第一級の講師陣による直接指導
 - ・技術者の継続的な教育・能力開発として位置付けられる CPD との連携
- 詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

I 講座実施内容

◇以下の 6 コースから御選択できます。Aa コースは A コースの一部 (6 講義) を受講するコースです。開催日は全て土曜日です

- A. 情報通信ネットワーク技術 (5 回で 10 講義分 6 月 16 日～)
- Aa. NGN とインターネット及び IP ネットワーク技術 (A コース後半 3 回で 6 講義分 6 月 30 日～)
- Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発 (2 回で 5 講義分 6 月 16 日, 23 日)
- Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント (2 回で 5 講義分 6 月 30 日, 7 月 7 日)
- D. 情報通信プロトコル技術 (2 回で 5 講義分 7 月 7 日, 14 日)
- F. 情報通信セキュリティ技術 (5 回で 5 講義分 6 月 16 日～)

専門分野別推薦コース表 (H24 春季)

コース名	主要受講対象 (コース選択の参考)				
	教育/企画/コンサル	営業/SE	ハード設計	ソフト開発	サービス/保守
A. 情報通信ネットワーク技術	◎	◎	◎	◎	◎
Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術	◎	◎	◎	◎	◎
Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発	○	○	○	◎	◎
Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント	○	○	○	◎	◎
D. 情報通信プロトコル技術	○	○	◎	◎	◎
F. 情報通信セキュリティ技術	◎	◎	○	◎	◎

注) ◎印: 特にお勧め, ○印: お勧め

- 所定のカリキュラムを受講された方には、学会から修了証書を授与します。
- 受講形態として「個人受講」と「団体受講」があります。団体受講の場合は、何人かのメンバーが分担して受講も可能です。なお、団体受講の場合には、修了証書は発行されません。
- 受講申込で取得した個人情報につきましては、本会教育関連の DM 発送、受講者の動向及び傾向の調査に利用致します。
- 各コース共、受講者が定員に満たない場合は、講座を中止することがあります。
- 講師都合、災害等のやむを得ない理由で、日時を変更または休講することがあります。休講する場合は、講座を受講したものと取り扱わせて頂き、後日の開講は致しませんので御了承下さい。

II 実施期日と申込み方法

カリキュラムの詳細は先端オープン講座ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>) から御覧の上、申込みできます。以下にカリキュラム概要を示します。また C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

期 日 平成 24 年 6 月 16 日・23 日・30 日, 7 月 7 日・14 日各土曜日, A コースは 6 月 16 日～5 回, Aa コースは 6 月 30 日～3 回, Cs コースは 6 月 16 日, 23 日, Cp コースは 6 月 30 日, 7 月 7 日, D コースは 7 月 7 日, 14 日, F コースは 6 月 16 日～5 回

時 間 午後 9 時～16 時 (17 時) (ただし, F コースは 13 時～16 時)

会 場 機械振興会館 (港区芝公園 3-5-8) 交通 地下鉄日比谷線神谷町駅下車 徒歩 10 分

定 員 各コース共 50 名 (早めにお申込み下さい。申込先着順により、満員になり次第締切ります)

締 切 日 定員に余裕がある場合は、6 月 4 日 (月) まで受付

申込方法 下記の受講申込書に必要事項を記入の上、お申込み下さい。(なお、WWW ホームページからも申込みできます)

申 込 先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 (社) 電子情報通信学会 サービス事業部

先端オープン講座担当 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

受講券と受講料 申込先着順に受講券をお送りします。受講券がお手元に届き次第、下記の受講料をお払込み下さい。

個人受講	区 分	A コース		Aa, Cs, Cp, D, F コース		●講義テキスト代金, 消費税を含む ●学生員及び高等学校教員は, 受講料割引の特典があります。お問い合わせ下さい。
		初受講	2 回目以降	初受講	2 回目以降	
	会 員	50,000 円	40,000 円	30,000 円	25,000 円	
	維持員に所属する非会員	60,000 円	50,000 円	35,000 円	30,000 円	
	非 会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	
	団 体 受 講	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半 2 コースの組合せ受講の場合、A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

- ・本会会員は会員優待制度 (受講料割引の特典) で受講できます。
- ・本講座受講が初めての場合は、「初受講」料金、これまでに本講座の受講経験のある場合は、「2 回目以降」料金になります。
- ・非会員の個人受講の方で、本会に入会を希望される方は、受講料を会員扱いとします。(詳細は連絡先にお問合せ下さい)
- ・映像情報メディア学会・応用物理学会・照明学会・情報処理学会・電気学会・土木学会等の個人会員の方の受講料は本会会員扱いとします。情報処理推進機構 (IPA) 利用登録団体及び、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ), (社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の企業会員に属する方の個人受講の受講料は、維持員に所属する非会員の扱いとします。

先端オープン講座 受講申込書

(講義のポイントを絞るための参考としますので、差し支えない範囲でできるだけ記入して下さい。)

1	ふりがな 受講者(代表者)氏名	2	年齢 歳
3	受講券の送り先(○印記入 自宅・勤務先) 〒 受講者(代表者)の勤務先名 TEL		
4	個人・団体受講, 希望 コース(○印で囲む)	個人受講 A: 通信ネット	Aa: インターネット
	団体受講	Cs: ソフト	Cp: PM
		D: プロトコル	F: セキュリティ
4	講座受講回数	1. 初回 2. 2回目以上	
	会員・非会員の別 (○印で囲む)	1. 正員 2. 学生員 (所属学会:) (会員番号:)	3. 維持員に所属する非 会員
		4. 非会員	5. 高校教員
5	本講座を何で知ったか (○で囲む, 複数可)	1. 本会誌 2. ポスター 3. 雑誌・新聞 4. 受講生からの紹介 5. 上司等からの紹介 6. WWW 7. その他 ()	
6	参加の動機 (○で囲む, 複数可)	1. 上司等からの奨め 2. 業務上の必要性 3. 専門的技術の蓄積・向上 4. 一般的技術の蓄積・向上 5. 教養の醸成 6. その他 ()	
7	これまでの主な業務名		
8	主な専門分野 (○で囲む, 複数可)	1. 教育/企画/コンサル 2. 営業 3. SE 4. ハード設計 5. ソフト開発 6. サービス/保守 7. その他 ()	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半2コースの組合せ受講の場合, A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

..... 切 取 線

Ⅲ 平成24年度春季講座のカリキュラム概要

カリキュラム詳細は, WWW ホームページで御覧になれます. (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>)

C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

各コース

(敬称略)

●A. 情報通信ネットワーク技術

6月16日から開講

インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術 (A コース後半3回)

6月30日から開講

-
- (6月16日 9:00~12:00) 情報ネットワークの概論 (通信網構成, トラヒック設計, 交換方式, QoS, ほか)
上山 憲昭 (N T T)
- (6月16日 13:00~16:00) IP 通信技術 (IPv4, IPv6, IP パケット, インターネットセキュリティ, ほか)
萱島 信 (日 立)
- (6月23日 9:00~12:00) 無線通信技術 (電波伝搬の基本特性, 変復調技術, ソフトウェア無線技術)
関 智弘 (N T T)
- (6月23日 13:00~16:00) 光ファイバ通信技術 (光アクセス技術, 光伝送技術, DWDM 伝送システム)
森田 逸郎 (K D D I 研)
-
- (6月30日 9:00~12:00) インターネットの通信技術(1) (LAN/WAN 技術, TCP/IP, TCP の性能, ほか)
山口 実靖 (工 学 院 大)
- (6月30日 13:00~16:00) インターネットの通信技術(2) (IP ルーティング, ルータ, トラヒック解析, ほか)
宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)
- (7月7日 9:00~12:00) モバイル通信技術(1) (無線アクセス技術, 無線 LAN, Bluetooth)
榎木 勘四郎 (K D D I 研)
- (7月7日 13:00~16:00) モバイル通信技術(2) (IMT-2000, モバイルインターネット, 次世代方式)
鈴木 俊博 (NTT ドコモ)
- (7月14日 9:00~12:00) 次世代ネットワーク (NGN) の通信技術 (SIP, IP 電話 IPTV, IMS, ほか)
中村 秀文 (N T T)
- (7月14日 13:00~16:00) 特別講義「情報通信ネットワークにおける新次世代技術の動向」(ネットワーク仮想化, OpenFlow, SDN, Data/Contents Centric Network, ネットワークのエネルギー最適化制御)
岡本 聡 (慶 大)

(敬称略)

●Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発

(6月16日, 23日9:00~16:00)

講師: 駒谷 昇一 (NTT データ)

- (6月16日 9:00~12:00) ソフトウェア開発方法の概要 (ソフトウェア開発とプログラム作成の違い, ほか)
- (6月16日 13:00~16:00) 開発提案の作成方法 (システム受注の流れ, システム提案書/開発計画書の構成, ほか)
- (6月23日 9:00~12:00) プログラム設計の進め方 (外部設計工程の進め方, 例示する「外部設計書」のレビューを体験, ほか)
- (6月23日 13:00~16:00) プログラム試験の進め方 (単体テスト/結合テスト/総合テストの進め方, ほか) 運用保守の進め方

(敬称略)

●Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント

(6月30日, 7月7日9:00~17:00)

- (6月30日 9:00~12:00) プロジェクトマネジメントの概要 (システム開発工程とプロジェクトプロセス, QCD視点によるプロジェクトマネジメント, ほか) 大森久美子 (N T T)
- (6月30日 13:00~14:50) 要件定義の概要と動向~発注者と開発者で意識ずれのないシステム設計を行うために~ (要件定義の目的, 機能要件と非機能要件, 発注者と受注者の合意形成とは, ほか) 柏木 雅之 (IPA/SEC)
- (6月30日 15:00~17:00) 開発の見積り手法 (見積りとは, 見積り対象, 見積り精度の向上, COCOMO等具体的な見積り手法, ほか) 菊地奈穂美 (沖 電 気)
- (7月7日 9:00~12:00) ソフトウェアの品質管理 (PMOの活動範囲, 開発プロジェクトにおける品質管理, 運用・保守における品質管理, ほか) 草場 圭三 (日 立)
- (7月7日 13:00~16:00) プロジェクトのリスクマネジメント (リスクとは, PMBOKの概要, システム開発における実際のリスク, ほか) 香村 求 (システム SWAT)

(敬称略)

●D. 情報通信プロトコル技術

(7月7日, 14日9:00~16:00)

- (7月7日 9:00~12:00) TCP/IPプロトコル (OSI参照モデル, IP, TCP) 加藤 聰彦 (電 通 大)
- (7月7日 13:00~16:00) LANのプロトコル (イーサネット, VLAN, 無線LAN) 奥野 通貴 (日 立)
- (7月14日 9:00~12:00) アプリケーション層プロトコル (DNS, HTTP, メール) 石井 秀治 (N I C T)
- (7月14日 13:00~16:00) モバイルネットワークのプロトコル (モバイルBB, IMS) 松本 徹也 (NTTドコモ)

(敬称略)

●F. 情報通信セキュリティ技術

6月16日から開講

- 1. セキュリティ概論 (セキュリティの必要性, セキュリティとプライバシー, ほか) 稲村 雄 (オメガセキュリティ)
- 2. サイバーセキュリティ (ネットワークアタックの概要 (CVEなど), ファイアウォール, ほか) 寺田 真敏 (日 立)
- 3. インターネットのセキュリティ技術 (Radius, VPN (IPSec), SPF/SenderID, DNSsec, ほか) 佐藤 亮太 (N T T)
- 4. 無線ネットワークのセキュリティ技術 (携帯電話 (3G, LTE), 無線LAN, Mobile Wimax, ほか) 清本 晋作 (KDDI研)
- 5. アプリケーションセキュリティ (暗号メール, Webセキュリティ, セキュアOS, 著作権管理技術, ほか) 小川 一人 (NHK技研)

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——関西支部——

●電気四学会関西支部「平成24年度合同報告会・講演会」

日時 平成24年4月20日(金) 13:00~19:30
会場 中央電気倶楽部5階ホール(大阪市北区堂島浜2-1-25
ドージマ地下センター南詰を右側に上り、右へ約50m、
左側のレンガ造り建物)

合同報告会 13:00~14:00 5階ホール

- (1) 各退任支部長挨拶
- (2) 報告
 - a. 平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画
 - b. 平成23年度決算報告及び平成24年度予算
- (3) 各新支部長の紹介及び挨拶
- (4) 新役員紹介

講演会 14:00~16:00 5階ホール

特別講演

- | | |
|-------------|------|
| ・電気学会 | 新支部長 |
| ・電子情報通信学会 | 新支部長 |
| ・照明学会 | 新支部長 |
| ・映像情報メディア学会 | 新支部長 |

表彰式 16:00~16:30 5階ホール

- ・電気関係学会関西連合大会奨励賞 表彰
- ・電気学会優秀論文発表賞 表彰
- ・電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞 表彰
- ・照明学会関西支部優秀論文発表賞 表彰
- ・映像情報メディア学会関西支部優秀論文発表賞 表彰

引継役員会 16:30~18:00 214号室ほか

懇親会 18:00~19:30 5階ホール

(会費:4,000円 ただし、受賞者は無料)
懇親会参加御希望の方は、下記の連絡先にお申込み下さい。当日、会場においても受け付け致します。

連絡先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

協賛 日本音響学会・電気設備学会各関西支部

——本会・ソサイエティ・

研究専門委員会等主催・共催——

●大川賞受賞記念シンポジウム

このたび、村井 純氏(慶應義塾大学教授)とイングリッド・ドブシー氏(デューク大学教授)の2011年度大川賞(※)受賞を記念して、シンポジウムを開催することとなりました。

本シンポジウムでは、受賞記念特別講演として、両氏の各分野における研究について、これまでの成果と今後の展望を、主に次世代の研究者に向けてお話して頂きます。また、第2部のパネル討論では、両氏の研究に対する姿勢と情熱を若い世代に向けて伝えるとともに、社会にとっての研究の重要性について議論します。

御多忙のことと存じますが、多数の皆様の御参加を賜りたくお願い申し上げます。

講演会・講習会・学術研究集会等

(※)情報・通信分野における研究、技術開発及び事業において顕著な社会的貢献をされた方の功に報い、その功績を表彰するとともに、情報・通信分野の更なる発展と啓発に寄与することを目的として、公益財団法人大川情報通信基金より授与される、国際的な賞
日時:2012年3月16日(金)14:30~17:30(14:00開場)
(シンポジウム終了後、懇親会がございます。)

場所:慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

東京都港区三田2-15-45

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

プログラム(第2部のみ同時通訳付き)

第1部:

開会挨拶

大川賞の趣旨・受賞者の紹介

相磯秀夫(大川賞審査委員長・慶應義塾大学名誉教授)

受賞記念特別講演(1)「インターネットの研究」(仮題)

村井 純(慶應義塾大学教授)

受賞記念特別講演(2)「ウェブレットの研究」(仮題)

イングリッド・ドブシー(デューク大学教授)

第2部:

パネル討論「研究者として生きる一次世代の研究者達へ」

パネリスト:イングリッド・ドブシー、村井 純

モデレータ:交渉中

定員:200名(定数に達し次第締切り)

シンポジウム参加費:無料

懇親会参加費:社会人4,000円、学生2,000円

申込み方法:参加申込みページにて受付

2月6日(月)から下記URLより御案内致します。

<http://www.wide.ad.jp/>

共催:社団法人 電子情報通信学会

公益財団法人 大川情報通信基金(大川財団)

慶應義塾大学

協力:一般社団法人 情報処理学会

社団法人 映像情報メディア学会

一般社団法人 画像電子学会

WIDEプロジェクト

●電子情報通信学会・電気学会・情報処理学会主催

JABEE 審査講習会

JABEE 審査講習会を下記のとおり開催致します。従来と同様にこの講習会を受講することにより審査におけるオブザーバの資格が取得できます。

なお、最後の質疑の中で2012年度に改定される認定基準に関する説明を予定しています。

実施日 平成24年3月23日(金)

場所 岡山大学津島キャンパス自然科学研究科棟第一講義室

http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/image/access.pdf

会費 主催学会会員:10,000円 非会員:15,000円

※当日受付にて現金でお支払い願います。

※会場までの交通費・宿泊費、当日の昼食費は各自御負担下さい。

定員 30名

申込締切 平成24年3月12日(月)

申込方法 下記ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/jabee/kenshukaishousai.html>

<プログラム>

9:10~9:20 受付

9:20~10:10 JABEE 認定制度の考え方と基本方針 田中良明
 10:10~11:10 JABEE 認定基準の解説並びに分野別要件 牧野光則
 11:10~12:00 認定・審査の手順と方法 三木哲也
 (昼休み)
 13:00~13:50 自己点検書 埴 雅典
 13:50~14:40 プログラム点検書及び審査報告書 白井 宏
 (休憩)
 14:50~15:40 審査チームの構成と関連規則, 実地審査の実際 荒川 薫
 15:40~16:30 審査の手引き 牧野光則
 16:30~17:00 質疑
 ※講師等が変更になる場合がございます。あらかじめ御了承下さい。

●フォトニックネットワークシンポジウム 2012——100G 光通信技術と国際競争力——

主催:総務省, 通信ソサイエティ
 共催:情報通信研究機構, YRP 研究開発推進協会
 1 波長当たり 100 Gbit/s の高速大容量光伝送システムの実用化が間近に迫っています。総務省・通信ソサイエティでは, 100 ギガビット光通信技術をはじめとする大容量光通信技術の最新動向を共有・議論する場として, フォトニックネットワークに関するシンポジウムを開催します。研究開発を先導してきたトップレベルの技術者・マネージャの方々による御講演, 及びパネル討論を予定しています。光通信技術に関する最新動向と今後の光通信ビジネス・産業の方向性を把握する場として, 会員の皆様の積極的な御参加をお願い致します。
 日時:3月15日(木) 10:00~17:00
 場所:YRP ホール(横須賀リサーチパーク・YRP センター1 番館)
 〒239-0847 横須賀市光の丘3番4号

参加費:無料

プログラム:

1. 基調講演:菊池和朗(東大)
2. 特別講演:宮部博史(NICT)
3. 技術セッション:光技術の最前線(100 ギガビット光通信技術)
 山崎悦史(NTT)・福知 清(NEC)・尾中 寛(富士通)・水落隆司(三菱電機)・調整中(日立)
4. パネルディスカッション:光技術の展開の行方
 コーディネータ:萩本和男(NTT)
 パネリスト(調整中):尾中 寛(富士通)・杉野 勲(総務省)・鈴木扇太(NTT)・日比野善典(NTTエレクトロニクス)・福知 清(NEC)・水落隆司(三菱電機)・調整中(日立)

※技術展示も併設実施する予定です。

【参加申込先】こちらのフォームからお申込み下さい。

<https://fs219.xbit.jp/a957/form2/>

【問合せ先】

フォトニックネットワークシンポジウム 2012 事務局
 TEL [03] 3370-2411
 (受付時間 10:00~18:00 土・日祝日を除く)
 FAX [03] 3370-2017
 E-mail: photonic@hip-ltd.co.jp

——本 会 が 協 賛 等 の も の——

(※は参加費割引あり)

第 26 回エレクトロニクス実装学会春季講演大会(※)

期 日 平成 24 年 3 月 7 日(水)~9 日(金)
 会 場 中央大学後楽園キャンパス 理工学部(東京都文京区)
 問合せ TEL [03] 5310-2010
 taikai26@jiep.or.jp http://www.e-jisso.jp

第 5 回情報学シンポジウム「情報学の来る 10 年のデザイン」

期 日 平成 24 年 3 月 9 日(金)
 会 場 日本学術会議講堂(東京都港区)
 問合せ 第 5 回情報学シンポジウム実行委員長
 情報学委員会幹事 尾家祐二 oie@cse.kyutech.ac.jp

市民フォーラム「平時から災害時に耐え得る医療を目指して」
 ——病院前から病院内まで情報通信技術が支援する——

期 日 平成 24 年 3 月 11 日(日)
 会 場 東京商工会議所東商ホール(東京都千代田区)
 問合せ 岐阜大学大学院医学研究科救急・災害分野内
 GEMITS アライアンスパートナーズ
 事務局 丸山・安藤・早矢仕
 TEL [058] 230-6447, FAX [058] 230-6458
 gemap@gemsis.jp

第 12 回制御部門大会(※)

期 日 平成 24 年 3 月 14 日(水)~16 日(金)
 会 場 奈良県文化会館(奈良市)
 問合せ 計測自動制御学会部門協議会担当
 TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

第 39 回知能システムシンポジウム(※)

期 日 平成 24 年 3 月 15 日(木), 16 日(金)
 会 場 千葉大学けやき会館(千葉市)
 問合せ 計測自動制御学会部門協議会担当
 TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

第 183 回研究会・第 39 回スピンエレクトロニクス専門研究会
 「磁化のダイナミクスと磁気緩和の物理」(※)

期 日 平成 24 年 3 月 22 日(木)
 会 場 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)
 問合せ 日本磁気学会事務局 TEL [03] 5281-0106
<http://www.wdc-jp.com/msj/seminar/topical/183.html>

第 18 回第 1 種 ME 技術実力検定試験, 講習会
 講演会

東京会場 期 日 平成 24 年 4 月 8 日(日)
 会 場 帝京平成大学(東京都豊島区)
 大阪会場 期 日 平成 24 年 4 月 15 日(日)
 会 場 新梅田研修センター(大阪市)

検定試験

期 日 平成 24 年 6 月 17 日(日)
 〈札幌会場〉北海道大学(札幌市)
 〈東京会場〉帝京平成大学(東京都豊島区)
 〈大阪会場〉新梅田研修センター(大阪市)

問合せ 同検定試験事務局
 TEL & FAX [03] 3813-5521 jimu@megijutu.jp

第22回電子顕微鏡大学(※)

期日 平成24年4月19日(木), 20日(金)
会場 東京大学本郷キャンパス小柴ホール(東京都文京区)
問合先 電顕大学事務局(東京大学大学院理学系研究科内)
eiko@eps.s.u-tokyo.ac.jp
TEL [03] 5841-4548, FAX [03] 5841-4555

第29回強誘電体応用会議(FMA-29)

期日 平成24年5月23日(水)~26日(土)
会場 コープイン京都(京都市)
問合先 東京工業大学大学院理工学研究科
材料工学専攻内強誘電体応用会議事務局 鶴見敬章
fma@ceram.titech.ac.jp http://fma.ceram.titech.ac.jp

第20回春季信頼性シンポジウム(※)

期日 平成24年6月11日(月)
会場 日本科学技術連盟千駄ヶ谷本部ビル(東京都渋谷区)
問合先 日本信頼性学会事務局 FAX [03] 5378-9844
reaj@juse.or.jp

第22回環境工学総合シンポジウム2012

期日 平成24年7月4日(水)~6日(金)
会場 東北大学片平キャンパス(仙台市)
問合先 日本機械学会環境工学部門 担当 村山
TEL [03] 5360-3506, FAX [03] 5360-3509
murayama@jsme.or.jp

第31回日本医用画像工学会大会(JAMIT2012)(※)

期日 平成24年8月4日(土), 5日(日)
会場 JA北海道厚生連札幌厚生病院(札幌市)
問合先 日本医用画像工学会事務局(クワンタム内)
TEL [03] 5684-1636, FAX [03] 5684-1650
office@jamit.jp http://www.jamit.jp/

平成24年電気学会産業応用部門大会(※)

期日 平成24年8月21日(火)~23日(木)
会場 千葉工業大学津田沼キャンパス(習志野市)
問合先 電気学会事業サービス課 担当 奈良
TEL [03] 3221-7313, FAX [03] 3221-3704
nara@iee.or.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

2012年国際固体素子・材料コンファレンス

期日 2012年9月24日(月)~27日(木)
会場 国立京都国際会館(京都市)
問合先 同コンファレンス事務局(インターグループ内)
TEL [03] 5549-6909, FAX [03] 5549-3201
ssdm_secretariat@intergroup.co.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第12回(平成24年度)材料科学技術振興財団
山崎貞一賞——

授賞論文: 論文の発表, 特許の取得, 方法・技術の開発等を通じて, 実用化につながる優れた創造的業績を上げている人。
授賞対象分野: (1) 材料, (2) 半導体及び半導体装置, (3) 計測評価, (4) バイオサイエンス・バイオテクノロジー
応募締切: 平成24年4月30日(月) 必着
件数及び賞金: 各分野それぞれに賞状及び副賞(18金メダル・賞金300万円)

問合先 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局
TEL [03] 3415-2200, FAX [03] 3415-5987
prize@mst.or.jp http://www.mst.or.jp/prize/

——平成24年度地方発明表彰——

本事業の趣旨

本発明表彰は, 各地方における発明の奨励・育成を図り, 科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として, 全国を北海道, 東北, 関東, 中部, 近畿, 中国, 四国及び九州の8地方に分け, 各地方において優秀な発明・考案・意匠を完成された方々, 発明等の実施化に尽力された方々, 発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え表彰するものです。

発明, 考案及び意匠の要件

- (1) 発明・考案(次のいずれも具備すること.)
 - ①特許または実用新案登録されているもので, 平成23年12月末時点で権利が存続していること.
 - ②発明, 考案は進歩性に優れ, かつ実施効果が顕著で科学技術の向上及び地域産業の発展に寄与していると認められること.
 - ③新しい技術の発展性を創出していると認められること.
 - ④応募時において係争関係にない, もしくは係争が終了していること.
- (2) 意匠(次の要件をいずれも具備すること.)
 - ①意匠登録されているもので, 平成24年12月末時点で権利が存続していること.
 - ②意匠は製品化され, 広く一般に利用されて地域産業の発展, 生活文化の向上に大きく寄与していると認められること.
 - ③現状, 機能など構成要素が極めて優れており, 新しい意匠の潮流を形成することが期待されること.
 - ④募集時において係争関係にない, もしくは係争が終了していること.

応募者等の資格

- (1) 応募者は, 当該特許・実用新案・意匠の権利を有すること.
- (2) 発明者・考案者・創作者は, 日本国籍を有するかまたは, 当該発明, 考案及び意匠を日本国内において完成させ, 上部, 本事業の趣旨に適合すると発明協会が認めた者であること.
- (3) 当該発明・考案及び意匠で, 過去に叙勲・国家褒章を受賞または発明協会主催の全国発明表彰あるいは本表彰を受賞していないこと.

締切日 平成24年3月31日(土) 各都道府県支部事務局 必着
問合先 発明協会 発明奨励グループ 発明奨励チーム
TEL [03] 3502-5431, FAX [03] 3502-3485
shourei@jiii.or.jp

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会出版事業部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●信州大学

公募人員 総合情報センター 助教2名

専門分野 信州大学の情報化、情報戦略、情報システム、ネットワークシステム等を担う総合情報センターにおいて、研究開発業務を担当する以下の1名ずつを募集する

①広域ネットワーク、分散システムに関して構築・運用を主として担当し、開発・研究ができる方

②教育基盤システム(LMS)、クラウドシステムに関して構築・運用を主として担当し、開発・研究ができる方

応募締切 平成24年3月30日(金)必着

問合先 総合情報センター長 不破 泰, fuwa@shinshu-u.ac.jp

●名古屋大学

公募人員 大学院工学研究科電子情報システム専攻情報デバイス講座 准教授1名

専門分野 半導体デバイスをベースに、電子情報と物質化学との融合に意欲のある方

着任時期 平成24年10月1日以降

応募締切 平成24年3月30日(金)必着

問合先 電子情報システム専攻教授 中里和郎

詳 細 <http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/>

●電気通信大学

公募人員 大学院情報システム学研究科社会知能情報学専攻 テンユア・トラック助教1名

専門分野 ソフトウェア工学

応募資格 博士の学位を有しており、上記募集分野において優秀な研究をしていること。(詳細はURL参照)

着任時期 平成24年7月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年3月30日(金)必着

問合先 大学院情報システム学研究科教授 大須賀昭彦

TEL [042] 443-5605, ohsuga@is.uec.ac.jp

詳 細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●電気通信大学

公募人員 情報理工学研究科情報・通信工学専攻 准教授1名

専門分野 音響エレクトロニクスに関する分野、特に生活の質の向上に資する意味での音響工学

授業担当 情報・通信工学に関する大学院科目、学部基礎科目等

応募資格 博士の学位及び上記の専門分野に研究業績を有し、当該分野に関する研究分野に意欲と熱意のある方

任 期 なし

応募締切 平成24年5月28日(月)必着

問合先 鎌倉友男, kamakura@ee.uec.ac.jp

詳 細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●岐阜大学

公募人員 電気電子工学科情報システム工学講座 教授1名

専門分野 通信・ネットワーク工学、システム工学、計測工学、制御工学

応募資格 博士の学位等

着任予定時期 平成24年7月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年3月31日(土)必着

問合先 工学部電気電子工学科長 安田直彦

TEL [058] 293-2677, yasuda-n@gifu-u.ac.jp

詳 細 <http://jrecin.jst.go.jp/>

●岡山大学

公募人員 大学院自然科学研究科 准教授1名

専門分野 グリーンイノベーションに関係した電気エネルギー変換、電磁エネルギー制御、電磁デバイス関連及びその基盤技術を含む分野

着任時期 平成24年度のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年4月16日(月)必着

問合先 電気電子機能開発学講座主任 深野秀樹

fukano@elec.okayama-u.ac.jp

詳 細 http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html

●東北大学

公募人員 工学研究科電気・通信工学専攻 教授1名

専門分野 電磁波工学

応募資格 応募時に博士の学位を有すること。国籍は問わないが日本語及び英語で的確に意思の疎通ができ、かつ日本語で学生を指導できる能力を有すること

着任時期 平成25年4月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年4月27日(金)必着

問合先 電気・通信工学専攻長、教授 一ノ倉 理

TEL [022] 795-7052

詳 細 <http://www.ecei.tohoku.ac.jp/public/Information20120111.html>

●九州工業大学

公募人員 大学院情報工学研究院電子情報工学研究系 教授1名

専門分野 エネルギー、電源、電子材料などエネルギー問題を解決するための工学関連分野

担当科目 力学、基礎物理実験、電磁気、電気回路、量子力学、電子材料のような基礎及び専門物理関連科目

応募資格 博士の学位を有し、研究及び教育に熱意のある方

着任時期 平成24年9月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成24年5月1日(火)必着

問合先 小田部荘司, otabe@cse.kyutech.ac.jp

詳 細 <http://www.cse.kyutech.ac.jp>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 5月号掲載分 平成24年3月23日(金)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので、併せて御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——平成 24 年度会費お払込みのお願い——

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを 11 月末にお願いしましたが、1 月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、1 月末に再度振込用紙をお送りしておりますのでお支払いをお願いします。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願いします。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 24 年 4 月末にお送りする予定です。

——転勤・引越し及び

学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局サービス事業部会員課宛てに御連絡下さい。

毎月 1 日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいませようお願いします。

また、4 月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Web サイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail : kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——英文論文誌 B レターカテゴリ

廃止について——

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会

現在、英文論文誌 B には Paper, Letter の二つのカテゴリがありますが、2012 年 5 月 31 日を最後に Letter の投稿受付を停止し、英文論文誌 B は Paper（フルペーパー）のみの構成とすることになりましたので、お知らせ致します。ただし、英文論文誌 B に掲載された論文に対する紙上討論としての Letter は引き続き投稿を受け付けます。

Letter カテゴリが対象としていた速報を目的とした短編の論文については、より速報性に優れたオンラインレター誌 ComEX (<http://www.comex.ieice.org/>) (2012 年 3 月 1 日投稿受付開始, 2012 年 6 月 1 日創刊) に御投稿頂きますようお願い致します。

お知らせ

——IEICE Electronics Express (ELEX) の
掲載料の変更並びに随時公開の開始について——

IEICE Electronics Express 編集委員会

電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティでは、英文電子ジャーナル誌 IEICE Electronics Express (ELEX) の掲載料を改訂し、2012 年 3 月以降の投稿論文から新掲載料を徴収することになりましたので、御協力のほどよろしくお願い致します。

新掲載料におきましては、刷り上がりページ数と電子ファイル形式により料金を変更させて頂いております。

刷り上がりページ数が 6 ページ以下の場合、LaTeX 形式の原稿に対する掲載料は論文 1 件当たり、30,000 円、MS-Word 形式の原稿では論文 1 件当たり、40,000 円です。

一方、刷り上がりページ数が 7 ページ以上、12 ページ以下の場合、LaTeX 形式の原稿に対する掲載料は論文 1 件当たり、80,000 円、MS-Word 形式の原稿では論文 1 件当たり、100,000 円です。

刷り上がりページ数が 13 ページ以上の論文は受理致しませんので御注意願います。また動画などのマルチメディアファイルを含む場合は、ファイル 1 点当たり別途 3,150 円が加算されますので御留意願います。

※上記表示価格は消費税 5% を含みます。

また、ELEX は毎月 2 回発行しておりますが、論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2012 年 4 月から論文の随時公開を開始することになりましたので、お知らせ致します。

——卓越研究データベース（日本）の

名称変更と公開のお知らせ——

本会と関連学会、独立行政法人日本学術振興会で作成作業をしておりました「電気のデジタル博物館」は、このたび、機械分野やバイオ分野などを加えて拡張・リニューアルし、データベースの名称を「発見と発明のデジタル博物館」に変更して公開しましたので是非御覧下さい。

発見と発明のデジタル博物館の URL : <http://dbnst.nii.ac.jp>

——平成 24 年 3 月号及び 4 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

4 月号 [英文] Reliable Robust Radio Control Technology

(通信ソサイエティ)

3 月号 [英文] New/Next Generation Photonic Networking and Future Networks

4 月号 [和文] 人・社会を支えるネットワークソフトウェア技術とその応用

4 月号 [英文] Cognitive Radio and Heterogeneous Wireless Networks in Conjunction with Main Topics of CrownCom2011

(エレクトロニクスソサイエティ)

3 月号 [英文] Josephson Junctions—Past 50 years and Future—

4 月号 [英文] Solid-State Circuit Design—Architecture, Circuit,

告 57

——「産・官・学共同研究」募集のお知らせ——

下記機関では「共同研究、受託研究」のテーマ等を、広く社会から募集しています。

関心をお持ちの方は記載の URL にて詳細を御確認下さい。
(大学等にて募集案内の掲載を希望される場合は、事務局サービス事業部 (service@ieice.org) まで原稿をお送り下さい)

- ・機関名：産業連携への窓 (全国版)
URL : <http://zeus.crc.uec.ac.jp/model/>
(国立大学 56 校の共同研究センターの情報を掲載)
- ・機関名：早稲田大学理工学総合研究センター
URL : <http://www.rise.waseda.ac.jp/>
- ・機関名：中央大学理工学研究所
URL : <http://www.ise.chuo-u.ac.jp/TISE/index-j.htm>
- ・機関名：立命館大学産官学交流事業推進室 BKC リエゾンオフィス
URL : <http://www.ritsumei.ac.jp/jimu/bkc-liaison/index.html>
- ・機関名：明治大学知的資産センター
URL : <http://www.meiji.ac.jp/jigyoka/tloindex.htm>
- ・機関名：東京電機大学産官学交流センター
URL : <http://www.dendai.ac.jp/crc/>
- ・機関名：関西大学先端科学技術推進機構
URL : <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/>
- ・機関名：愛知工業大学総合技術研究所
URL : <http://aitech.ac.jp/res/>
- ・機関名：東京大学国際・産業共同研究センター
URL : <http://www-db.ccr.u-tokyo.ac.jp>
- ・機関名：東京大学空間情報科学研究センター
URL : http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/research_activities/joint-research.html/

平成 24 年度電子情報通信学会 技術研究報告 予約募集案内

◎技術研究報告予約募集について

平成 24 年 4 月以降 25 年 3 月までの 1 か年分の技術研究報告の予約を募集致します。一旦御予約頂きますと、中止のお申し出がない限り次年度以降自動的に継続されます。平成 24 年 4 月より新規に予約を希望される方は、次ページの予約申込書に御記入の上、お申込み下さい (<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuhoukoku.html> からもお申込み頂けます)。平成 23 年度中に既に予約されている場合は、別途変更通知をお送りしておりますので、次ページの予約申込書では追加、変更等を行わないで下さい。
☆電磁界理論の予約申込みは電気学会事業サービス第 2 課研究会資料年間予約担当 [TEL (03) 3221-7313] へお願い致します。

申込方法 「平成 24 年度技術研究報告予約申込書 (新規用)」に送付先住所、氏名、電話番号、数量等を御記入の上、お送り下さい。

予約申込締切 平成 24 年 3 月 30 日 (金) 締切を過ぎてお申込みの場合、4 月分からお届けできないことがありますので御注意下さい。

- 送金方法**
- 1) 現金書留の場合 予約申込書を必ず同封して下さい。
 - 2) 郵便振替の場合 局所定の振替用紙を御利用の上、通信欄に「平成 24 年度技術研究報告予約代」と御記入下さい。申込書は別途、御送付下さい。
口座番号 00120-0-35300
口座名義 社団法人 電子情報通信学会
 - 3) 銀行送金の場合 申込書に送金日、送金額のメモを同封して御送付下さい。
三菱東京 UFJ 銀行 本店 普通 7636756
口座名義人 社団法人 電子情報通信学会
 - 4) 前払いが原則ですが、やむを得ず請求書等が必要な場合は、その旨申込書にメモを付けて下さい。
また、各機関所定の請求書が必要な場合は申込書に添付して下さい。

その他 技術研究報告は研究会開催月の翌月中旬頃研究会別に送付先住所へお送り致します (研究会に参加された場合は会場で受領できます)。内容物の不足、誤配につきましては受領後速やかに御連絡下さい。お申し出が遅い場合、在庫切れによりお送りできないことがありますので、御注意下さい。

申込・問合せ先 〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
(社)電子情報通信学会集會事業部研究会担当
TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
E-mail : ken@ieice.org

◎研究会の「取扱う主要研究分野」について

各研究専門委員会の「取扱う主要研究分野」を作成致しましたので、技術研究報告の予約申込み、研究発表などに御利用下さい。

なお、技術研究報告の予約・購入は会員外でも可能ですが、研究発表及び聴講参加は原則として会員に限ります。

※予約申込み書は次ページに掲載

平成 24 年度技術研究報告予約申込書（新規用）

* 予約番号

送付先	〒 _____	TEL (_____) _____
		E-mail : _____

* 研究会の情報や技術研究報告についてお知らせします。

(単位：円)

記号 (略称)	研究会名	本体価格	消費税	予約価 (税込)	数量	合価
CAS	回路とシステム	13,200	660	13,860		
IT	情報理論	9,100	455	9,555		
R	信頼性	7,500	375	7,875		
US	超音波	11,400	570	11,970		
EA	応用音響	10,500	525	11,025		
NLP	非線形問題	17,100	855	17,955		
VLD	VLSI 設計技術	15,500	775	16,275		
ISEC	情報セキュリティ	18,500	925	19,425		
SIP	信号処理	10,900	545	11,445		
WBS	ワイドバンドシステム	5,400	270	5,670		
MSS	システム数理論と応用	7,300	365	7,665		
TL	思考と言語	5,700	285	5,985		
SITE	技術と社会・倫理	10,400	520	10,920		
SSS	安全性	3,600	180	3,780		
ITS	ITS	8,500	425	8,925		
SIS	スマートインフォメディアシステム	12,400	620	13,020		
IMQ	イメージ・メディア・クオリティ	6,500	325	6,825		
A・P	アンテナ・伝播	13,000	650	13,650		
SANE	宇宙・航行エレクトロニクス	22,500	1,125	23,625		
SAT	衛星通信	10,500	525	11,025		
EMCJ	環境電磁工学	11,200	560	11,760		
NS	ネットワークシステム	23,000	1,150	24,150		
IN	情報ネットワーク	17,100	855	17,955		
CS	通信方式	14,100	705	14,805		
EE	電子通信エネルギー技術	5,400	270	5,670		
OCS	光通信システム	9,300	465	9,765		
RCS	無線通信システム	22,300	1,115	23,415		
CQ	コミュニケーションクオリティ	10,500	525	11,025		
PN	フォトニックネットワーク	11,300	565	11,865		
OFT	光ファイバ応用技術	9,000	450	9,450		
ICM	情報通信マネジメント	10,400	520	10,920		
MoMuC	モバイルマルチメディア通信	10,400	520	10,920		
IA	インターネットアーキテクチャ	11,100	555	11,655		
SR	ソフトウェア無線	12,000	600	12,600		
AN	アドホックネットワーク	13,200	660	13,860		
USN	ユビキタス・センサネットワーク	7,200	360	7,560		
EMD	機構デバイス	16,300	815	17,115		
MR	磁気記録・情報ストレージ	7,100	355	7,455		
SCE	超伝導エレクトロニクス	5,000	250	5,250		
EID	電子ディスプレイ	6,800	340	7,140		
ED	電子デバイス	15,600	780	16,380		
CPM	電子部品・材料	14,800	740	15,540		
SDM	シリコン材料・デバイス	17,500	875	18,375		
MW	マイクロ波	14,800	740	15,540		
ICD	集積回路	13,800	690	14,490		
OME	有機エレクトロニクス	8,800	440	9,240		
OPE	光エレクトロニクス	18,000	900	18,900		
LQE	レーザー・量子エレクトロニクス	13,100	655	13,755		
EST	エレクトロニクスシミュレーション	22,200	1,110	23,310		
MWP	マイクロ波・ミリ波フォトニクス	17,600	880	18,480		
MBE	ME とバイオサイバネティクス	10,500	525	11,025		
LOIS	ライフィレンティジェンスとオフィス情報システム	9,700	485	10,185		
IE	画像工学	11,700	585	12,285		
NLC	言語理解とコミュニケーション	3,600	180	3,780		
CPSY	コンピュータシステム	7,700	385	8,085		
COMP	コンピュータシオン	6,900	345	7,245		
AI	人工知能と知識処理	3,500	175	3,675		
SS	ソフトウェアサイエンス	7,100	355	7,455		
DE	データ工学	3,600	180	3,780		
PRMU	パターン認識・メディア理解	12,300	615	12,915		
DC	ディペンダブルコンピューティング	10,200	510	10,710		
NC	ニューロコンピューティング	12,300	615	12,915		
KBSE	知能ソフトウェア工学	5,700	285	5,985		
SP	音声	10,200	510	10,710		
ET	教育工学	7,100	355	7,455		
MI	医用画像	14,300	715	15,015		
SWIM	ソフトウェアインタプライズモデリング	5,100	255	5,355		
RECONF	リコンフィギャラブルシステム	7,200	360	7,560		
ICSS	情報通信システムセキュリティ	10,300	515	10,815		
IBISML	情報論的学習理論と機械学習	9,300	465	9,765		
EMM	マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	12,100	605	12,705		
CNR	クラウドネットワークロボット	6,600	330	6,930		
SC	サービスコンピューティング	4,700	235	4,935		
HCS	ヒューマンコミュニケーション基礎	9,400	470	9,870		
HIP	ヒューマン情報処理	10,800	540	11,340		
MVE	マルチメディア・仮想環境基礎	14,900	745	15,645		
WIT	福祉情報工学	8,400	420	8,820		
一組	上記一揃え	843,600	42,180	885,780		
	合 計			件		円

(新設)

電子情報通信学会 各研究専門委員会の取扱う主要研究分野 <78部門>平成24年度

◎基礎・境界サイエティ

研究会名	取 扱 う 主 要 研 究 分 野
回路とシステム (CAS)	◎回路理論 (線形及び非線形, 受動及び能動, 時変及び時不変, 集中定数及び分布定数) ○モデリングとシミュレーション ○回路のCAD ◎各種フィルタ ◎アナログ・デジタル回路 ◎A-D・D-A変換回路 ◎電子回路応用 ○信号理論と 信号処理アルゴリズム ◎アナログ・デジタル信号処理回路 ○VLSIシステム ◎ニューラルネット ○組合せアルゴ リズム ◎グラフとネットワーク ○システムと制御 ○オペレーションズリサーチ ◎大規模システム ○電力システム における回路とシステム技術
情報理論 (IT)	◎シャノン理論 ○情報基礎理論・基礎数理 ◎情報源符号化 ◎データ圧縮 ○画像符号化 ○音声符号化 ◎通信路符 号化 ◎記録符号化 ◎誤り訂正・検出符号 ◎符号化変調 ◎マルチユーザ情報理論 ◎確率過程 ○仮説検定・パラ メータ推定 ◎大偏差理論 ○制御理論 ○組合せ理論 ○暗号理論 ○情報セキュリティ ○信号理論 ○信号検出論 ○信号処理 ○通信方式論 ○知的情報論と推論機構 ◎量子情報理論 ○光情報理論 ◎情報理論応用 ○遺伝情報
信頼性 (R)	◎信頼性・保全性理論 ◎高信頼性設計 ○信頼性試験 ○信頼性成長と予測のモデル ○異常の予知・診断 ◎故障解析 ○ソフトウェア信頼性 ○人間信頼性 ○保全方式と支援 ○データ収集と処理 ◎信頼性・保全性管理
*1 超音波 (US)	◎超音波の情動的応用 (計測, 探知, 通信など) ◎強力超音波応用 ○超音波物理 ○超音波化学 ○弾性振動 ○超音波 伝搬 ◎超音波用電気音響変換器 ○超高周波超音波 ○弾性表面波 ◎医用超音波 ◎水中音響
*1 応用音響 (EA)	◎音響信号, 音波, 機械振動を対象とするシステム (電気音響変換器, 電話機, 放送機器, オーディオ機器, 通信端末シス テム, 音響信号処理システム, 音場制御システム, 騒音制御システムなど) 及びその要素に関連する技術 ○前記システム とその要素における受音, 送音, 信号伝送, 処理, 記録, 再生機器技術 ○装置, 部品, 材料技術 ○ヒューマン・マシン インタフェース技術 ◎音場及び音響環境技術 ○音楽音響, 楽器に関連する技術 ◎音響信号の解析, 処理, ソフトウェ ア関連技術 ○音響測定, 計測技術 ○音響学の基礎理論及び新たな応用技術
非線形問題 (NLP)	◎電気回路, 電磁気, 機械, 制御, システムなどにおける非線形問題 ◎カオス, フラクタル, ソリトン, ニューラルネッ トワークなどの理論と応用 ◎大規模非線形電気・電子回路における現象と数値解析 ○境界領域における非線形現象 ○ 非線形問題に関連した応用数学 ○生物, 心理, 経済, 社会現象などに関連した非線形問題 (サイバネティックス, 神経回 路モデル, 反応・拡散過程, 形態形成など)
VLSI 設計技術 (VLD)	◎VLSI設計方法論 (IPに基づく設計技術, 設計環境などを含む) ◎システム記述言語, ハードウェア記述言語 ◎ハード ウェア/ソフトウェア協調設計手法 (組込みシステム, コンパイラ技術などを含む) ◎自動合成手法 (システム合成, 動作・ 機能合成, 論理合成) ◎設計検証手法 (シミュレーション, 形式的手法) ◎レイアウト手法 (自動配置配線など) ◎テス ト手法 (テスト生成, テスト容易化設計など) ◎テクノロジーCAD (プロセス・デバイスシミュレーション, デバイスモデ リングなど) ◎回路設計手法 (デジタル回路, アナログ回路) ◎ディープサブミクロン設計技術 (Design for Manufac turability, Signal/Power Integrity) ◎再構成可能VLSIとその応用 (エミュレーション技術を含む) ◎設計事例 (新アー キテクチャとCADなど) ◎最適化技術 (性能, 面積, 電力, 信頼性など) ◎VLSI CADに適用可能な基盤アルゴリズム
情報セキュ リティ (ISEC)	◎暗号理論 ○計算手法 ◎暗号方式 ○暗号解析 ○鍵配送, 鍵管理 ○秘話, スクランプル ◎認証, デジタル署名 ○暗号プロトコル ○零知識証明 ○アクセス制御, 情報流制御, 推論制御 ○個人識別技術 ◎ネットワークセキュリ ティ ○データベースセキュリティ ○ソフトウェア保護, 著作権保護 ○プライバシー保護 ◎セキュリティマネジメン ト ○コンピュータ犯罪 ◎暗号技術の各種応用分野
信号処理 (SIP)	◎デジタルフィルタ ◎高速変換アルゴリズム ○高速デジタル処理 ○線形予測理論 ○スペクトル推定・システム 同定 ◎適応信号処理 ○通信用信号処理 ○制御用信号処理 ○信号処理用VLSI ◎光信号処理 ○多次元信号処理 ○ 非線形信号処理 ◎シグナルプロセッサ ◎ニューロン信号処理 ◎人工知能と信号処理の融合 ○知的信号処理 ○マル チメディア信号処理
ワイドバン ドシステム (WBS)	◎符号の構成理論 (拡散符号の構成法, 誤り訂正符号との併用など) ◎方式設計・評価理論 (各種応用システムの設計, 他 方式との比較・評価など) ◎変復調法・変復調理論 (変復調法, 変復調回路, 変復調デバイス, マルチキャリア伝送, 時間・ 空間信号処理など) ◎同期方式・デバイス (同期回路, 同期方式, 同期用デバイスなど) ◎多元接続法 (CDMA (符号分 割多元接続), SDMA (空間分割多元接続), 及びTDMA, FDMAとの併用など) ◎各種応用分野 (グリーンワイヤレス, スペクトル拡散法を用いる各種公衆通信, パーソナル通信, 無線LAN, 電力線搬送, コンシューマ通信, マルチメディア情 報通信, ITS (高度交通システム), 計測・測距, ソフトウェアラジオ, 光CDMA, 光空間処理, 量子情報通信, OFDM, デジタル放送, 有線通信, xDSL, 電力線通信, UWB), 及び同一の原理・現象が適用可能な各種境界領域
システム数 理と応用 (MSS)	○システム数理基礎理論 (グラフ, ベトリネット, ネットワーク, ワークフローネット, 並行システム, システム最適化, ハイブリッドシステム, 分散システム, マルチエージェントシステム, ゲーム理論, 離散事象システム理論など) ○システ ム設計・検証の数理 (形式的モデル化技術, 形式検証, 故障診断, 性能評価, シミュレーション, フォールトトレランスな ど) ○サイバーフィジカルシステムの数理 (組込みシステム, ネットワーク化制御, センサネットワーク, 協調制御, リア ルタイムシステムなど) ○ヒューマンファクターの数理 (人間行動の解析とモデル化, ビジネスプロセス, サービスサイエ ンスなど) ○数理的手法の応用・ケーススタディ (エレベータ制御, 生産スケジューリング, AGV制御, オンデマンドバ ス制御, 大規模ソフトウェア設計などシステム数理的手法の実システムへの応用) ○新しい数理的手法 (オープンシステム サイエンス, システムバイオロジーなど)
思考と言語 (TL)	○思考と言語の心的過程 ○思考と言語を司る脳機能 ○円滑なコミュニケーションを支える言語的・非言語的機能 ○思 考と言語に係る, 学習・発達過程, 障害・加齢現象, リハビリ, 癒し, 情緒, その他様々な活動の観測・分析・定式化・ モデル化・考察 ○上記の知見に基づく言語処理システム, 情報検索システム, 思考支援システム, 教育システム, メディア 処理, 及び, コンテンツ創成の理論, Semantic Web, Semantic Computingなどのネットワークコミュニケーション基礎技術
技術と社会 ・倫理 (SITE)	情報通信と倫理, コンピュータ倫理, 倫理学, 思想・哲学, 情報化と人間の変容, プライバシーと個人情報保護, 暗号と倫 理, 知的財産権と倫理, PL法と倫理, 通信の秘密と倫理, マスメディアと倫理, 情報通信倫理綱領, 職業倫理, 医療情報倫 理, 経営倫理, 情報通信倫理教育, ネットワーク社会と制度, 情報リテラシー, マルチメディアコンテンツと倫理, セキュ リティポリシー, デジタルデバイド

安全性 (SSS)	○総合的安全分野 安全の基本, 安全の尺度, リスク, 安全関係の法律・規格, 安全教育, 点検, PSA, フォールトトレランス, フェールセーフ, ヒューマンファクタ, ソフトウェア 安全性解析 (FTA, FMEA, ランクマトリクス, ETA, RCA, ベトリネット) ○個別的安全分野 交通安全, 製品安全, 産業安全, 原子力関係, 医療関係, 食品関係, 防災防犯関係 (地震, 洪水, 台風, 雷, 情報・防犯システム, 警戒システム) 環境分野 (排水・汚染, CO ₂ 問題, 環境ホルモン, 農業, バイオなど)
ITS (ITS)	◎ ITS と社会生活に関する総合的研究 (福祉・エコロジー・法制度・保険制度・経済波及効果, 消費者・市民の立場からの要望など) ◎ ITS 関連産業のサービスを含めた総合的見地からの研究 (ITS 技術の研究・開発・施策の動向, ITS 関連の開発機構・コンソーシアムなどの動向, 情報通信業界・自動車機器業界・交通インフラ業界などの動向, 国際標準化への貢献, ITS システムアーキテクチャなど) ◎ ITS 通信技術 (衛星通信・放送・携帯電話・PHS・ミリ波通信, 光通信・光電波融合, 路車間通信・車々間通信・人車間通信, ETC・ビーコン, DSRC, インターネット・無線 LAN・無線 MAN・無線 PAN, アドホックネットワーク, センサネットワーク, ネットワークアーキテクチャなど) ◎ ITS エレクトロニクス技術 (ナビゲーションシステム, 自動走行システム・自動誘導システム・安全運転支援システムなど) ◎ ITS ヒューマン技術 (音声認識・音声合成などヒューマンインタフェース (HMI), 歩行者関連技術など) ◎ ITS インフラ技術 (交通管理技術, ビーコン・料金所路側機器, 道路状況監視・自動運転レーン, 車両誘導・運行管理, 緊急車両の運行支援 (緊急時通報, 緊急車両の経路誘導など), タクシーなど最適配車・運行管理, デマンド交通など) ◎航空・海上・陸上 ITS 技術 (航空・船舶・鉄道関連技術など) ◎ ITS センシング技術 (測位・測距, 画像センシング, レーダ, プローブシステム, 交通渋滞計測・交通気象観測, 障害物探査・路面状態計測, 視界計測・眠気・疲労計測, 走行映像モニタ記録, 燃料補給スケジューラなど) ◎ ITS ポジショニング技術 (GPS, 磁気マーカ, ペイントマーカ, 無線タグなど) ◎ ITS 画像技術 (画像認識, 交通流計測, 歩行者検出, レーンキーピング, 突発事象計測など) ◎ ITS 情報技術 (OS・ソフトウェア技術・データベース技術, 交通予測・気象予測, デジタル地図・地理情報 (GIS)・観光情報・建物情報, 電子決済・セキュリティ, マナー・倫理など) ◎その他 ITS に関連するあらゆる研究
スマートインフォメディアシステム (SIS)	スマートパーソナルシステム (パーソナル情報システム, スマートホームエレクトロニクス, パーソナルヒューマンインタフェース, スマートモバイルシステム) ソフトコンピューティング (ニューロ・ファジィシステム, エボリューションシステム, 環境適応システム, ヒューマン適応システム) 知的マルチメディア処理システム (適応メディア処理, 非線形メディア処理, メディア認識処理, 感性・心理を考慮した情報処理) システムオンシリコン (超高速メディアシステム, 超小型情報処理システム, 超低消費電力型メディアシステム, ユビキタスシステム) RFID 関連技術全般 (RFID (IC タグ・IC カード) を利用したシステムにおけるハードウェア技術, 及びシステム技術)
イメージ・メディア・クオリティ (IMQ)	〔通信・放送, カメラ, ディスプレイ, 印刷, CG などイメーティングメディアの画質・質感の評価法に関わる基盤技術〕 視覚の心理物理モデル (動き知覚モデル, 奥行き知覚モデル, 色覚モデル), 像評価測度論 (統計解析, 多変量解析, 数量化理論, 評定尺度法, 系列範疇法), 像評価計測論 (眼球運動・視線計測, 「感動」計測, 没入感計測, デバイス物理測定), 主観評価方式 (n 対比較法, 動画像提示法, DSIS, DSCQS, SSCQE), 像情報特性解析 (階調・色再現特性, 解像力, ダイナミックレンジ, 量子化信号解析), 観察環境と視覚特性 (光源, 明度・色順応, 暗所・明所視, 色の見え・質感モデル), 画質評価システム (画質評価自動化アルゴリズム, ハード・ソフト実現) 〔各メディア固有の評価技術〕 撮像系像評価 (光学系像評価, 光電変換特性, センサ物性, 熱雑音評価, 色再現評価・Q-factor), 通信系像評価 (伝送方式, QoS, 没入感評価, 臨場感評価), 放送系像評価 (超高精細 TV, 伝送色方式, デジタル素材伝送, 3D テレビ放送), 蓄積系像評価 (パッケージメディア像評価, 映像ネットアーカイブ, 映像ネット検索, 医用画像), 処理系像評価 (画像符号化誤差像評価), 表示系像評価 (表示デバイス特性評価, 動き視認性評価, 3D 像評価, MPRT), 印刷系像評価 (像形成微細モデル, 色再現性, 印刷適性, 階調再現評価), 生成系像評価 (仮想・複合現実感評価, 光線追跡評価)

◎通信ソサイエティ

研究会名	取 扱 う 主 要 研 究 分 野
アンテナ・伝播 (A・P)	〔電波伝搬・非通信利用〕電波・光波の伝搬, 回折と散乱, 移動伝搬, 屋内伝搬, 対流圏・電離圏伝搬, 電力伝送, 電波計測・リモートセンシング, 電波環境測定 〔アンテナ一般〕アンテナ理論, アンテナ素子, アレーアンテナ, 開口面アンテナ, ミリ波アンテナ, 小型アンテナ, 設計・解析手法, 人体の影響 〔アンテナシステム〕アンテナ測定, アンテナ給電回路, アダプティブアンテナ, MIMO アンテナシステム, 到来波推定, 光技術・光電波融合技術
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	〔衛星技術〕衛星システム, 衛星サブシステム・搭載機器, 衛星ミッション機器開発・利用, 小型衛星, 宇宙ステーション, 軌道上サービス, 姿勢・軌道制御 〔電子・電波応用システム〕レーダ, 測距・測位, 時刻標準, マイクロ波・光通信, データ中継, トラッキング, テレメトリ・コマンド, エネルギー伝送 〔リモートセンシング〕地球・科学観測システム, 防災応用関連技術, センサ技術, データ処理・記録・伝送装置 〔航法・交通管制〕衛星測位, GNSS, GPS, 準天頂衛星, シュードライト, 航空機・道路管制, 位置情報サービス
衛星通信 (SAT)	〔衛星通信・衛星放送システム〕固定衛星通信システム, 移動衛星通信システム, 放送衛星システム, 衛星間通信システム, 静止衛星システム, 非静止衛星システム, 周波数共用技術, 干渉軽減技術 〔衛星・地球局ハードウェア〕衛星搭載機器, 地球局装置, 移動端末機器 〔衛星応用システム〕衛星・陸上統合システム, 衛星・陸上補完システム, 遠隔教育・医療, 災害対策・防災, デジタルデバインド対策, 衛星インターネット, 衛星センサネットワーク, システムコスト分析 〔通信関連要素技術〕変復調方式, 符号化技術, 光通信技術, アクセス方式, 誤り訂正, セキュリティ技術, 通信プロトコル, 測位 〔制御・管理関連技術〕ネットワーク制御・管理方式, リソース制御・管理方式, 軌道・姿勢制御
環境電磁工学 (EMC)	〔EMC 対策・設計技術〕伝送線路問題, 電子回路の EMC 設計, PCB 周辺の EMC 問題, EMC に関する回路解析, 近傍・遠方電磁界解析, プローブ技術, 電磁氣的結合問題, 整合回路 〔EMC 測定技術と国際規格〕エミッション測定, イミュニティ測定, アンテナ係数, 標準, 電磁環境評価技術, EMC に関する国際規格, EMC に関する標準, 周波数の有効利用 〔EMC 材料技術・電磁波の生体効果〕電波吸収体, 電磁シールド, フィルタ, センサ, 材料定数測定, EMC に関するメタマテリアル, SAR 評価と解析技術, 電磁波の医療応用 〔通信に関する EMC 問題〕PLC (電力線搬送通信), 無線 LAN と電磁環境, 携帯情報端末と EMC 問題, 通信障害, シグナルインテグリティ, ケーブル, コネクタ, ブロードバンド通信の EMC 問題 〔放電ノイズ・雑音〕ESD (静電気放電), 電気接点, サージ, 過渡変動, 雷, 自然雑音, 人工雑音, 波源推定

ネットワークシステム (NS)	<p>〔ネットワークアーキテクチャ〕 ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, アドホックネットワーク, オーバレイネットワーク, P2P ネットワーク, センサネットワーク, NGN, 新世代ネットワーク</p> <p>〔ネットワークシステム構成技術〕 ネットワーク構成技術, システム構成技術, サーバクライアント構成技術, システムソフトウェア, システムハードウェア, スwitchingシステム, トランスポートシステム, システム信頼性向上技術</p> <p>〔ネットワーク制御とプロトコル〕 ルーティング, マルチキャスト, セッション・VoIP 制御, フロー制御・キューイング, クロスレイヤ制御, 有線・無線 LAN プロトコル, トラヒックエンジニアリング, TCP/IP</p> <p>〔ネットワークアプリケーション実現技術〕 ストリーミング, VoIP, コンテンツ配信, Web サービス, ネットワークソフトウェア, セキュリティ, 認証技術, プライバシー</p> <p>〔ネットワーク品質と管理〕 トラヒック評価, 通信トラヒック理論, 品質評価, ネットワーク性能評価, QoS/QoE, 信頼性・ロバスト性, トラヒック・品質管理, ネットワーク・システム管理</p>
情報ネットワーク (IN)	<p>〔ネットワークアーキテクチャ〕 IP ネットワーク, モバイルネットワーク, 次世代・新世代ネットワーク, フォトニックネットワーク, オーバレイネットワーク, センサネットワーク, ユビキタスネットワーク, 情報家電ネットワーク</p> <p>〔ネットワークサービス〕 インターネットサービス, ブロードバンドサービス, Web サービス/SOA/ROA, コンテンツ配信/流通, 通信放送融合, ソーシャルネットワーク, プライベートネットワーク (VPN), 認証/ID 管理</p> <p>〔ネットワーク理論〕 ネットワークアルゴリズム, プロトコル, ルーティング, マルチキャスト, トラヒック理論, トラヒック計測, 性能評価</p> <p>〔ネットワーク制御〕 ネットワーク管理, リソース管理, ポリシー管理, デバイス管理, セッション管理</p> <p>〔ネットワーク技術〕 実装技術, ソフトウェア技術, 分散処理技術, セキュリティ技術, 信頼性技術, 仮想化技術, グリーニング技術, 相互接続技術/標準化</p>
通信方式 (CS)	<p>〔伝送方式〕 ブロードバンドアクセス方式, バケット伝送方式, 電力線通信方式, 光伝送方式, 超高速伝送方式, 多重化方式, 同期方式</p> <p>〔変復調・符号化方式と信号処理〕 変復調方式, 誤り検出・訂正符号, 符号化方式, デジタル信号処理, 信号処理プロセッサ, ネットワークコーディング</p> <p>〔ネットワークアーキテクチャ〕 アクセスネットワーク, 広域 Ethernet, 光通信ネットワーク, ホームネットワーク, 次世代・新世代ネットワーク, 経路・トラヒック制御, ネットワークセキュリティ, ネットワークサバイバリティ</p> <p>〔無線ネットワークと応用〕 無線 LAN/MAN, PAN (Personal Area Network), BAN (Body Area Network), センサネットワーク, アドホックネットワーク, コグニティブ無線, 光無線融合</p> <p>〔ネットワークのサービスと活用〕 ネットワークサービス, ブロードバンドサービス, 映像配信・通信, サービス用端末, 医療応用, 教育応用</p>
電子通信エネルギー技術 (EE)	<p>〔電力用部品〕 半導体デバイス, 磁性デバイス, 大容量キャパシタ, 圧電デバイス, マイクロエレクトロニクス応用技術</p> <p>〔電力変換装置〕 DC-DC コンバータ, 整流器, インバータ, アクティブフィルタ, ソフトスイッチング, 新しい電力変換回路技術・制御技術</p> <p>〔電源システム〕 電力供給システム, 無停電電源システム, 小形化・高密度化・集積化, 実装・冷却技術, 計測・解析・シミュレーション, 信頼性, EMC, 新しい産業用・家電用の電源</p> <p>〔エネルギーシステム〕 太陽光発電, 燃料電池発電, 風力発電, エネルギー伝送・供給システム, 省エネルギーシステム, 超伝導技術, 熱利用技術, 水素エネルギー利用技術</p> <p>〔電池〕 高エネルギー密度化, 長寿命化, 高信頼化, 保守・管理技術</p>
光通信システム (OCS)	<p>〔光ファイバ伝送路〕 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ</p> <p>〔光通信方式〕 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技術非線形・偏波問題, アナログ光伝送, 空間・可視光伝送, 量子通信</p> <p>〔光通信機器〕 光中継装置, 光クロスコネクタ (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光送受信機・光端局装置, 光通信用デジタル信号処理, 誤り訂正, 光多重・分離装置, 光通信計測</p> <p>〔デバイスのシステム応用〕 分散補償デバイス, 光信号処理, 合分波器, 光ファイバ型デバイス, 発光, 受光素子, 光スイッチ素子, 光測定器, 光通信用 LSI</p> <p>〔光通信網・規格〕 コア・メトロシステム, 海底伝送システム, 光アクセスシステム・次世代 PON, イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, 伝送監視制御, 光伝送システム設計・ツール</p>
無線通信システム (RCS)	<p>〔無線通信理論〕 周波数有効利用技術, 通信路容量評価, 変復調理論, 適応信号処理, 情報理論, 符号理論, セキュリティ, ネットワーク構成</p> <p>〔無線伝送方式〕 移動通信方式, 固定通信, 光無線通信, ダイバーシチ, 適応リンク制御, 誤り制御, MIMO, 適応等化・干渉キャンセラ</p> <p>〔無線アクセス方式〕 多元接続 (マルチアクセス), マルチキャリア, 無線 LAN/PAN, 無線リソース制御, 放送技術 (ブロードキャスト), 協力・協調通信, 同期技術, MAC</p> <p>〔無線ネットワーク技術〕 マルチホップネットワーク, 無線中継 (リレー), センサネットワーク, ハンドオーバ, QoS 制御, 分散ネットワーク, ヘテロジニアスネットワーク, クロスレイヤ技術</p> <p>〔無線通信標準化・実装技術〕 回線設計, 移動機・基地局装置, 制御装置, 変復調回路, 標準化技術, 無線センシング技術, 無線伝搬測定, 環境電磁</p>
コミュニケーションクオリティ (CQ)	<p>〔ネットワーク QoS 技術〕 QoS・トラヒック測定・制御, ネットワーク品質測定・管理, ネットワーク性能評価, QoS マッピング, 品質基準, 信頼性・安全性評価, ネットワークアーキテクチャ, ネットワークモデリング</p> <p>〔各種ネットワークの QoS/QoE〕 モバイルネットワーク, P2P・オーバレイネットワーク, 次世代ネットワーク, 新世代ネットワーク, ホームネットワーク</p> <p>〔QoE (ユーザ体感品質)〕 QoE 測定・管理, 五感メディア, メディア同期, インセンティブ, ユーザビリティ, ユーザ効用</p> <p>〔コミュニケーションデザイン〕 超臨場感通信, クロスモーダル・マルチモーダル, 仮想世界のコミュニケーション, ソーシャルネットワーク, 個人適応化</p>

<p>フォトニックネットワーク (PN)</p>	<p>〔光ネットワークデバイス〕基盤デバイス技術, 新デバイス技術, 新素材・新現象, 実装技術, 光スイッチ, 光信号処理, 光ラベル処理, 光メモリ 〔光ネットワークシステム〕光パケットスイッチング, 光バーストスイッチング, 光バススイッチング, 光多重化, 光ラベル変復調, 光アクセス技術, イーサネット技術, 光空間通信 〔光ネットワーク制御・管理〕光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, ルーチング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視 〔光ネットワークアプリケーション〕ブロードバンドアプリケーション, 大容量コンテンツ転送, 高品位映像転送, グリッドコンピューティング, オーバレイネットワーク, 高速通信プロトコル 〔光ネットワークアーキテクチャ〕新世代ネットワーク, beyond IP ネットワーク, レイヤ間インタワーキング, 光ネットワークテストベッド, 相互接続試験, 光電気融合技術, 低消費電力化技術</p>
<p>光ファイバ応用技術 (OFT)</p>	<p>〔光ファイバセンシング〕光ファイバセンシングシステム, 光ファイバセンサ, 光ファイバジャイロ, 近接場光ファイバプローブ, 分布型/リモート光センシング, 光ファイバ測定技術, 各種環境下用光ファイバ配線技術, 光応用測定技術 〔光ファイバ信号・情報制御〕光リモートコントロールシステム, 光ソリトニクス情報制御, 光ファイバ論理回路, 光ファイバスイッチング, 光ファイバテザラ線, センシング/情報制御, 光信号処理, 光ファイバ映像伝送 〔光ファイバエネルギー輸送〕ハイパワーレーザー光輸送/分配, 光給電, イメージガイド, 照明/表示, レーザ加工/医療システム 〔光ファイバ線路試験/保守運用〕光ファイバ試験システム, 光線路保守, 故障位置探索, 長期信頼性, 光心線対照, 所内光配線/管理, 光ファイバ測定技術 〔光ファイバ線路構成技術〕光ファイバ線路設計技術, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路構成部品 (光ファイバ, 光ケーブル, 光ファイバアンブ, 光ファイバレーザ, 光ファイバグレーティング, 光ファイバカップラ, 光ファイバコネクタなど), 光ファイバ線路構成部品信頼性</p>
<p>情報通信マネジメント (ICM)</p>	<p>〔エレメント管理・ネットワーク管理〕モバイル・無線ネットワーク, IP ネットワーク, オーバレイネットワーク, アクセスネットワーク, 端末管理, センサ・アドホックネットワーク, ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク 〔サービス管理・ビジネス管理〕マルチメディアサービス管理, データサービス管理, ホスティング, SNS, グリッド・クラウド, 仮想化, ビジネスモデル, 法・倫理 〔管理機能〕FCAPS, SLA, イベント管理, ポリシーベース管理, 自律管理, エージェントベース管理, 管理アーキテクチャ, ヒューマンインタフェース 〔運用管理技術〕管理モデル・管理プロトコル, モニタリング, トラヒックエンジニアリング, QoS, 品質評価, NMS 基盤, 複雑系, P2P 〔理論・運用方法論〕制御理論, 最適化理論, 経済理論, シミュレーション, データマイニング, 実証手法, 開発方法論, オントロジー・意味モデリング</p>
<p>モバイルマルチメディア通信 (MoMuC)</p>	<p>〔MM ネットワーク技術〕モバイル NW アーキテクチャ, モビリティサポート, モバイルストリーミング, モバイルマルチキャスト, モバイル向けフロー制御, モバイルマルチメディア QoS, 車両間通信ネットワーク, モバイルユビキタス NW 〔MM 端末技術〕端末アーキテクチャ, 端末メディア提示, モバイル端末向け情報家電 NW, モバイルシンクライアント 〔MM アプリケーション技術〕MM 信号処理, MM 品質評価, モバイル感性通信, モバイルコンテンツ技術, モバイル通信放送融合, モバイルクロスレイヤ処理 〔MM サービス技術〕安心・安全モバイルサービス, モバイルコンテキストウェア, モバイルサービス評価, モバイルネットワーク/端末連携</p>
<p>インターネットアーキテクチャ (IA)</p>	<p>〔インターネット活用事例と社会〕グリーン IT, 教育応用, 医療応用, 高齢者・障害者支援, ビジネスコンティニュイティ, 著作権管理, インターネット放送, ネットワーク中立性 〔インターネットの相互接続・運用管理〕インターネット運用・管理技術, 設定自動化, トラヒックコントロール技術, スケーラビリティ, 相互運用性, QoS, アイデンティティマネジメント (IDM), エンタープライズネットワーク, キャンパス情報システム 〔ネットワークアーキテクチャとプロトコル〕新世代ネットワーク, オーバレイと P2P ネットワーク, マルチホーム, ネットワーク仮想化, IPv6, 経路制御, トランスポートプロトコル, ワイヤレスインターネットプロトコル, モビリティサポート 〔インターネットアプリケーションとミドルウェア〕研究開発テストベッド構築・利用, センサ応用, 映像ストリーミング, オープンテクノロジー, マッシュアップ, リッチクライアント, クラウドコンピューティング 〔インターネットセキュリティ〕セキュリティポリシーと情報倫理, 個人情報保護, 電子メールと SPAM 対策, トレースバック技術, VPN (仮想閉域網), PKI (公開鍵基盤), IDS/IPS (侵入検出/防御システム)</p>
<p>ソフトウェア無線 (SR)</p>	<p>〔ソフトウェア無線〕ソフトウェア無線アーキテクチャ, 広帯域・マルチバンドアンテナ, リコンフィギャラブル RF 回路, 高速高効率 A-D・D-A 変換器, リコンフィギャラブルロジック, 無線環境認識, 環境適応通信, ソフトウェアダウンロード 〔コグニティブ無線〕スペクトルセンシング, 異システム間ローミング, ダイナミックスペクトルアクセス, チャネルアグリゲーション, コグニティブ無線用 MAC, ロードバランス, コグニティブネットワーク 〔無線分散ネットワーク〕協調センシング, 周波数共有, 与干渉・被干渉回避, 分散 MIMO, 適応リソース制御, 協調・連携通信, クロスレイヤ最適化, 分散ネットワーク同期 〔無線機実装〕ソフトウェア無線機, コグニティブ無線機, 無線信号処理実装, プロトタイプハードウェア, 技術基準適合証明, 無線機互換性保証, ミドルウェア, API</p>
<p>アドホックネットワーク (AN)</p>	<p>〔モバイルアドホックネットワーク〕ルーチングプロトコル, セキュリティ, QoS 制御, インターネット接続, MAC プロトコル, TCP 性能, マルチチャネル制御, 大規模化 〔無線マルチホップ/メッシュネットワーク〕MAC/ルーチングプロトコル, トラヒック制御, クロスレイヤ設計, インターネットとの連携, 信頼性/セキュリティ, QoS 制御, 性能評価, テストベッド 〔センサネットワーク〕アドホックセンサネットワーク, センシングデータ収集, 広域網との連携, 省電力, センサネットワーク応用, センサネットワーク運用管理, リソース制御, セキュリティ/プライバシ 〔自律分散制御〕自律分散協調制御, 負荷分散・トラヒック制御, QoS 制御, 最適/適応ルーチング, 無線リソース管理・制御, 負荷分散, 協力中継, セキュリティ管理・制御, タイミング・時刻同期 〔アドホックネットワーク応用〕非常時通信ネットワーク, 地域無線ネットワーク, モバイル P2P コミュニケーション, 遠隔監視システム, ITS・車々間通信システム, 農業支援システム, 医療・福祉支援システム, 生産・製造支援システム</p>

ユビキタス・センサネットワーク (USN)	<p>〔ユビキタス・センサネットワークを支える基礎理論〕 情報理論, 通信理論, 符号理論, 制御理論, 信号処理, 分散処理, 分散制御</p> <p>〔ユビキタス・センサネットワークの要素技術〕 フュージョン, データベース/マイニング, トポロジー・リソース管理, プロトコルデザイン, 位置情報技術, セキュリティ・プライバシー保護技術, コンテキスト適応技術, オートコンフィグレーション技術</p> <p>〔ユビキタス・センサネットワーク・プラットフォーム〕 デバイス/アプライアンス技術, RFID, 省電力デバイス, 低電磁干渉, デバイスの最適設計, 基盤ソフトウェア技術, ミドルウェア技術, スマートスペース技術</p> <p>〔ユビキタス・センサネットワーク・アプリケーション〕 災害救助, 環境計測, 自動制御, 生活医療支援, コンテキスト適応型アプリケーション, 位置適応型アプリケーション, 実空間指向アプリケーション, ロボット</p>
-----------------------	---

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	取 扱 う 主 要 研 究 分 野
機構 デバイス (EMD)	◎基礎:◎接触理論 ◎接続基礎 ◎接触界面現象 ◎熱問題 ◎トライボロジー ◎放電物理 ◎デバイス設計 ◎光-電気ハイブリッド ◎デバイス・部品:◎リレー ◎スイッチ ◎コネクタ ◎ブレーカ ◎小型モータ ◎アクチュエータ ◎光コネクタ ◎光スイッチ ◎材料:◎接点 ◎パネ ◎モールド ◎導電性樹脂 ◎はんだ ◎環境・信頼性:◎環境調和(リデュース, リユース, リサイクル) ◎寿命・信頼性 ◎評価法 ◎設計法 ◎電磁環境との調和設計 ◎微細加工技術・デバイス:◎MEMS・NEMS ◎その他 ◎応用:◎電力・通信・制御 ◎実装 ◎家電 ◎自動車 ◎コンピュータ及びその周辺機器 ◎交流・直流 ◎高周波応用
磁気記録・ 情報ストレージ (MR)	◎情報記録の原理(磁気, 光, その他) ◎記録再生理論 ◎記録再生用材料・部品(記録媒体, ヘッドなど) ◎信号処理, 変復調, サーボ, トライボロジー技術 ◎情報記録装置及びシステム ◎記録関連評価・計測技術 ◎その他記録関連技術
超伝導エレクト ロニクス(SCE)	◎超伝導材料 ◎超伝導応用 ◎超伝導センサ ◎超伝導センシングシステム ◎超伝導デジタルデバイス ◎ジョセフソン電圧標準 ◎超伝導集積回路 ◎超伝導情報通信システム ◎超伝導量子ビット ◎超伝導高周波デバイス ◎超伝導インタフェース技術 ◎極低温技術 ◎電子機器用超伝導マグネット ◎低温電子デバイス
電子ディスプレイ (EID)	◎発光・非発光ディスプレイデバイス(CRT, VFD, PDP, LED, LCD, ECD, EPID, OLED, MEMS, フレキシブルディスプレイ, 電子ペーパーのほか, 新方式デバイス) ◎ディスプレイデバイス材料(蛍光体, 発光半導体, 液晶, エレクトロクロミック材料, エレクトロフォレットチック材料など) ◎ディスプレイ周辺部材と駆動回路(新ドライバ素子, 駆動方式, アクティブマトリクス, バックライト, タッチパネルなど) ◎ディスプレイ方式とシステム(カラーディスプレイ, 投写型, 大型ディスプレイ, 三次元ディスプレイ, ディスプレイシステムとサブシステム) ◎ディスプレイ評価と設計(評価法, 人間工学, シミュレーション, 設計法など)
電子デバイス (ED)	◎電子デバイス及び集積回路:光通信, 移動体通信, マイクロ波, ミリ波, テラヘルツ波, 超高速デジタル, 撮像・ディスプレイ・センサ, 電力変換・発電などのシステムに利用されるもの ◎デバイスの種類:FET, HEMT, HBT, バイポーラデバイス, ダイオード, パワーデバイス(IGBT, サイリスタなど), TFT, MOS・MIS・ショットキー接合による各種デバイス, 太陽電池, 各種センサ, 量子効果デバイス, 単一電子デバイス, カーボンナノチューブデバイス, 真空ナノデバイス, 電子管, MEMS, フィルタ, その他の新デバイス ◎扱う材料:化合物半導体(Ⅲ-V, Ⅲ-Nなど), SiGe, SiC, ダイアモンド, カーボン, アモルファス半導体, 多結晶半導体, 酸化半導体, 強・常誘電体, 超伝導材料, 有機材料, その他の電子材料 ◎プロセス技術:結晶成長, ヘテロ接合形成, 超微細構造形成, 表面・界面制御, 電極・パッシベーション, ビーム応用など ◎モデリングとシミュレーション:デバイス/プロセス, 熱, 応力, 回路など ◎電子デバイスにおける諸現象:電子輸送, ひずみ, ノイズ, 非線形現象, カオスなど
電子部品・ 材料(CPM)	◎誘電体・圧電体・磁性体・導体・半導体材料, 有機電子材料, フォトニクス材料, 実装関連材料など各種電気・電子材料とその物性 ◎結晶育成技術, 薄膜・厚膜形成技術 ◎センサ, 記憶・記録, 圧電, 電気化学などの電子部品 ◎回路部品, ハイブリッドICの設計・製造法など, 実装技術及び信頼性評価
電磁界理論 (EMT)	◎電磁界の基礎理論 ◎相対論(重力波を含む) ◎数学的解析理論と応用 ◎数値解法理論, 計算電磁気学 ◎量子電磁力学 ◎波動情報処理 ◎他系との結合理論と解析(レーザ, プラズマ, 電子ビームを含む) ◎非線形問題 ◎放射, 伝搬 ◎散乱・回折 ◎周期構造 ◎ランダム媒質・粗面 ◎過渡解析 ◎高周波漸近解法 ◎逆問題・逆散乱 ◎導波路
シリコン材 料・デバイス (SDM)	◎材料:◎単結晶 ◎多結晶 ◎アモルファス ◎Si デバイス・プロセスに関わる材料(絶縁膜, 強誘電体, 高誘電率膜, 金属, 有機材料, ガス, 薬品など) ◎物性評価技術 ◎プロセス技術:◎エピタキシャル成長 ◎CVD ◎スパッタ ◎MBE ◎酸化 ◎ドーピング ◎光・イオンプロセス ◎リソグラフィ ◎エッチング ◎浅層・薄膜化 ◎配線技術等 ◎実装技術:◎多層配線・コンタクト・TSV ◎SiP ◎三次元パッケージ ◎信頼性技術 ◎素子構造:◎MOS ◎バイポーラ ◎SIT ◎高耐圧デバイス ◎電力用デバイス ◎TFT ◎SOI ◎三次元素子 ◎LSIメモリセルセンサ ◎Siヘテロ素子 ◎Siの新素子 ◎ニューロチップ技術 ◎素子分離 ◎デバイス評価技術 ◎低温動作デバイス ◎BiCMOSなど ◎太陽電池 ◎機能ナノデバイス:◎カーボンナノチューブ ◎グラフェン ◎モデリング・信頼性:◎ホットキャリア効果 ◎LDD構造 ◎耐放射線素子 ◎プロセスシミュレーション ◎デバイスモデリング ◎信頼性評価技術など ◎System on Glass, System on Panel ◎半導体生産技術:◎クリーン化技術 ◎製造装置技術 ◎自動化技術 ◎アセンブリ技術
マイクロ波 (MW)	マイクロ波, ミリ波, サブミリ波, テラヘルツ波領域における材料, 回路, 素子(デバイス), 各種技術, 応用・システム ◎材料(誘電体, 磁性材料など) ◎回路:◎受動回路(伝送線路, 導波路, 素子) ◎回路合成, ◎能動回路(デバイス, MMIC), ◎準光学的回路・素子(アクティブアンテナ等を含む) ◎素子(半導体デバイスなど):◎光制御マイクロ波・ミリ波素子, ◎非線形応用回路・素子, ◎弾性波素子, ◎超伝導素子, ◎電子管 ◎各種技術:◎電磁界解析(CAD, シミュレーション), ◎回路実装技術, ◎計測技術(センサを含む), ◎マイクロ波・ミリ波フォトニクス, ◎超伝導応用技術, ◎マイクロマシン応用技術 ◎応用・システム:◎電力応用, ◎電磁波と生体との相互作用(医療応用など), ◎システム応用・通信装置(高周波用デジタル技術を含む)

集積回路 (ICD)	◎ LSI 回路, デバイス技術 ○ LSI デバイス技術 (バイポーラ, CMOS, SOI, BiCMOS, GaAs その他化合物, 量子効果デバイスなど) ○ LSI 回路技術 (高速化, 低消費電力化, 低雑音化, 高精度化など) ◎メモリ LSI ○汎用メモリ (DRAM, SRAM, ROM, 不揮発性メモリ, 強誘電体メモリ, シンクロナス DRAM など) ○専用メモリ (画像用メモリ, 通信用メモリ, FIFO, 連想メモリ, 知能メモリなど) ◎プロセッサ ○汎用マイクロプロセッサ ○マイクロコントローラ ○専用プロセッサ ○ DSP (音声用, 通信用, 画像用など) ○ AI プロセッサ・ニューロ LSI ◎システム LSI ○各種専用 LSI ○通信用 LSI ○ ASIC 技術 (ゲートアレイ, セルベース LSI, コアベース LSI, システム ASIC FPGA など) ○マルチメディア LSI (マルチメディア用 LSI, エンタテイメント用 LSI など) ◎アナログ LSI ○基本アナログ回路 (演算増幅器, 高周波回路など) ○データ変換器 (A-D 変換器, D-A 変換器など) ○フィルタ回路 (能動フィルタ, スイッチトキヤパシタフィルタなど) ○アナログ・デジタル混載 LSI ◎集積化センサ (イメージセンサ, IR センサ, 圧力センサなど) ◎新概念の LSI ◎インタフェース技術 ○クロック関連技術 (PLL, クロックドライバなど) ◎ LSI 実装技術 (LSI パッケージ, TAB, マルチチップモジュールなど) ◎ LSI 測定・評価・解析技術 (LSI テスタ, 故障解析など) ◎ LSI フォールトトレラント技術 (ECC, 冗長回路など) ◎ LSI テスト容易化設計 (スキャンパス, BIST など) ◎ VLSI 設計技術 ◎ LSI CAD 応用技術 (アーキテクチャ, 回路, 合成など) ◎ LSI 応用技術
有機エレクトロニクス (OME)	○分子電子デバイス, 分子素子, 有機トランジスタ ○液晶表示素子, 有機 EL 素子, 有機電子ペーパー, 有機感光体, ○有機膜センサ, バイオセンサ, ガス・イオンセンサ, バイオチップ ○光導波路, 光スイッチ, 光コネクタ, フォトリフラクティブ ○電解コンデンサ, 線路素子, 有機太陽電池, 有機光電池, ポリマー電池, 有機ラジカル電池 ○分子メモリ, 有機光記録, 極微細加工レジスト, フォトケミカルホールバーニング, 人工筋肉 ○有機半導体, 有機導電材料, 有機絶縁材料, 有機超伝導体, 有機磁性材料, 液晶材料, 有機相転移材料, 有機光非線形材料, 有機ナノ材料
光エレクトロニクス (OPE)	光・電子集積回路 (OEIC) 集積フォトニクス 光導波路解析 導波型光デバイス (各種材料) 光デバイス設計 面型光デバイス 空間光学デバイス 光ファイバ (ホーリーファイバ・マルチコア・マルチモードファイバ並びに接続技術を含む) 光モジュール・コンポーネント 光インタコネクション 光センサ 光計測 光スイッチ・光変調器 光・光制御光メモリ 光情報処理・光信号処理 光メモリ 適応型デバイス 光 MEMS フォトニック結晶 (パッシブ) シリコンフォトニクス
レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)	半導体レーザ, 発光ダイオード, 光増幅器 (半導体・ファイバアンプ) 光変調器 (半導体・LN), 光検出器 (半導体・他), 光スイッチ (半導体・LN) 半導体光集積回路 (OOIC・OEIC), フォトニック結晶 (アクティブ) アクティブ光モジュール (発光・受光・光変調・光増幅) 波長変換, 光ソリトン, 超短光パルス 非線形光学, 位相共役光学, 量子光学, レーザ分光 光半導体結晶成長・素子プロセス, 光材料物性
エレクトロニクスシミュレーション (EST)	電子工学一般に関するシミュレーション技術, 技法 (電磁波, 回路, 半導体, システムなど) シミュレーション高速化技術 既存シミュレータの比較検証 (規範問題の提示など) 複合シミュレーション技術 (電磁波と機械/化学/熱などのマルチフィジックスシミュレーション) シミュレータ向け共通プラットフォーム技術 技術教育用電磁界解析シミュレータの構築
マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)	マイクロ波・ミリ波・サブミリ波帯光デバイス及び駆動回路 光制御マイクロ波・ミリ波デバイス 光マイクロ波融合デバイス及びサブシステム マイクロ波・ミリ波技術による光信号の制御 フォトニクス技術によるマイクロ波・ミリ波の検知・計測 フォトニクス技術によるマイクロ波ミリ波信号及び超高速電気信号の発生と制御 フォトニックネットワークと協調したマイクロ波・ミリ波無線システム 光ファイバによるマイクロ波ミリ波の伝送 (ROF: Radio on Fiber) 光ファイバ給電ワイヤレスアクセスシステム 光制御アンテナ及びフェーズドアレイ フォトニクス技術による未開拓電波領域の利用・新展開 電波応用技術によるコヒーレント光の利用・新展開 電波と光無線の共存共栄・新展開 環境情報取得・環境計測に向けた電波技術と光波技術の協調・新展開 電波と光波との融合技術に係る実用化開発と標準化動向

◎情報・システムサイエティ

* 2 ME とバイオサイバネティクス (MBE)	ME 関連 ◎医用計測・解析・制御 ○医用機器の開発 ◎医用画像処理 ○医療情報システム ○生体補綴・人工臓器 ○再生医療工学 ○分子・細胞工学 ○リハビリ工学 ○臨床工学 ○その他の医工学に関連したもの バイオサイバネティクス関連 ◎神経・生理システムの機能計測・解析 ○感覚・中枢系における情報処理 ◎生体システムの計測・解析・モデリング・シミュレーション ◎生体信号処理 ○バイオインフォマティクス ○フィジオーム ○バイオセンサ ○その他の生体工学に関連したもの
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)	◎ライフログ (ライフログ活用技術, ライフインテリジェンス, ライフログデータ解析) ◎オフィスモデル (業務モデル, BPR, 情報共有, XML, 文書構造, 文書処理, ワークフロー) ◎コミュニケーション (共同作業を支援する技術) (電子メール, グループウェア, CMS, ブログ, SNS, ソーシャル Web, 仮想共有環境, 仮想オフィス) ◎データマイニング (ライフログやオフィスなどの情報抽出技術) (行動分析, ユーザ状況推定, 顧客情報マイニング, ナレッジマネジメント, メールマイニング, 人工知能応用) ◎システムアーキテクチャ (Web サービス, 情報システムガイドライン, SOA, Web API, RSS, マッシュアップ, SLA) ◎ネットワーク (クラウドコンピューティング, SaaS, センサネットワーク, ユビキタスネットワーク, VPN, P2P) ◎セキュリティ (匿名化技術, ユーザプロファイルハンドリング, アクセス制御, コンピュータウイルス, スパム, 著作権管理) ◎ヒューマンインタフェース (可視化, モバイルインタフェース, リッチインタフェース, Ajax) ◎その他オフィスアプリケーション (意思決定支援, 学内情報システム, CTI, CRM, インターネット家電, IPTV, 電子書籍)
画像工学 (IE)	○画像基礎 (画像情報論, 視覚特性, 画像評価, 画像符号化, 色彩信号処理, 走査方式) ○画像デバイス・装置・入出力・記録技術 ◎画像通信・画像応用システム (静止画通信, TV 電話・会議通信, 蓄積画像通信, HDTV, CATV, 3D 画像通信, 画像情報処理システム, オーディオビジュアル) ◎画像処理・計測 (画像処理手法, 文書画像処理, 3D 画像入出力, CG 応用, 画像処理装置・プロセッサ) ◎画像データベース (画像構造化・蓄積・検索・機能図形処理) ○マルチメディア・コンピューティング (ビジュアルインタフェース, ビジュアルランゲージ, ハイパメディア, 映像ハンドリング)
言語理解とコミュニケーション (NLC)	◎テキストマイニング, ◎大規模 Web テキスト (ブログ, 掲示板, FAQ サイト, SNS など) からの知識獲得・活用, ○大規模言語資源 (コーパス, 辞書など) の構築・活用, ○主観表現処理 (評判, 意見, 感情表現処理など), ○集合知のための基盤技術 (機械学習, 推論など), ○自然言語処理のための基盤技術 (形態素解析, 構文解析, 係り受け解析, 意味解析など), ○集合知を利用したシステム開発 (情報検索, 情報フィルタリング, 機械翻訳, 文書要約, 質問応答など), ○自然言語理解のための基礎理論, ○対話処理 (音声対話, 対話分析など)
コンピュータシステム (CPSY)	○コンピュータハードウェア (論理回路, 記憶装置, 入出力装置, コンピュータ端末, スーパーコンピュータなど) ◎ VLSI コンピュータ (VLSI アーキテクチャ, マイクロコンピュータ, メモリ, システムオンチップ, チップマルチプロセッサなど) ◎コンピュータシステム (次世代コンピュータ, 並列処理システム, グリッド, PC クラスタ, 分散処理システム, 組込みシステム, 自律システム, コンピュータ通信, 運用管理, 実時間処理, 実世界とコンピュータシステムなど) ◎ストレージシステム ○システムソフトウェア (オペレーティングシステム, データベース, 言語プロセッサ, エディタなど) ○アプリケーションソフトウェア (コンピュータグラフィックス, CAD, 生産管理システム, シミュレーションなど) ○マン・マシンインタフェース ○コンピュータネットワーク (ネットワークインタフェース, 通信機構ソフトウェア, クラウドコンピューティングなど)

コンピュータシオン (COMP)	計算可能性の理論, 計算量理論, オートマトン理論, 形式言語理論, 計算の変換と検証, グラフ理論, 組合せ論, アルゴリズムとデータ構造, 量子計算, 分子計算, 並列/分散計算, 知能処理基礎論, 学習理論, 発見科学, 計算におけるランダム性, 符号/暗号理論, 記号計算, 計算幾何学, 計算生物学, 離散最適化, 数理計画法, メタヒューリスティクス, 複雑ネットワークの理論
人工知能と知識処理 (AI)	◎知的エージェント ◎マルチエージェント ◎コミュニティウェア ◎ソーシャルネットワーク ◎知的コミュニケーション ◎知的インタフェース ◎知識メディア ◎知的学習環境 ◎知能ロボット ◎Web インテリジェンス ◎セマンティック Web ◎情報フィルタリング ◎データマイニング ◎ナレッジマネジメント ◎人工生命 ◎遺伝的アルゴリズム ◎ニューラルネットワーク ◎知識表現と推論 ◎協調問題解決 ◎知識獲得と学習 ◎知識共有と再利用 ◎エキスパートシステム
ソフトウェアサイエンス (SS)	◎ソフトウェア基礎理論 ◎仕様記述と検証 ◎モデル検査 ◎定理自動証明 ◎SAT 応用 ◎計算モデル ◎自動合成・変換 ◎並列分散処理 ◎実時間処理 ◎プログラミング ◎言語設計 ◎言語処理系と実装技術 ◎プログラム意味論 ◎型検査と型推論 ◎プログラム解析 ◎プログラミング技法と支援環境 ◎ソフトウェア工学 ◎要求分析 ◎設計論 ◎テスト技法 ◎保守と発展 ◎ソフトウェアプロセス ◎ツールと開発環境 ◎品質管理 ◎プロジェクト管理 ◎メトリクス ◎システムソフトウェア ◎組込みシステム技術 ◎実時間 OS ◎ネットワーク技術 ◎セキュリティ ◎Web 応用 ◎メディア応用
データ工学 (DE)	◎データベース設計論とそのツール (データベース設計論, データベース言語, 問合せ言語, SQL, ユーザインタフェース, セキュリティなど) ◎データモデル論 (リレーショナルデータベース, オブジェクト指向データベース, 演繹データベース, 半構造データベースなど) ◎データベースシステム構築技術 (ファイルシステム・物理編成, 大容量記憶システム・記憶装置, ディスクアレー, SAN, NAS, 問合せ処理と最適化, データベースプログラミング言語, システム性能評価など) ◎トランザクション処理 (並行処理制御方式, 障害回復など) ◎データベースシステムアーキテクチャ (並列データベースシステム, 分散データベースシステム, アクティブデータベース, モバイルデータベース, マルチ (フェデレーテッド) データベースなど) ◎高度データベース応用 (マルチメディアデータベース, ストリームデータベース, エンジニアリングデータベース, リアルタイムデータベース, ワークフローとデータベース, データウェアハウスと OLAP, データマイニング, 科学及び統計データベース, 時間・空間データベース, コンテンツ管理, ユビキタス情報システム, 生物情報学, 可視化情報学, 芸術情報など) ◎WWW (XML, WWW とデータベース, サーブエンジン, 電子商取引, WWW 応用システムなど) ◎情報検索 (情報検索システム, デジタルライブラリーなど) ◎その他データ工学一般
パターン認識・メディア理解 (PRMU)	◎パターン認識・メディア理解の基礎 (認識理論, 理解モデル, 学習理論, 特徴抽出, 識別理論など) ◎パターン認識・メディア理解の手法 (セグメンテーション, パターン解析, 動き解析, パターン記述, 照合手法, 正則化, 学習機構, 自己組織化, ニューラルネットなど) ◎パターンメディアの認識・理解 (文書, 文字, 図形, 図面, 地図, 画像, 顔, ジェスチャ, 映像, 音声, 音響, 色彩, マルチメディア, 時空間パターン, 地理的分布パターン, 社会活動パターンなど) ◎コンピュータビジョン (三次元復元, センサ融合, アクティブビジョンなど) ◎パターンの知覚・認知 (知覚モデル, 認知モデルなど) ◎パターン生成 (知的グラフィックス, パターン生成モデルなど) ◎パターン認識の応用とシステム (産業応用, 医療応用, 教育応用, 図書館応用, 交通応用, メディア変換, 複合現実感, バーチャルリアリティ, マルチモーダルインタフェース, 知能ロボット, ウェアラブルコンピュータなど) ◎パターン認識・メディア理解のツール (専用ハードウェア, ソフトウェアライブラリー, データベースなど)
ディペンダブルコンピューティング (DC)	◎ディペンダブルコンピューティング (ディペンダブルシステム, ディペンダブル, コンピューティングシステム, ディペンダブルコンピュータ, ディペンダブルネットワーク, ディペンダブルソフトウェア, ディペンダブルハードウェアなど) ◎フォールトトレラントシステム (並列/分散/協調システム, オペレーティングシステム, データベースシステム, リアルタイムシステム, アシユアランスシステム, 計算機ネットワーク, システム設計方法論/ツールなど) ◎フォールトトレラントソフトウェア (プログラミング, データ構造, プロセス間通信と同期, トランザクション処理, 例外処理, システム再構成, 誤り回復など) ◎フォールトトレラントハードウェア (故障予防, 故障検出・診断・再構成, 機能回復, フェールセーフ, 誤り検出/訂正符号, 欠陥回避設計, VLSI 関連など) ◎設計・検証・テスト (テスト生成, テスト容易化設計, テストシナシス, 自己テスト, 故障診断, 故障検証, プログラム検証/テスト, プロトコル検証/テスト, 論理/故障シミュレーションなど) ◎信頼性・安全性・セキュリティ・保守と診断・性能評価 (システムの信頼性, システムの安全性, 遠隔診断, 解析モデル, シミュレーション, 計測・評価方法, 性能評価ツールなど) ◎フォールトトレランス応用技術 (プロセス制御, ロボティクス, ニューラルネットワーク, ファジシステム, ファクトリオートメーション, オフィスオートメーション, 電子式料金システム, 医用システムなど)
*3 ニューロコンピューティング (NC)	◎脳・生体の計測・分析・定式化・モデリングと工学的構成 (視覚聴覚を含む感覚・知覚系, 運動・制御系, 学習・記憶系, 思考を含む高次脳機能) ◎ニューラルネットワークのモデル・計算論 ◎計算論的神経科学 ◎認知科学の計算論的・脳科学的基盤研究 ◎学習理論 ◎確率的情報処理 ◎記憶 ◎学習 ◎自己組織化 ◎パターン認識 ◎特徴抽出 ◎高次情報処理 ◎遺伝的アルゴリズム ◎ソフトコンピューティング ◎人工生命 ◎複雑系ネットワーク ◎ニューロインフォマティクス ◎ニューラルネットワークのハードウェア化 ◎ニューラルネットワークの応用 ◎ブレイン・マシンインタフェース
知能ソフトウェア工学 (KBSE)	Web サービス, エキスパートシステム開発ツール, XML, エンタプライズモデリング, オブジェクト指向ソフトウェア工学, オントロジー, 形式仕様, CASE, ソフトウェアアーキテクチャ, ソフトウェア開発の知的支援, ソフトウェア開発プロセス, ソフトウェア工学教育, ソフトウェア再利用, 知識の表現・獲得・管理・利用, 知的エージェント, 知的 CAI, 知的ヒューマンインタフェース, ドメイン分析・モデリング, ビジネスモデリング, プログラム知識, プログラムの意味と理解, 分散協調ソフトウェア開発, モデルドリブンアーキテクチャ, ユビキタスソフトウェア工学, 要求工学, ワークフロー
*1 音声 (SP)	◎音声処理の基礎理論 ◎音声信号処理 ◎音声の生成過程 ◎音声の知覚過程 ◎音声分析 ◎音声符号化 ◎音声合成・韻律・声質 ◎感情音声 ◎歌声 ◎音声認識・理解・対話 ◎話者識別・照合 ◎音声の品質の測定・評価 ◎音声福祉応用 ◎音声・聴覚・言語障害の補助 ◎音声言語処理 ◎音声の強調・復元・分離 ◎音声の検索・要約 ◎言語識別 ◎言語/外国語の音声教育 ◎音声コミュニケーションデバイス ◎音声コミュニケーションシステム ◎音声データベース ◎マルチモーダルインタフェース ◎バイモーダル音声処理 (リップリーディング, リップシンク)
教育工学 (ET)	◎教育工学基礎 (認知科学, 知識工学, 人間工学, 行動科学, 個別教育, グループ・協調学習, 指導・学習モデル) ◎教育支援システム (e ラーニング, ILE, ITS, CAI, マルチメディア利用, ネットワーク利用, 衛星利用, 遠隔教育, 学習環境, ヒューマンインタフェース, プレゼンテーション) ◎教育設計・計画 (教材構造分析, カリキュラム開発, テストシステム, データ解析) ◎分野別教育 (工学教育, 情報処理教育, 情報教育, 研究者育成, 人材育成, 感性教育) ◎対象別教育 (大学・高専教育, 初等中等教育, 企業内教育, 特別支援教育, 障害者教育, 看護教育, 福祉教育, リフレッシュ教育, 生涯教育)

医用画像 (MI)	医用画像に関連するイメージサイエンス, 画像情報理論, 像形成理論 人体・その他の生体の画像の生成理論と実現技術 (CT (X線, 光, その他), MRI, 超音波, PET, RI, 機能画像化, 組成画像化, 医用動画像など) 画像化のための生体信号検出・計測・処理技術 医用画像の表示 (人体可視化) 技術, 画像診断・治療におけるインタフェース技術, 仮想現実 (VR)・複合現実の技術と医用応用 医用画像の認識・理解と応用 医用画像の圧縮, 蓄積・検索 (医用画像データベース), 伝送の理論と諸技術 コンピュータ支援診断 (CAD), コンピュータ外科, 手術支援 (術前, 術中支援), 治療計画, 仮想化内視鏡システム, ナビゲーション診断 医用画像システム (PACS, 遠隔診断 (テレラジオロジー, テレパソロジーなど), RIS, HIS, 3D 解剖図と教育など), 医用画像と身体論
ソフトウェアライズモデリング (SWIM)	◎インターネットベースの提案型ビジネスモデル ○クラウドエコシステム, ○安心・安全クラウドサービス, ○クラウド適用事例評価, ○スマートデバイスによるビジネスイノベーション, ○クラウド連携ビジネスモデル, ○ソーシャルエンタープライズモデル, ○産官学連携ビジネスモデル, ○環境の劇的変化に対応するビジネスモデリング (広域災害, 経済環境など) ○企業モデル, ○非営利モデル (行政, NPO など), ○ビジネスインテリジェンス, ○数理的手法によるビジネス効率改善, M2M ビジネスモデル ◎ビジネスプロセスモデリング技法 ○ビジネスシステム開発 (超) 上流工程のモデリング技法及び評価技法, ○上流工程からソフトウェア設計への展開技法及び評価技法, ○BABOK の適用事例評価, ○ビジネスプロセスモデル (業務フロー) 表記法, ○形式技法, ○人間の要素 (人的振る舞い) のモデリング, ◎ソフトウェアモデル ○モデル表記法, ○サービスコンピューティング, ○モデル粒度, ○ソフトウェア開発モデル論 ◎ソフトウェア開発方法論 ○要求定義, ○プロジェクト管理, ○ICT 基盤技術, ○情報検索/情報統合/情報活用, ○ソフトウェア再利用技術 ◎その他 ○人材育成, ○産学連携, ○ソフトウェア産業論
リコンフィギャラブルシステム (RECONF)	リコンフィギャラブルシステム関連技術 (リコンフィギャラブルアーキテクチャ, リコンフィギャラブルシステム用デバイス, リコンフィギャラブルシステム用アルゴリズム, システム記述言語, システム開発環境, API, コンパイル技術, 並列リコンフィギャラブルマシン, リコンフィギャラブルコネクション技術, アプリケーション, ソフトウェア無線) 新しいアーキテクチャ (コンフィギャラブルプロセッサ, 動的リコンフィギャラブルプロセッサ, 動的適応型アーキテクチャ, 仮想ハードウェア, 進化するハードウェア) FPGA/PLD 関連技術 (FPGA/PLD のデバイスアーキテクチャ, FPGA/PLD の回路設計技術, FPGA/PLD の CAD/DA 技術, FPGA の省電力設計, FPGA/プロセッサ協調処理技術, エミュレーション技術とラピッドプロトタイピング, FPGA/PLD を用いた各種アプリケーション)
情報通信システムセキュリティ (ICSS)	{ネットワーク, アドホックネットワーク, P2P, センサネットワーク, RFID, 無線 LAN, モバイルネットワーク, ホームネットワーク, クラウドネットワーク, スマートグリッド} に関するセキュリティ技術, アクセス制御, コンテンツセキュリティ, DRM, CDN, プライバシー保護, 電子商取引, 公開鍵認証基盤, セキュリティ・アーキテクチャ, セキュリティ・プロトコル, セキュリティ実装技術, セキュア OS, セキュリティ評価
情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)	学習理論基礎, 機械学習, 統計数理, データマイニング, パターン認識・識別学習理論, 統計的自然言語処理, 統計的信号処理, 機械学習応用 (バイオインフォマティクス, マーケティング, ロボティクス, セキュリティ, 金融工学, 生命科学, ネットワーク解析, システム解析, ソーシャルネットワーク, Web 解析などにおける学習)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)	◎コンテンツセキュリティ (メディアセキュリティ, 著作権管理, 真正性保証, フォレンジクス, プライバシー保護, コンテンツデリバリーネットワーク, アクセス制御, 秘匿通信, 匿名通信, 秘密分散, 難読化, 電子透かし, デジタル指紋, ステガノグラフィ, ステガナリシス) ◎コンテンツ統合 (異種メディア融合, 異種メディア横断検索, マルチメディアアーカイブシステム) ◎コンテンツ設計 (臨場感生成, ユニバーサルメディア, デジタルエンタテインメント) ○コンテンツ処理 (メディア修復, マルチメディア・アノテーション, マルチメディア自動要約) ○コンテンツ評価 (画質・音質評価, 知覚・認知メトリクス, 人間視聴覚システム)
クラウドネットワークロボット (CNR)	{異種ロボット間協調・連携の研究} 異種ネットワーク連携, ロボットサービス連携, 遠隔操作, ロボット安全管理, 標準化など {ヒューマン・ロボット・インタラクションの研究} ユーザ行動・状況情報, ロボット・コミュニケーション, 高度情報対話, 標準化など {ネットワークロボットのためのクラウド型データ連携の研究} クラウドサービス対応セキュリティ, 個人情報利活用, 空間台帳, ユーザ台帳, データマイニング, ネットワークロボットによるデータ活用, 標準化など
サービスコンピューティング (SC) (新設)	SOA, Web サービス, サービス連携, サービス発見, サービス選択, サービス運用・管理, サービスのセキュリティ, SLA, ポリシー QoS, ESB, CPS (Cyber Physical Systems), クラウド (SaaS, PaaS, IaaS) の運用, クラウドのパフォーマンス, 教育クラウド, 医療クラウド, ワークフロー, ビジネスプロセス, BPM, クラウドソーシング, Web API, マッシュアップ, モバイルサービス, ユビキタスサービス, ストリームサービス

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)	○コミュニケーション科学 ○ヒューマン・メディア論 ○情報意味理解科学 ○あいまい情報処理理論 ○ヒューマンモデル構築 ○ヒューマン・エラー発生過程 ○対話モデル構築 ○創造・思考支援環境 ○協調作業支援環境 ○障害者・高齢者用コミュニケーション支援 ○非言語的コミュニケーション手法 ○心理学・行動科学・社会心理・組織論 ○顔・表情の認知・理解・モデリング ○顔・表情の情報処理 ○感性情報処理理論 ○マルチモーダルコミュニケーション論 ○ロボットコミュニケーション論
ヒューマン情報処理 (HIP)	○感覚・知覚情報処理 (視聴覚情報処理, ヒューマンビジョンシステムとモデル, 視聴共感, マルチモーダル情報処理) ○感性和認知 (感性情報処理, 感情表出と認知, 実・仮想空間の知覚と認知, 画像と音響の評価技術) ○生体信号処理 (ヒューマン機能の計測と解析, 生体信号処理と解析, 生体運動の理解と生成) ○ヒューマンインタフェース (ヒューマンインタフェース技術, 人間・機械インタラクション, マルチモーダルインタフェース, コミュニケーション支援)
マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)	◎メディア処理・メディア応用 ◎バーチャルリアリティ・複合現実感 ◎ヒューマンインタフェース ○臨場感通信
福祉情報工学 (WIT)	視覚障害者支援 (点字翻訳, 音声合成, スクリーンリーダ, 文字認識, 画像認識, 画面拡大システム, 触覚ディスプレイ, 白杖, 歩行訓練, 歩行誘導システム) 聴覚・言語障害者支援 (手話認識, 手話合成, 音声認識, 自動要約, 発話訓練, 字幕, 遠隔コミュニケーションシステム, 補聴器, 構音障害, コミュニケーションエイド) 盲聾者支援 (指文字, 点字翻訳, 触覚ディスプレイ) 肢体不自由支援 (電動車いす, コミュニケーションエイド, 機器操作インタフェース, 運動障害性構音障害) 知的障害者支援 (学習補助, 認知訓練, 認知支援) 高齢者支援 (高齢者感覚特性, 高齢者用インタフェース, 補聴器, モニタリングシステム) 情報保障関連 (自動筆記システム, 点字資料自動作成システム, Web アクセシビリティ) 福祉情報機器 (機器設計, 福祉機器の情報工学的検証, ユニバーサルデザイン, 福祉ロボット, 自立移動支援) 福祉情報工学基礎 (情報工学を福祉に用いるための基礎的検討など) 福祉情報工学一般 (日常生活動作 (ADL) 支援, QOL 向上支援, 感覚代行, コミュニケーション, 評価技法, 福祉研究倫理, その他)

* 1 日本音響学会 * 2 日本生体医工学会 * 3 日本神経回路学会とそれぞれ共催

——アナログ回路技術小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

アナログ回路技術小特集編集委員会

基礎・境界ソサイエティではアナログ回路技術に関連した小特集を平成5年以来、その時々によさわしいテーマを掲げて毎年行ってきました。今回も前回に引き続き最新の研究成果を発表・共有する場として、アナログ回路技術の広範な分野から論文を御投稿頂く「アナログ回路技術小特集」を平成25年2月号に企画致しました。

今日のLSI技術は、ネットワーク通信網に革命的な進歩をもたらし、更に生活、医療、環境分野へとその応用範囲を拡大しつつあります。これら発展するシステムLSI技術には、高効率かつ高速で動作するデジタル信号処理部と、高度なセンシング機能と多種多様な通信機能をコンパクト及び小電力で実現するアナログ回路が必要となります。加えて、今日の環境意識の高まりから、電源マネジメント技術も搭載されるようになっていきます。

また、これら回路の性能限界を追求すれば、デジタルとアナログ部を協調させた融合技術も必要となってきます。このような基本回路技術とともに、アナログ・デジタル混載システムでは、システムの機能、性能、設計コスト等の制約の下で、必要な機能をどのようにアナログとデジタルに切り分けするかが重要となります。

更に、アナログ回路設計においては、ミリ波帯までの信号処理の発達に適応可能なデバイスのモデリングとキャラクタライゼーション、大規模LSI設計のためのシステムから回路レベルまでをシームレスに設計するためのモデリング技術や、アナログ回路の様々な設計資産の標準化による設計の効率化手法などが、高精度、高信頼度、高効率設計のための重要な鍵となると考えられます。

このような背景から、この小特集号では、デバイスからシステムに至る種々のレベルにおけるアナログ回路及びアナログ混載回路の設計手法、シミュレーション技術、試験評価方法、その他関連のアナログ回路技術に関して最新の成果や将来の課題を広く議論することを目的としました。多数の論文の御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

アナログ回路設計技術、アナログ・デジタル混載システム技術、及びこれに関連する基礎理論、応用、及び実現技術

- ・低電圧・低消費電力アナログ回路、MEMS用アナログ回路技術
- ・アナログ・デジタル混載システム・回路・LSI技術
- ・ミリ波・RF帯アナログ回路、ネットワーク・通信システム用アナログ回路、知能システム用回路
- ・オペアンプ、増幅器、比較器、アクティブフィルタ、発振回路、乗算回路、基準電流源回路、基準電圧源回路
- ・センサ回路、A-D変換器、D-A変換器、変復調器、PLL、SC回路、 $\Sigma\Delta$ 変調回路
- ・電源マネジメント回路、DC-DC変換器、AC-DC変換器
- ・環境発電回路技術、エネルギーハーベスト回路
- ・デジタル回路(メモリ、マイコン、DSPなど)におけるアナログ回路技術

- ・非線形電子回路、カオス回路、ニューラルネットワーク
- ・Built-In Self Test、雑音解析技術、基板結合雑音の解析-低減技術
- ・回路最適化技術、回路性能補償技術
- ・アナログ回路向けのデバイスモデリングとシミュレーション技術
- ・アナログ設計CADの利用技術
- ・アナログレイアウトCAD
- ・ビヘイビアモデリングとシステムレベルシミュレーション技術
- ・その他、関連するアナログ回路技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一とし、原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは刷り上がり2ページ程度とします。詳細はInformation for Authorsに従って下さい。Information for Authorsは、http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html から入手できます。なお、査読後の再提出期間は短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

電子投稿を推奨します。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Transactions”で[Special-EA] Analog Circuit Techniques and Related Topicsを選択して下さい。[Regular-EA]を決して選択しないで下さい。

手順2: 印刷したConfirmation Sheet of Manuscript Registration及びCopyright Transfer and Page Charge Agreementにサインをしたものを論文投稿締切日である平成24年5月25日(金)(必着)で下記宛て送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンしPDF化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成24年5月25日(金)必着

5. 送付先及び問合せ先

古田雅則(東芝)
〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1(株)東芝 研究開発センターワイヤレスシステムラボラトリー
TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806
E-mail: masanori.furuta@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

- 委員長 島 健(神奈川大)
幹事 佐藤隆英(山梨大)、徳永祐介(パナソニック)、古田雅則(東芝)
委員 浅井秀樹(静岡大)、石川雅之(木更津高専)、石黒仁揮(慶大)、板倉哲朗(東芝)、伊藤信之(岡山県立大)、鈴木仁人(ソニー)、関屋大雄(千葉大)、関根かをり(明大)、谷本 洋(北見工大)、道正志郎(パナソニック)、ニコデムス レディアン(東工大)、兵庫 明(東京理科大)、堀田正生(東京都市大)、松本修(ルネサスエレクトロニクス)、松谷康之(青学大)、武藤浩二(長崎大)、安田 彰(法政大)、山脇大造(ルネサスマバイル)、湯川 彰(eMemory)、吉田 毅(広島大)、和田和千(明大)

7. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html

*採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——生活の質を向上させる通信サービスの品質 小特集号（英文論文誌 B）論文募集——

生活の質を向上させる通信サービスの 品質小特集編集委員会

映像通信や音声通信の高品質化技術の発展に伴い、通信ネットワークを介して、音声・映像を使った会話や高品質映像コンテンツの視聴などを、誰もが気楽に低コストで利用できる環境が一般的になりつつあります。従来、高品質映像の配信など広い帯域を必要とする通信サービスは、ADSLや光ファイバ等の有線によるネットワーク接続を用いる必要がありましたが、スマートフォンに代表される高度な無線通信端末と、広帯域伝送が可能な無線アクセスネットワークの普及に伴い、誰もが手軽に場所を選ばずバラエティに富む通信サービスを楽しむ環境が普及しつつあります。また、ツイッターに代表される新しいネットワークサービスの利用が拡大しており、多数の人との常時コミュニケーションが可能な環境が広がっております。このような通信手段や通信サービスの大きな変化は、人々の生活の質をも変化させる可能性を秘めています。そこで、無線通信技術やソーシャルネットワークなどをはじめとした、近年の様々な通信インフラ・端末・サービス技術の設計、制御、運用を考える際には、生活の質という観点から、そのインパクトを分析し、生活の質の向上につながる技術を確立することが重要となります。このような状況を踏まえ、生活の質を向上させる、今後の通信ネットワークと通信サービスの品質に関する研究開発の一層の促進を目的として、本小特集号（2013年2月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

通信ネットワークと通信サービスの品質に関する以下の分野を対象とします。

- ・生活の質を向上させる通信サービスシステム
- ・生活の質を向上させる通信サービス品質
- ・サービス品質向上のためのモデル化・シミュレーション
- ・ユーザ状況・心理を含むサービス満足度
- ・Webサービス・ソーシャルサービスにおける品質
- ・音声・映像・五感メディア品質の主観評価・客観評価
- ・サービス品質向上のためのネットワーク計測・制御技術
- ・ネットワーク品質とユーザ体感品質（QoE）
- ・ネットワークの信頼性・安全性
- ・有線・無線サービスの品質計測・制御技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下

さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EB] Quality of Communication Services Improving Quality of Life を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2012年5月31日（木）必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

大崎博之

大阪大学大学院情報科学研究科

〒565-0871 吹田市山田丘1-5

TEL [06] 6879-4551, FAX [06] 6879-4554

E-mail: special-eb-qos@ispl.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 山崎達也（NICT）

幹事 大崎博之（阪大）

委員 北脇信彦（筑波大）、行田弘一（芝浦工大）、計 宇生（NII）、下西英之（NEC）、高橋 玲（NTT）、谷口高士（阪学院大）、鶴 正人（九工大）、中内清秀（NICT）、長谷川 剛（阪大）、長谷川 亨（KDDI 研）、引地謙治（富士通研）、藤沢 寛（NHK）、山本尚生（東京都大）

7. 付記

*締切日を厳守して下さい。

*招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代（別刷50部含む）が必要となります。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html

——SQUID とその応用小特集号 （英文論文誌 C）論文募集——

SQUID とその応用小特集編集委員会

1911年の超伝導発見から100周年を経て、様々な分野で超伝導応用の進展が期待される中、SQUIDは微小な磁場を測定することが可能なことから、脳磁計に代表される医療応用から非接触検査などの産業応用まで幅広い応用が始まっています。更に、免疫診断、地質調査、磁気顕微鏡や量子コンピュータへのSQUID

の適用のほか、SQUID-NMR など新しい展開も精力的に進められています。こうした背景の下、更なる SQUID 研究の飛躍の一助となるよう、「SQUID とその応用」小特集 (2013 年 3 月号) を企画致しました。

本小特集号では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

非破壊検査、脳磁計、生体磁気計測、免疫診断、SQUID-NMR、SQUID 磁気顕微鏡、地質調査、磁束量子ビットなどの SQUID を用いた広い応用研究分野や、dc-SQUID、rf-SQUID、nano-SQUID、SQUID readout 等の基礎も含め、SQUID に関する全ての分野を募集対象とします。

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集号ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 4 ページ以内 (厳守) とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず "Type of Issue (Section)/Category of Transactions" で、"[Special-EC] SQUID and its Applications" を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付 (推奨)・FAX・郵便のいずれかの方法で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 2012 年 6 月 30 日 (土) 必着

5. 問合せ先及び著作権譲渡書送り先

問合せ先: 立木 実

〒305-0478 つくば市千現 1-2-1 独立行政法人物質・材料研究機構 環境・エネルギー材料部門

TEL [029] 859-2315, FAX [029] 859-2301

E-mail: TACHIKI.Minoru@nims.go.jp

著作権譲渡書 送り先: 宮戸祐治

〒560-8531 豊中市待兼山町 1-3 大阪大学基礎工学研究科

TEL [06] 6850-6313, FAX [06] 6850-6312

E-mail: miyato@sup.ee.es.osaka-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 糸崎秀夫 (阪大)

幹事 立木 実 (NIMS), 宮戸祐治 (阪大)

委員 内田貴司 (防衛大), 川山 巖 (阪大), 作田 健 (滋賀県立大), 林 忠之 (仙台高専), 牧 哲朗 (産技短大), 水柿義直 (電通大)

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

*招待論文を含め論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——分子エレクトロニクスと有機デバイスの

新展開小特集号 (英文論文誌 C) 論文募集——

分子エレクトロニクスと有機デバイスの

新展開小特集編集委員会

有機材料はエレクトロニクス材料としてますます重要な地位を占めつつあります。この分野の研究は、絶縁体、半導体、導体、超伝導体、磁性体としての基礎的物性の評価にとどまらず、メモリ、表示デバイス、太陽電池、光学素子、センサ、アクチュエータなどへの応用研究に加え、バイオ分野へも広がりを見せています。有機エレクトロニクス (OME) 研究専門委員会では、21 世紀を開くこれらの材料・素子の研究を総括することにより更なる発展の指標が得られると考え、2012 年 6 月 7 日 (木)~8 日 (金) に NTT 武蔵野研究開発センター (東京都武蔵野市) で開催される「国際有機エレクトロニクスシンポジウム (ISOME2012)」での発表を中心に、「分子エレクトロニクスと有機デバイスの新展開」小特集号 "Recent Progress in Molecular and Organic Devices" (2013 年 3 月号) の発行を企画しました。奮って御投稿下さいませようお願いします。

1. 対象分野

以下に示すような有機エレクトロニクスの進展とその応用に関する分野を含め、これ以外の分野も投稿可能です。

- ・ナノ構造有機薄膜
- ・電子機能性デバイス
- ・単分子デバイス
- ・機能性有機材料
- ・有機薄膜センサ
- ・ナノ界面の電子光評価技術
- ・単分子膜
- ・生体デバイス
- ・ナノ界面電気化学
- ・有機光機能性デバイス
- ・有機分子メモリ
- ・ナノ界面の柔構造評価

2. 論文の執筆と取扱い

論文の形式等の執筆の詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。ただし、論文誌の掲載ページ数は 8 ページ以内 (Brief Paper は 4 ページ以内厳守) を原則と致します。なお査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記に従いぐれも間違いのないようお願い致します。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。次の手順で投稿を進めて下さい。

手順 1: 電子投稿

論文の仮登録と論文 (図、表を含む) の電子ファイルを学会の Web ページ (https://review.ieice.org/regist_

e.aspx) でアップロードして下さい。なお、Webでの登録にあたり、“Type of Issue (Section)/Transactions”は、“[Special-EC] Recent Progress in Molecular and Organic Electronics”を選択して下さい。

手順2：著作権譲渡承諾書の送付

著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付 (推奨)、FAX、または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。郵送の際は、送付する封筒に「分子エレクトロニクスと有機デバイスの新展開」と朱記して下さい。

4. 論文投稿締切 2012年6月30日(土) 必着

5. 送付先及び問合せ先

中村二郎 NTT 環境エネルギー研究所

〒243-0198 武蔵野市緑町3-9-11

TEL [0422] 59-2280, E-mail: nakamura.jiro@lab.ntt.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 丸野 透 (NTT), 白井博明 (東京農工大)

幹事 加藤景三 (新潟大), 中村二郎 (NTT), 松田直樹 (産総研)

編集委員 榎本信太郎 (東芝), 木戸脇匡俊 (芝浦工大), 小松京嗣 (仙台高専), 酒井正俊 (千葉大), 坂口幸一 (佐賀大), 佐野健志 (パナソニック), 多田和也 (兵庫県立大), 中村雅一 (奈良先端大), 馬場 暁 (新潟大), 林 稔晶 (NTT), 福田武司 (埼玉大), 松井龍之介 (三重大), 間中孝彰 (東工大), 森 竜雄 (名大)

7. 小特集の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン50名に送付される予定です。

【重要なお知らせ】 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。(<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)

——多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集号

(英文論文誌D) 論文募集——

多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集編集委員会

研究者間の情報交換手段を主な用途として出発したインターネットが、WWWの出現やマルチメディア情報処理の普及などを契機として、急速に一般への普及が進み、社会インフラの一つとしての位置を確立しました。それに伴い、現在のインターネットに求められる要求や機能も高度になっており、インターネットのアーキテクチャを含めた大きな変革が求められている状況となっています。このような状況の下で、多様な将来に向けてインターネットが役割を果たすために必要な、新たなアーキテクチャやその応用技術の提案、実証が重要となっています。このような状況を鑑み、「多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集号」(平成25年2月号)を企画致しました。

論文特集号原稿募集

1. 対象分野

- (1) ネットワークアーキテクチャとプロトコルと管理 (自律・分散ルーチング/ネットワークプロトコル, ロバスト/適応的/品質保証トラフィック制御, データセンタネットワーク, モバイル/ユビキタス/アドホックなネットワークアーキテクチャ, オーバレイネットワーク技術, センサネットワーク技術, ID/ローケーション分離技術, コンテンツセントリックネットワーク技術, インターネットの運用・管理技術)
- (2) ネットワークコンピューティングとアプリケーション技術 (ネットワークエージェント技術, コラボレーション技術, グループウェア, テレプレゼンス技術, 分散コンピューティング・グリッドコンピューティング・クラウドコンピューティング技術, ソーシャルネットワーク技術, 地球環境問題への情報ネットワーク・アプリケーション)
- (3) デジタルコンテンツ流通基盤としての次世代のインターネット関連技術 (品質要望・満足度の分析法と品質改善法, デジタル権利管理 (DRM) 技術, QoS管理技術, コンテンツ・ディストリビューション・ネットワーク (CDN) アーキテクチャ, 通信放送融合技術)
- (4) 次世代のインターネットにおけるセキュリティ (セキュアプロトコル, ファイアウォール/フィルタリング法, 侵入検知技術, トレース技術, 認証基盤技術, 社会的セキュリティ技術)
- (5) 次世代のインターネットの社会的役割とその技術的課題への対応 (教育, 医療, 福祉, 災害対策などの社会活動におけるインターネットの利用の分析/提案, 流通/経済インフラとしてのインターネットの利用法の分析/提案, 高度道路交通システム (ITS), インターネットと情報倫理教育)

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー8ページ, レター2ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は60日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で “[Special-ED] The Internet Architectures, Protocols, and Applications for Diversified Futures” を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順2: “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” 文書と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” 文書を、論文投稿締切日である平成24年5月28日(月)(必着)で下記送付先に到着するように送付して下さい。メール添付, FAX, いずれの手段でも結構です。なお、郵送の場合、封筒には「多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集号」と朱筆して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

告71

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 5 月 28 日 (月) (必須)

5. Copyright Transfer/Confirmation Sheet 送付先, 問合せ先

河合栄治

〒100-0004 千代田区大手町 1-8-1 独立行政法人情報通信研究機構テストベッド研究開発推進センター

TEL [03] 3510-6271, FAX [03] 3272-3062

E-mail: ieice-ed2013@is.saga-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 渡辺健次 (佐賀大)

幹事 河合栄治 (NICT), 新麗 (IJJ イノベーションイニシテュート), 北辻佳恵 (KDDI 研)

委員 秋山豊和 (京都産大), 石川憲洋 (駒沢大), 伊藤嘉浩 (名工大), 猪俣敦夫 (奈良先端大), 今井悟史 (富士通研), 大島浩太 (東京農工大), 落合秀也 (東大), 片山勝 (NTT), 古村隆明 (京大), 田上敦士 (KDDI 研), 友石正彦 (東工大), 中村素典 (NII), 中村豊 (九工大), 西村浩二 (広島大), 樋地正浩 (日立東日本ソリューションズ), 福田健介 (NII), 堀良彰 (九大), 前田香織 (広島市大), 松原大典 (日立), 山本寛 (長岡技科大)

7. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので, あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

——データ工学と情報マネジメント特集号

(和文論文誌 D) 論文募集——

データ工学と情報マネジメント特集編集委員会

データベース技術に代表されるデータ工学の分野では, 昨今のデータベースの応用領域の拡大や, 膨大かつ多様なデータの出現を受け, 活発な研究活動が行われています。本会データ工学研究専門委員会が共催しておりますデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM フォーラム) では, 幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として, 先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っています。これを踏まえ, 昨年に引き続き情報・システムサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント特集」(平成 25 年 5 月号) を企画致しました。DEIM フォーラムで発表された研究内容を更に発展させた論文, あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集致しますので, 奮って御投稿下さいませよう御案内申し上げます。

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが, これに限らず広くデータ工学と情報マネジメントに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い致します。

- ・ファイル編成, ストレージ技術
- ・データ構造, インデックス
- ・問合せ処理, 問合せ言語
- ・トランザクション処理, 障害回復

- ・データモデル・データモデリング
- ・並列・分散データベース
- ・空間・時空間データベース, モバイルデータベース
- ・マルチメディアデータベース, テキストデータベース, 時系列データベース
- ・ネットワークとデータ工学, 分散・ユビキタスコンピューティングとデータ工学
- ・データマイニング
- ・XML, 半構造データ
- ・Web 情報システム, Web コンテンツ技術, メタデータ, セマンティック Web
- ・ブログ・ソーシャルネットワーク, クラウドコンピューティング
- ・情報検索・推薦, パーソナライゼーション
- ・コンテンツ管理・流通, 通信放送融合, デジタルアーカイブ
- ・情報の統合・管理, データウェアハウス, OLAP
- ・地理情報システム, 医療・生体情報システム, サイエントフィックデータベース
- ・ビジネス情報マネジメント
- ・社会・教育と情報マネジメント

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし, 論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。
- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

(社)電子情報通信学会出版事業部サイエティ誌出版課

FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

4. 投稿締切日 平成 24 年 7 月 2 日 (月) 厳守

5. 特集編集委員会

委員長 是津耕司 (NICT)

幹事 鈴木伸崇 (筑波大), 片山 薫 (首都大東京), 中島伸介 (京都産大)

委員 天笠俊之 (筑波大), 小口正人 (お茶の水女子大), 鬼塚 真 (NTT), 河合由起子 (京都産大), 小林一郎 (お茶の水女子大), 鈴木 優 (名大), 田島敬史 (京大), 豊田正史 (東大), 橋本隆子 (千葉商科大), 波多野賢治 (同志社大), 宝珍輝尚 (京都工繊大)

6. 問合せ先

鈴木伸崇 筑波大学 図書館情報メディア系

E-mail: nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp

中島伸介 京都産業大学 コンピュータ理工学部ネットワーク
メディア学科
E-mail: nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp

——データ工学と情報マネジメント特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

データ工学と情報マネジメント特集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2013 年 5 月号において、データ工学と情報マネジメント特集 (Special Section on Data Engineering and Information Management) を掲載致します。本特集は、データ工学に関連する幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集致します。奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

データ工学とその関連分野の理論並びに実践に関する論文を広く募集致します。対象となる分野は以下のとおりですが、これに限定せずデータ工学に関連するものであれば広く歓迎します。

- ・コア技術：ファイル編成、ストレージ、問合せ処理、問合せ言語、トランザクション処理、索引、ストリーム処理、セキュリティとプライバシー
- ・データベース：分散・並列データベース、マルチメディアデータベース、時間・空間データベース、モバイルデータベース、科学データベース、XML・半構造データベース、センサデータベース、P2P・グリッド上のデータ管理、情報統合
- ・情報検索：情報抽出、情報要約、情報推薦
- ・データマイニング：データウェアハウス、OLAP、データマイニングアルゴリズム、テキストマイニング、Webマイニング
- ・Web 技術：Web 検索エンジン、コンテンツ、メタデータ、セマンティック Web、Web サービス
- ・応用分野：電子商取引、e-ラーニング、デジタルライブラリ、アーカイブ、情報・データ放送、可視化、ユーザインタフェース

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては、“The Information for Authors” (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御一読の上、本会の論文スタイル (<http://www.ieice.org/ftp/>

[index-e.html](#)) にて原稿を御準備頂けますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は、ペーパーで 8 ページ、レターで 2 ページとなります。

- ・投稿原稿の御提出は、本会の Web サイト (https://review.ieice.org/regist_e.aspx) を通じてお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受け付けできません。御投稿の際は、投稿フォームの “Type of Issue (Section)/Transactions” の項目にて、“[Special-ED] Data Engineering and Information Management” をお選び下さい。
- ・原稿御提出後一週間以内に、“Confirmation Sheet of Manuscript Registration” と “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” を下記、編集幹事まで、電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。

送付先

春本 要

〒565-0871 吹田市山田丘 2-1 大阪大学大学院工学研究科

Email: harumoto@eng.osaka-u.ac.jp

TEL [06] 6879-4221, FAX [06] 6889-4219

3. 原稿提出締切日 2012 年 7 月 2 日 (月)

4. その他注意事項

- ・論文が採録となった場合、掲載料 (論文別刷代金を含む) をお支払い頂くことになります。
- ・条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は、通常の 60 日より短縮される場合があります。
- ・投稿に際し、著者のうち少なくとも 1 名は、本会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は (<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。

5. 特集編集委員会

編集委員長 (ゲストエディタ)：是津耕司 (NICT)

編集幹事：春本 要 (阪大)

編集委員：天笠俊之 (筑波大)、小口正人 (お茶の水女子大)、鬼塚 真 (NTT)、片山 薫 (首都大東京)、河合由起子 (京都産大)、川島英之 (筑波大)、鈴木伸崇 (筑波大)、鈴木 優 (名大)、田島敬史 (京大)、豊田正史 (東大)、中島伸介 (京都産大)、橋本隆子 (千葉商科大)、波多野賢治 (同志社大)、宝珍輝尚 (京都工繊大)

お問合せ等は編集幹事まで、可能な限り電子メールにてお願い致します。(件名に「IEICE (DE2013)」とお書き下さい。)



論文特集号論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集	・24年3月15日(木) ・英文誌 A 24年12月号	廣瀬哲也：神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻 TEL [078] 803-6075, FAX [078] 803-6075 E-mail : hirose@eedept.kobe-u.ac.jp	12月号	A 分冊 12～2月号 EA 分冊 12～2月号
ワイドバンドシステム小特集	・24年3月16日(金) ・英文誌 A 24年12月号	小野文枝：横浜国立大学大学院工学研究院 TEL [045] 339-4148, FAX [045] 338-1157 E-mail : fumie@ynu.ac.jp	1月号	A 分冊 1～3月号 EA 分冊 1～3月号
暗号と情報セキュリティ小特集	・24年3月23日(金) ・英文誌 A 25年1月号	河内亮周：東京工業大学大学院情報理工学研究科数理・計算科学専攻 TEL [03] 5734-3868, FAX [03] 5734-3204 E-mail : kawachi@is.titech.ac.jp	1月号	A 分冊 1～3月号 EA 分冊 1～3月号
システム数理学と応用小特集	・24年3月31日(木) ・英文誌 A 25年2月号	名嘉村盛和：琉球大学工学部情報工学科 TEL [098] 895-8715, FAX [098] 895-8727 E-mail : morikazu@ie.u-ryukyu.ac.jp	1月号	A 分冊 1～3月号 EA 分冊 1～3月号
Special Section on Recent Progress in Verified Numerical Computations	・24年4月10日(火) ・NOLTA 25年1月号	Katsuhisa OZAKI : College of Systems Engineering and Science, Shibaura Institute of Technology FAX [048] 720-6080 E-mail : ozaki@sic.shibaura-it.ac.jp	2月号	A 分冊 2～4月号 EA 分冊 2～4月号
アナログ回路技術小特集	・24年5月25日(金) ・英文誌 A 25年2月号	古田雅則：(株)東芝研究開発センターワイヤレスシステムラボラトリー TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806 E-mail : masanori.furuta@toshiba.co.jp	3月号	A 分冊 3～5月号 EA 分冊 3～5月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
JC-SAT 2011 関連衛星通信技術小特集	・24年3月16日(金) ・英文誌 B 24年11月号	高山佳久：情報通信研究機構ワイヤレスネットワーク研究所宇宙通信システム研究室 TEL [042] 327-5450, FAX [042] 327-6825 E-mail : sat_ac-jc@mail.ieice.org	12月号	B 分冊 12～2月号 EB 分冊 12～2月号
無線通信のための符号化及び符号理論に基づく信号処理小特集	・24年4月13日(金) ・英文誌 B 24年12月号	山里敬也：名古屋大学教養教育院教養教育推進室教材開発部門 TEL [052] 747-6596, FAX [052] 789-3173 E-mail : rcs_ac-ss@mail.ieice.org	1月号	B 分冊 1～3月号 EB 分冊 1～3月号
ネットワーク社会の更なる発展を支える光通信技術特集	・24年6月11日(月) ・和文誌 B 25年3月号	可児淳一：NTT アクセスサービスシステム研究所 TEL[046]859-2196 E-mail:kani.junichi@lab.ntt.co.jp 宮田英之：富士通研究所ネットワークシステム研究所 TEL[044]754-2636 E-mail:hmiyata@jp.fujitsu.com	1月号	B 分冊 1～3月号 EB 分冊 1～3月号
ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットホーム小特集	・24年5月11日(金) ・英文誌 B 25年1月号	鈴木敏明：日立製作所中央研究所ネットワークシステム研究部 TEL [045] 860-2177 E-mail : nv + paper_1@mail.ieice.org	2月号	B 分冊 2～4月号 EB 分冊 2～4月号
通信技術の進展を支える学生論文特集	・24年5月24日(木) ・和文誌 B 25年2月号	佐波孝彦：千葉工業大学情報工学科 TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549 E-mail : saba@m.ieice.org	2月号	B 分冊 2～4月号
生活の質を向上させる通信サービスの品質小特集	・24年5月31日(木) ・英文誌 B 25年2月号	大崎博之：大阪大学大学院情報科学研究科 TEL [06] 6879-4551, FAX [06] 6879-4554 E-mail : special-eb-qos@ispl.jp	3月号	B 分冊 3～5月号 EB 分冊 3～5月号

◎エレクトロニクスサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
電磁界理論の進展とその応用小特集	・24年3月26日(月) ・英文誌C 25年1月号	藤崎清孝：九州大学大学院システム情報科学研究院 情報知能工学部門 TEL [092] 802-3636, FAX [092] 802-3600 E-mail : fujisaki@ait.kyushu-u.ac.jp	12月号	C分冊 12～2月号 EC分冊 12～2月号
マイクロ波論文(大学発)特集	・24年3月30日(金) ・和文誌C 24年12月号	川上憲司：三菱電機(株)情報技術総合研究所光・マイクロ波回路技術部 TEL [0467] 41-2549 E-mail : Kawakami.Kenji@dc.mitsubishielectric.co.jp	1月号	C分冊 1～3月号
進化するマイクロ波・ミリ波フォトニクス技術小特集	・24年5月31日(木) ・英文誌C 25年2月号	戸田裕之：同志社大学理工学部電子工学科 TEL [0774] 65-6356, FAX [0774] 65-6801 E-mail : htoda@mail.doshisha.ac.jp	2月号	C分冊 2～4月号 EC分冊 2～4月号
SQUIDとその応用小特集	・24年6月30日(土) ・英文誌C 25年3月号	立木 実：独立行政法人物質・材料研究機構環境・エネルギー材料部門 TEL [029] 859-2315, FAX [029] 859-2301 E-mail : TACHI.KI.Minoru@nims.go.jp	3月号	C分冊 3～5月号 EC分冊 3～5月号
分子エレクトロニクスと有機デバイスの新展開小特集	・24年6月30日(土) ・英文誌C 25年3月号	中村二郎：NTT環境エネルギー研究所 TEL [0422] 59-2280 E-mail : nakamura.jiro@lab.ntt.co.jp	3月号	C分冊 3～5月号 EC分冊 3～5月号

◎情報・システムサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ヒューマンコミュニケーション特集	・24年3月28日(水) ・和文誌D 25年1月号	安藤英由樹：大阪大学 TEL [06] 6879-7830 E-mail : hide@ist.osaka-u.ac.jp	12月号	D分冊 12～2月号
顔の知覚と認知小特集	・24年6月10日(日) ・英文誌D 25年3月号	鈴木健嗣：筑波大学システム情報系 TEL [029] 853-5761, FAX [029] 853-5761 E-mail : kenji@ieee.org	12月号	D分冊 12～2月号 ED分冊 12～2月号
理論計算機科学～アルゴリズムと計算理論の新展開～小特集	・24年3月28日(水) ・英文誌D 25年3月号	堀山貴史：埼玉大学大学院理工学研究科 TEL [048] 858-3957, FAX [048] 858-3957 E-mail : horiyama@al.ics.saitama-u.ac.jp	1月号	D分冊 1～3月号 ED分冊 1～3月号
学生論文特集	・24年6月3日(日) ・和文誌D 25年3月号	(社)電子情報通信学会 和文論文誌D担当 TEL [03] 3433-6692 E-mail : wabun-d1@ieice.org	1月号	D分冊 1～3月号
医用画像特集	・24年6月15日(金) ・和英文誌D 25年4月号	【和文誌D】 目加田慶人：中京大学情報理工学部 TEL [0565] 46-6909, FAX [0565] 46-1299 E-mail : y-mekada@sist.chukyo-u.ac.jp 菅 幹生：千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻 TEL [043] 290-3083, FAX [043] 290-3083 E-mail : mikio.suga@faculty.chiba-u.jp 【英文誌D】 諸岡健一：九州大学大学院システム情報科学研究院 TEL [092] 802-3615, FAX [092] 802-3615 E-mail : morooka@ait.kyushu-u.ac.jp	2月号	D分冊 2～4月号 ED分冊 2～4月号
Special Section on the Internet Architectures, Protocols, and Applications for Diversified Futures	・24年5月28日(月) ・英文誌D 25年2月号	Eiji Kawai : National Institute of Information and Communications Technology TEL [03] 3510-6271, FAX [03] 3272-3062 E-mail : ieice-ed2013@is.saga-u.ac.jp	3月号	D分冊 3～5月号 ED分冊 3～5月号

データ工学と情報マネジメント 特集	<ul style="list-style-type: none"> ・24年7月2日(月) ・和英文誌 D 25年5月号 	<p>【和文誌 D】 鈴木伸崇：筑波大学図書館情報メディア系 E-mail：nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp 中島伸介：京都産業大学 コンピュータ理工学部ネット ワークメディア学科 E-mail：nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp</p> <p>【英文誌 D】 春本 要：大阪大学大学院工学研究科 TEL [06] 6879-4221, FAX [06] 6889-4219 E-mail：harumoto@eng.osaka-u.ac.jp</p>	3月号	D分冊 3～5月号 ED分冊 3～5月号
----------------------	--	---	-----	-------------------------------

複製される方へ

(社)電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合によっては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> (社)電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

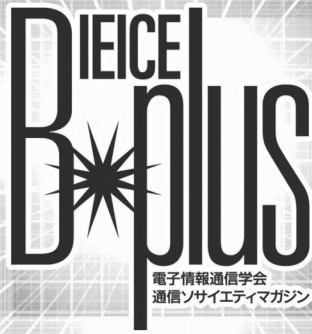
→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619



通信ソサイエティマガジン B-plus 年間購読申込用紙 (21号~24号)

今後の特集号予定 21号(2012年6月):デジタルメディアと電子書籍
22号(2012年9月):ホームICTの新たな展開
23号(2012年12月):今時のアマチュア無線
24号(2013年3月):標準化で世界を歩く!
※特集号名は変更される場合があります。

申込及び支払方法

通信ソサイエティマガジンでは、年間購読を受け付けております。年間購読を御希望の方は、本用紙に必要な事項を記入の上、下記までファクシミリ若しくは電子メールの添付ファイル(PDF)にて学会事務局まで御送付下さい。請求書同封で冊子をお送り致します。お支払いは同封の請求書にてお願い致します。

通信ソサイエティマガジンの年間購読(4冊/年): 3,600円

申込者氏名	
見積書日付 年 月 日	請求書日付 年 月 日
納品書日付 年 月 日	
請求書宛名	
送付先 〒 (部課名, 研究室名まで御記入下さい)	
電話番号	電子メール
事務局への通信欄	

※購読を開始されましたら、文書による中止届出がない限り、次年度以降も自動的に継続されますので御注意下さい。

申込書送付先/連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
(社)電子情報通信学会 出版事業部 通信ソサイエティマガジン担当

FAX: 03-3433-6616

電話: 03-3433-6692 E-mail: b-plus@ieice.org

通信ソサイエティオンラインジャーナル

IEICE Communications Express (ComEX)

創刊のお知らせ

IEICE Communications Express 編集委員会
編集委員長 菊間信良

■ 創刊の主旨

英文論文誌 B では、毎年、数多くのレターが投稿されております。レターを投稿された著者は、迅速な研究成果の公表と優先性の確保を主たる目的とされているものと思っております。

そのニーズに応え、更なる掲載までの期間の短縮を図るため、通信ソサイエティでは 2012 年 6 月より、ウェブを用いた英文オンラインジャーナル IEICE Communications Express (ComEX) を創刊することとなりました。ComEX では、採録が決定したレターは、校正後、随時掲載致します。したがって、迅速な成果公開が可能です。なお、ComEX 創刊に伴い、2012 年 5 月 31 日付で英文論文誌 B のレター（研究速報）の投稿受付は停止致します。

ComEX では、エレクトロニクスソサイエティのオンラインジャーナル IEICE Electronics Express (ELEX) と同様に文字数、図表点数に制約を加えたフォーマットを採用した点が、英文論文誌 B のレターからの大きな変更点となります。ただし、著者の皆様に、新規性、有効性の主張点を簡潔に記述して頂くことで、よりスピーディで正確な査読・編集作業が実現できるものと考えております。

しばらくの間、会員/非会員にかかわらず閲覧可能となります。また、2013 年 5 月 31 日までに投稿頂いたものに対しては掲載料を半額とします。皆様からの最新の研究成果の御投稿をお待ちしております。

対象分野 ▶

英文論文誌 B が網羅する全ての分野

スケジュール ▶

投稿受付開始：2012 年 3 月 1 日

ComEX 創刊：2012 年 6 月 1 日

問合せ先 ▶

電子情報通信学会出版事業部 (comex@ieice.org)



ComEX ウェブサイト
(<http://www.comex.ieice.org/>)



ComEX 原稿サンプル

■ IEICE Communications Express 編集委員会 (2011 年 12 月 1 日現在)

編集委員長：菊間信良 (名工大)

編集副委員長：山田寛喜 (新潟大), 太田能 (神戸大)

編集委員：大槻知明 (慶大), 上山憲昭 (NTT), 関口高志 (三菱), 関屋大雄 (千葉大), 関谷勇司 (東大), 太郎丸真 (福岡大), 長谷川幹雄 (東京理科大), 原井洋明 (NICT), 萬代雅希 (上智大), 藤元美俊 (福井大), 松本隆太郎 (東工大), 米永一茂 (NTT), Jian Yang (清華大)

IEICE Electronics Express (ELEX) 投稿ご案内

IEICE Electronics Express 編集委員会

*完全ペーパーレスの査読つき英文論文誌
IEICE Electronics Express (ELEX) で
あなたのすばらしい成果をすばやく
公開しませんか？*

IEICE Electronics Express (ELEX) は、2004年4月に創刊した webを用いたペーパーレス英文論文誌で、毎月2号ずつ発行しています。
エレクトロニクス分野の最新の研究成果の優先権確保や、海外も含めての情報発信のために是非 ELEX への投稿をご検討下さい。

ELEXの特徴

1. 投稿, 出版, 閲覧ともに, すべてオンライン上で処理
2. 投稿から論文掲載まで平均 60 日、
最短 10 日 (2005 年 2 月 10 日号掲載論文)
3. カラー画像, マルチメディアファイル(動画)に対応
4. 本文は英文 1,500 ワード, 図表は3点まで
(PDF 刷り上がり約 6 頁)
5. IEEE Xplore, Scitation, ScienceDirect といった海外の
様々な電子ジャーナルサイト上に登載されている論文と
相互にリンク
6. Science Citation Index Expanded (SCIE) にも収録。
Impact Factor も取得しています。



© IEICE
[DOI: 10.1587]

ELEX ホームページ <http://www.elex.ieice.org>
連絡先 elex@ieice.org (出版事業部 ELEX 担当)

会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」好評発売中 ——創刊号から平成 19 年 12 月号までの記事を集約——

平成 17 年 2 月に販売した会誌 DVD に引き続き、現在会誌 DVD 第 2 版を好評発売中です。

今回の DVD は、前回のものから平成 17 年 1 月号以降の 3 年間分を追加した「創刊号から平成 19 年 12 月号までの会誌記事」と本会の「50 年史」、「75 年史」を DVD 2 枚組みにして収録し、1976 年以降のものは全文検索ができます。

期間限定の割引価格にて販売しておりますので、この機会にぜひお申し込み頂きたく御案内申し上げます。
なお、前回の DVD を御購入頂いている会員の方には、特別価格で販売しておりますのでお申し出下さい。

◎ 期間限定割引価格

個人会員	10,000 円 (定価 12,000 円)
個人非会員	30,000 円 (定価 50,000 円)
企業・図書館等	50,000 円 (定価 80,000 円)

下記の申込書をコピーの上、郵送またはファクシミリにて本会宛お送り下さい。



..... キ リ ト リ

会誌 DVD 第 2 版購入申込書 (この用紙をコピーの上、郵送または FAX して下さい。)

※ FAX の誤送信に御注意下さい。

- (1) 会誌 DVD 第 2 版 (DVD 2 枚組み) _____ 組を申し込みます。
- (2) 必要書類 ・ 本会書式の請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通が必要
(書類は現品に同封してお送り致します)
・ 請求関係書類の記載名義 _____
- (3) 該当箇所の にチェックして下さい。
 個人会員 (会員番号 _____) 個人非会員 企業・図書館等
- (4) 送付先 ・ 住 所 _____

* 部課名, 研究室名, アパート名等まで御記入願います。
・ 氏 名 _____
- (5) 連絡先 TEL : _____ E-mail : _____

申込み先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
(社)電子情報通信学会サービス事業部会員課
FAX [03] 3433-6659 TEL [03] 3433-6691 E-mail : kaiin@ieice.org